

枚方寝屋川の消防

（消防年報）

大阪府・枚方寝屋川消防組合
（平成 30年 版）

枚方寝屋川消防組合三訓

（使命）

- 一、我々は、あらゆる消防事象に、勇気と誇りをもって対処し、消防使命の達成に全力を挙げます。

（服務）

- 一、我々は、規律を重んじ、指揮命令に従い、かつ、友愛をもって団結し、誠実に職務を遂行します。

（修養）

- 一、我々は、平素から、消防に関する卓越した知識、技術を修め、もって錬磨し、市民の信頼に応えます。

は じ め に

この年報（平成 30 年版「枚方寝屋川の消防」）は、火災・救急・救助をはじめ各災害活動の実態や予防・広報などの消防行政の現状を集約したものであり、本書を活用していただき、本消防組合の消防行政について、より一層のご理解を深めていただければ幸いです。

令和元年 9 月

枚方寝屋川消防組合消防長

特集 1 大阪府北部を震源とする地震

1 大阪府北部を震源とする地震の概要

平成 30 年 6 月 18 日 7 時 58 分頃、大阪府北部を震源とする最大震度 6 弱の地震が発生しました。

本消防組合管内でも、枚方市で震度 6 弱、寝屋川市で震度 5 強を観測し、建物の倒壊や土砂災害等が発生しました。



2 本消防組合の対応

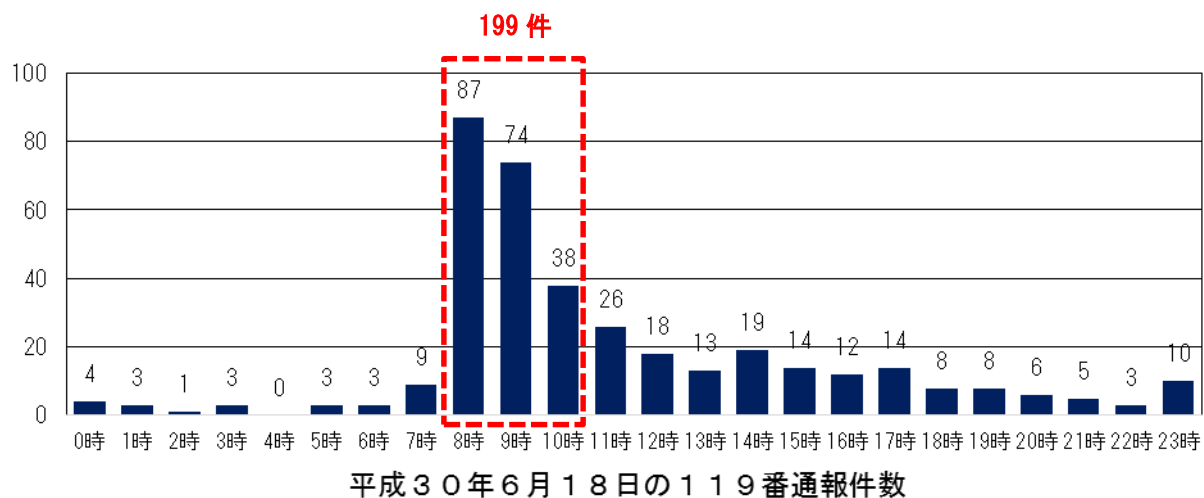
この地震の発生に伴い、同日 8 時 4 分に非常警備体制及び震災 3 号招集が発令され、全職員が招集されました。

発災当初には非常に多くの通報が寄せられるとともに、エレベーター内での閉じ込め事案やガス漏れ警戒事案等が多数発生し、迅速な対応を迫られました。



3 119番通報の件数

地震が発生した直後から119番通報が殺到し、8時00分からの3時間での通報件数は199件にのぼり、6月18日の1日の通報件数は381件でした。



4 災害の発生状況（地震に起因する件数）

(1) 火災

なし

(2) 消防事故

・枚方市 46件

・寝屋川市 30件

・組合合計 76件

・主な指令内容

エレベーター閉じ込め 15件、瓦の落下 14件、ガス漏れ警戒 9件、その他事故 38件

(3) 救急出動

・枚方市 23件（中等症 3人、軽症 20人）

・寝屋川市 11件（中等症 3人、軽症 8人）

・組合合計 34件（中等症 6人、軽症 28人）

(4) その他の出動

・危険物関係事故 4件（枚方市 2件、寝屋川市 2件）

・LPガス事故 1件（枚方市 1件）

特集2 緊急消防援助隊の派遣

1 平成30年7月豪雨の概要

平成30年6月28日から7月8日にかけて、前線や台風7号の影響により暖かく非常に湿った空気が供給され続け、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となり、河川の氾濫、浸水害、土砂災害等が発生し、死者・行方不明者が多数となる甚大な災害となりました。

同年7月6日21時20分、消防庁長官から大阪府知事に対して、緊急消防援助隊の広島県への出動要請があったことから、本消防組合からも広島県へ職員を派遣しました。

派遣先において人命検索活動等を実施し、大阪府大隊として14人（うち生存者2人）の方を救出しました。



2 本消防組合の派遣状況

	派遣期間	消防隊	救急隊	救助隊	指揮支援隊	後方支援隊	計	大阪府大隊派遣隊
1	7月6日（金）23時50分 ～10日（火）4時頃		4人	5人			9人	第3次
2	7月7日（土）1時55分 ～10日（火）4時頃				3人		3人	第4次
3	7月8日（日）10時40分 ～13日（金）7時頃					4人	4人	第7次
4	7月9日（月）7時20分 ～13日（金）7時頃		4人	5人	3人		12人	第9次

5	7月12日(木) 10時20分 ～16日(月) 3時頃			5人		2人※	7人	第11次
6	7月15日(日) 11時00分 ～19日(木) 3時頃					1人	1人	第12次
7	7月18日(水) 8時20分 ～22日(日) 2時頃		3人				3人	第13次
8	7月21日(土) 8時50分 ～25日(水) 2時頃	4人					4人	第14次
9	7月24日(火) 8時20分 ～28日(土) 2時頃					2人	2人	第15次
10	7月27日(金) 8時20分 ～31日(火) 2時頃		3人	5人			8人	第16次
11	7月30日(月) 8時20分 ～8月1日(水) 17時頃			5人			5人	第17次
総計		4人	14人	25人	6人	9人	58人	

※第11次派遣(後方支援隊)の2人については、マイクロバスによる交代要員の送迎

3 救出者

大阪府大隊派遣隊	救 出 者
第4次派遣隊	7/7 37歳男性(東広島市中河内地区)
第7次派遣隊	7/8 44歳女性(安芸区熊野町川角) 7/8 80歳男性(西条町下三永) 7/8 ★57歳男性(河内町下河内) 生存者
第9次派遣隊	7/9 男性2人、女性1人(年齢不明)(安芸区熊野町川角) 7/9 女性1人(年齢不明)(安芸区矢野東) 7/9 30代女性1人(安芸区上瀬野町) 7/9 64歳女性1人(河内町中河内) 7/9 男性1人(年齢不明)(河内町中河内) 7/9 ★54歳女性(志和町別府) 生存者
第11次派遣隊	7/12 13歳男の子(安芸区熊野町川角) 7/12 2歳男の子(安芸区熊野町川角)
第12次～第17次派遣隊	安否不明者1人を捜索するが、発見救出に至らず
総 計	生存者2人(57歳男性、54歳女性) 死者12人(男性7人、女性5人)

特集3 台風21号の対応

1 平成30年台風21号の概要

台風21号は、平成30年9月4日12時頃、非常に強い勢力で徳島県に上陸した後、速度を上げながら近畿地方を縦断しました。近畿地方では猛烈な風雨となり、本消防組合管内でも家屋の損傷を中心に多方面に被害を及ぼしました。

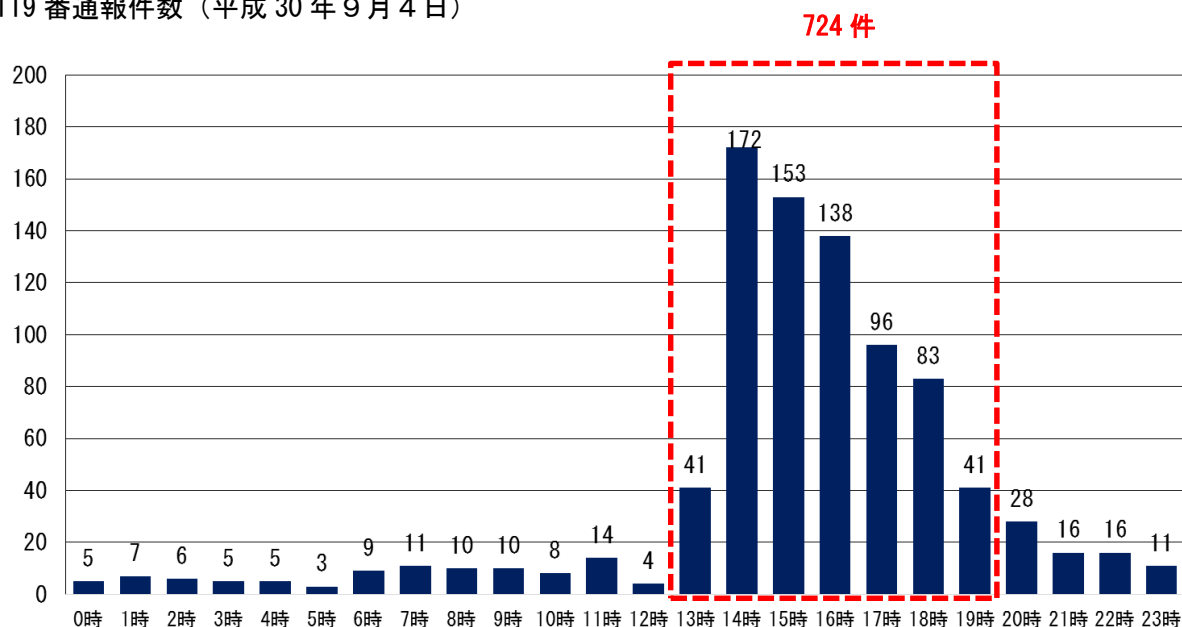
特に大阪府北部を震源とする地震により損傷した屋根等の補修が完了していない世帯も多く、台風21号によりさらに被害が拡大しました。

2 本消防組合の対応

平成30年9月4日4時49分に当務員警戒を発令し、同日10時00分には特命招集による非常警備体制に移行しました。台風21号が最接近した13時頃から119番通報が殺到し、特に通報が集中した13時00分からの7時間については、119番通報件数が724件に及び同年の1日平均の約4倍の通報を受信しました。

指令センターにおいても事前に指令課員を増員配置していましたが、予想をはるかに超える通報件数であったため、指令課員による通報対応は困難を極めました。

119番通報件数（平成30年9月4日）



3 災害の発生状況

火災出動はなく、救急出動において 31 人の救急搬送（重症 2 人、中等症 9 人、軽傷 20 人）があったほか、消防事故が 276 件ありましたが、ほとんどの通報は「シャッターが飛びそう」、「屋根が崩れた」、「トタンが飛び道路を塞いでいる」といった人的被害がなく緊急性の低いものでした。

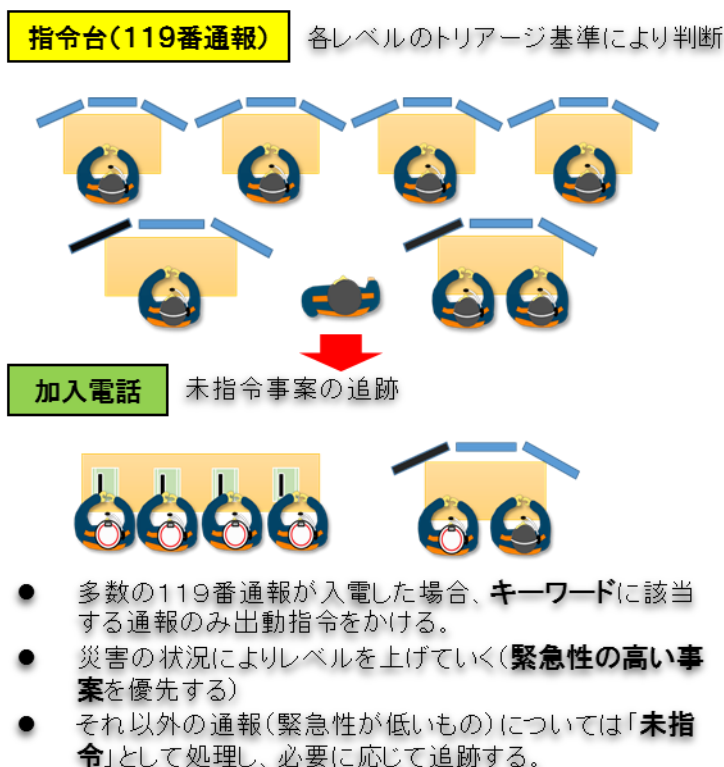
4 指令業務の再検証

今後も大規模災害時等に 119 番通報が殺到することは考えられますが、そのような場合にも人的被害や緊急性がある事案に迅速に緊急車両を出動させられる体制を堅持しなければなりません。

本消防組合では、大阪府北部を震源とする地震や台風 21 号発生時の対応により浮き彫りになった課題を検証し、一定の基準を定め、指令課員に対し教育を進めております。

具体的には、今後大規模災害が発生した場合、災害の規模と通報内容（キーワード）によって出動指令のトリアージを実施します。

大規模災害時の指令センター イメージ



レベルごとのキーワード

【レベル1】

- 人的被害がある
- 燃えている又は燃えていたが消えた
- 救急要請全般
- 自動火災報知設備の吹鳴（煙気・臭気あり）
- 倒壊建物等による閉じ込め（緊急性あり）
- 電柱、電線等で火花が出ている
- ガスの臭いがする
- 幹線道路をふさぐ倒木等（緊急性あり）
- 土砂災害及び大規模足場等の倒壊

【レベル2】

- 人的被害がある
- 燃えている
- 救急要請があるもの
- 自動火災報知設備の吹鳴（煙気・臭気あり）
- 倒壊建物等による閉じ込め（緊急性あり）
- 電柱、電線等で火花が出ている
- ガスの臭いがする（緊急性あり）
- 幹線道路をふさぐ倒木等（緊急性あり）
- 土砂災害及び大規模足場等の倒壊

【レベル3】

- 人的被害がある
- 燃えている
- 救急要請があるもの
- 自動火災報知設備の吹鳴（煙気・臭気あり）
- 倒壊建物等による閉じ込め（緊急性あり）

目 次

第1章 概 要	1
1. 枚方寝屋川消防組合同規約	1
2. 沿 革	5
・旧枚方、寝屋川の消防	5
・自治体消防発足以後	7
3. 平成30年中の主な行事	15
4. 管内の概況	16
・位置及び面積	16
・人口及び世帯数	16
・情勢	16
5. 消防本部及び署所の分布図	17
6. 消防庁舎の現況	18
7. 組織及び機構図	19
8. 職員の勤務配置	20
第2章 総務編	21
1. 消防財政	21
・平成30年度予算の概要	21
2. 消防職員	22
・職員の階級、勤続年数、年齢別による構成分析	22
3. 職員の研修	23
・職員の採用	23
・研修区分	23
4. 厚生事業	24
・職員の健康管理（平成30年4月～平成31年3月）	24
5. 公務災害	25
・平成30年中の公務災害発生状況	25
・過去5年間の公務災害発生状況	25
6. 消防広報	26
7. 行政改革	27
・これまでの取組経過	27
・第1次行政改革実施計画	27
・第2次行政改革実施計画	28
・第2次将来構想計画構造改革	28
・枚方寝屋川消防組合消防経営戦略プラン	29
・枚方寝屋川消防組合第3次将来構想計画	29
・枚方寝屋川消防組合第4次将来構想計画	30
第3章 予防編	31
1. 防火対象物	31
2. 消防同意	32
・平成30年中の消防同意件数	32
3. 消防用設備等の検査	32
・消防用設備等検査状況（消防用設備等の種類と件数）	33
4. 防火・防災管理者	33

・防火管理講習等	33
5. 査察業務	34
6. ホテル・旅館に対する表示制度	35
7. 違反対象物に係る公表制度	35
8. 高層建築物	35
9. 防火・防災管理対象物定期点検報告制度	36
・特例認定	36
10. 住宅防火	37
・住宅防火診断	37
・住宅用火災警報器の設置及び維持管理の啓発	37
11. 危険物規制	38
・危険物規制事務の概要	38
・危険物施設の状況	38
許認可事務処理状況	39
12. 防火意識の高揚	40
・第64回文化財防火デー	40
・平成30年春季全国火災予防運動	40
・平成30年度危険物安全週間	41
・住宅防火・防災キャンペーン	42
・平成30年秋季全国火災予防運動	42
13. 産業保安規制	43
・産業保安事務の概要	43
・火薬類取締法の概要	44
・高圧ガス保安法の概要	44
・液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律の概要	44
・火薬類危害予防週間	45
・高圧ガス保安活動促進週間	45
・LPGガス消費者保安月間	45
・「放置ボンベ撲滅」の取組み	45
14. 枚方寝屋川消防組合防火委員会	46
・目的	46
・役員及び活動状況	46
15. 幼年消防クラブ	46
・目的	46
・活動状況	46
16. 少年消防クラブ	47
・目的	47
・活動状況	47
17. 婦人防火クラブ	47
・目的	47
・活動状況	47
18. 地域防災向上センター	48

第4章 通信編

1 指令管制	49
・指令管制システム	49

・ 指令管制業務の概要	49
・ 指令状況	49
・ 119 番等通報受信状況	50
2. 緊急通報システム	51
・ 緊急通報システムの概要	51
3. 指令業務の共同運用	53
・ 指令状況（交野市）	53
・ 共同運用イメージ図	53
・ 119 番等通報受信状況（交野市） ..	54

第5章 警備編 55

1. 消防活動状況	55
・ 出動体制	55
・ 放水活動状況	56
・ 火災別活動状況	57
・ その他の消防事故	57
2. 消防水利	58
・ 管内の水利状況	58
・ 管内の水利状況表（推移）	58
・ 耐震性 100 型貯水槽（飲料水兼用） 設置場所	58
3. 消防装備	59
・ 平成 30 年度の更新車両	59
4. 消防団	61
・ 消防団の役割	61
・ 消防団員の職業別状況（平成 30 年 12 月 31 日現在）	61
・ 出動状況（平成 30 年 12 月 31 日現 在）	61
6. 相互応援協定	63
・ 消防相互応援協定	63
・ 航空消防応援協定	64
・ その他の協定	64

第6章 救急編 66

1. 活動状況	66
・ 救急件数の動向	66
2. 救急活動の概要	67
・ 昨年との比較、特筆すべき事案等 ..	67
・ 事故種別活動状況	68
・ 症度別搬送人員状況	68
・ 年齢区分別搬送人員状況	68
・ 時間帯別救急出動状況	69
・ 不搬送の状況	69
・ 発生場所別搬送医療機関	70
3. 応急手当の状況と普及啓発活動	70
・ 一般市民実施の応急手当及び救命手 当	70
・ 応急手当の普及啓発活動状況	70
・ 救命講習会	71

・ P U S H～いのちの授業	71
・ 救命講習会における啓発活動	71
・ 勇気こころのカード	72
4. 「救急安心センターおおさか」 ..	73
・ 「救急安心センターおおさか」への参 画と主な業務	73
・ 問合せ内容及び各件数	73
5. ドクターカー事業	74
・ ドクターカー運用イメージ	74

第7章 火災編 75

1. 火災の概況	75
・ 平成 30 年中の火災概況	75
・ 出火原因	76
・ 月別火災発生状況	76
・ 署所別火災発生件数	77
・ 死傷者数	77
・ 損害額	77
・ 出火率	77
・ 死者発生率	77
・ 過去 10 年間の火災発生状況	78
・ 過去 10 年間の火災件数表	78
・ 過去 10 年間の出火原因別火災件数 ..	79
・ 過去 10 年間の出火原因別件数推移 ..	79
2. 火災調査	80
・ 火災調査の目的	80
・ 調査技術の向上	80
・ 火災調査の実施	80
・ 最近の火災調査を取り巻く国等の動 き	81
・ 平成 30 年中の照会等の件数	81

第8章 救助編 82

1. 救助体制	82
2. 救助活動の概要	82
・ 市別活動状況	83
・ 救助人員の内訳	83
・ 救助事故種別件数	83
3. 国際消防救助隊	84
・ 国際消防救助隊員の訓練研修参加状 況	84
4. 訓練実施状況	85
・ 隊別訓練実施状況	85
5. 全国消防救助技術大会	86
・ 過去 5 年間の消防救助技術近畿地区 指導会出場状況	86

第 1 章 概 要

1. 枚方寝屋川消防組合同規約

第 1 章 総則

(組合の名称)

第 1 条 この組合は、枚方寝屋川消防組合（以下「組合」という。）という。

(組合を組織する地方公共団体)

第 2 条 組合は、枚方市及び寝屋川市（以下「関係市」という。）をもつて組織する。

(共同処理する事務)

第 3 条 組合は、次に掲げる事務を共同処理する。

- (1) 消防に関する事務（消防団に関する事務のうち、関係市で協議して定める事務を除く。）
- (2) 大阪府産業保安行政事務に係る事務処理の特例に関する条例（平成12年大阪府条例第 6 号）の定めるところにより関係市が処理することとされた事務のうち、火薬類、高圧ガス及び液化石油ガスに係る事務

(事務所の位置)

第 4 条 組合の事務所は、枚方市の区域内に置く。

第 2 章 組合の議会

(議会の組織)

第 5 条 組合議会の議員（以下「組合議員」という。）の定数は16人とし、関係市の選出区分は、次のとおりとする。

枚 方 市 9 人

寝屋川市 7 人

(議員の選出)

第 6 条 組合議員は、関係市の議会において、その議員の中からそれぞれ選出する。

2 組合議員の任期は、関係市の議会議員の任期による。

3 組合議員に欠員が生じたときは、その関係市において速やかにこれを補充しなければならない。

(議長及び副議長)

第 7 条 組合議会は、組合議員の中から議長及び副議長 1 人を選挙しなければならない。

2 議長及び副議長の任期は、組合議員の任期による。

第3章 組合の執行機関

(執行機関の組織)

第8条 組合に、管理者、副管理者2人及び会計管理者を置く。

2 前項に定めるものを除くほか、組合に必要な職員を置く。

(管理者)

第9条 管理者は、枚方市の長をもつて充てる。

2 管理者の任期は、枚方市の長としての任期による。

(副管理者)

第10条 副管理者は、次に掲げる者をもつて充てる。

(1) 寝屋川市の長

(2) 枚方市の副市長のうち、管理者が指名するもの1人

2 前項第1号の副管理者の任期は、前条第2項の規定を準用する。この場合において、「枚方市」とあるのは「寝屋川市」と読み替えるものとする。

3 第1項第2号の副管理者の任期は、当該枚方市の副市長としての任期による。

4 管理者に事故があるとき、又は管理者が欠けたときは、第1項第1号の副管理者がその職務を代理する。

(会計管理者)

第11条 会計管理者は、枚方市の会計管理者をもつて充てる。

(監査委員)

第12条 組合に、監査委員2人を置く。

2 監査委員は、管理者が組合議会の同意を得て組合議員及び地方自治法（昭和22年法律第67号）第196条第1項に規定する識見を有する者（次項において「識見を有する者」という。）のうちから各1人を選任する。

3 監査委員の任期は、組合議員のうちから選任された者にあつては組合議員の任期中とし、識見を有する者のうちから選任された者にあつては4年とする。ただし、後任者が選任されるまでの間は、その職務を行なうことを妨げない。

第4章 組合の経費

(組合の経費)

第13条 組合の経費は、関係市の分担金その他の収入をもつて充てる。ただし、施設建設経費等特殊な経費の負担割合については、関係市の協議により定める。

2 前項の分担金の割合は、次の方法により算出する。

均等割 100分の15

世帯割 100分の40

人口割 100分の45

- 3 前項の世帯割及び人口割の基礎は、関係市の前年9月末日現在における住民基本台帳の世帯数及び人口による。

附 則

この規約は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則〔昭和49年11月13日規約第11号〕

この規約は、大阪府知事の許可があつた日から効力を生ずるものとする。

附 則〔平成3年4月1日規約第12号〕

この規約は、大阪府知事の許可のあつた日から施行する。

附 則〔平成6年10月11日規約第13号〕

この規約は、大阪府知事の許可の日から施行する。

附 則〔平成8年4月1日規約第14号〕

この規約は、大阪府知事の許可の日から施行する。

附 則〔平成11年4月1日規約第15号〕

(施行期日)

- 1 この規約は、大阪府知事の許可の日から施行する。ただし、第5条の改正規定については、この規約に係る大阪府知事の許可の日以後における最初の寝屋川市の議会での組合議員選出から施行する。

(平成11年度及び平成12年度における分担金割合の特例)

- 2 この規約による改正後の枚方寝屋川消防組合規約第13条第2項の規定にかかわらず、平成11年度及び平成12年度に限り、関係市の分担金の割合は、次の方法により算出する。

	均等割	世帯割	人口割
平成11年度	100分の33	100分の33.5	100分の33.5
平成12年度	100分の26	100分の37	100分の37

附 則〔平成19年3月15日規約第16号〕

(施行期日)

- 1 この規約は、平成19年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規約の施行の際現に在職する収入役は、その任期中に限り、なお従前の例により在職するものとする。この場合においては、変更後の枚方寝屋川消防組合規約第8条第1項及び第11条の規定は適用せず、変更前の枚方寝屋川消防組合規約第8条第1項及び第11条の規定は、なおその効力を有する。

附 則〔平成24年3月6日規約第17号〕

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

附 則〔平成27年3月17日規約第18号〕

(施行期日)

- 1 この規約は、平成27年4月1日から施行する。ただし、第13条第2項の改正規定は、平成28年4月1日から施行する。

(平成28年度及び平成29年度における分担金割合の特例)

- 2 この規約による改正後の枚方寝屋川消防組合規約第13条第2項の規定にかかわらず、平成28年度及び平成29年度に限り、関係市の分担金の割合は、次の方法により算出する。

均等割 100分の15

世帯割 100分の42.5

人口割 100分の42.5

2. 沿 革

・旧枚方、寝屋川の消防

江戸時代	この時代の火事は、もっぱら手桶のリレーで消火に当たった。宝暦年間（1751～1761）に初めて手動ポンプの原形である竜吐水が現れ、各村にも備え付けられるようになり、寝屋川市内では、萱島の会所跡などにその頃のものが残っていた。
明治時代	明治の初年、各村に初めて自治的な消防組が生まれ、小頭、纏持ち、はしご持ち、とび持ち、竜吐水係などの役割に従って活動するいわゆる私設消防ができ、所により役所のかかえ火消、役所付火消、町火消などもできた。
明治22年4月1日	町村制が実施された。現在の枚方市、寝屋川市域に属する町村名は次のとおりであり、旧村はその大字となった。 一枚方市域（旧村名）－ 枚方町（三矢・岡・岡新町・枚方・泥町・伊加賀） 蹉跎村（出口・走谷・中振） 川越村（村野・田宮・山之上・茄子作） 山田村（甲斐田・片鉾・田口・中宮） 牧野村（禁野・磯島・渚・小倉・阪・宇山・養父・上島・下島） 招提村（招提） 樟葉村（船橋・樟葉） 津田村（津田・野・春日） 菅原村（長尾・藤阪） 氷室村（杉・尊延寺・穂谷） －寝屋川市域（旧村名）－ 九個荘村（池田・葛原・大利・神田・高柳・対馬江・黒原・仁和寺・点野） 友呂岐村（郡・三井・田井・木屋・平池・石津・太間） 豊野村（国松・秦・太秦・高宮・小路） 寝屋川村（木田・萱島流作新田・堀溝・河北） 水本村（寝屋・打上・燈油）
明治27年2月	消防規則が制定され、同37、39年の改正を経て、各村に消防組織ができるようになった。
明治31年6月	九個荘村仁和寺に、地域で最初の新式腕用ポンプが置かれ、さらに同35、36年から各村に常備されていった。
明治44年6月	東高野街道付近に不良徒輩が出没し、水本村の3大字で消防3隊を編成のうえ、水火消防はもとより、付近住民の警備、保護に当たったことがあった。
大正6年	各町村単位に消防組ができて、その頃から各大字にも腕用ポンプ1台ずつが備えつけられるようになった。 （当時の消防組の手当） ○消防手の演習手当…………… 弁当代 60 銭 ○出火出動手当…………… 昼 60 銭・夜 80 銭 ○出初式手当…………… 50 銭 ○消防手の引退慰労金…………… 1 円
昭和元年	枚方警察署管内に連合消防組が組織された。
昭和10年2月11日	牧野村と招提村が合併し、殿山町となる。
昭和12年3月	九個荘村に、地域で初めてのポンプ自動車1台が、購入配置された。
昭和13年11月3日	枚方町に殿山町、山田村、樟葉村、川越村、サダ村が編入合併
昭和14年1月	戦争の進展とともに、警防団令が公布され、同年4月1日各町村に警防団が結成されて、各大字に班が置かれた。事後、消防とともに治安の警備にも一役を演じ、一年数回の防空訓練が行われた。また町内会や隣組で家庭防空組合も組織されて、警察や警防団の指導のもとに、バケツリレー、火たたき練習など幾回となく防空訓練が行われた。
昭和15年11月18日	津田村、菅原村、氷室村が合併し、津田町となる。

昭和18年2月1日 4月1日	九個荘村、町制施行「九個荘町」となる。 九個荘町、豊野村、友呂岐村、寝屋川村が合併し、寝屋川町となる。
昭和19年8月25日	大阪府警察部直轄枚方消防特別出張所（所長は、枚方警察署長が兼任）が枚方町三矢に開設。消防曹長2人が赴任し、枚方、寝屋川、交野、津田の4ヶ町の消防事務を枚方警察署の付属事務として開始する。 警防団より特別消防補助員として80人を選抜し、消防ポンプ自動車は、枚方警防団に3台友呂岐警防団詰所に2台を配置し、官設消防が発足した。
昭和20年6月29日 昭和20年7月10日	大阪府より消防職員26人を配置し、枚方消防中隊と呼称友呂岐警防団詰所（寝屋川町郡1015番地）を寝屋川消防分遣所に改称し、職員を配備 枚方消防中隊の事務所を枚方町三矢36番地、淀川左岸水防組合内に移転
昭和21年3月10日	津田町津田1684番地、津田町役場の一部に、津田消防分遣所を開設 大阪府告示第130号により、大阪府枚方消防署に昇格 初代署長に稲田 実 就任 寝屋川消防分遣所を、寝屋川消防出張所に昇格 勅令の一部改正により、警防団が解散 枚方町禁野、大阪府財務局枚方製造所内に、臨時消防分遣所を開設 勅令第185号をもって消防団令が公布され、各市町村に消防団が組織されるとともに、枚方消防署も自治体行政の一機関として改組されることになった。
昭和22年8月1日 昭和22年12月20日	枚方町、市制施行「枚方市」となる。 寝屋川消防出張所を、寝屋川町郡1038番地に移転

・自治体消防発足以後

昭和23年 2月5日	消防組織法の制定に伴い枚方市、寝屋川町、交野町、津田町の1市3ヶ町をもって消防組合を結成する会議をもち、消防組合消防本部は枚方市岡 620 番地の3、枚方市役所内に、消防署は枚方市三矢 36 番地、淀川左岸水防組合事務所内に、出張所は寝屋川町郡 1038 番地に寝屋川消防出張所を、交野町倉治 1809 番地、交野町役場内に交野消防出張所を、津田町津田 168 番地に津田消防出張所を、それぞれ設置することを定めた。
3月7日	枚方市告示第 20 号、寝屋川町告示第 7 号、交野町告示第 6 号、津田町告示第 12 号をもって枚方市外 3 ヶ町消防組合が組織され（名称・枚方市外 3 ヶ町消防組合、初代消防長兼署長に稲田実就任、枚方消防署、職員 32 人）自治体消防発足
5月4日	枚方市外 3 ヶ町消防組合規約を制定
9月30日	消防職員条例定数 75 人 実員 35 人
昭和24年 4月1日	交野町が消防組合を脱退 規約改正、名称を枚方市外 2 ヶ町消防組合に改称
4月25日	寝屋川消防出張所を香里消防出張所に改称し、寝屋川町大利 622 番地の2、寝屋川町警察署内に、寝屋川消防出張所を開設
9月1日	津田町が消防組合を脱退
9月16日	規約改正、名称を枚方寝屋川消防組合、枚方寝屋川消防署に改称
12月15日	寝屋川消防出張所を、寝屋川町大利官有無番地に新築移転開設
昭和25年 6月25日	枚方市招提平野 47 番地の1に阪消防出張所を開設
昭和26年 5月3日	寝屋川町、市制施行「寝屋川市」となる。
昭和29年 6月6日	枚方寝屋川消防組合消防本部（消防署併設）を、枚方市中振 2189 番地に新築移転開庁 枚方市三矢 36 番地の枚方消防署を枚方消防出張所に改組、香里消防出張所を廃止
昭和30年10月15日	枚方市に津田町が編入合併
昭和31年 2月2日	消防本部を基地局、枚方消防出張所、寝屋川消防出張所及び指令車を移動局として、消防専用無線電話を設置
4月1日	消防職員条例定数 77 人 実員 40 人
7月10日	枚方市津田 1864 番地の1に、津田消防分遣所を開設
昭和32年 4月1日	消防職員条例定数 77 人 実員 47 人 津田消防分遣所を津田消防出張所に昇格
9月20日	119 火災専用電話を設置
12月10日	全署所に消防専用無線電話の設置を完了
昭和35年 4月1日	消防職員条例定数 77 人 実員 56 人
昭和36年 4月25日	本署に救急車を配置のうえ、救急業務を開始
6月28日	寝屋川市に水本村が編入合併
7月8日	消防本部（署）の2階事務所を増築
9月16日	第2室戸台風によるガレージ等の倒壊によって、枚方消防出張所を一時閉鎖
昭和37年 4月1日	消防職員条例定数 77 人 実員 61 人 枚方寝屋川消防組合火災予防条例を制定
9月20日	枚方消防出張所を新築、業務再開
昭和38年 3月7日	自治体消防 15 周年記念式典を開催（於：消防本部）
4月1日	消防職員条例定数 77 人 実員 76 人
4月15日	寝屋川消防出張所は、寝屋川市駅前整備による立退きのため寝屋川市高柳 143 の1番地へ新築移転、寝屋川西消防出張所と改称のうえ開設
4月19日	本署並びに枚方消防出張所、寝屋川西消防出張所の主力機械に消防専用無線電話を設置
6月25日	寝屋川市木田 618 番地に、寝屋川東消防出張所を開設
昭和39年 4月1日	消防職員条例定数 90 人 実員 89 人
10月1日	消防本部の組織に関する規則制定により次長制を実施し、2課1室7係を設置
11月26日	消防本部（署）及び消防出張所に消防相談所を開設
昭和40年 4月1日	消防職員条例定数 107 人 実員 105 人

6月22日 10月1日 11月22日	大阪府北ブロック（8市4ヶ町）消防相互応援協定を締結 枚方市中宮 2831 番地の 1 に、中宮消防出張所を開設 全主力機械の消防専用無線電話の設置を完了
昭和41年9月1日 12月26日	消防職員条例定数 137 人 実員 120 人 機構改革により、副次長、主幹、5 課 13 係を設置 枚方寝屋川消防組合監査委員条例を制定
昭和42年4月1日 10月2日	消防職員条例定数 137 人 実員 134 人 消防施設等 5 ヶ年整備事業計画を樹立
昭和43年4月1日 8月1日 12月21日	消防職員条例定数 172 人 実員 160 人 自治体消防発足 20 周年記念式典（於：寝屋川市成田不動明王院信徒会館） 消防特別救助分隊（隊員 10 人）発足
昭和44年4月1日 12月17日 12月26日	消防職員条例定数 250 人 実員 195 人 総合企画室を設置 寝屋川市打上 719 番地の 6 に、明和消防出張所を開設 消防本部に大阪府救急医療情報センターへの直通電話を設置
昭和46年1月18日 4月1日 8月1日 8月16日	機構改革により、1 本部（2 課）2 署制を実施し、枚方寝屋川消防組合消防本部（枚方消防署併設、枚方市大垣内町 2 丁目 10 番 22 号）及び、寝屋川消防署（寝屋川市池田 2 丁目 11 番 73 号）開庁、同時に旧消防本部、枚方寝屋川消防署を中振出張所に改組 消防職員条例定数 300 人 実員 253 人 初代消防長 稲田 実 退任退職、二代消防長 田中 幸次 就任 枚方消防署津田出張所を、枚方市津田 3111 番地の 1（枚方市役所津田支所内）に新築移転開設
昭和47年4月1日	消防職員条例定数 300 人 実員 282 人
昭和48年1月12日 3月2日 3月23日 3月26日 3月31日 4月1日	消防に関する都市等級調査（昭和 46 年 10 月～昭和 47 年 2 月実施）により大阪府から枚方市 4 等級、寝屋川市 3 等級に決定 消防組合並びに枚方市消防団、寝屋川市消防団は、消防庁長官より昭和 47 年度優良消防機関として、竿頭綬を受ける。 枚方寝屋川消防組合規約の全部を改正 枚方寝屋川消防組合公平委員会設置条例を制定 消防本部通信指令室に消防救急（A 型）一斉指令装置を設置 消防職員条例定数 330 人 実員 306 人
昭和49年1月30日 3月14日 4月1日 10月15日	寝屋川市秦 669 番地の 1 に、寝屋川消防署特別出張所を開設 消防無線電話の呼出名称「ひらかたしょうぼう」を「ひらしょう」に改正 消防職員条例定数 400 人 実員 339 人 予防査察隊（赤バイ）発足
昭和50年3月1日 4月1日 5月6日 5月23日 11月19日 12月26日	枚方寝屋川消防組合 5 ヶ年総合計画を策定 消防職員条例定数 400 人 実員 369 人 消防音楽隊発足 枚方市楠葉並木 2 丁目 29 番 1 号（枚方市役所北部支所内）に、枚方消防署楠葉出張所を開設 寝屋川市三井南町 25 番 2 号に、寝屋川消防署三井出張所を開設 京都府綴喜郡八幡町と枚方市並びに枚方寝屋川消防組合が、相互応援協定を締結 枚方寝屋川消防組合議会運営委員会を設置
昭和51年4月1日	消防職員条例定数 450 人 実員 415 人
昭和52年4月1日 6月1日 12月21日	消防職員条例定数 465 人 実員 452 人 枚方市上野 2 丁目 3 番 1 号に、枚方消防署渚出張所を開設、寝屋川市東神田町 60 番 1 号に寝屋川消防署神田出張所を開設 寝屋川市婦人消防クラブ結成
昭和53年2月1日 3月1日	消防本部通信指令室に、防災情報検索装置を設置 自治体消防発足 30 周年記念行事（チャリティーバザー）を枚方市で開催（於：岡東中央公園）

3月7日	自治体消防発足30周年記念行事（チャリティーバザー）を寝屋川市で開催（於：ダイエー香里店）
4月1日	消防職員条例定数 485人 実員 482人
4月26日	枚方市茄子作北町7番22号に、枚方消防署川越出張所を開設
5月11日	京都府綴喜郡田辺町と枚方市並びに枚方寝屋川消防組合が、相互応援協定を締結
8月29日	枚方市婦人消防クラブ結成 寝屋川市少年消防クラブ結成
昭和54年4月1日	消防職員条例定数 533人 実員 505人
6月1日	枚方消防署阪出張所を、枚方市牧野本町1丁目10番34号に新築移転開設
7月2日	寝屋川消防署東出張所を、寝屋川市下木田町16番17号に新築移転開設
12月16日	消防の歌発表並びに枚方寝屋川消防組合消防音楽隊発足5周年記念演奏会を開催（於：枚方市民会館）
昭和55年4月1日	消防職員条例定数 551人 実員 539人
昭和56年4月1日	消防職員条例定数 581人 実員 568人
5月1日	寝屋川消防署西出張所を、寝屋川市春日町20番22号に新築移転開設
10月24日	枚方市長尾元町2丁目80番4号に、枚方消防署長尾出張所を開設
11月1日	二代消防長 田中 幸次 退任退職、三代消防長 中谷 晃光 就任
11月28日	枚方市少年消防クラブ結成
12月8日	枚方消防署枚方出張所を、枚方市桜町3番40号に新築移転開設
昭和57年4月1日	消防職員条例定数 601人 実員 586人
4月21日	機構改革により、消防本部に部長制（2部5課1室）を実施し、組織の充実を図る。 火災が多発し、市民に注意を呼びかけるため「火災非常事態」を宣言
昭和58年1月17日	消防に関する都市等級調査（昭和57年6月～11月実施）により大阪府から枚方寝屋川消防組合管内（枚方市、寝屋川市）3等級に決定
2月1日	枚方市宗谷1丁目14番1号に枚方消防署氷室出張所を開設
3月2日	消防組合並びに枚方市消防団、寝屋川市消防団は、消防庁長官より、昭和57年度優良消防機関として、表彰旗を受ける。
4月1日	消防職員条例定数 630人 実員 611人
5月6日	枚方市婦人消防クラブ、寝屋川市婦人消防クラブ発足5周年記念式典を開催（於：枚方市民会館）
5月26日	枚方寝屋川消防組合発足35周年記念式典を開催（於：枚方市農協会館）
昭和59年4月1日	消防職員条例定数 656人 実員 632人
7月1日	枚方寝屋川消防組合防火委員会を設立
10月20日	枚方寝屋川消防組合消防音楽隊発足10周年記念演奏会を開催（於：寝屋川市民会館）
12月27日	枚方寝屋川消防組合消防職員の定年等に関する条例を制定
昭和60年4月1日	消防職員条例定数 701人 実員 645人
	機構改革により、消防組合に収入役の補助機関として、会計室を設置
昭和61年4月1日	消防職員条例定数 701人 実員 683人
	機構改革により、1本部3署制を実施し、消防本部総務部に電子計算室を設置。枚方東消防署を枚方市津田北町2丁目23番3号に開署、同時に枚方消防署津田出張所を廃止
4月11日	国際消防救助隊発足
5月13日	三代消防長 中谷 晃光 退任退職、四代消防長 吉田 義一 就任
6月1日	機構改革により、消防本部は2部（総務部・警防部）1室（指令室）の体制を実施し、組織の充実を図る。
昭和62年4月1日	機構改革により、消防本部は電子計算室を総務部より分離し、2部（総務部・警防部）2室（指令室・電子計算室）の体制を実施し、組織の充実を図る。 枚方東消防署に、訓練塔及び防火水槽兼水難訓練場が完成
10月1日	火災報告処理の電算化を実施 四代消防長 吉田 義一 退任退職、五代消防長 宮崎 正也 就任

10月3日	寝屋川市婦人消防クラブ発足 10 周年記念式典を開催（於：寝屋川市立総合センター）
10月28日	枚方市婦人消防クラブ発足 10 周年記念式典を開催（於：枚方市農協会館）
11月28日	「大阪府東部林野火災特別地域」に指定（枚方市・寝屋川市）
昭和63年 1月1日	予防業務電算システムの運用開始
3月5日	三訓制定 枚方寝屋川消防組合発足 40 周年記念式典を開催（於：消防本部）
9月1日	大阪府下広域消防相互応援協定締結
平成元年10月1日	機構改革により、指令室に指令課を新設、署の分隊を隊制とし、組織の充実を図る。
平成2年5月19日	枚方寝屋川消防組合消防音楽隊発足 15 周年記念演奏会を開催（於：枚方市民会館）
6月26日	緊急情報管理センター（枚方消防署中振出張所併設）庁舎完成
平成3年1月1日	五代消防長 宮崎 正也 退任退職、六代消防長 広田 茂 就任
4月1日	規約改正、副管理者を2人制に変更 消防職員条例定数 701人 実員 694人 枚方消防署枚方出張所を伊加賀出張所に、寝屋川消防署特別出張所を秦出張所に、東出張所を南出張所にそれぞれ改称
6月5日	緊急情報管理センターにて消防緊急情報システム（Ⅲ型）運用開始
10月1日	大阪府下広域消防相互応援協定再締結
平成4年9月29日	寝屋川市婦人消防クラブ発足 15 周年記念式典を開催（於：ウェディングパレス愛）
10月6日	枚方市婦人消防クラブ発足 15 周年記念式典を開催（於：枚方仙亭）
平成5年3月6日	枚方寝屋川消防組合発足 45 周年記念式典を開催（於：消防本部）
4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 718人 枚方及び寝屋川消防署本署へ高規格救急車を配備
8月1日	救急救命士による高度救急業務を開始
10月1日	週休二日制実施 人事給与システムの運用開始 機構改革により、交替制勤務を2交替制から3交替制に移行、消防本部総務部に企画課、警防部に救急救助課を新設し、電子計算室を廃止し、2部1室7課の体制とし、消防署の消防課を警備課に改称、警備課に統括司令、消防担当主幹、救急救助担当主幹、出張所に出張所長を配置し、指揮活動体制及び人事管理、事務管理の充実を図る。各署所間における予防業務電算システムのオンライン化を図り、各出張所で各種届出の受付が可能となった。
平成6年3月2日	枚方消防署渚出張所を、枚方市上野3丁目8番2号に新築移転開設
4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 729人 東ブロック消防救急指導に関する協定締結
6月1日	寝屋川市婦人消防クラブを寝屋川市婦人防火クラブに改称
10月1日	オートホーン電話システム運用開始 枚方東消防署本署及び寝屋川消防署南出張所へ高規格救急自動車配備
12月17日	枚方寝屋川消防組合消防音楽隊発足 20 周年記念演奏会を開催（於：枚方市民会館）
平成7年1月17日	阪神・淡路大震災の発生に伴う災害応援派遣（3月30日まで）
4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 735人
6月30日	緊急消防援助隊発足
8月21日	地震災害消防計画の見直し及び震災対応マニュアルの策定
11月16日	APEC大阪会議開催に伴う消防警備（11月20日まで）
平成8年2月13日	枚方消防署渚出張所へ災害対応特殊救急自動車配備
4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 753人
10月1日	寝屋川消防署明和出張所へ高規格救急自動車配備 消防職員委員会制度発足
平成9年1月14日	F M ひらかたと緊急放送に関する協定の締結

4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 758人
4月2日	寝屋川消防署明和出張所を、寝屋川市大字打上295-7に新築移転開設
4月17日	機構改革により、消防本部に予防部を新設、予防部に危険物行政を一括処理する危険物規制課を新設するとともに警防部予防課を移管、警防部警備課を消防救助課に救急救助課を救急課に改称
8月20日	行政改革推進室を設置し、行政改革に取り組む。
9月1日	大阪府下広域消防相互応援協定の一部を改正する協定の締結
9月13日	「なみはや国体」夏期大会開催に伴う消防警備 (9月16日まで)
10月1日	六代消防長 広田 茂 退任退職、七代消防長 長谷川 庫司 就任 消防組織の管理体制強化のため、消防次長職を設置
10月25日	「なみはや国体」秋期大会開催に伴う消防警備 (10月30日まで)
11月2日	「ふれ愛びっく大阪」開催に伴う消防警備 (11月3日まで)
11月4日	渚処理場高度処理水の災害時における防災利用に関する覚書の締結
11月10日	寝屋川消防署明和出張所へ梯子消防自動車配備
11月19日	寝屋川市婦人防火クラブ発足20周年記念式典を開催 (於：寝屋川消防署)
11月20日	大阪府下自動車電話・携帯電話からの119番通報に関する申し合わせの締結
12月25日	大阪府下自動車電話・携帯電話からの119番通報受付運用開始
平成10年3月20日	枚方消防署中振出張所へ高規格救急自動車配備 枚方東消防署楠葉出張所へ高規格救急自動車配備
4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 756人 大阪府防災行政無線設備の整備及び管理運営に関する協定の締結
4月3日	枚方寝屋川消防組合発足50周年記念式典を開催
4月22日	消防行政改革の推進に伴う「行政改革大綱」を策定
5月6日	寝屋川市地域防災相互通信用無線局運用協定の締結
8月5日	消防本部へ緊急消防援助隊指揮車(四輪駆動車) 配備
平成11年4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 748人 枚方寝屋川消防組合規約の一部改正
7月22日	枚方寝屋川消防組合消防特別救助隊30周年記念式典を開催
11月11日	平成11年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練実施(中央・枚方・藤井寺各会場)
12月31日	コンピューター西暦2000年問題に伴う特別警戒実施(平成12年1月1日まで)
平成12年4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 760人 機構改革により、消防本部に行政改革推進室、総務部に情報公開準備室、指令室に情報管理課を新設 河南町消防本部発足に伴う大阪府下広域消防相互応援協定の再締結 女性消防吏員1人採用 中国上海市盧湾区消防関係者視察
9月5日	指令室員、救急要請受信時の口頭指導実施
10月1日	枚方東消防署氷室出張所へ高規格救急自動車配備
平成13年4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 755人 七代消防長 長谷川 庫司 退任退職、八代消防長 渡会 廣 就任 枚方東消防署北山出張所を枚方市北山1丁目67番15号に新設
10月1日	情報公開条例、個人情報保護条例、情報公開・個人情報保護審査会条例、行政手続条例の制定 情報公開室、情報公開コーナー新設 枚方東消防署北山出張所、寝屋川消防署神田出張所に救急隊増隊
12月25日	不祥事防止対策・職場活性化検討委員会設置
平成14年4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 753人 枚方寝屋川消防組合消防職員の再任用に関する条例の制定 機構改革により、消防本部の「行政改革推進室」を「行政管理部」に、総務部の「情報公開準備室」と指令室の「情報管理課」を統合し、総務部に「情報推進課」を新設 消防情報システムの運用開始

10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 751人 救助工作車（震災対応） 枚方署配備 女性消防吏員1人救急業務に配置（北山出張所・救急隊）
平成15年4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 742人 機構改革により、総務部の「情報推進課」を廃止し事務を総務課と指令室に移管 消防音楽隊活動休止
10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 739人 消防音楽隊員を解任
平成16年4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 720人 八代消防長 渡会 廣 退任退職 九代消防長 明智 良平 就任 機構改革により会計室を廃止し会計事務を総務課に移管
10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 711人
10月12日	加除式例規集（内規編）を廃止し例規総合システム導入
10月21日	台風23号による洪水被害に伴う緊急消防援助隊を兵庫県豊岡市に派遣（ポンプ隊1隊・救助隊1隊・救急隊1隊・後方支援隊1隊 計4隊16人）
11月11日	消防音楽隊員を新たに選任し活動を再開
平成17年4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 714人 機構改革により予防部を廃止し警防部に統合 警防部警防対策課と消防救助課を統合し、警防課とする。
4月25日	J R 福知山線脱線事故に伴う緊急消防援助隊を兵庫県尼崎市に派遣（第1次 救助隊1隊・救急隊1隊・後方支援隊1隊 第2次、第3次 救助隊・後方支援隊各1隊 延べ3日間 計7隊24人）
平成17年10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 707人 女性消防吏員2人警防業務に配置（枚方東署女性消防吏員仮眠室設置）
平成17年12月2日	消防職員条例定数 772人 実員 702人 九代消防長 明智 良平 退任退職 十代消防長 榎本 志郎 就任
平成18年3月31日	消防音楽隊廃止
4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 704人 枚方東消防署氷室出張所の消防隊が救急業務を兼務する体制とする。 財務会計システムの運用を開始
9月5日	平成18年防災功労者内閣総理大臣表彰（J R 福知山線脱線事故の活動によるもの）
10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 700人 枚方消防署川越出張所に救急隊増隊
平成19年4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 686人 十代消防長 榎本 志郎 退任退職 十一代消防長 中口 武 就任 機構改革により総務課と企画財政課を統合し、総務管理課とする。
10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 678人 P A 連携開始【全ての消防車にA E D（自動対外式除細動器）を積載し、救急隊よりも先に到着した場合A E Dによる救命処置を行い、救急隊に引き継ぐ体制をいう。】 枚方寝屋川消防本部・枚方消防署合同庁舎耐震補強工事着手・完了
平成20年4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 667人 十一代消防長 中口 武 退任退職 十二代消防長 永田 登 就任
10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 657人 署所の統廃合により、枚方消防署伊加賀出張所を消防本部伊加賀分室とする。 寝屋川消防署庁舎耐震補強工事着手・完了
平成21年4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 663人 十二代消防長 永田 登 退任退職 十三代消防長 仙田 恵造 就任 枚方消防署本署に高度救助隊を発足
10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 665人
平成22年1月20日	枚方東消防署本署に小型動力ポンプ付水槽車（10t）を暫定配備
3月20日	第二京阪道路全線開通

4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 672人
10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 667人
平成23年 2月28日	寝屋川消防署明和出張所に小型動力ポンプ付水槽車（10t）を配備
3月11日	東日本大震災に伴う緊急消防援助隊を岩手県大槌町に派遣（3月20日まで） 寝屋川消防署本署に梯子車（15m級）を配備
3月25日	消防職員条例定数 772人 実員 661人
4月1日	十三代消防長 仙田 恵造 退任退職 十四代消防長 岡本 治康 就任
10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 662人
平成24年 4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 661人 機構改革により、消防本部に予防部を新設。予防部に、「予防課」を改め「予防指導課」及び「保安対策準備課」を改め「保安対策課」を設置。権限移譲に伴い、保安3法業務を開始 寝屋川消防署 秦出張所を秦出張所救急ステーションとして救急隊配備、及び庁舎改築工事着手・完了 地域防災向上センターを課に準じて予防部に設置
8月14日	1日積算雨量 150.5 [㍉] を記録、死者1人、浸水被害約10,600棟
10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 656人
平成25年 1月7日	交野市消防本部と消防情報システムの共同整備に係る協定書の調印
3月25日	後方支援車を秦出張所救急ステーションへ配備
4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 660人 機構改革により、中振・渚・楠葉・北山・明和・三井・神田各出張所に管理司令21人を配置
10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 655人
平成26年 4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 643人 十四代消防長 岡本 治康 退任退職 十五代消防長 藤中 明広 就任 機構改革により、中宮・川越・阪・長尾・氷室・西・南各出張所に管理司令21人を配置 枚方東消防署長尾出張所及び寝屋川消防署西出張所に救急車を新たに配備（枚方東消防署長尾出張所及び寝屋川消防署神田出張所での救急隊の兼務運用開始）
平成26年10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 650人
平成27年 4月1日	消防職員定数条例 772人 実員 645人 機構改革により、情報管理室及び情報管理室指令課を情報指令課へ再編 消防本部警防課に指揮支援・調査隊を創設。調査業務に加え、各署指揮隊の業務を補完する指揮支援業務を開始 枚方・枚方東・寝屋川各消防署に管理司令9人を配置 枚方消防署に支援車Ⅱ型を、寝屋川消防署に遠距離大量送排水車を配備
6月17日	交野市と消防通信指令事務の委託に関する協議書の調印
7月1日	新消防本部庁舎仮使用開始。情報指令課及び指揮支援・調査隊が先行して新消防本部庁舎にて業務開始
7月6日	枚方寝屋川消防組合・交野市消防指令センターの共同運用開始
10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 654人
平成28年 2月8日	新消防本部庁舎本使用開始
2月13日	新消防本部開庁式
4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 639人 違反対象物に係る公表制度運用開始
4月16日	熊本地震に伴う緊急消防援助隊を熊本県阿蘇郡南阿蘇村に派遣（4月23日まで）
10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 661人
12月16日	枚方東消防署北山出張所に遠距離大量送水車を配備
平成29年 4月1日	消防職員条例定数 772人 実員 648人
4月3日	ドクターカー事業運用開始
10月1日	消防職員条例定数 772人 実員 668人
平成30年 4月1日	消防職員条例定数 699人 実員 641人

6月18日	大阪府北部を震源とする地震発生に伴う非常警備体制発令 震災警備運用2・震災3号招集発令
7月6日	平成30年7月豪雨に伴う緊急消防援助隊派遣
10月1日	消防職員条例定数 699人 実員 649人

3. 平成30年中の主な行事

月 日	内 容	備 考
1 月 7 日	消防出初式	寝屋川市太間淀川河川公園
1 月 15 日～21 日	防災とボランティア週間	
1 月 26 日	文化財防火デー	
2 月 8 日	第 1 回消防組合議会全員協議会	本消防本部
2 月 8 日	消防組合議員行政視察	人と防災未来センター・大阪府立消防学校
3 月 1 日	定期監査（救急課、長尾出張所、中宮出張所）	
3 月 1 日～7 日	春季火災予防運動	
3 月 7 日	消防記念日・自治体消防制度 70 周年記念式典	両国国技館
3 月 29 日	第 1 回消防組合議会定例会	本消防本部
4 月 10 日	第 154 回大阪府下消防長会総会	ヴィアール大阪
4 月 23 日	第 65 回全国消防長会近畿支部総会	ホテル・アコーラ・リゾーレンシー堺
5 月 9 日	全国消防長会会計監査	東京都
5 月 30 日	第 70 回全国消防長会総会	東京都
6 月 3 日～9 日	危険物安全週間	
6 月 8 日	第 2 回消防組合議会定例会	本消防本部
6 月 8 日	大阪府危険物安全大会	KKR HOTEL OSAKA
6 月 18 日	大阪府北部を震源とした地震	
6 月 27 日	枚方市寝屋川市防火協会連絡協議会総会	本消防本部
7 月 6 日～8 月 1 日	平成 30 年 7 月豪雨に伴う緊急消防援助隊派遣	広島県
7 月 12 日	第 2 回消防組合議会全員協議会	本消防本部
7 月 19 日	枚方寝屋川消防組合防火委員会総会	本消防本部
9 月 2 日	第 62 回大阪府消防大会・消防操法訓練大会	大阪府立消防学校
9 月 25 日	警防技術指導会に伴う本部大会	枚方東消防署
10 月 18 日	第 3 回消防組合議会全員協議会	本消防本部
10 月 25 日	第 67 回全国消防長会危険物委員会	静岡県富士市
11 月 1 日	全国消防長会役員会	徳島市
11 月 9 日、10 日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練	福井県福井市
11 月 9 日～15 日	秋季火災予防運動	
11 月 27 日	第 6 回大阪府下警防技術指導会	大阪市消防局高度専門教育センター
12 月 1 日～19 日	歳末警戒	
12 月 18 日	第 155 回大阪府下消防長会臨時総会	ヴィアール大阪
12 月 20 日～31 日	歳末特別警戒	
12 月 26 日	第 3 回消防組合議会定例会	本消防本部
12 月 28 日	管理者訓示	本消防本部

4. 管内の概況

・位置及び面積

本消防組合の管轄する枚方市、寝屋川市は大阪府北東部の淀川左岸に位置し、京都府と境界を接しています。

面積は 89.82 km²（枚方市 65.12 km²、寝屋川市 24.70 km²）であり、東西約10.7 km、南北約17.7km です。

・人口及び世帯数

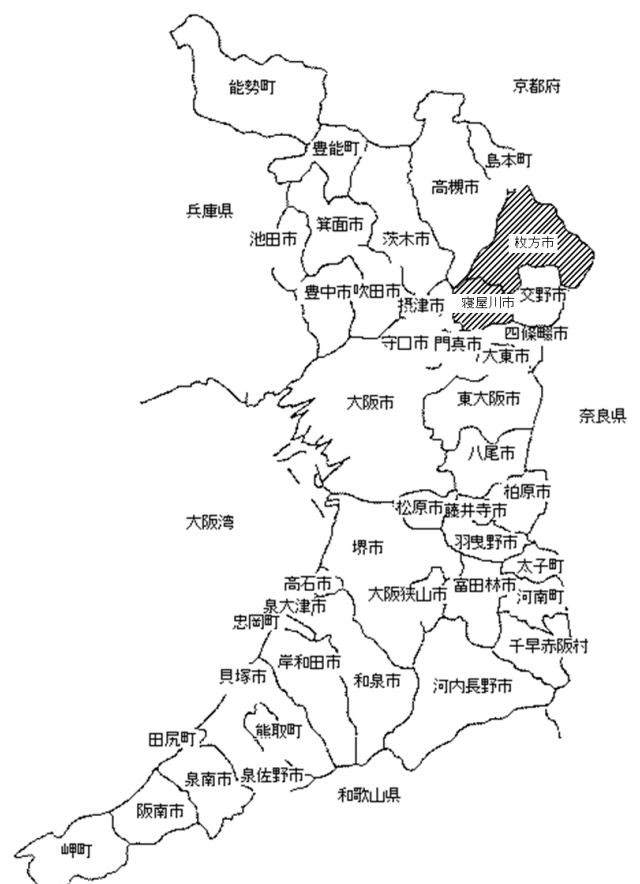
平成30年12月31日現在の管内人口は、636,062人（枚方市 402,579人、寝屋川市 233,483人）で、世帯数は、289,587 世帯（枚方市 180,043世帯、寝屋川市 109,544世帯）です。また、人口密度は7,082人／km²（枚方市 6,182人／km²、寝屋川市 9,453人／km²）です。

・情勢

この地域は、京都、大阪のほぼ中間地点という地の利と淀川水系の恩恵をうけて古くから交通の要衝として発展してきました。

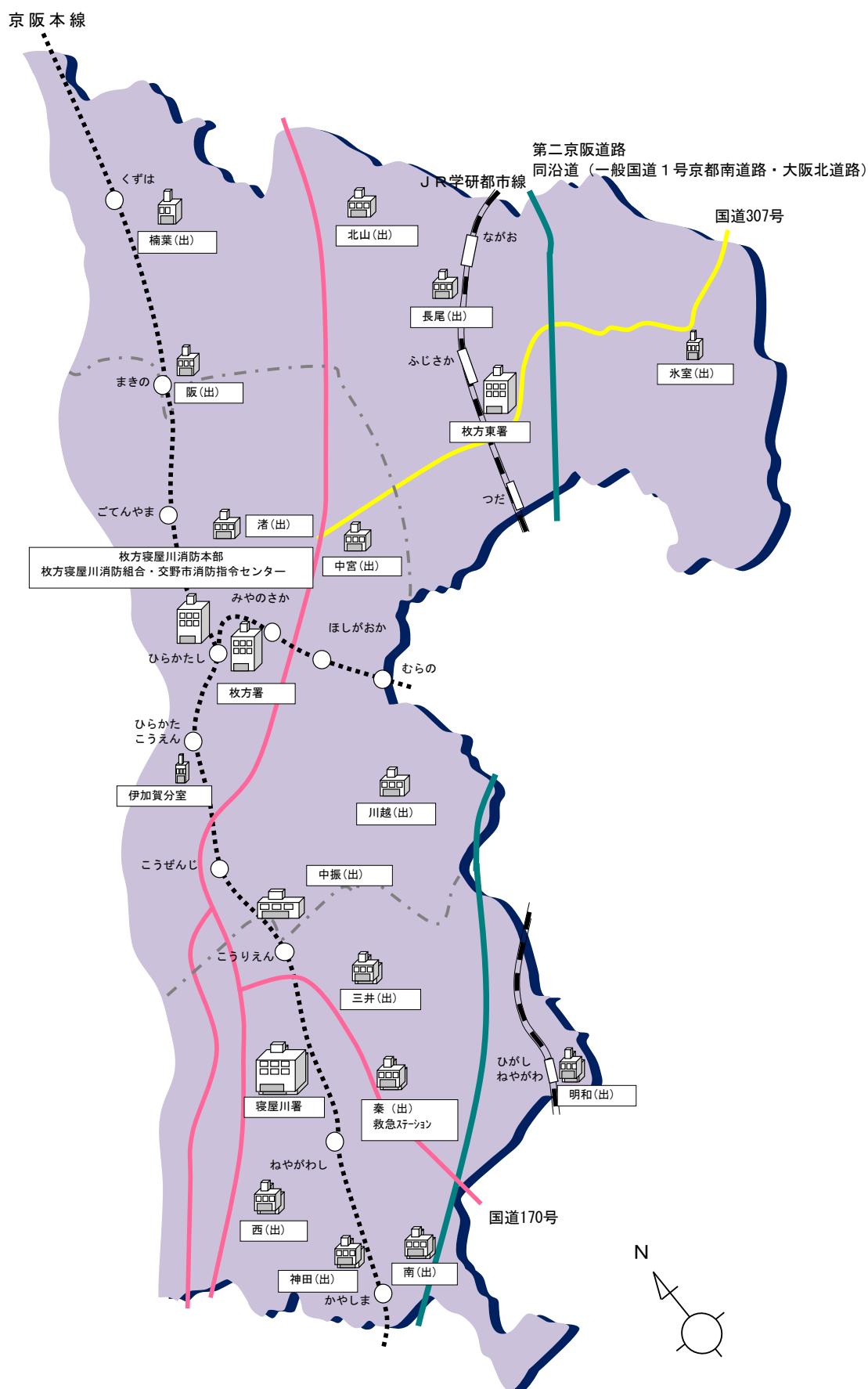
現在、東にはＪＲ学研都市線並びに平成22年３月に全線開通しました第二京阪道路、及び同沿線（一般国道1号京都南道路・大阪北道路）、西には京阪電鉄本線及び国道1号（一般国道1号枚方バイパス・寝屋川バイパス）が管内を縦断しています。

これらの交通網を基盤に、高度経済成長期においては、住宅地域を中心とした典型的な大都市周辺都市を形成し、急激な人口増加をもたらしたものの、近年ようやくその現象も横這いの傾向をみせています。しかしながら、ＪＲ沿線の拡張によって山間部一帯の宅地開発、旧市街地や駅前周辺の再開発は依然活発であり、今後更に都市構成は変貌する状況にあります。



5. 消防本部及び署所の分布図

(平成 31 年 4 月 1 日現在)



6. 消防庁舎の現況

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

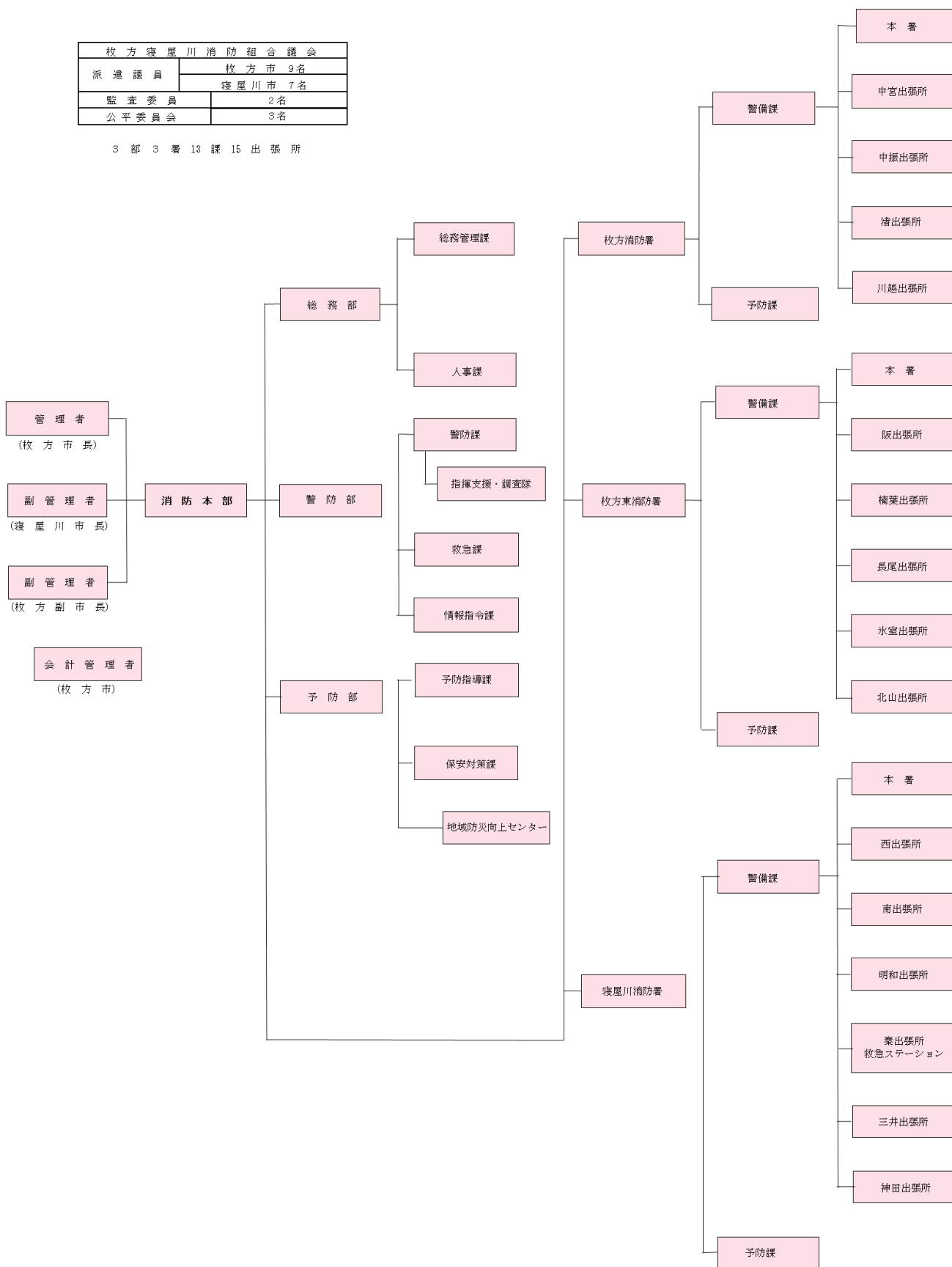
署所別	区分	所在地 (電話)	敷地面積 (㎡)	構造・階数	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)	建築年月日
消防本部 枚方寝屋川消防組合・交野市 消防指令センター		〒573-1191 枚方市新町1丁目7番11号 TEL 072-852-9903(以下市外局番同じ) FAX852-9948(4階)、852-9925(2階)	1343.1	耐火造・地上5階	735.2	3038.6	平 27.1.22
伊加賀分室		〒573-0056 枚方市桜町3番40号	365.8	耐火造・地上2階	216.1	351.7	昭 56.12.14
枚方消防署		〒573-0027 枚方市大垣内町2丁目10番22号 TEL 072-852-9903、FAX852-9927	2099.5	耐火造・地上5階	587.0	2468.9	昭 46.1.18
			別棟 ガレージ兼倉庫	耐火造・地上2階	235.6	365.9	昭 58.4.15
中宮出張所		〒573-0005 枚方市池之宮3丁目4番28号 TEL 852-9832、FAX852-9834	359.7	耐火造・地上2階	224.1	478.0	平 29.3.15
中振出張所		〒573-0094 枚方市南中振1丁目16番30号 TEL 852-9826、FAX852-9828	727.2	耐火造・地上4階・ 地下1階	420.1	1250.5	平 2.6.26
渚出張所		〒573-1175 枚方市上野3丁目8番2号 TEL 852-9829、FAX852-9831	700.0	耐火造・地上2階	418.7	791.3	平 6.3.1
川越出張所		〒573-0083 枚方市茄子作北町7番22号 TEL 852-9820、FAX852-9822	477.2	耐火造・地上2階	197.3	388.3	昭 53.4.1
枚方東消防署		〒573-0121 枚方市津田北町2丁目23番3号 TEL 852-9999、FAX852-9929	3255.6	耐火造・地上4階	636.9	1991.9	昭 61.4.1
			主訓練塔	耐火造・地上8階	36.4	270.4	昭 62.4.1
			補助訓練塔	準耐火造・地上5階	26.1	130.5	昭 62.4.1
			ブールボンブ室	耐火造・地上1階	16.1	16.1	昭 62.4.1
阪出張所		〒573-1144 枚方市牧野本町1丁目10番34号 TEL 852-9846、FAX852-9848	410.0	耐火造・地上2階	207.1	405.1	昭 54.6.1
楠葉出張所		〒573-1118 枚方市楠葉並木2丁目29番1号 TEL 852-9849、FAX852-9851	支所の一部使用 (501.8)	耐火造・地上2階	290.3	497.9	昭 50.5.6
長尾出張所		〒573-0163 枚方市長尾元町2丁目13番6号 TEL 852-9843、FAX852-9845	531.3	耐火造・地上2階	202.2	421.9	昭 56.10.24
氷室出張所		〒573-0113 枚方市宗谷1丁目14番1号 TEL 852-9840、FAX852-9842	474.0	耐火造・地上2階	253.5	457.2	昭 58.1.28
北山出張所		〒573-0171 枚方市北山1丁目67番15号 TEL 852-9824、FAX852-9825	1001.6	耐火造・地上2階	540.1	826.6	平 13.4.1
寝屋川消防署		〒572-0039 寝屋川市池田2丁目11番73号 TEL 852-9966、FAX852-9928	3260.9	耐火造・地上4階	835.9	2352.6	昭 46.1.18
			車庫	耐火造・地上1階	34.0	34.0	平 21.3.24
西出張所		〒572-0063 寝屋川市春日町20番22号 TEL 852-9860、FAX852-9862	306.6	耐火造・地上2階	170.6	346.9	昭 56.5.1
南出張所		〒572-0823 寝屋川市下木田町16番17号 TEL 852-9866、FAX852-9868	421.2	耐火造・地上2階	235.1	426.6	昭 54.7.2
明和出張所		〒572-0862 寝屋川市打上宮前町2番3号 TEL 852-9869、FAX852-9871	519.0	耐火造・地上4階	295.5	789.1	平 9.3.22
秦出張所 救急ステーション		〒572-0848 寝屋川市秦町2番5号 TEL 852-9875、FAX852-9877	716.3	準耐火造・地上1階	239.2	237.5	平 25.4.1
三井出張所		〒572-0019 寝屋川市三井南町25番2号 TEL 852-9872、FAX852-9874	683.5	耐火造・地上2階	294.0	444.0	昭 50.5.23
神田出張所		〒572-0045 寝屋川市東神田町22番6号 TEL 852-9863、FAX852-9865	555.0	耐火造・地上2階	238.1	425.7	昭 52.6.1

7. 組織及び機構図

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

枚方寝屋川消防組合議会	
派遣議員	枚方市 9名 寝屋川市 7名
監査委員	2名
公平委員会	3名

3 部 3 署 13 課 15 出張所



8. 職員の勤務配置

(平成31年4月1日現在)

所 属 別 区 分			総 数	消 防 吏 員								その他の職員				
				小 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	小 計	事 務 員		
条 例 定 数			699													
実 員 総 数			635	633	1	7	32	93	147	173	2	178	2	2		
消 防 本 部	消 防 長		1	1	1											
	消 防 次 長		1	1		1										
	総 務 部	部 長		1	1		1									
		次 長		2	2			2								
		総 務 管 理 課		8	8				4	3	1					
		人 事 課		9	9				3	3	3					
		総 務 部 付 派 遣		1	1			1								
		人 事 課 付 派 遣		21	21			1		4	3		13			
				1	1											
	警 防 部	部 長		1	1		1									
		次 長		3	3			3								
		警 防 課	毎 日 勤 務	4	4				2	2						
			交 替 制	21	21			4	5	6	6					
		救 急 課		4	4			1	2		1					
		情 報 指 令 課	毎 日 勤 務	2	2				1		1					
			指 令 課	25	25			3	3	9	7		3			
	予 防 部	部 長		1	1		1									
		次 長		1	1			1								
		予 防 指 導 課		7	7			1	2	2	2					
		保 安 対 策 課		6	6				1	2	3					
地 域 防 災 向 上 セ ン タ ー		0	0													
小 計		119	119	1	4	17	23	31	27	0	16		0			
枚 方 消 防 署	本 署	毎 日 勤 務	14	13		1	2	2	2	4		2		1		
		交 替 制	47	47			3	9	9	15		11				
	中 宮 出 張 所		15	15				3	3	3		6				
	中 振 出 張 所		23	23				3	6	8		6				
	渚 出 張 所		25	25				3	6	8		8				
	川 越 出 張 所		22	22				3	6	7		6				
	小 計		146	145		1	5	23	32	45	0	39		1		
枚 方 東 消 防 署	本 署	毎 日 勤 務	13	12		1	2	2	2	5				1		
		交 替 制	48	48			3	6	9	10		20				
	阪 出 張 所		24	24				3	6	6		9				
	楠 葉 出 張 所		27	27				3	7	6	1	10				
	長 尾 出 張 所		22	22				3	6	7		6				
	氷 室 出 張 所		15	15				3	3	3		6				
	北 山 出 張 所		23	23				3	6	8		6				
	小 計		172	171		1	5	23	39	45	1	57		1		
寝 屋 川 消 防 署	本 署	毎 日 勤 務	15	15		1	2	3	2	6		1				
		交 替 制	51	51			3	6	9	12		21				
	西 出 張 所		24	24				3	6	6		9				
	南 出 張 所		23	23				3	6	7		7				
	明 和 出 張 所		23	23				3	6	8		6				
	秦 出 張 所		9	9					3	3		3				
	三 井 出 張 所		29	29				3	6	7	1	12				
	神 田 出 張 所		24	24				3	7	7		7				
	小 計		198	198		1	5	24	45	56	1	66				
勤 務 形 態 別		毎 日 勤 務	115	113	1	7	16	22	22	29	0	16		2		
		交 替 制	520	520			16	71	125	144	2	162				

※ 実員総数は、出向者等を含む人数である。

※ 再任用職員を除く。

第2章 総務編

1. 消防財政

・平成30年度予算の概要

平成30年度の予算編成にあたりましては、構成両市ともに財政構造の弾力性を示す経常収支比率が増加し、財政構造の硬直化が進んだ厳しい状況となっている中、財政状況は、今後も厳しいものになると予測されるため、本消防組合においても、経常経費の抑制と事業の優先順位付けを厳格に行い、最大限の費用対効果を導き出し、堅実な財政運営を進めていくための予算編成となっています。

平成30年度予算は、大規模災害時における本消防組合と消防団との連携を強化するため、災害時において消防団との通信が可能である400MHz帯署活系携帯無線機整備事業経費をはじめ、消防・救急・救助活動に必要な車両及び資機材等の更新整備を図り、災害活動時における隊員の安全確保と活動の精度をより一層高めるための経費を盛り込み、歳入歳出それぞれ75億4,009万9千円、対前年度比において4億4,036万6千円（5.5%）減の予算規模となりました。

・主要事業の紹介

事業名	事業内容
消防通信指令体制の充実	・ Jアラート新型受信機整備 ・ 三者間同時通訳による119番多言語対応
消防車両の整備	・ 救急車（枚方東署、北山出張所、神田出張所） ・ ミニタンク車（阪出張所） ・ 調査車（本部）
救急業務の充実	・ 救急救命士養成への派遣 ・ AED機器の借上 ・ 救急隊員病院研修
消防業務の充実	・ 40・65・100mm・高圧水管布（ホース）等の更新 ・ 空気呼吸器ポンベの更新 ・ 警防地図更新 ・ 400Mhz 帯署活系無線機の配備（23台）
市民啓発事業	・ PUSH～いのちの授業 ・ 住宅用火災警報器設置維持啓発

2. 消防職員

近年、消防を取り巻く環境は著しく変化し、市民の防災や安全に対するニーズもますます大きくなってきています。我々、消防職員は、防災の担い手として一人ひとりが実務に精通し、幅広い知識と高度な技術、そして高い識見を持って、市民の負託に応えるために日夜、火災防禦、救急、救助、予防、総務等の消防業務に取り組んでいます。

・職員の階級、勤続年数、年齢別による構成分析

本消防組合では、職員の階級は現在 8 段階に分類されており、階級別職員数は下記のとおりです。

また、平成 31 年 4 月 1 日現在の職員の平均勤続年数は 15.6 年（再任用及び吏員以外の職員を除く。）で、勤続年数別の職員数は下のグラフのとおりです。

なお、職員の平均年齢は 37.8 歳（再任用及び吏員以外の職員を除く。）であり、その中でも 55 歳以上の職員の割合は約 15%を占めており、今後 5 年間で 87 人の職員が定年退職を迎えます。

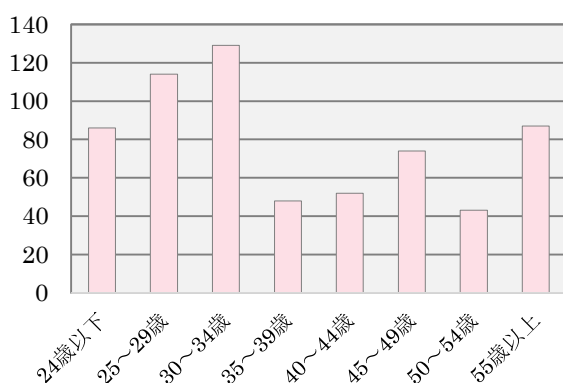
このような中、ベテラン職員の大量退職に伴い、毎年多くの新人職員が入職しており、職員の若年齢化が急速に進んでいます。その現状を踏まえ、職務遂行において公務能率の低下を防ぐため、知識・技術の伝承を最優先課題とし、新人職員育成マニュアル、各種研修等を実施し、知識・技術の伝承に努めています。

階級別職員数

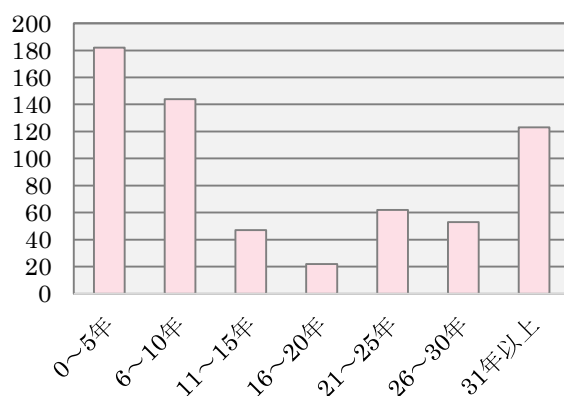
（平成 31 年 4 月 1 日現在）

総 数	消 防 吏 員									事務員
	小 計	消防正 監	消防監	消防司令 長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
635	633	1	7	32	93	147	173	2	178	2

年齢別職員数



勤続年数別職員数



3. 職員の研修

・ 職員の採用

平成 30 年度（平成 31 年 4 月 1 日、平成 31 年 10 月 1 日採用）の消防吏員採用試験を次のとおり実施しました。

試験区分	試験日	応募者	合格者
大学卒（既卒・新卒）	平成 30 年 6 月 24（日）	82 人	7 人
大学卒（既卒・新卒） 短大等卒（既卒・新卒） 高校卒（既卒・新卒）	平成 30 年 9 月 16（日）	190 人	18 人
合 計		272 人	25 人

・ 研修区分

研 修 区 分		目 的
学 校 派 遣 教 育	消防大学校	国の機関である消防大学校において、高度な専門的知識、技能を修得させ、視野を広めるとともに、職員の資質の向上を図ることを目的に派遣しています。
	府立消防学校	初任教育を初めとした基礎的な教育課程を実施し、人材の育成を図ることを目的に派遣しています。
	大阪市消防局 高度専門教育 訓練センター	上級救助研修や上級予防研修等の高度かつ専門的な訓練を実施し、所属の指導者を養成することを目的に派遣しています。
	救 急 救 命 士	救急救命東京研修所、救急救命九州研修所、高度専門教育訓練センターにおいて、高度かつ専門的な教育訓練を実施し、救急救命士の資格を取得させ、救急業務の高度化を効率的に行うことを目的に派遣しています。
委 託 教 養		消防業務及び組織の運営を円滑に遂行していくうえで必要な各種資格・免許の取得及び各分野でのより高度な専門的知識、技能等を修めるため、外部の教育機関に委託し実施しています。
本 部 教 養		幅広い識見を備えた職員の育成並びに消防業務を遂行していくうえで必要とされる専門的知識、技能を修得させるために実施しています。
所 属 教 養		実務に直結した知識、技能等の向上並びに体力の錬成及び規律の養成を図ることを目的に各所属に応じた内容を実施しています。

4. 厚生事業

・ 職員の健康管理 （平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）

(1) 定期健康診断

（単位：人）

	職員数	長期休暇 ・派遣等	対象者	受診者数			受診率 (%)
				定期	人間ドック・病院等	計	
第 1 回	713	32	681	583	91	674	98.9
第 2 回	721	29	567 (※)	537	28	565	99.6

※ 第 2 回目の定期健康診断の対象者は、交替制職員のみ。

※ 職員数には再任用職員及び非常勤職員も含む。

(2) 胃健診（希望者）

（単位：人）

受診者数	健診結果			
	A	B	C	D
48	41	4	3	0

A：異常なし（僅かに異常を認めるが日常生活に差支えなし。）

C：再検査

B：経過観察（日常生活に注意を要する。）

D：要治療

(3) 感染予防対策

（単位：人）

項目	内容	受診者数
B 型肝炎	抗原抗体検査	37
	抗体検査	139
	HB ワクチン接種	167
C 型肝炎	抗体検査	38
結核管理検診	ツベルクリン反応検査	44
	BCG ワクチン接種	0
インフルエンザ	ワクチン接種	634
麻疹	抗体検査	29
	麻疹風疹混合 (MR) ワクチン接種	3
風疹	抗体検査	5
水痘	抗体検査	7
	ワクチン接種	0
流行性耳下腺炎	抗体検査	7
	ワクチン接種	4
破傷風	トキソイドワクチン接種	0

(4) 健康相談（産業医による健康相談）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
健康相談 （件数）	2	1	3	3	3	4	2	1	2	1	3	2	27

5. 公務災害

・平成 30 年中の公務災害発生状況

平成 30 年中の公務災害の発生件数は 10 件でした。これは約 72 人に 1 人の割合で負傷事故が発生したことになります。

公務災害の発生については、昨年度の件数と比較し 5 件増加しています。発生原因については次の順で訓練中の 5 件、救急活動中の 3 件、その他（交替制職員の当務明け帰宅時の交通事故）の 2 件です。負傷種別については、その他（肉離れ 2 件・救急搬送による感染 2 件を含む 5 件）が最も多く、年齢別では 50 歳以上の職員が負傷する公務災害事故が最も多く発生しました。

本消防組合では安全衛生管理規程に基づく安全衛生委員会において、事故の発生原因を調査審議するなど再発防止に向けた取り組みを行なっています。

発生件数	発生原因別						負傷種別								年齢別			
	消火活動	救助活動	救急活動	訓練	作業	その他	骨折	打撲	捻挫	腰痛	挫創	切創	火熱傷	その他	30歳未満	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳以上
10 件	0	0	3	5	0	2	1	2	1	0	1	0	0	5	3	3	0	4

・過去 5 年間の公務災害発生状況

	発生原因別						負傷種別							
	消火活動	救助活動	救急活動	訓練	作業	その他	骨折	打撲	捻挫	腰痛	挫創	切創	火熱傷	その他
平成 25 年	2	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4
平成 26 年	1	0	0	2	1	2	1	1	0	1	1	0	1	1
平成 27 年	1	0	3	3	2	3	3	1	1	0	0	0	0	7
平成 28 年	1	0	1	6	0	3	3	2	0	0	0	0	0	6
平成 29 年	1	1	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	2

6. 消防広報

本消防組合では、日刊紙・消防関係紙（誌）・両市の広報紙、ＴＶ、エフエムひらかたなどのマスメディアを通じて、春・秋季火災予防運動期間中の行事や各種救急講習会その他、消防本部や各署所で計画、実施する事業の情報を市民に積極的に提供し、火災予防広報・救急広報・消防行政広報など、消防広報全般に力を注いでいます。

また、本消防組合のホームページでは、各種講習会の開催や訓練などをはじめとした様々な最新情報を発信しており、子どもから大人までを対象とした幅広い消防広報を展開しています。

なお、年度当初に、消防庁の年間広報計画と本消防組合の火災・救急概況などに基づき、消防組合の年間広報計画と月別広報計画を策定し、各署所に広報指針として示しています。

7. 行政改革

本消防組合では、厳しい財政状況や激しい社会経済情勢の変化、また消防行政に対する市民ニーズの多様化等に対応するため、構成市である枚方市・寝屋川市の取組状況を踏まえ、自主的・主体的に業務全般にわたる総点検を行い職員の資質の向上を図るとともに事務事業の簡素・効率化を目指して平成9年度から行政改革に取り組んでいます。

・これまでの取組経過

平成9年7月	消防組合定例議会において行政改革の取り組みを表明
平成9年8月	消防長を委員長とする行政改革推進委員会を設置
平成10年4月	「行政改革大綱」策定
平成11年3月	「第1次行政改革実施計画」策定
平成13年7月	「第2次行政改革実施計画」策定
平成14年10月	「本部事務事業評価」試行実施
平成15年4月	「本部事務事業評価」実施
平成15年10月	「署事務事業評価」試行実施
平成16年4月	行政改革の実施による削減効果額の一部を消防行政サービスの向上に役立てていくために、第2次行政改革実施計画を第2次将来構想計画の基本目標である「構造改革の推進」に集約 ※行政改革をさらに推進するための構造改革への取り組みをスタート
平成16年12月	「第2次将来構想計画構造改革検討結果報告書」策定
平成17年4月	構造改革元年と位置づけ構造改革の課題への取り組みを実施
平成18年3月	「第2次将来構想計画構造改革検討結果報告書Ⅱ」策定 平成16年度事務事業評価の公表開始
平成19年11月	行政改革の集大成として「消防経営戦略プラン」の策定
平成23年4月	第3次将来構想計画の策定
平成28年4月	第4次将来構想計画の策定

・第1次行政改革実施計画（計画期間 平成9年度～12年度）の実績

① 効率的な体制の整備

少人数組織の統廃合等により組織機構を簡素化するとともに3%（23人）の職員数の削減を行いました。

② 事務の効率的な執行

車両の更新基準の見直しや被服費の削減、出初式・地域防災訓練の参加人員等の見直しなど、経常経費削減の徹底を図るとともに消防情報システム構築に係る検討など

を進めました。

③ 市民と共に進める防災行政の推進

関係団体との関わり方の見直しや大規模・多数傷病者発生時の活動要綱の策定、自主防災組織・自衛消防組織の育成に努めました。

こうした取り組みにより、行政改革は一定の効果をあげることができました。

・ 第 2 次行政改革実施計画（計画期間 平成 13 年度～17 年度）の実績

〔目標と取組方針〕

本消防組合が置かれている厳しい行財政環境の中で、多様化、高度化する市民ニーズに即応した消防行政を推進していくため、平成 10 年度に策定した「行政改革大綱」の基本理念を踏襲し、「第 1 次行政改革実施計画」の取組状況を総括するとともに、引続き、より簡素で効率的な行政システムの確立を目指し「第 2 次行政改革実施計画」を策定し、これに基づき、人件費の削減など内部努力に取り組みました。

〔具体的取組内容〕

- 組織機構の見直し
- 職員定数の見直し
- 組織の活性化及び職員能力の開発
- 行政運営の公正の確保と透明性の向上
- 事務事業の見直し
- コンピュータの高度利用と O A 化の推進
- 市民と共に進める防災行政の推進
- 5 分消防・5 分救急体制の整備

・ 第 2 次行政改革実施計画（計画期間 平成 13 年度～17 年度）の集約

第 2 次行政改革は平成 15 年度末をもって集約し、平成 16 年 4 月から実施している第 2 次将来構想計画に反映させていくこととなりました。

・ 第 2 次将来構想計画構造改革（計画期間 平成 16 年度～20 年度）の集約

第 2 次将来構想計画の基本目標の一つに「構造改革の推進」を位置づけ、5 年間で取り組んでいく課題を集約した「第 2 次将来構想計画構造改革検討結果報告書」（平成 16 年 12 月策定）に基づき、平成 17 年 4 月から各課題の実施に取り組みました。同時に、残された課題について引き続き検討を行い、平成 18 年 3 月に「第 2 次将来構想計画構造改革検討結果報告書Ⅱ」を策定しました。

・枚方寝屋川消防組合消防経営戦略プラン(計画期間 平成 19 年度～23 年度)の集約

厳しい財政状況を克服し、本消防組合の指針である第 2 次将来構想計画を実現していくために、経営戦略を展開し、新しい時代にふさわしい行財政システムを生み出していくことを目的として、平成 19 年度に平成 23 年度までの 5 年間を計画期間として策定しました。

危機管理整備計画、職員数定員適正化計画(職員採用計画)、財政の見直し(財政収支計画)を示しました。また、指令機能を有する消防本部庁舎の整備に取り組んでいくことを示すとともに、PA 連携活動の開始や高度救助隊の創設、住宅用火災警報器の設置促進など危機管理体制の整備にも取り組みました。一方、構成両市の負担金の適正化を図るために、市民一人あたりの消防費や市民千人あたりの職員数などの指標を用いて、本消防組合を類似する消防本部と比較を行い、枚方消防署伊加賀出張所の機能を枚方消防署本署と同中振出張所に統廃合しました。

・枚方寝屋川消防組合第 3 次将来構想計画(計画期間 平成 23 年度～27 年度)の集約

「消防防災体制の再構築」を基本目標に掲げ、両市の防災活動拠点を整備するため、指令機能を有する新消防本部庁舎を建設し、併せて消防情報システム及び消防救急デジタル無線の整備を実現しました。

また、消防の広域化のスケールメリットを生かしていくため、本消防組合と交野市消防本部との間で消防指令業務の共同運用を開始しました。

「救急体制の充実整備」として、枚方東消防署長尾出張所及び寝屋川消防署西出張所に新たに救急車を配備するとともに、築 40 年以上が経過し老朽化が著しい秦出張所の大規模改修を行い、救急車を新たに配備し、救急専用ステーションとして再構築しました。

「火災予防・保安体制の整備」として、「火薬類取締法」、「高圧ガス保安法」及び「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」のいわゆる産業保安 3 法に基づく許認可事務等の権限を大阪府から移譲を受けました。

権限移譲にあたっては、人員増を伴うことなく効率的に実施していくため、各消防署で実施している危険物許認可事務と併せて消防本部で一括して処理する組織体制を構築しました。

職員の大量退職に伴い世代交代が急激に進む中、署警備課の交替制勤務部門の係制度(消防係・救急係・救助係)を廃止し、担当制を導入し、弾力的で柔軟な組織体制を構築するとともに、実情に即した新人材育成計画を策定し、若手職員の人材育成に力を注ぎました。

本計画では、消防経営戦略プランで定める職員数 660 人から 15 人を削減し、目標職員

数(消防力)を 645 人以内と定め、計画期間中における職員数定員適正化計画を盛り込むとともに、財政収支計画を策定しました。

・枚方寝屋川消防組合第 4 次将来構想計画(計画期間 平成 28 年度～32 年度)

本計画は、基本目標、基本計画及び事業計画で構成し、その計画期間は平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 ヶ年とします。

[基本計画及び施策の内容]

めざす まちの姿	基本目標	基本計画(施策別計画)
安全で安心して暮らせるまち	1 消防防災体制の充実整備	(1) 消防防災拠点の整備
		(2) 警防体制の充実整備
		(3) 地域の防災力・災害予防の充実強化
		(4) 大規模災害・特殊災害対策の整備
		(5) 消防通信・指令体制の充実整備
	2 救急体制の充実強化	(1) 救急医療体制の充実強化
		(2) 予防救急体制の充実強化
	3 火災予防・保安体制の推進	(1) 査察・違反処理体制の推進
		(2) 防火安全対策の推進
		(3) 保安体制の充実整備
	4 効率的な消防行政運営の推進	(1) 組織機構・体制の再構築
		(2) 職員の人材育成と資質の向上
		(3) 計画的な行財政運営の推進
		(4) 消防広報体制の充実整備
		(5) 安全衛生管理体制の充実整備

第3章 予防編

1. 防火対象物

防火対象物とは、消防法第1条の目的を遂行するために、消防法に一定の基準を定め、特定防火対象物（不特定多数の者が出入する施設。百貨店・病院・ホテル等）と非特定防火対象物（特定の者しか出入しない施設。学校・事務所等）に大別され、それぞれの規模等により消防設備等の設置や防火管理者が必要な建物です。

市・署別 防火対象物区分			組合 合計	枚 方 市			寝屋川市 寝屋川署
				市 計	枚 方 署	枚 方 東 署	
総 数			15,777	9,454	5,338	4,116	6,323
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	6	5	5	-	1
	ロ	公会堂・集会場	342	221	116	105	121
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	0	0	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	56	35	30	5	21
	ハ	風営法に規定する店舗その他これに類するもの	0	0	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	3	2	2	-	1
3	イ	待合・料理店等	2	1	1	-	1
	ロ	飲食店	372	217	132	85	155
4		百貨店・マーケット等	557	337	160	177	220
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	55	44	9	35	11
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	6,105	3,663	2,257	1,406	2,442
6	イ	病院・診療所・助産所	234	145	85	60	89
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	259	157	79	78	102
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等	387	221	114	107	166
	ニ	幼稚園・特別支援学校	57	40	17	23	17
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等	651	393	222	171	258
8		図書館・博物館・美術館等	5	4	3	1	1
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	0	0	-	-	-
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	15	4	3	1	11
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	14	11	6	5	3
11		神社・寺院・教会等	176	111	59	52	65
12	イ	工場・作業場	1,283	729	280	449	554
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	0	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	391	232	166	66	159
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0	0	-	-	-
14		倉庫	883	520	225	295	363
15		前各項に該当しない事業所	1,587	1,017	598	419	570
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	1,378	826	464	362	552
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	945	507	304	203	438
16の2		地下街	0	0	-	-	-
16の3		準地下街	0	0	-	-	-
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等	12	12	1	11	-
18		延長50メートル以上のアーケード	2	0	-	-	2
19		市町村長の指定する山林	0	0	-	-	-
20		総務省令で定める舟車	0	0	-	-	-

2. 消防同意

消防同意は、消防機関が防火の専門家としての立場から、建築物の火災予防について設計の段階から関与し、建築物の安全性を高めることを目的として設けられている制度です。

この制度の運用に当たって、建築物の防火に関する法令の規定を踏まえ、防火上の安全性及び消防活動上の観点から、よりきめ細かい審査、指導を行うとともに、この事務が迅速に処理できるよう体制の充実に努めており平成 30 年中の件数は次のとおりです。

なお、消防法施行令別表第一に掲げる防火対象物のうち、消防法第 8 条第 1 項の規定により防火管理者の選任又は消防法第 17 条第 1 項の規定により、消防用設備等（非常警報器具及び誘導標識を除く。）の設置が義務付けられているものを防火対象物とし、これ以外のものを一般住宅等としています。

・平成 30 年中の消防同意件数

市 別 区 分		総 数	防 火 対 象 物			一 般 住 宅 等		
			小 計	枚方市	寝屋川市	小 計	枚方市	寝屋川市
総 数		1,600	359	212	147	1,241	608	633
工 事 別	新 築	1,493	252	142	110	1,241	608	633
	増 築	88	88	56	32	0	－	－
	用途変更	13	13	12	1	0	－	－
	その他	6	6	2	4	0	－	－

※ 平成 22 年 7 月 1 日より寝屋川市において、平成 23 年 7 月 1 日より枚方市において、防火地域を除く市街化区域全域が「準防火地域」となりました。

3. 消防用設備等の検査

消防用設備等とは、消防法第 17 条第 1 項の政令で定める「消防の用に供する設備」、「消防用水」及び「消火活動上必要な施設」に分けられ、そのうち消防の用に供する設備には、消火設備、警報設備及び避難設備があります。平成 30 年中にこれら設備の設置に伴う検査を行った状況は次のとおりです。

なお、パッケージ型（自動）消火設備、共同住宅用のスプリンクラー設備、自動火災報知設備、非常警報設備、連結送水管及び非常コンセント設備についても消防法第 17 条第 1 項の消防用設備等であるため、当該設備等に含めています。

・消防用設備等検査状況（消防用設備等の種類と件数）

市 別	消 防 用 設 備 等 総 数	消 火 設 備						警 報 設 備					避 難 設 備		消 防 用 水	消 火 活 動 上 必 要 な 施 設				
		消 火 器	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備 等	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポ ンプ 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 設 備 等	避 難 器 具	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識		排 煙 設 備	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト 設 備	無 線 通 信 補 助 設 備
総 数	2,021	381	68	88	24	5	0	624	3	4	112	110	64	503	2	13	0	17	3	0
枚 方 市	1,308	228	47	65	15	4	—	403	1	1	80	78	39	319	1	12	—	13	2	—
寝 屋 川 市	713	153	21	23	9	1	—	221	2	3	32	32	25	184	1	1	—	4	1	—

4. 防火・防災管理者

一定の防火対象物（例えば、学校、病院、百貨店、事務所など）の管理について権原を有する者（以下「管理権原者」という。）は、一定の資格を有する者のうちから防火管理者を定め、消防計画の作成、消防訓練の実施、消防用設備等の維持管理、その他防火管理上必要な業務を行わせなければならないとされています。

また、切迫する大地震等の危険に対応するため、日常的に多数の者が出入りする大規模・高層の防火対象物の管理権原者は、一定の資格を有する者のうちから防災管理者を定め、消防計画の作成、避難訓練の実施、その他防災管理上必要な業務を行なわせなければならないとされています。

・防火管理講習等

消防法では防火管理者として選任されるのには、一定の資格を必要としています。防火管理講習は、消防法第8条に規定する防火管理者の資格を付与するため、防火管理に必要な知識、技術等を習得させ、その防火対象物にふさわしい防火管理者となることを目的としています。

なお、平成30年は甲種防火管理新規講習を2月、5月、6月、9月、11月に実施し、467人に修了証を交付しました。また、すでに防火管理者として選任されている者に対しても、適切に防火管理業務を遂行する上で必要とされる新しい知識の習得を目指し、春季・秋季全国火災予防運動の行事の一環として、各消防署において防火管理研修会を実施しています。

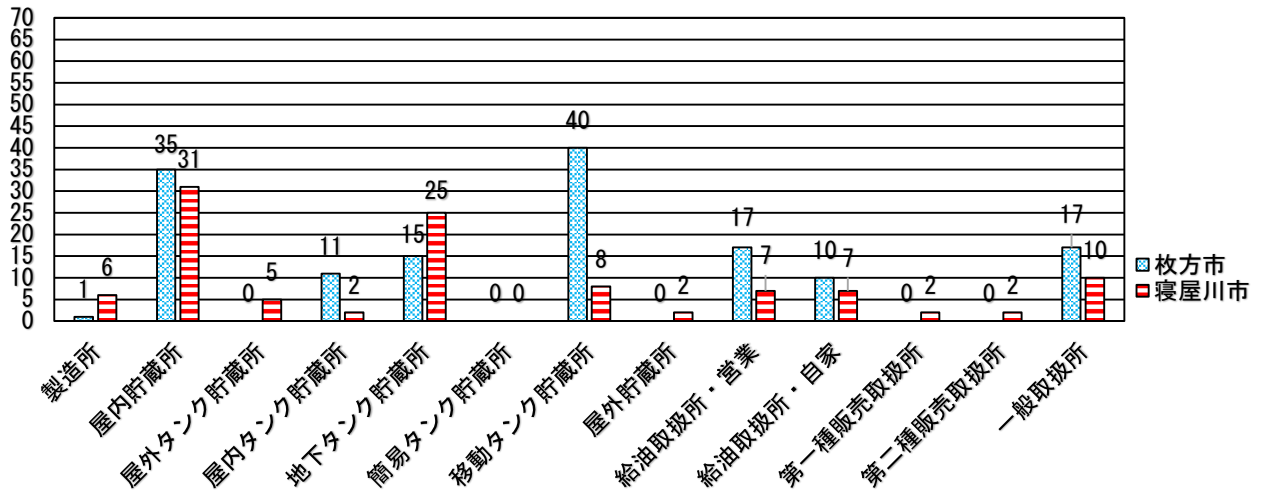
5. 査察業務

査察業務は、消防法第4条及び第16条の5の規定に基づき、防火対象物の位置、構造、設備及び管理の状況並びに危険物等の貯蔵又は取扱い状況等を検査し、不備事項等について、関係者に対し適切な指導を行い火災危険・人命危険を排除することを目的としています。

なお、本消防組合では、立入検査の種別を総合検査と特命検査に区分し、かつ、防火対象物を用途・規模により第1種から第6種まで分類し、出火危険、人命危険の排除を主眼に置き、違反是正の徹底を最優先に査察を実施しています。

防火対象物区分			市別	組合合計	枚方市	寝屋川市
総 数				2,489	1,474	1,015
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場		0	-	-
	ロ	公会堂・集会場		113	75	38
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等		0	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール		24	8	16
	ハ	風営法に規定する店舗その他これらに類するもの		0	-	-
	ニ	カラオケボックス等		1	-	1
3	イ	待合・料理店等		0	-	-
	ロ	飲食店		77	42	35
4		百貨店・マーケット等		147	79	68
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの		11	4	5
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅		803	479	324
6	イ	病院・診療所・助産所		62	43	19
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等		101	55	46
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等		129	85	44
	ニ	幼稚園・特別支援学校等		14	8	6
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等		23	15	8
8		図書館・博物館・美術館等		1	1	-
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等		0	-	-
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場		7	2	5
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場		3	2	1
11		神社・寺院・教会等		23	16	7
12	イ	工場・作業場		187	115	72
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ		0	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場		12	2	10
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫		0	-	-
14		倉庫		68	37	31
15		前各項に該当しない事業所		164	102	62
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物		371	220	151
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		128	71	57
16の2		地下街		0	-	-
16の3		準地下街		0	-	-
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等		2	2	-
18		延長50メートル以上のアーケード		0	-	-
19		市町村町長の指定する山林		0	-	-
20		総務省令で定める舟車		0	-	-
*		その他		20	11	9

危険物施設別査察実施状況



6. ホテル・旅館に対する表示制度

この制度は、ホテル・旅館の関係者からの申請に基づき、消防機関が審査した結果、消防法令のほか、建築構造等に関する基準に適合していると認められた建物に対して、消防機関から表示マークを交付する制度です。

7. 違反対象物に係る公表制度

この制度は、建物を利用する方が、自ら利用する建物の危険性に関する情報を入手し、その建物の利用について判断できるよう、消防が立入検査の際に確認した重大な消防法令違反のある防火対象物（以下「違反対象物」という。）を本消防組合のホームページにより公表する制度で、平成 28 年 4 月 1 日より開始しています。

本消防組合では公表制度開始から平成 30 年 12 月 31 日までに 7 件の違反対象物について、公表を行いました。平成 30 年 12 月 31 日現在、公表を行った全ての違反対象物の違反が是正されたため、ホームページにより公表を行っている防火対象物は 0 件となっています。

8. 高層建築物

高層建築物（高さ 31m を超える建築物をいう。）は、枚方市及び寝屋川市においても、近年限られた土地の有効利用を背景に、さらに高層化する傾向にあるため、消防用設備等又は特殊消防用設備等並びに防火管理等について、新たな対応が求められています。

9. 防火・防災管理対象物定期点検報告制度

防火対象物定期点検報告制度は、防火管理の徹底を図るため設けられました。また、防災管理対象物定期点検報告制度は、地震等による被害の軽減のため、大規模・高層の建築物等について、地震に対応した消防計画の作成など、地震災害等に対応した防災体制を整備するための制度として設けられました。

一定の防火対象物の管理について権原を有する者は、防火・防災対象物点検資格者に防火管理上必要な業務について点検させ、その結果を消防署長に報告することが義務付けられています。また、点検の結果、防火対象物が基準に適合している場合は「防火基準点検済証」を、防火・防災両方の基準に適合するものは「防火・防災基準点検済証」を表示することができます。

・ 特例認定

一定の防火対象物の管理について権原を有する者は、消防機関に特例認定に係る申請をし、その検査を受け、過去3年間継続して消防法令を遵守していると認められた場合、特例認定通知書が交付されるとともに、防火対象物定期点検報告又は防火・防災対象物定期点検報告の義務が3年間免除されます。

なお、「防火優良認定証」又は「防火・防災優良認定証」の表示は、防火対象物全ての部分が3年間継続して消防法令を遵守していることとして認定を受けていることを示すものです。

本消防組合管内では、32事業所（枚方市19事業所、寝屋川市13事業所）に対し防火対象物点検報告に係る特例認定通知書を交付し、6事業所（枚方市6事業所、寝屋川市0事業所）に対し防災管理点検報告に係る特例認定通知書を交付しています。

（平成30年12月31日現在）

10. 住宅防火

・住宅防火診断

住宅防火対策の推進については、過去の成果と反省を踏まえ「新たな住宅防火対策の推進について」（平成13年4月1日付け消防予第91号消防庁長官通知）が策定され、これに基づき住宅防火対策として、各家庭に対し火気使用設備の使用実態、住宅用火災警報器や住宅用消火器などの設置状況等を診断し居住者の防火意識の高揚を図り、住宅の防火を推進することを目的に実施しています。

住宅防火診断実施状況

年度 署別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総数	2,840	3,217	3,451	2,922	2,885
枚方署	897	1,020	953	901	829
枚方東署	1,033	1,100	1,368	981	1,010
寝屋川署	910	1,097	1,130	1,040	1,046

・住宅用火災警報器の設置及び維持管理の啓発

ここ数年、全国の住宅火災による死者数は1,000人前後で推移しています。そのうち、65歳以上の高齢者の死者数は約7割を占め、また住宅火災による死者の半数以上が逃げ遅れによるものとなっています。

高齢化の進展に伴い、睡眠時間帯の逃げ遅れによる死者の増加を抑制するため、平成18年6月1日から住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

本消防組合では、リーフレットの全戸配付をはじめ、火災予防運動、住宅防火診断、訓練指導、研修会等の機会を活用した広報、各自治会対象の出前講座、更にはホームページへの掲載、車両広報、地元FMラジオ等の各種媒体を通じての広報により、設置普及促進を図ってきました。

その結果、平成30年6月現在の住宅用火災警報器の設置率は73.0%、条例適合率は69.4%となっています。

今後は、設置率100%を目指し更なる取り組みを進めるとともに、設置済みの住宅に対する維持管理の励行を目指した広報活動を展開していきます。

また、消火器と同様に悪質な販売業者等が見受けられることから、両市消費生活センターと連携をとりながら悪質な販売行為等の防止にも取り組んでいます。

11. 危険物規制

・危険物規制事務の概要

危険物規制事務は、主に危険物施設の許認可申請に係る事務とそれに伴う検査や各種届出事務及び危険物の取扱いに関する指導を行っています。

あらゆる生活分野に深く浸透している石油製品に代表されるように、危険物は現代社会生活に欠かすことのできない大きな貢献をしている反面、ひとたび取扱いを誤れば、火災や爆発等の甚大な災害を引き起こす潜在的な危険性を有しています。

これらの危険物に起因する事故や災害を未然に防止し、市民生活の安全を確保するため、厳正な法令等の執行とともに、事業所の地域社会との協力関係の強化等を含めた自主保安管理体制の確立と関係者の防災意識の向上に努めることが重要です。

・危険物施設の状況

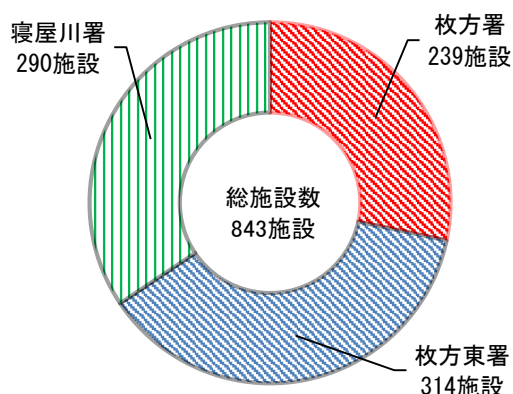
平成30年12月31日現在における危険物施設数は843施設で前年に比べ6施設減少しました。

管轄署別では、枚方署管内239施設、枚方東署管内314施設、寝屋川署管内290施設となっています。

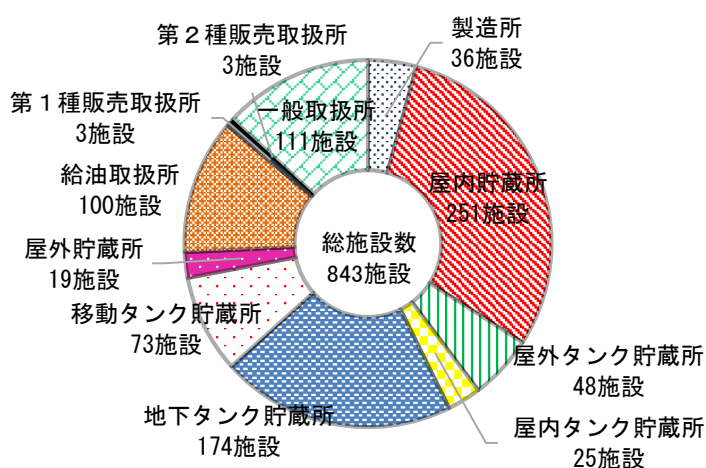
施設別では、屋内貯蔵所が251施設と最も多く、次いで地下タンク貯蔵所、一般取扱所、給油取扱所の順となっています。

類別では、ガソリン、灯油等に代表される第4類の危険物を貯蔵又は取扱っている施設数は、807施設で全体の約96%を占めています。

管轄署別施設数



区分別施設数



許認可事務処理状況

事務処理の公正を確保するため、許認可事務においても審査基準を策定し、適正迅速な事務処理の遂行に努めています。平成30年中における事務処理総数は1494件（前年比105件減）でした。

区 分 署 別	総 数	製 造 所 等														仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱	
		許 可		完 成 検 査		仮 使 用 承 認 申 請	完 成 検 査 前 検 査	完 成 検 査 済 証 等 再 交 付 申 請	廃 止 届	譲 渡 引 渡 届	品 名 数 量 又 は 指 定 数 量 の 倍 数 変 更 届	軽 微 な 変 更 届	危 険 物 保 安 監 督 者 選 任 ・ 解 任 届	予 防 規 程 認 可 申 請	危 険 物 取 扱 作 業 従 事 者 届		そ の 他
		設 置 許 可	変 更 許 可	設 置 許 可	変 更 許 可												
総 数	1,494	11	157	18	148	143	44	4	17	5	19	276	99	5	48	487	13
枚 方 署	792	4	74	12	66	66	2	2	7	0	5	159	42	3	19	327	4
枚 方 東 署	320	4	36	4	35	31	9	2	7	1	9	51	22	-	15	89	5
寝 屋 川 署	382	3	47	2	47	46	33	-	3	4	5	66	35	2	14	71	4

12. 防火意識の高揚

・第 64 回文化財防火デー

昭和 25 年 1 月 26 日に、世界的文化遺産である法隆寺金堂壁画が焼損したことから、1 月 26 日を「文化財防火デー」と定め、失火や放火等に加えて武力攻撃災害に起因する火災、地震、その他の災害から文化財を守る為に文化財防火運動を展開することによって、関係者並びに一般市民の文化財保護の普及啓発を図ることを目的としています。

実 施 事 項		実 施 内 容
枚方消防署・枚方東消防署	消 防 訓 練	日時：平成 30 年 1 月 31 日（水）10 時 30 分～11 時 00 分 場所：尊延寺（枚方市尊延寺 6 丁目 11 番 1 号）
	立 入 検 査	・管内の文化財建造物等への立入検査を実施し、防火施設等の維持管理状況、消防用設備等の定期点検等の指導を行う。 ・各参加機関による安全チェックの実施
	広 報 活 動	・喚起文の発送 ・懸垂幕の掲出
寝屋川消防署	消 防 訓 練 等	日時：平成 30 年 1 月 28 日（日）10 時 00 分から 11 時 30 分 場所：太間天満宮（寝屋川市太間町 10 番） 内容：消防訓練、防災説明会、文化財説明会
	広 報 活 動	・懸垂幕の掲出

・平成 30 年春季全国火災予防運動

（平成 30 年 3 月 1 日（木）から 3 月 7 日（水）までの 7 日間）

この運動は、火災予防の思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的としていますが、特に住宅における高齢者等の死者を減少させることに重点をおいて実施しました。

なお、山火事予防運動、車両火災予防運動については、本運動と一体として実施しました。

実 施 事 項		実 施 内 容
枚方消防署	消 防 訓 練	日時：平成 30 年 3 月 1 日（木）14 時 00 分～15 時 00 分 場所：枚方市御殿山南町 16 番 1 号 「学校法人関西外国語大学御殿山キャンパス・グローバルタウン」 内容：自衛消防隊と消防署による合同の総合訓練
	防 火 キ ャ ン ペ ー ン	日時：平成 30 年 2 月 28 日（火）17 時 30 分～18 時 00 分 場所：枚方市岡東町 19 番 1 号 京阪枚方市駅コンコース 内容：広報資器材配布による防火広報
	防 火 教 室	日時：平成 30 年 2 月 17 日（土）10 時 30 分～12 時 00 分 場所：枚方市南中振 2 丁目 4 番 15 号 南中振北集会所 日時：平成 30 年 2 月 25 日（日）10 時 30 分～12 時 00 分 場所：枚方市伊加賀西町 2 番 1 号 リバティパーク

		日時：平成 30 年 3 月 4 日（日）10 時 00 分～12 時 00 分 場所：枚方市伊加賀栄町 18 番 16 号 伊加賀栄町自治会 対象：自治会員 内容：防火講話、消火器の取扱い
枚方東消防署	消防訓練	日時：平成 30 年 3 月 3 日（土）10 時 00 分～12 時 30 分 場所：枚方市津田北町 2 丁目 23 番 3 号 枚方東消防署 内容：各種消防訓練及び実践総合訓練
	防火キャンペーン	日時：平成 30 年 3 月 3 日（土）10 時 00 分～12 時 30 分 場所：枚方市津田北町 2 丁目 23 番 3 号 枚方東消防署 内容：広報資器材の配布（ティッシュ等）及び防火広報（消太・消子、防災パネル展示及び消防相談等）
	防火教室	日時：平成 30 年 2 月 18 日（日）10 時 00 分～12 時 00 分 場所：枚方市長尾元町 2 丁目 1 番 35 メロディーフォレスト枚方長尾 対象：管理組合員 内容：災害への備え及び応急処置訓練等
寝屋川消防署	消防訓練	日時：平成 30 年 3 月 9 日（金）10 時 30 分～11 時 30 分 場所：寝屋川市寝屋南 2 丁目 22 番 3 号 ビバモール寝屋川店 内容：総合訓練（通報・避難・初期消火訓練） 情報収集訓練、救出、救護、消火訓練
	防火キャンペーン	日時：平成 30 年 3 月 1 日（木）18 時 00 分～19 時 00 分 場所：寝屋川市早子町 16 番 11 号 京阪寝屋川市駅 内容：広報資器材配布による防火広報
	防火教室	日時：平成 30 年 3 月 2 日（金）13 時 30 分～15 時 30 分 場所：寝屋川市太間町 12 番 6 号 太間公民館 対象：太間町朗遊会会員 内容：防火映画、防火講演、水消火器による消火訓練
共通	防火管理研修会	日時：平成 30 年 3 月 7 日（水）14 時 00 分～15 時 30 分 場所：枚方消防署 5 階研修室 対象：防火対象物定期点検が必要な事業所
	その他	住宅防火診断、防火対象物等へ防火ポスター及び喚起文の送付、車両巡回広報、各事業所及び各育成団体等への協力依頼、消防団による防火訪問等

・平成 30 年度危険物安全週間

（平成 30 年 6 月 3 日（日）から 6 月 9 日（土）までの 7 日間）

毎年 6 月の第 2 週を危険物安全週間とし、本消防組合では、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進し、各事業所における自主保安体制の確立を図るため、危険物の保安に関する各種啓発行事を実施しました。

実 施 事 項		実 施 内 容
消防訓練	枚 方 消 防 署	日時：平成 30 年 6 月 5 日（火） 場所：京阪バス株式会社 枚方営業所 （枚方市出屋敷西 1 丁目 8 番 1 号）
	枚方東消防署	日時：平成 30 年 6 月 6 日（水） 場所：東部清掃工場 （枚方市大字尊延寺 2949 番地）

	寝屋川消防署	日時：平成 30 年 6 月 4 日（月） 場所：オリエント化学株式会社 大阪事業所 （寝屋川市讃良東町 8 番 1 号）
危険物安全研修会	消 防 本 部	日時：平成 30 年 6 月 12 日（火） 場所：消防本部 5 階多目的ホール 研修内容：震災時等における危険物の仮貯蔵、仮取扱いの概要

・住宅防火・防災キャンペーン

（平成 30 年 9 月 1 日（土）から 9 月 21 日（金）まで）

近年の住宅火災による死者数は 1,000 人前後の高い数で推移しています。このうち約 7 割が 65 歳以上の高齢者であり、今後さらなる高齢化の進展に伴い、住宅火災における高齢者の死者数の増加が懸念されます。

高齢者を中心とした住宅火災における死者数の低減を図るため、住宅用火災警報器、住宅用消火器、エアゾール式簡易消火具、防災品等の住宅用防災機器等の普及促進を図るために、住宅防火・防災キャンペーンを実施しました。

・平成 30 年秋季全国火災予防運動

（平成 30 年 11 月 9 日（金）から 11 月 15 日（木）までの 7 日間）

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防の思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的として行われていますが、特に住宅における高齢者等の死者を減少させることに重点をおいて実施しました。

実 施 事 項		実 施 内 容
枚方消防署	消防訓練	日時：平成 30 年 11 月 14 日（水）10 時 30 分～11 時 30 分 場所：枚方市上野 3 丁目 1 番 1 号 株式会社小松製作所 大阪工場 内容：自衛消防隊と消防署による合同訓練
	防火キャンペーン	日時：平成 30 年 11 月 10 日（土）10 時 15 分～10 時 45 分 場所：枚方市岡東町 19 番 1 号 京阪枚方市駅コンコース 内容：広報資器材配布による防火広報
	防火教室	日時：平成 30 年 10 月 21 日（日）9 時 40 分～12 時 00 分 場所：枚方市星丘 4 丁目 31 番 1 号 枚方市立桜丘北小学校 日時：平成 30 年 11 月 11 日（日）10 時 00 分～12 時 40 分 場所：枚方市中宮山戸町 22 番 3 号 枚方市立中宮小学校 対象：校区住民 内容：消火器取り扱い、救急法等
枚方東消防署	消防訓練	日時：平成 30 年 11 月 5 日（月）15 時 00 分～16 時 00 分 場所：枚方市養父東町 65 番 1 号 社会医療法人美杉会 佐藤病院 内容：自衛消防隊と消防署による合同の総合訓練
	防火キャンペーン	日時：平成 30 年 10 月 28 日（日）10 時 00 分～12 時 00 分 場所：枚方市大字尊延寺 2949 番地 枚方市東部清掃工場 内容：広報資器材配布による防火広報等

	防火教室	日時：平成 30 年 10 月 14, 21 日(日) 9 時 30 分～12 時 00 分 場所：枚方市招提大谷 3 丁目 19 番 26 号 御殿郷自治会集会所 対象：御殿郷自治会 日時：平成 30 年 10 月 27 日(土) 10 時 00 分～12 時 00 分 場所：枚方市長尾台 2 丁目 40 番 若杉・睦自治会共同集会所 対象：若杉・睦自治会 日時：平成 30 年 10 月 28 日(日) 10 時 00 分～11 時 00 分 場所：枚方市楠葉中町 62 番 13 号 中楠葉集会所 対象：楠葉中町自治会 内容：防火・防災講話、資器材取り扱い、救急講話
寝屋川消防署	消防訓練	日時：平成 30 年 11 月 12 日(月) 14 時 00 分～15 時 00 分 場所：寝屋川市打上中町 7 番 21 号 有料老人ホーム カルデアの家 寝屋川 内容：自衛消防隊と消防署による合同の総合訓練
	防火キャンペーン	日時：平成 30 年 11 月 14 日(水) 18 時 00 分～19 時 00 分 場所：寝屋川市香里南之町 19 番 1 号 京阪香里園駅 内容：広報資器材配布による防火広報
	防火教室	日時：平成 30 年 11 月 16 日(金) 10 時 30 分～12 時 00 分 場所：寝屋川市高柳 5 丁目 4 番 30 号 高柳北自治会公民館 対象：高柳 5 丁目北長寿会 内容：防火講話、防火映画上映、消火器の取扱い
共通	防火管理研修会	日時：平成 30 年 11 月 7 日(水) 14 時 00 分～15 時 30 分 ※三署合同で実施 場所：枚方消防署 5 階研修室 対象：自動車販売事業所
	その他	住宅防火診断、防火対象物等へ防火ポスター及び喚起文の送付、車両巡回広報、各事業所及び各育成団体等への協力依頼、消防団による防火訪問等

13. 産業保安規制

・産業保安事務の概要

都道府県知事の権限として、大阪府が行ってきた産業保安に関する事務について「地方分権改革ビジョン」（平成 21 年 3 月）の策定計画に基づき、本消防組合では、「大阪府産業保安行政事務に係る事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例」を受け、市町村が担うべき事務として、「火薬類取締法」、「高圧ガス保安法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」の主たる事務に関する権限の移譲を行い、平成 24 年 4 月 1 日から運用を開始しています。ただし、指定検査機関、指定試験機関等の指定事務、免状交付事務など広域的立場に立って処理すべき事務については除外となります。産業保安事務は、産業保安に関する許認可申請に係る事務とそれに伴う検査や各種届出事務及び安全対策に関する指導を行っています。

・火薬類取締法の概要

火薬類（火薬、爆薬、火工品）の危険性に着目し、その製造、販売、貯蔵、運搬、消費その他の取扱を規制することにより、火薬類による災害を防止し、公共の安全を確保することを目的とし制定されたもの。

・高圧ガス保安法の概要

高圧ガスに係る製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱い及び消費並びに容器の製造及び取扱いを規制し、民間事業者及び高圧ガス保安協会による高圧ガスの保安に関する自主的な活動を促進するとともに、高圧ガスによる災害を防止し、公共の安全を確保することを目的として制定されたもの。

・液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律の概要

液化石油ガスに係る一般消費者等に対する販売の規制、液化石油ガス器具等の製造及び販売等の規制をし、液化石油ガスによる災害を防止するとともに液化石油ガスの取引を適正にし、もって公共の福祉を増進することを目的とし制定されたもの。



産業保安施設数

関連法令	許認可区分	施設名称	全体	枚方署	枚方東署	寝屋川署
高圧ガス法 施設	許可	第一種製造者	17	9	4	4
		第一種貯蔵所	4	2	1	1
		第一種冷凍所	11	6	5	-
		小計	32	17	10	5
	届出	第二種製造者	22	6	7	9
		第二種貯蔵所	20	9	7	4
		第二種冷凍所	95	38	30	27
		特定高圧ガス消費者	11	6	1	4
		高圧ガス販売業者	114	33	24	57
		容器検査登録所	10	2	2	6
		小計	272	94	71	107
	総計		304	111	81	112
液化石油 ガス法 施設	登録・認定	液化石油ガス販売事業者	12	4	5	3
		保安機関	12	4	5	3
		小計	24	8	10	6
	届出	特定液化石油ガス設備工事者	16	5	8	3

		小 計	16	5	8	3
		総 計	40	13	18	9
火薬類 取締法 施設	許可	火 薬 類 販 売 所	6	2	1	3
	届出	火 薬 庫 外 貯 蔵 庫	3	1	-	2
		総 計	9	3	1	5
全体施設数			353	127	100	126

・火薬類危害予防週間

（平成 30 年 6 月 10 日（日）から 6 月 16 日（土）までの 7 日間）

火薬類危害予防における保安意識の向上を図り、保安啓発普及活動として、火薬類危害予防週間懸垂幕掲出、火薬類事業所（2 事業所）への立入検査を実施しました。

・高圧ガス保安活動促進週間

（平成 30 年 10 月 23 日（火）から 10 月 29 日（月）までの 7 日間）

高圧ガスの保安確保に万全を期すものとし、高圧ガス保安促進週間中に保安啓発普及活動として、保安啓蒙ポスター掲示、高圧ガス保安活動促進週間懸垂幕掲出、高圧ガス事業所（6 事業所）への立入検査を実施しました。

・L P ガス消費者保安月間

（平成 30 年 10 月 1 日（月）から 10 月 31 日（水）までの 1 か月間）

L P ガス消費者保安対策に焦点を当てた保安啓発普及活動として、L P ガス消費者保安月間懸垂幕掲出、エフエムひらかたにて「カセットボンベの危険」を放送、液化石油ガス事業所（4 事業所）への立入検査を実施しました。

・「放置ボンベ撲滅」の取組み

平成 25 年東大阪市内の事業所において飛翔した高圧ガスボンベにより作業員が亡くなるという事故が発生しました。この事故を受け大阪府内消防本部が連携し、関係団体と協働して、「放置ボンベ撲滅」の取組みを始めました。

なお、平成 30 年中につきましては、立入検査時に 6 本発見しました。

あなたの容器、迷子になっていませんか？

不明な容器はありませんか？
思わぬところで放置されてしまっているかもしれません。
1 年を目安に所有容器の管理状況を確認しましょう。
販売店は容器をしっかり管理してください。

放置ボンベ撲滅の取組イメージキャラクター
りすボン

デザイン協力：HAL大阪

保安 3 法事務連携機構おおさか
枚方寝屋川消防組合 予防部 保安対策課
TEL 072(852)9910



14. 枚方寝屋川消防組合防火委員会

・ 目的

幼年・少年両消防クラブ及び婦人防火クラブ等の防火防災組織を指導育成し、両組織の拡充を図るとともに、防火啓発活動を通して、地域住民の防火防災意識を高揚し、火災のない災害に強い安全な街づくりの実現に資することを目的としています。

・ 役員及び活動状況

本委員会には、会長 1 人、副会長 2 人、会計 1 人、会計監査 2 人の役員を置き、任期は 2 年間（再任は可）で、年間に 3 回の委員会を開催しています。

平成 30 年 2 月に開催された平成 29 年度第 3 回目の委員会では、春の火災予防運動の実施計画について書面会議にて審議いたしました。

7 月に開催された平成 30 年度第 1 回目の委員会では、前年度の幼年、少年、婦人各クラブの活動実施結果及び決算報告（会計監査報告を含む）並びに新年度の同活動計画案及び予算案等を議案として審議後、国土交通省講師による防災への取組みについての研修を実施しました。

10 月に開催された平成 30 年度第 2 回の委員会では、秋の火災予防運動実施計画について審議するとともに、少年消防クラブ員から応募のあった防火図画の選考を行いました。

本委員会は、これらの活動を通じて各クラブが円滑に運営できる母体としての役割を担っています。

15. 幼年消防クラブ

・ 目的

幼年消防クラブは、火に対して興味を持ち始める幼年期に、火の正しい取扱い方を指導教育することにより、火遊び等による火災の減少を図っています。また、社会教育の一環として、消防の仕事を理解することを目的としています。

・ 活動状況

枚方市、寝屋川市内 15 の保育園（協力園 2）を対象に幼年消防クラブを結成し、絵本や防火映画等視聴覚教材を使用しての防火教室や、普通救命講習等、多岐にわたり積極的に活動を展開しています。また、各種活動を通じて家族全員の防火意識の啓発にも寄与しています。

16. 少年消防クラブ

・ 目的

少年消防クラブは、小学4年生から6年生までを対象に、学校や家庭における火災予防や防災に関する知識を習得し、防火・防災意識の普及と高揚を図ることを目的とする一方、クラブ活動を通じて、団体生活における協調性及び礼儀と規律を習得することを目的としています。

・ 活動状況

平成25年4月から活動方法を見直し、両市に在住かつ在学の児童を募集することとしました。応募多数のため抽選の結果、選ばれた児童で各消防署少年消防クラブが結成され、ビデオ等の視聴覚教材を使用し、火の取扱い方等火に関する知識、火災救急概況、消防署の仕事等についての防火教室や消火器の取扱い訓練、救助訓練、応急手当訓練等の各種消防訓練を行っています。

また、クラブ員が防火キャンペーン等に参加し、広く市民に火災予防を呼びかけています。



17. 婦人防火クラブ

・ 目的

婦人防火クラブは、日常生活において火気を取扱う女性に対し、防火意識の普及を図るとともに、地域住民に対して防火意識の普及と高揚を図り、災害に強い安全な街づくりに寄与すること、また、家庭や地域での応急手当の普及促進に努めることも目的としています。

・ 活動状況

寝屋川市婦人防火クラブは、消火器の取扱い訓練や救命講習会等を開催し、防火活動に務めるとともに、秋と春の火災予防運動等の様々なイベントやキャンペーンにおいて住宅用火災警報器の広報活動を行うなど、広く市民に火災予防を呼びかけています。

なお、枚方市婦人消防クラブについては平成5年10月より活動休止中です。

18. 地域防災向上センター

「再任用職員の知識、経験を積極的に活用する」事業の一環として、平成24年10月1日から本格運用した地域防災向上センターは、年々増加する各種救命講習を中心に自主防災訓練、少年消防クラブ員等への訓練指導に当たっているほか、各部署における各種訓練及び講習会等の要員や補助員として活動しています。

平成25年度からは、地域の防災力をより一層強化していくために「阪神・淡路大震災」や「東日本大震災」等の教訓の下、火災や風水害等から生命身体を守るための防火、防災、減災に関する「出前講座」を始めました。今後30年の間に70%～80%の確率で発生されると言われる「南海トラフ巨大地震」や平成30年6月に発生した「大阪府北部地震」、7月から9月にかけて大阪府に上陸又は通過した「台風21号」などの4つの台風による被害により市民の防災対策に対する関心がより強くなり、「出前講座」の依頼件数も多くなっています。

また、平成30年度からは、平成28年12月に新潟県の飲食店から発生した「糸魚川市大規模火災」を受け改正された消防法令により、火を使用する設備又は器具を用いる飲食店等は原則として、平成31年10月1日から消火器の設置が義務付けられることから、管内の飲食店等の現地調査等も併せて実施しています。今後も、市民や地域の要望を積極的に取り入れて、「市民が、安全、安心して暮らせるまち」作りを目指していきます。

	出前講座		自主 防災訓練		救急講習						少年消 防 クラブ 指導		業 務 応 援		飲 食 店 等 現 地 調 査	
					普 通 救 命 講 習		救 命 入 門 等 (そ の 他) コ ー ス		フ ェ ッ シ ュ 命 の 授 業							
	件 数	稼 働 人 数	件 数	稼 働 人 数	件 数	稼 働 人 数	件 数	稼 働 人 数	件 数	稼 働 人 数	件 数	稼 働 人 数	件 数	稼 働 人 数	件 数	稼 働 人 員
1 月	1	3	－	－	2	6	2	6	4	12	－	－	3	8	－	－
2 月	4	11	4	12	4	11	6	16	6	18	2	6	12	30	－	－
3 月	2	5	3	9	3	9	4	11	－	－	1	3	5	18	－	－
4 月	3	7	－	－	2	6	6	19	1	3	2	6	1	3	54	7
5 月	1	2	1	3	2	6	8	23	10	30	2	6	4	11	243	7
6 月	2	5	1	3	6	17	19	55	9	27	1	3	3	8	177	7
7 月	2	6	－	－	6	18	8	22	7	21	－	－	1	3	206	7
8 月	3	7	－	－	4	11	6	16	2	6	－	－	1	3	166	7
9 月	6	14	1	3	6	17	8	18	4	12	1	3	3	6	170	7
10 月	5	11	3	9	4	11	4	10	11	33	1	3	9	20	300	7
11 月	2	5	6	18	4	10	8	19	6	19	3	8	12	29	164	7
12 月	5	12	2	4	4	12	7	19	4	12	1	3	1	2	128	7
合 計	36	88	21	61	47	134	86	234	64	193	14	41	55	141	1608	63

第4章 通信編

1 指令管制

・ 指令管制システム

このシステムは、一般回線や携帯電話からの通報において、発信地を特定する機能（通報者の電話番号、所在地、氏名）を備えており、気が動転し正確に住所を通報できない場合や、FAX や携帯電話・スマートフォンを活用した通報にも迅速に対応できるようになっています。

また、発信地情報をもとに地図検索システムが連動して通報場所付近の地図が表示され、更に GPS により管理された直近の消防車両に、瞬時に災害出動を指令することができます。

・ 指令管制業務の概要

建築物の大規模化・高層化・深層化等により災害は複雑多様化をきわめています。市民の生命・身体・財産を火災その他の災害から守るために、高度に処理された情報に基づき、コンピューター・通信機器を駆使したシステムで災害通報を受信し、消防小隊・救急小隊・救助小隊等に迅速・的確な出動指令を行い、消防活動に必要とされる最



適な支援情報や、病院の最新医療情報を収集し提供しています。また、平成 27 年 8 月から聴覚障害者等に対し従来の e メール、FAX による 119 に加え、携帯電話やスマートフォンを活用したネット 119 による緊急通報もできるようになっています。

・ 指令状況

枚方市及び寝屋川市における指令件数は総数 38,055 件で、昨年より 2,688 件の増加となりました。その内容は、火災指令が 162 件で昨年より 15 件の増加、救急指令が 36,528 件で昨年より 2,274 件の増加となっており、3 年連続で 3 万件を超え、増加傾向は止まりません。救助指令が 164 件で昨年より 11 件の減少、その他指令が 1,201 件で昨年より 410 件増加しています。

また、1 日平均では火災指令 0.44 件、救急指令 100.07 件、救助指令 0.45 件、その他指令 3.29 件となっています。

指令状況表

種別 内訳	総 数	119 受信	加入 電話	警察 電話	緊急 通報	携帯電話	転送 受信	その他	IP 電話
総 数	38,055	6,006	451	1,830	700	16,648	684	258	11,478
火災指令	162	16	10	19	-	76	10	2	29
救急指令	36,528	5,836	244	1,560	693	16,054	665	187	11,289
救助指令	164	13	12	60	2	58	3	3	13
その他指令	1,201	141	185	191	5	460	6	66	147

※ 災害事案の状況によって、1 事案に重複して指令されている場合があります。

・ 119 番等通報受信状況

枚方市及び寝屋川市における総受信件数は 62,634 件（1 日平均約 172 件）で、これは市民約 10 人に 1 人が 119 番等の通報をしたことになります。

受信件数の内訳は火災通報 277 件（0.4%）、救急通報 36,884 件（58.9%）となっており両通報で全体の約 59%を占めています。

医療機関の問い合わせ件数は 3,804 件（6.1%）で、救急安心センターおおさか、ひらかた健康ホットライン 24、大阪府救急医療情報センターを活用し、119 番通報での医療問い合わせは前年より 1 %減少しています。いたずら・間違いなどの通報が 5,815 件（9.3%）あり、実際の火災・救急通報の受信に支障を来すことも予想されることから今後も、防火指導、救急講習等の広報活動を通じ「正しい 119 番の使用法」を啓発していく必要があります。

回線別の受信件数は固定電話（アナログ回線）の 119 番受信が 12,590 件で、IP 電話の 15,172 件を含めると 27,762 件（44.3%）で約半数を占め、加入電話での受信が 602 件、その他が 1,740 件となっています。

携帯電話からの受信件数は 25,256 件（40.3%）で、前年度より 2,511 件増加しており、他市消防本部からの携帯電話の転送を含めると 26,107 件（41.7%）となっています。

緊急通報システムからの通報は 3,729 件（6.0%）あり、聴覚障害者及び音声言語機能障害者の方々からのネット 119 による通報は 0 件（登録者数 78 人）、緊急 FAX からの通報は 2 件、e メール 119 からの通報は 0 件（登録者数 130 人）でした。

通報受信状況

種 別 内 訳	総 数	指令台による 119 受信							加入電話 での受信
		固 定 電 話		携 帯 電 話	警 察 電 話	緊 急 通 報	転 送 受 信	そ の 他	
		アナログ回線	IP 回 線						
総 数	62,634	12,590	15,172	25,256	2,694	3,729	851	1,740	602
火 災	277	26	52	142	27	-	13	2	15
救 急	36,884	5,873	11,332	16,281	1,590	689	676	192	251
救 助	172	13	15	62	62	2	3	3	12
そ の 他	1,273	149	169	495	198	5	6	71	180
火 災 問 合	95	8	12	47	22	-	1	1	4
救 急 問 合	481	53	75	241	90	5	8	5	4
試 験	2,262	131	92	80	-	1,842	3	112	2
医 療 問 合	3,804	285	1,166	2,322	10	8	3	8	2
転 送	600	2	18	571	-	-	8	1	-
間 違 い	3,094	518	290	1,263	44	908	27	33	11
悪 戯	2,721	2,221	35	457	-	2	2	3	1
上 記 以 外	10,971	3,311	1,916	3,295	651	268	101	1,309	120

2. 緊急通報システム

・緊急通報システムの概要

緊急通報システムとは、急病や災害等の緊急時に迅速な行動がとれない高齢者や、身体障害者の安全で安心な生活を確保するため、利用者宅に装置（ボタン一つで操作可能な電話機とペンダント）を設置し、緊急事態発生時には電話回線を通じて速やかに消防本部に通報され、通報者の情報（住所、氏名、生年月日、既往歴、掛け付けの医療機関等）が瞬時に指令台に表示されるシステムです。

枚方市にあっては平成元年、寝屋川市にあっては平成2年から両市の福祉事業の一環として、概ね 65 歳以上の一人暮らしの高齢者及び1級2級の身体障害者を対象に運用開始し、平成8年4月から消防本部を第1通報先とした新緊急通報システムがスタートしました。

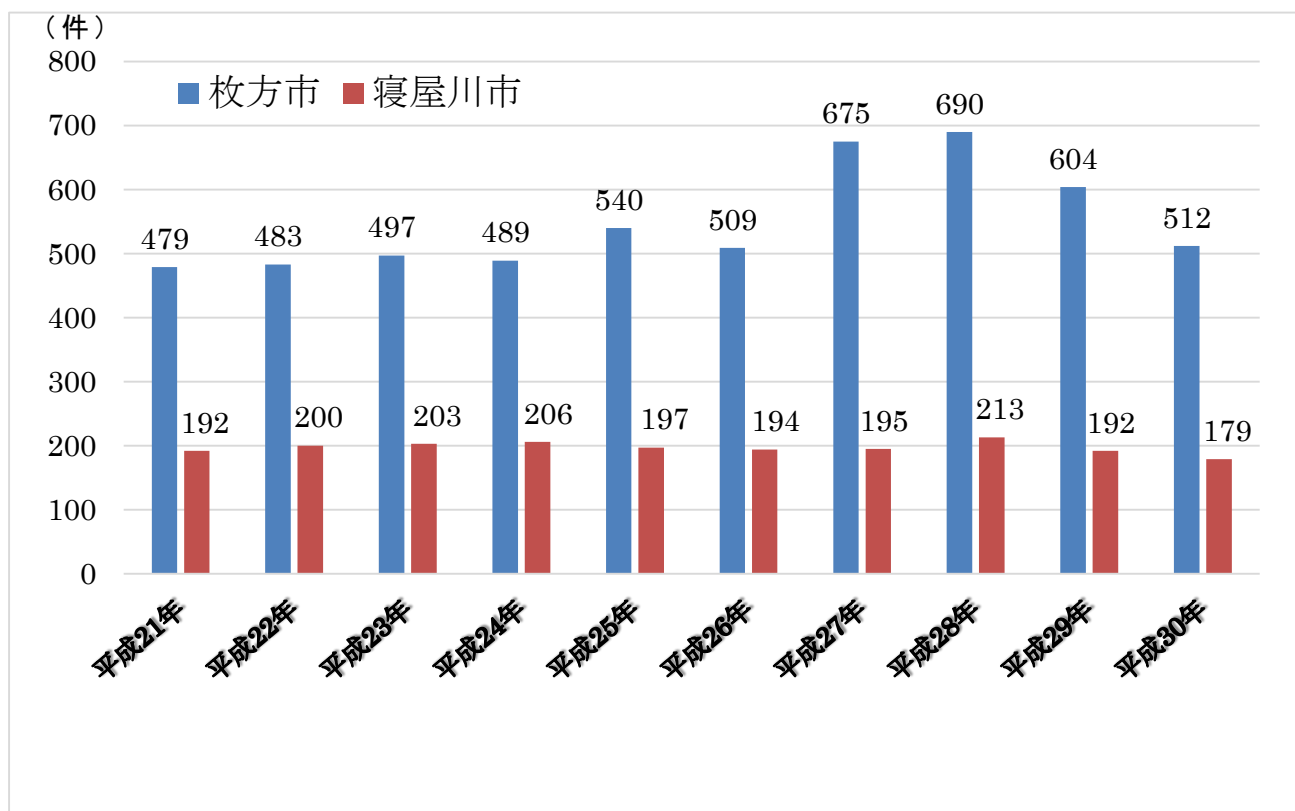
平成30年12月31日現在の設置件数は4,142件（枚方市3,231件、寝屋川市911件）を数え、平成30年中の通報総数（通報試験等を除く）は1,887件（枚方市1,416件、寝屋川市471件）で、救急等の出動件数は691件（枚方市512件、寝屋川市179件）となっており、高齢者や身体障害者にとって安全で安心して暮らせるためのライフラインとなっています。

平成30年中の通報及び出動状況 (単位：件)

市	項目	緊急通報システム 設置件数	通報総数	出動件数
	総数	4,142	1,887	691
	枚方市	3,231	1,416	512
	寝屋川市	911	471	179

過去10年間の出動件数の推移 (単位：件)

年別 市別	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年
枚方市	479	483	497	489	540	509	675	690	604	512
寝屋川市	192	200	203	206	197	194	195	213	192	179



3. 指令業務の共同運用

平成 27 年 7 月から本消防組合と交野市消防本部において、新消防情報システムを整備し、指令業務の共同運用を開始しました。これにより交野市内で発生した 119 番通報等の災害通報などを本消防組合で受付し、交野市消防本部の消防車や救急車へ出動指令を行うこととなりました。

・ 指令状況（交野市）

平成 30 年中の交野市における指令件数は総数 3,809 件で、内訳は次のとおりです。

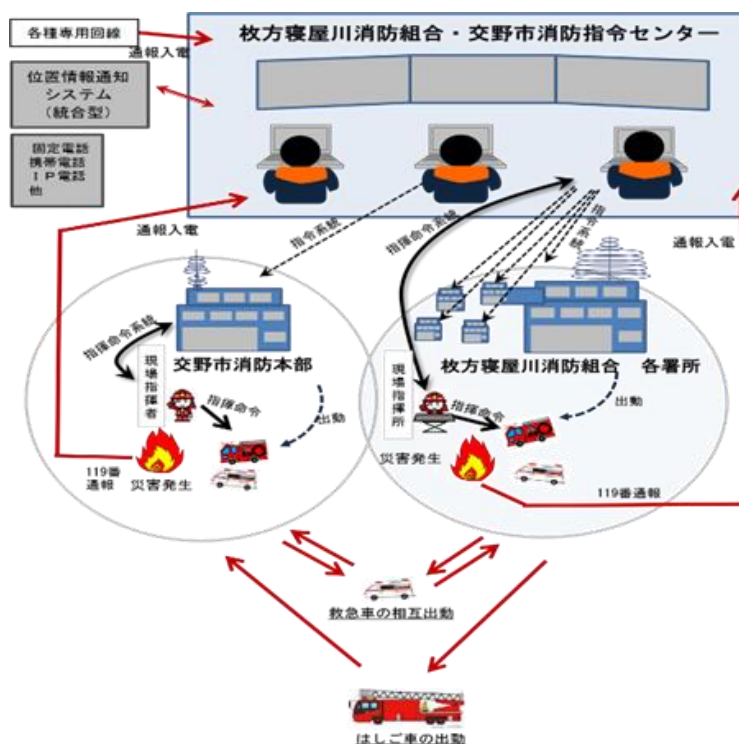
指令状況表

種別 内訳	総 数	119 受信	加入 電話	警察 電話	携帯 電話	転送 受信	その他	IP 電話	緊急 通報
総 数	3,809	610	96	207	1,581	33	23	1,259	-
火災指令	25	1	1	5	10	-	-	8	-
救急指令	3,654	598	74	174	1,517	32	19	1,240	-
救助指令	12	-	-	7	5	-	-	-	-
その他指令	118	11	21	21	49	1	4	11	-

※ 災害事案の状況によって、1 事案に重複して指令されている場合があります。

※ 緊急通報は加入電話にて統計処理しています。

・ 共同運用イメージ図



・ 119 番等通報受信状況（交野市）

平成 30 年中の交野市における受信件数は総数 5,262 件で、内訳は次のとおりです。

通信受信状況

種別 内訳	総数	119 受信	加入電話	警察電話	携帯電話	転送受信	その他	IP 電話	緊急通報
総 数	5,262	867	99	224	2,324	35	71	1,642	－
火 災	61	2	1	5	30	－	－	23	－
救 急	3,682	600	74	179	1,533	34	15	1,247	－
救 助	12	－	－	7	5	－	－	－	－
そ の 他	123	10	21	21	53	1	4	13	－
火 災 問 合	7	1	－	－	6	－	－	－	－
救 急 問 合	34	5	－	1	19	－	1	8	－
間 違 い	169	27	1	－	107	－	3	31	－
試 験	20	14	－	－	－	－	2	4	－
悪 戯	52	4	－	－	47	－	－	1	－
医 療 問 合	416	26	－	－	237	－	－	153	－
転 送	8	1	－	－	6	－	－	1	－
上 記 以 外	678	177	2	11	281	－	46	161	－

※ 緊急通報は、加入電話にて統計処理しています。

・ 指令台



第5章 警備編

1. 消防活動状況

・出動体制

本消防組合では、火災をはじめ各種の災害に応じて消防車両を迅速に出動させるための事前計画（出動基準表）を作成しています。

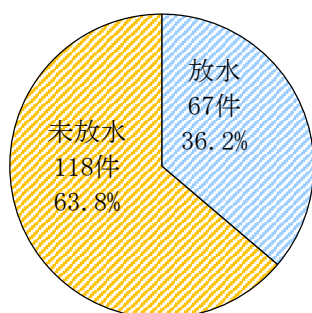
出動する消防車両は、災害発生場所の直近小隊から必要車両を編成することを基本としています。

出動種別		出動区分	ミニタンク車 ポンプ車	救助車	救急車	指揮車	梯子車	15m 梯子車	化学車	調査車	水槽車	指揮 支援車
火災	一般建物	第1	4	1	1	1	-	1	-	2	-	1
		第2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		第3	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		第4	4	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	中高層建物	第1	4	1	1	1	1	1	-	2	-	1
		第2	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-
		第3	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		第4	4	1	1	1	1	-	-	-	-	-
	危険物・工場	第1	4	1	1	1	-	(1)	1	2	-	1
		第2	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-
		第3	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-
		第4	4	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	危険物・工場高層	第1	4	1	1	1	1	(1)	1	2	-	1
		第2	2	1	-	-	1	-	1	-	-	-
		第3	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-
		第4	4	1	1	1	1	-	-	-	-	-
	車 両	第1	2（内1台はミニタンク車）	-	-	1	-	-	-	1	-	-
		第2	2（内1台はミニタンク車）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	林 野	第1	4	-	-	1	-	-	-	1	-	-
		第2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	航 空 機	第1	4	2	3	1	-	-	2	2	-	-
		第2	4	1	2	1	-	-	-	-	1	-
	船 舶	第1	2	1	1	1	-	-	-	1	-	-
		第2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	鉄 道	第1	4	1	1	1	-	-	-	2	-	-
		第2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		第3	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	高速道車両	第1	2（内1台はミニタンク車）	-	1	1	-	-	-	1	1	-
	高速道危険物	第1	2（内1台はミニタンク車）	-	1	1	-	-	1	1	1	-
	高速道その他	第1	2（内1台はミニタンク車）	-	-	1	-	-	-	1	1	-
	その他火災	第1	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-
救急	救 急	第1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	鉄 道 救 急	第1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	高速道救急	第1	1（ミニタンク車）	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	P A 連 携	第1	1（ミニタンク車）	-	1	-	-	-	-	-	-	-
救助	救 助	第1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	鉄 道 救 助	第1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	高速道救助	第1	1（ミニタンク車）	1	1	1	-	-	-	-	-	-
その他	ガ ス 漏 れ 警 戒		1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	毒 劇 物 警 戒		1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	高 速 道 警 戒		2（内1台はミニタンク車）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高 速 道 調 査		1（ミニタンク車）	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	水防、警戒、救護、調査、その他		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	※ この出動基準における15m梯子車の出動区域は、寝屋川市域限定とする。 ※ 寝屋川本署15m梯子車が化学車と兼務設定時に、危険物工場火災又は危険物工場高層火災が発生した場合は、15m梯子車は出動しないものとする。 ※ 指揮支援車の出動種別は建物火災を基本とするが、他の災害種別であっても警防部長が必要と認める場合又は署長からの要請があった場合は出動するものとする。 ※ 調査車の出動は2台運用を基本とするが、最低人員の時には1台運用となる場合がある。											

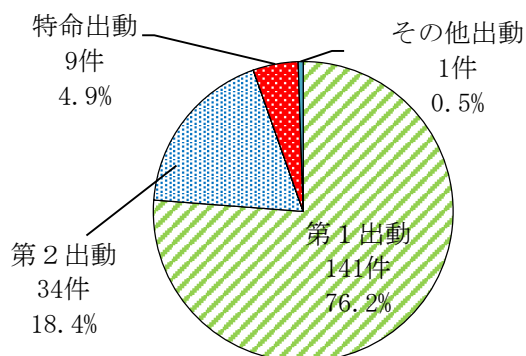
・放水活動状況

火 災 件 数	火 災 出 動 件 数											
	放水別		事 後 聞 知	出 動 別					種 別			
	放 水	未 放 水		第 1 出 動	第 2 出 動	第 3 出 動	特 命 出 動	そ の 他 出 動	建 物	車 両	林 野	そ の 他
185	67	118	29	141	34	-	9	1	112	17	-	56

・放水件数比

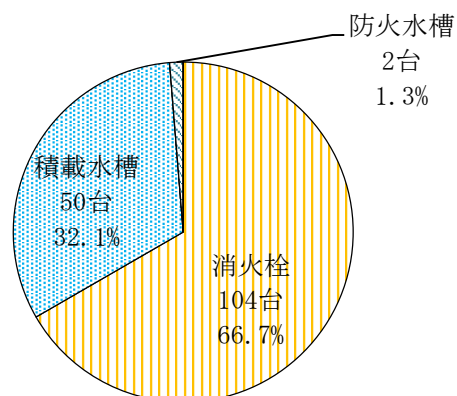


・出動件数比



・放水車両における使用水利状況
(延べ台数)

総 数	156
消 火 栓	104
積 載 水 槽	50
河 川 ・ 池	-
防 火 水 槽	2
プ ー ル	-
そ の 他	-



・放水隊数比

建物火災 1 件あたり 放水量 4 m³

建物以外の火災 1 件あたり 放水量 9 m³

・活動状況

平成 30 年中の消防隊等が活動した事故件数は、3,347 件で出動車両台数は 7,202 台でした。これは、1 日当りの平均災害発生件数が約 9.2 件で、1 件の災害に対し、平均 2.2 台の消防車両が出動したことになります。

火災件数 185 件のうち、建物火災が 112 件と最も多く、火災出動件数の約 60.5% を占めています。

消防隊は、火災やその他の消防事故の災害現場にいち早く到着し、日頃の訓練で習得した技術や知識を十二分に発揮し、的確な消防活動を行うことにより、人命危険の排除及び被害の軽減を図っています。

・火災別活動状況

区 分	事故件数	出動台数	出動人員	活動時間
総 数	3,347	7,202	26,523	5,311:58
火 災 小 計	185	1,116	3,838	1,492:39
建物火災	112	869	3,009	1,273:56
林野火災	-	-	-	-
車両火災	17	61	201	59:27
その他の火災	56	186	628	159:16
焼 損 事 故	58	264	871	174:18
そ の 他 消 防 事 故	3,104	5,822	21,814	3,645:1

・消防署別活動状況

区 分	事故件数	出動台数	出動人員	活動時間
枚 方 署	1,102	2,276	8,459	1,713:52
枚 方 東 署	888	1,977	7,253	1,436:32
寝 屋 川 署	1,356	2,947	10,804	2,160:20
管 轄 外	1	2	7	1:14

- ・活動時間については、出動から現場引き揚げ迄の時間です。
- ・活動隊については、救急隊を除く数字です。

・その他の消防事故

火災・焼損事故以外の消防事故につきましては、P A 連携が 1,893 件と最も多く、次いでその他 374 件、風水害 246 件と続いています。

出動件数	事故種別									
	虚誤報	警戒	救助	ガス漏れ	油類漏れ	吹鳴事故	管外応援	風水害	P A 連携	その他
3,104	57	150	23	23	116	212	10	246	1,893	374

2. 消防水利

・管内の水利状況

本消防組合管内の消防水利の大部分は、人工水利の消火栓(90.8%)が占めています。

消火栓は簡易に使用でき、連続的に給水しますが、水道配管路に設置されているため、配管口径による給水量の制約、断・減水時の使用不能等の弱点があります。これをカバーするために、開発行為の機会をとらえ、防火水槽の設置を要請するなど、消防水利の確保に努めています。

・管内の水利状況表（推移）

区分 年別	総数	消火栓			防火水槽			その他の水利			
		小計	公設	私設	小計	公設	私設	小計	プール	河川池	その他
平成 24 年	10,237	9,381	8,918	463	527	98	429	329	127	153	49
平成 25 年	10,277	9,386	8,934	452	558	104	454	333	128	154	51
平成 26 年	10,290	9,390	8,943	447	571	113	458	329	128	150	51
平成 27 年	10,294	9,387	8,944	443	568	105	463	339	129	150	60
平成 28 年	10,316	9,404	8,968	436	594	115	479	318	128	149	41
平成 29 年	10,349	9,413	8,977	436	597	116	481	339	128	147	64
平成 30 年	10,333	9,387	8,982	405	607	119	488	339	128	147	64

※ 防火水槽寸法（容量）20 m³未満を含まず。

・耐震性 100 型貯水槽（飲料水兼用）設置場所

枚 方 市	大垣内町 3 丁目 15 番 伊加賀西町 53 番 1 号	伊加賀小学校内
寝屋川市	高柳 3 丁目 1 番 27 号 下木田町 16 番 15 号 点野 5 丁目 28 番 1 号 上神田 2 丁目 8 番 1 号 成田西町 2 番 3 号 石津元町 8 番 初町 1 番 2 5 号	西小学校内 南小学校内 第八中学校内 第五中学校内 第五小学校内（三井南町 18 番のグラント内） 石津小学校校庭内体育館北西側 中央小学校内

3. 消防装備

・平成 30 年度の更新車両

本年度は、調査車 2 台、消防ポンプ自動車 1 台、高規格救急車 3 台の計 6 台の車両更新を行いました。

調査車は、火災現場において火災原因等を調査するための車両で、ハイルーフ型のワンボックスタイプの車両をベースに、発電機や照明など様々な資器材を積載しております。

車内は両サイドに資器材収納用の棚を設け、現場での活動の利便性を考慮して、車両前方からバックドアまで移動可能なウォークスルータイプの仕様としています。



調査車

消防ポンプ自動車は、約 9000ℓを積載した C D - 1 型消防ポンプ自動車（通称：ミニタンク車）で、消火のための放水量を少なくし、水損防止を図ることができるクラス A 泡自動混合装置を装備するとともに、消火活動中の機動性を高めるためにクアドラノズルと 40 mm ホースを運用し、消火活動時や鎮火後の隊員及び調査担当の負担軽減を図っています。

また、ポンプ運用時の負担を減らすため、ポンプ操作装置にデジタル機能を組み込み、操作性と省力化を向上させる工夫も随所に取り入れており、ポンプ操作部には排出ガス浄化装置のモニターランプを設けるとともに、ポンプ駆動用（P T O）スイッチを増設してポンプの空回しによる故障を防ぐことができ、メンテナンス性と車輛寿命を向上させる技術も取り入れています。



消防ポンプ自動車

高規格救急車は、前年に引き続きトヨタ製ハイメディック 4 輪駆動で、直列 4 気筒排気量 2,690cc エンジンを搭載し、乗車定員は 7 人です。活動中の救急隊員からの意見を多数取り入れ、車両ルーフサイド左右及びバックドア上部には作業灯を設置しており、夜間の災害現場において作業灯を点灯することで、車両周辺の安全性を確保できることや、緊急消防援助隊として被災地に派遣された際も、活動の拠点として活躍できます。また、車両下部全体に再帰性に富んだ反射テープを使用し、救急車両に対する他の交通からの視認性を高め、夜間時に救急自動車付近で活動する隊員の安全管理、二次災害防止の効果が期待されます。

積載装備についても改良され、新型のストレッチャーを選定し、操作性・操舵性及び耐荷重など装備面の向上を図っています。



高規格救急車

4. 消防団

・消防団の役割

消防団は、郷土愛護の精神を基調としており、地域に密着した防災活動機関です。火災等の災害時には、消防署長の所管の下に行動し防災活動、応急救護活動等に当たっています。

また、火災予防のため巡回警戒及び広報活動を行い、さらに地域住民に対して防災指導を積極的に行うなど、地域防災の重要な役割を担っています。

・消防団員の職業別状況（平成30年12月31日現在）

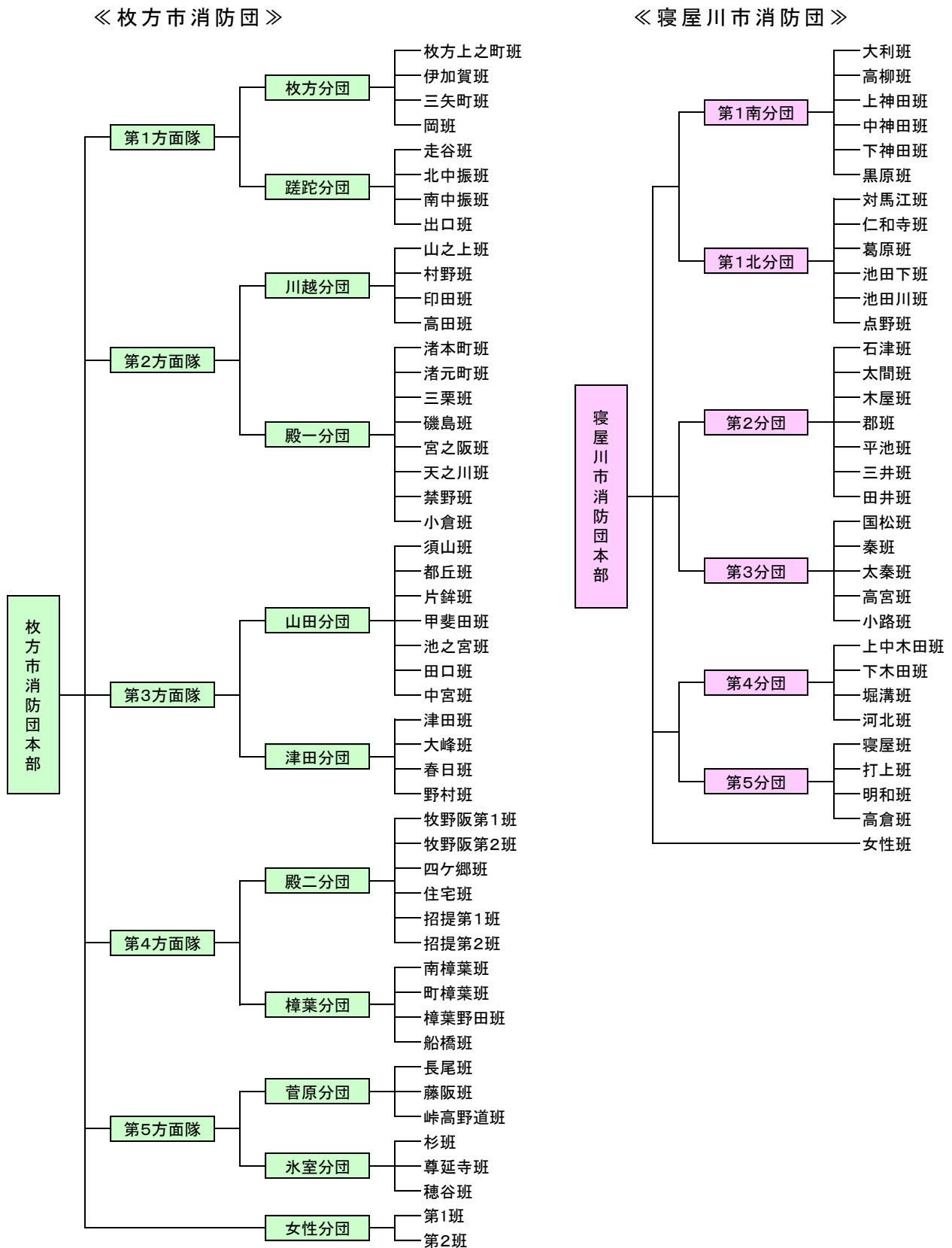
職業別 市別	総 数	農 業	林業・狩猟業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	卸売業小売業	金融・保険業	不動産業	運輸通信業	熱供給業 電気ガス水道	サービス業	公務員	その他
総 数	844	15	0	1	80	98	43	17	11	32	21	107	106	313
枚 方 市	462	10	-	-	65	90	37	17	7	26	19	76	42	73
寝屋川市	382	5	-	1	15	8	6	-	4	6	2	31	64	240

・出動状況（平成30年12月31日現在）

区 分	出動別	総 数	火 災	水 災	警 戒	訓 練	その他
出 動 数	総 数	1,226	152	0	73	918	83
	枚 方 市	1,125	111	-	73	858	83
	寝屋川市	101	41	-	-	60	-
出 動 分 団 (班) 数	総 数	1,689	153	0	73	1,380	83
	枚 方 市	1,125	111	-	73	858	83
	寝屋川市	564	42	-	-	522	-
出 動 団 員 数	総 数	9,932	947	0	837	8,148	0
	枚 方 市	7,757	715	-	837	6,205	-
	寝屋川市	2,175	232	-	-	1,943	-
出 動 車 両 数	総 数	1,067	122	0	179	766	0
	枚 方 市	816	80	-	179	557	-
	寝屋川市	251	42	-	-	209	-

5. 消防団の組織

(平成30年12月31日現在)



6. 相互応援協定

大規模広域災害や市町村境界付近で発生した災害等に対し、消防組織法（昭和22年法律第226号）第39条の規定に基づき、近隣市町村と相互に応援協定を締結して、災害による被害の軽減を図っています。

本消防組合における消防相互応援協定の締結状況は次のとおりです。

・消防相互応援協定

協定名称	協定締結年月日	協定締結市町名
大阪府北ブロック消防相互応援協定	昭和40年6月22日	吹田市、茨木市、摂津市、高槻市、島本町、交野市、大東市、四條畷市、門真市、守口市、枚方市、寝屋川市、枚方寝屋川消防組合、守口市門真市消防組合
枚方市、八幡市、枚方寝屋川消防組合消防相互応援協定	昭和50年11月19日 昭和52年11月28日 再締結	枚方市、八幡市、枚方寝屋川消防組合
枚方市、枚方寝屋川消防組合、京田辺市消防相互応援協定	昭和53年4月26日 平成11年4月1日 再締結	枚方市、枚方寝屋川消防組合、京田辺市
大阪府下広域消防相互応援協定	昭和63年9月1日 平成3年10月1日 再締結 平成9年9月1日 協定の一部改正 平成12年10月1日 再締結 平成13年10月1日 再締結 平成14年6月1日 再締結 平成19年7月1日 再締結 平成21年3月31日 再締結 平成26年4月1日 再締結	大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、貝塚市、茨木市、八尾市、富田林市、河内長野市、松原市、和泉市、箕面市、摂津市、高石市、東大阪市、交野市、大阪狭山市、豊能町、島本町、忠岡町、河南町、太子町、千早赤阪村、枚方寝屋川消防組合、守口市門真市消防組合、柏原羽曳野藤井寺消防組合、大東四條畷消防組合、泉州南消防組合
第二京阪道路（巨椋池インターチェンジから枚方東インターチェンジまで）消防相互応援協定	平成15年3月28日 平成18年7月1日 再締結 平成22年3月20日 再締結	京都市、宇治市、久御山町、八幡市、京田辺市、枚方寝屋川消防組合
第二京阪道路（枚方東インターチェンジから第二京阪門真インターチェンジま	平成22年1月27日	京田辺市、交野市、四條畷市、守口市門真市消防組合、枚方寝屋川消防組合

で) 消防相互応援協定		
大阪市・枚方寝屋川消防組合消防応援協定	平成22年3月20日	大阪市、枚方寝屋川消防組合
枚方市、枚方寝屋川消防組合、生駒市消防相互応援協定	平成31年4月1日	枚方市、枚方寝屋川消防組合、生駒市

・ 航空消防応援協定

協定名称	協定締結年月日	協定締結市町名
大阪市・枚方寝屋川消防組合航空消防応援協定	昭和45年10月1日 〔平成22年4月1日 再締結〕	大阪市、枚方寝屋川消防組合

・ その他の協定

《市域境界線上に位置する消防対象物の取扱いに関する協定》

協定締結年月日	協定締結市名	協定の目的
昭和54年3月31日	枚方寝屋川消防組合 守口市門真市消防組合	市域境界線上に位置する消防対象物に対し、消防法令に基づく立入検査、消防用設備等の設置指導、防火管理及び火災の原因と損害調査等の事務処理の事実上の一元化を図り、住民の便宜等を考慮し、消防行政を適正かつ効率的に執行する。
昭和54年3月31日	枚方寝屋川消防組合 四條畷市	
昭和54年3月31日	枚方寝屋川消防組合 大東市	
昭和54年3月31日	枚方寝屋川消防組合 交野市	
昭和54年5月31日	枚方寝屋川消防組合 八幡市	
平成26年4月1日	枚方寝屋川消防組合 大東四條畷消防組合	

《ガス漏れ及び爆破事故等の防止対策に関する申し合わせ》

協定締結年月日	締結機関	申し合わせの目的
昭和56年7月28日	枚方寝屋川消防組合 大阪瓦斯株式会社京阪支社	ガス漏れ及び爆発事故等の災害発生の防止と被害の軽減を図るために初動、相互連絡及び処理体制等の防災対策について、連携強化を図る。

《列車事故発生時の活動等に関する申し合わせ》

協定締結年月日	締結機関	申し合わせの目的
平成15年2月8日 〔平成20年10月19日 (再締結)〕	京阪電気鉄道株式会社	列車事故発生時の活動の連携及び安全対策について、必要な事項を定める。

《消火砂の災害支援に関する申し合わせ》

協定締結年月日	締結機関	申し合わせの目的
平成18年9月8日 { 平成26年4月22日 (一部改正) 平成30年6月14日 (一部改正) }	株式会社三栄シリカ	特殊火災発生時の消火用として、鋳物用再生砂の提供等の災害支援について、必要な事項を定める。

《重機による災害支援に関する申し合わせ》

協定締結年月日	締結機関	申し合わせの目的
平成14年12月12日 { 平成23年8月11日 (一部改正) }	株式会社前田組	災害発生時における堆積物等の除去作業等、重機による作業が必要な場合における重機の災害支援について、必要な事項を定める。

第6章 救急編

1. 活動状況

本消防組合は昭和36年4月25日から救急自動車1台で救急業務の運用を開始しました。平成3年には救急救命士法の施行と救急隊員の行う応急処置範囲の拡大がなされたことにより、救急業務は大きな飛躍と変革を遂げました。

これらに対応するため、本消防組合では3本署15出張所に17台の高規格救急自動車と159人（内救急救命士93人）の救急隊員（兼務隊員含む）を配置し、あわせて、救急救命士の養成も計画的に推進しており、全ての車両で救急救命士活動を行っています。

救急体制

区分 \ 署別	総数	枚方署	枚方東署	寝屋川署
救急隊数	17(1)※1	4	6(1)※1	7
隊員数	159(15)※1	36	60(15)※1	63
救急車数	23(6)※2	6(2)※2	8(2)※2	9(2)※2

※1の（ ）内の数字は兼務隊又は兼務係員 ※2の（ ）内の数字は非常用車両

・救急件数の動向

昭和36年4月に開始した救急活動は当初年500件弱でしたが、平成30年12月31日現在、救急出動件数は37,751件で、内訳は枚方市が22,513件、寝屋川市が15,100件、管轄外（第二京阪道路や交野市へのドクターカー出動）が138件でした。

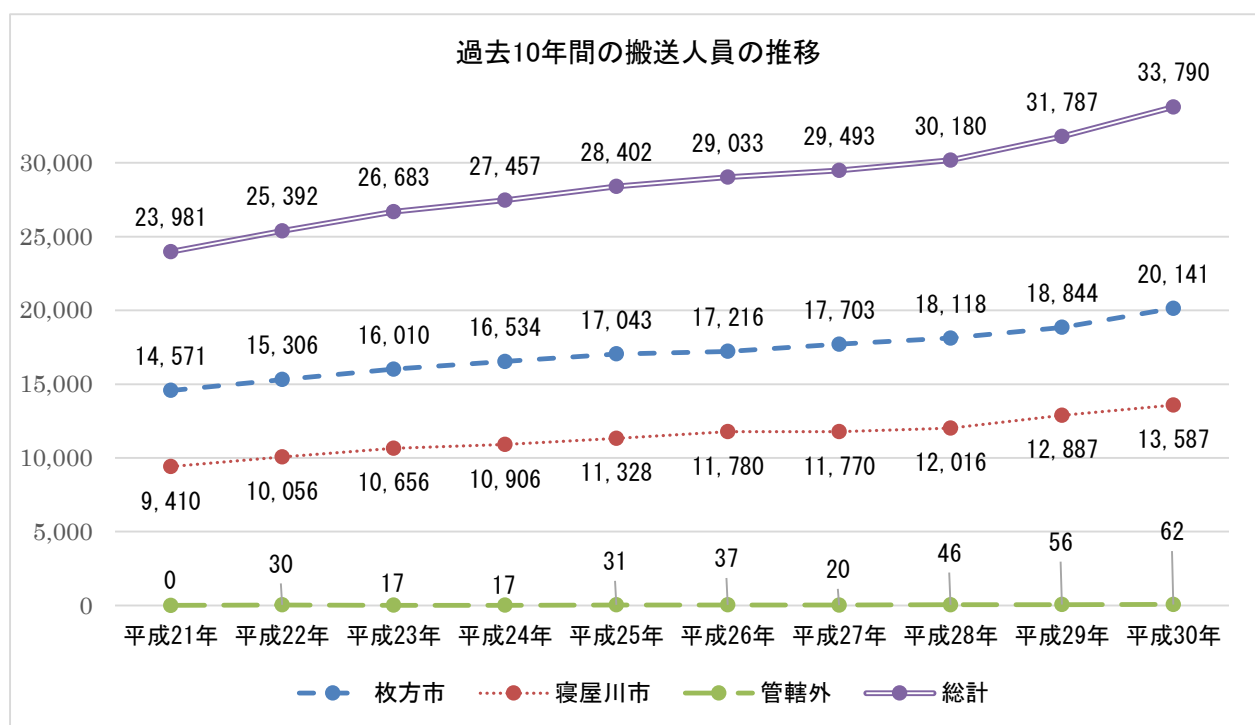
次に示すとおり、過去10年間の出動件数及び搬送人員は、平成21年から右肩上がりに増加しています。平成30年は前年比6.7%の増加で、昨年までの増加率の平均3.6%を大きく上回っています。

人口に対する搬送者の比率は、昭和43年は100人に1人でしたが、平成30年は18人に1人が救急車を利用したことになり、救急需要が高まっています。

過去10年間の出動件数の推移

（年は和暦）

	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
総計	26,499	28,226	29,345	30,357	31,364	32,422	32,863	33,577	35,356	37,751
枚方市	15,982	16,880	17,492	18,080	18,688	19,193	19,669	20,159	21,105	22,513
寝屋川市	10,514	11,316	11,833	12,257	12,643	13,191	13,161	13,362	14,140	15,100
管轄外	3	30	20	20	33	38	33	56	111	138



2. 救急活動の概況

・ 昨年との比較、特筆すべき事案等

平成 30 年中の救急活動状況をみると、大阪北部地震や猛暑による熱中症の増加等の要因があり、昨年比で出動件数は 2,395 件、搬送人員は 2,003 人増加しています。

区分	平成 29 年	平成 30 年	
1 か月 平均	2,946.6 件	3,145.9 件	
1 日 平均	96.9 件	103.4 件	
1 日あたり最多出動	144 件	170 件	※1
1 時間あたり平均	4.0 件	4.3 件	
1 時間あたり最多出動	22 件	23 件	※2
熱中症(疑い含む) 搬送人員(4月～10月)	245 人	503 人	

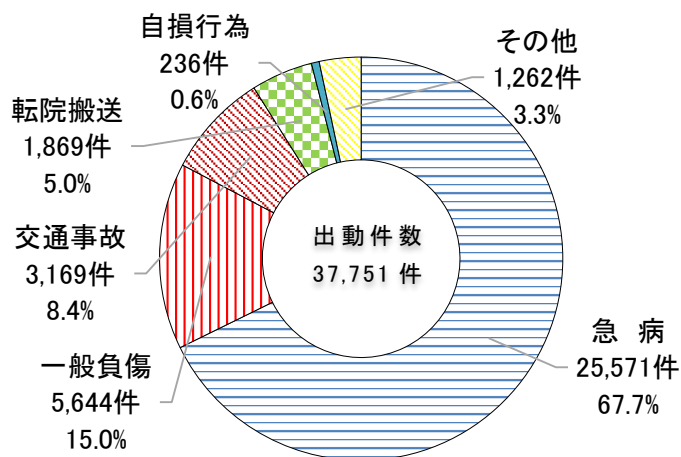
※1 平成 30 年 7 月 18 日 中学校における熱中症多数事案が発生

※2 平成 30 年 6 月 18 日 8 時～9 時 大阪府北部地震

・ 事故種別活動状況

救急出動件数を事故種別ごとにみると、第1位が急病、第2位が一般負傷、第3位が交通事故、以下、転院搬送、自損行為の順となっています。

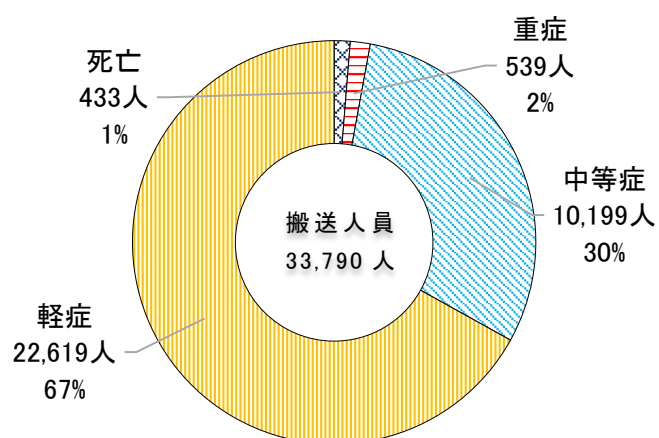
また、搬送人員にあっても出動と同順位となっています。



・ 症度別搬送人員状況

搬送人員を症度別ごとにみると、軽症と中等症で全体の97%に達しています。

また、搬送した傷病者には、心肺停止状態であると考えられる傷病者602人（1.8%）が含まれています。



・ 年齢区分別搬送人員状況

搬送人員を年齢区分別ごとにみると、高齢者が多く、全体の58%を占めています。

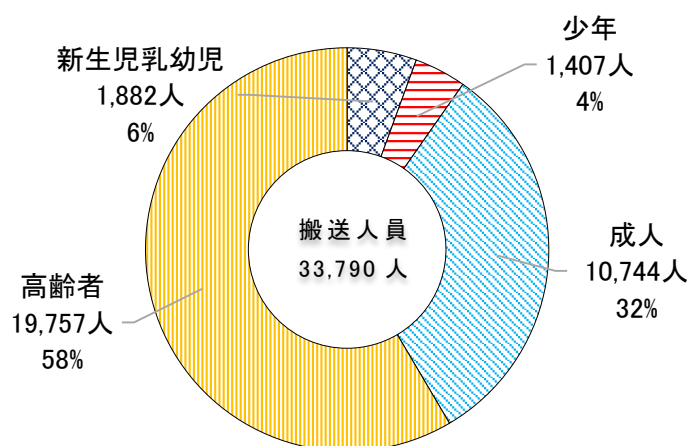
※年齢区分の定義（総務省消防庁）

新生児・乳幼児：満7歳未満

少年：満7歳以上満18歳未満

成人：満18歳以上満65歳未満

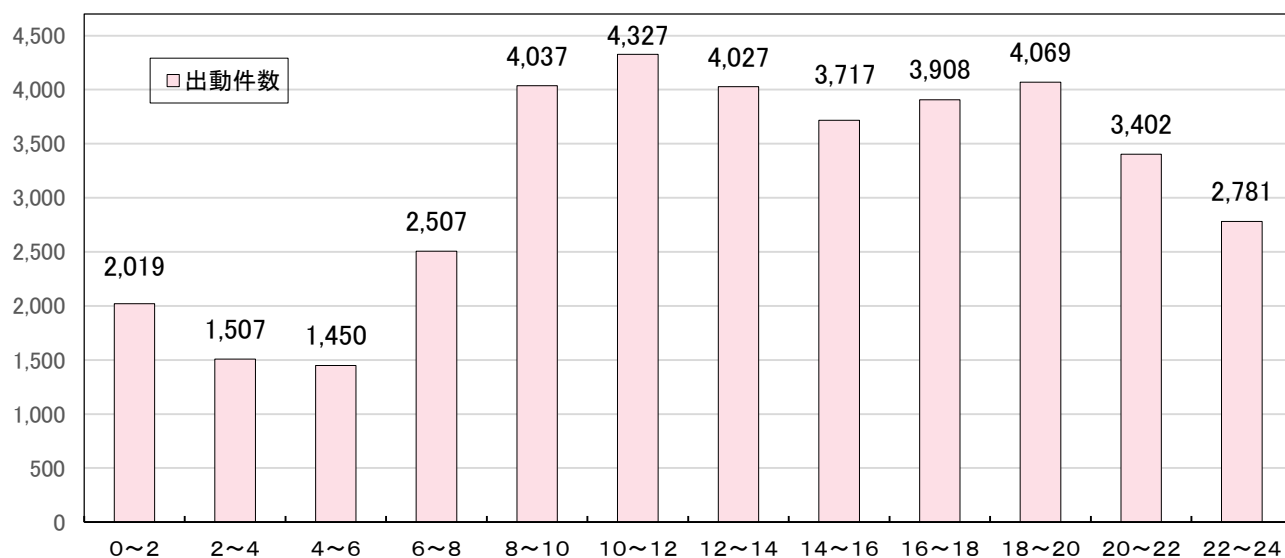
高齢者：満65歳以上



・ 時間帯別救急出動状況

時間帯別救急出動及び搬送状況では、下表のとおり10時から12時までが多く、4時から6時までが一番少なくなっています。

事故種別と時間帯との関連では、交通事故は17時から18時まで、急病は9時から10時までに多い傾向があります。

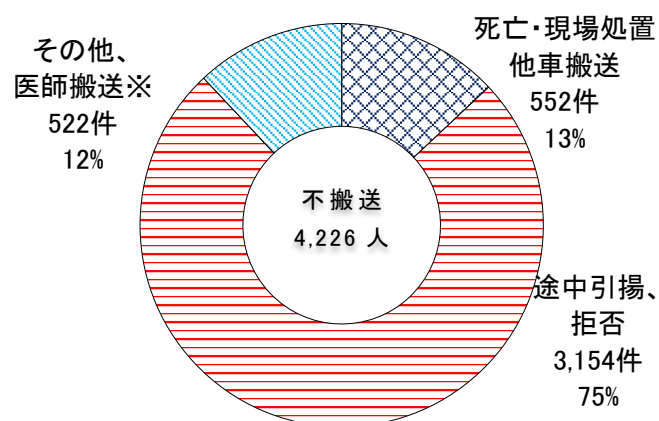


・ 不搬送の状況

救急出動要請があり、出動した事案の内、医療機関に搬送しなかったものを不搬送としています。

不搬送には、救急隊等が到着後、現場処置して救急車での医療機関への搬送を拒否される場合や、残念ながら死亡が確認できる状態の場合等、結果として不搬送になってしまうことがあります。

しかしながら、緊急性の無いもの、誤報、悪戯、酩酊等の理由で、出動途上や現場到着後に救急車での搬送を拒否されたものが不搬送理由の75%を占めています。



※ドクターカーとして医師を傷病者のもとへ搬送すること

・発生場所別搬送医療機関

発生場所と搬送医療機関の関係について、搬送医療機関の選定は距離だけでなく傷病程度や処置内容によるため、一概に直近の医療機関を選定するものではありませんが、管内(枚方市、寝屋川市)や管内から近い場所へ搬送できたかを示す参考値となります。

発生場所	管外出動含む消防組合合計			枚方市		寝屋川市	
収容医療機関	計	管内	管外	市内	市外	市内	市外
搬送人員	33,790	27,628	6,162	16,317	3,823	8,061	5,526
割合		81.8%	18.2%	81.0%	19.0%	59.3%	40.7%

3. 応急手当の状況と普及啓発活動

・一般市民実施の応急手当及び救命手当

傷病者の救命効果を向上させるためには、救急車が到着するまでの間に一般市民による応急手当や救命手当が行われることが重要です。

市別	処置別	計	胸骨圧迫 心肺蘇生	止血	保温	除細動 (AED)	その他 ※
総計		249	145	28	28	5	43
枚方市		149	94	18	7	3	27
寝屋川市		100	51	10	21	2	16

※その他は、被覆、固定、人工呼吸等

・応急手当の普及啓発活動状況

普及啓発用資器材の状況は、蘇生訓練用人形の成人用、小児用、乳児用及びAEDトレーナーを常備しており、応急手当の普及に寄与しています。

署別実施状況

署別	区分	実施回数	対象人数
総数		247回	10,012人
枚方署 (消防本部含)		129回	7,003人
枚方東署		53回	1,292人
寝屋川署		65回	1,717人

普及員実施分※

署別	区分	実施回数	対象人数
総数		255回	6,990人
枚方署 (消防本部含)		111回	3,217人
枚方東署		46回	1,319人
寝屋川署		98回	2,454人

※普及員実施分とは「応急手当普及員講習会」を受講され、応急手当普及員として認定された市民が、救命講習会を実施した回数と受講人数のこと

・救命講習会

本消防組合では普通救命、上級救命、応急手当普及員、また、心停止になった方が成人の場合特に重要である胸骨圧迫とAEDに特化した「救命入門コース」の各講習会を開催しています。これらの講習会を通じて倒れている人を見かけたら、勇気を持って駆け寄り、心肺蘇生を実施するような地域になる事を目指しています。併せて、心停止の予防も市民に知ってもらい、心停止になる人が少ない社会を目指すことも重要であると考えています。

・PUSH～いのちの授業

平成26年4月より枚方市・寝屋川市の小学校・中学校を対象に授業の一環として”PUSH～いのちの授業”を行っています。自分の命や他人の命を大切にする心を育み、倒れている人がいれば勇気を持って一歩踏み出すことのできる児童を育て、安全・安心な町づくりに繋げています。

講習種別

	平成30年中の実施回数及び受講者数	
PUSH～いのちの授業	66回	5,871人
普通救命講習会	52回	1,185人
救命入門コース	74回	1,990人
普及員講習会	5回	102人
普及員再講習会	6回	119人
上級救命講習会	2回	56人
応急手当指導員講習会	16回	43人

PUSH～いのちの授業
の修了証として配布する缶バッチ



・救命講習会における啓発活動

講習会の場でよく「餅が詰まる事って実際にあるのですか?」「家で気を付けることは?」といった質問があり、講習会の場では身近な事故の件数等をお知らせして、関心を高めてもらうようにしています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
餅を詰まらせた 出動件数	6	1	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1
浴室内心肺停止 傷病者数※	21	11	5	1	5	3	5	3	3	5	6	3

※急激な温度変化により血圧が上下することで、心臓などの血管に大きな負担がかかり心筋梗塞・脳梗塞・脳出血を引き起こしやすくなります、ヒートショック現象といい、冬の浴室で起こりやすい事案です。

・ 勇気こころのカード

救急現場において、救急通報してから救急車が到着するまでの間、バイスタンダー（居合わせた人）による心肺蘇生や応急手当等が大変重要になります。

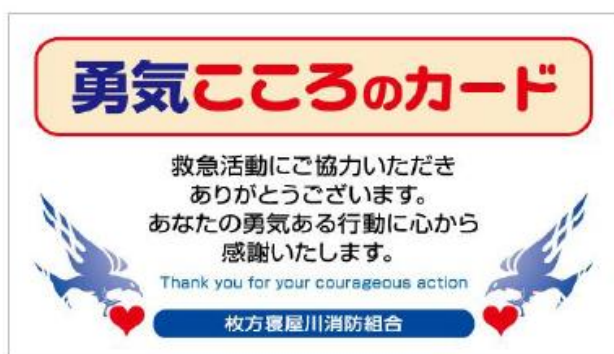
しかしながら、一刻を争う救急事案において勇気ある行動に感謝を伝える猶予もなく救急隊が現場を離れたり、また、勇気ある行動を行ったことによるバイスタンダーの精神的負担（ストレス）が非常に大きいと思われます。

そこで、本消防組合では、平成29年1月16日から救急活動に協力していただいたバイスタンダーに対して感謝の気持ちを込めて「勇気こころのカード」を配布しています。

配布対象者は次のとおりです。

- (1) 救急現場にて心肺蘇生を実施した協力者
- (2) 救急現場にて応急手当を実施した協力者
- (3) 現場指揮者（救急隊長等）が必要と認めた協力者

名刺サイズ（表面）



（裏面）



4. 「救急安心センターおおさか」

・「救急安心センターおおさか」への参画と主な業務

本消防組合では、大阪市の事業として平成21年10月から運用されている「救急安心センターおおさか」に平成22年4月から府下13消防本部とともに参画し、平成23年4からは府下全消防本部が参画しています。

近年、救急の需要が著しく増える中、新たな取り組みとして注目されています。

24時間、365日体制で医療機関案内及び救急医療相談窓口として看護師、医師により相談対応し、必要時には救急車を出動させるなどのサービスを提供しています。

- (1) 病気やけがの状態から緊急性について助言します。
- (2) 病気やけがの状態から応急処置について助言します。
- (3) 症状に応じた適切な医療機関を案内します。
- (4) 救急医療相談から救急車の出場まで1本の電話で対応します。

・問合せ内容及び各件数

平成30年に枚方市内からの問合せは7,515件、寝屋川市内からの問合せは5,367件ありました。このうち、救急安心センターおおさかを通しての救急要請は枚方市で123件、寝屋川市で92件でした。

		枚方市	寝屋川市
救急車の必要があったもの		123	92
医療相談		3,640	2,499
応急手当指導		-	-
医療機関問合せ	病院問合せ（必要科目が明確なもの）	3,400	2,533
	病院問合せ（必要科目が不明確なもの）	95	70
	#8000（小児救急相談）	4	1
	中毒110番（洗剤、医薬品の誤飲等）	35	26
	心の救急相談（精神科医療等）	27	19
	小計	3,561	2,649
苦情		-	-
誤接		-	-
いたずら		-	-
その他		191	127
合計		7,515	5,367



5. ドクターカー事業

高齢化が進む中、救急件数は増加傾向にあり、救急搬送で病院到着までに時間がかかる現状で、今後も救急出動件数は更に増加することが予想されます。こうしたことを背景に、救急医療体制を一層充実させ、救命処置等を必要とする傷病者が発生した救急現場に一刻も早く医師が出場して医療行為を行うことにより、地域住民の救命率及び社会復帰率の向上並びに処置後の良好な改善を図ることを目的として、関西医科大学附属病院高度救命救急センターと連携し、平成29年4月からドクターカーを運用しています。

ドクターカー出動件数

	平成29年※	平成30年
総 計	271	376
枚 方 市	168	203
寝 屋 川 市	74	137
交 野 市	28	35
管轄外（第二京阪道路等）	1	1

※平成29年は4月3日運用開始からの件数

ドクターカーとなる救急車には
マグネットのステッカーを貼付



・ドクターカー運用イメージ

ドクターカーを必要と判断した事案には、傷病者のいる場所に直近の救急車と、医師が同乗しているドクターカーが関西医科大学附属病院高度救命救急センターから出動します。

目撃のある心肺停止（疑い含む）事案では、消防小隊も出動します。（P A連携といいます）

ドクターカー



第7章 火災編

1. 火災の概況

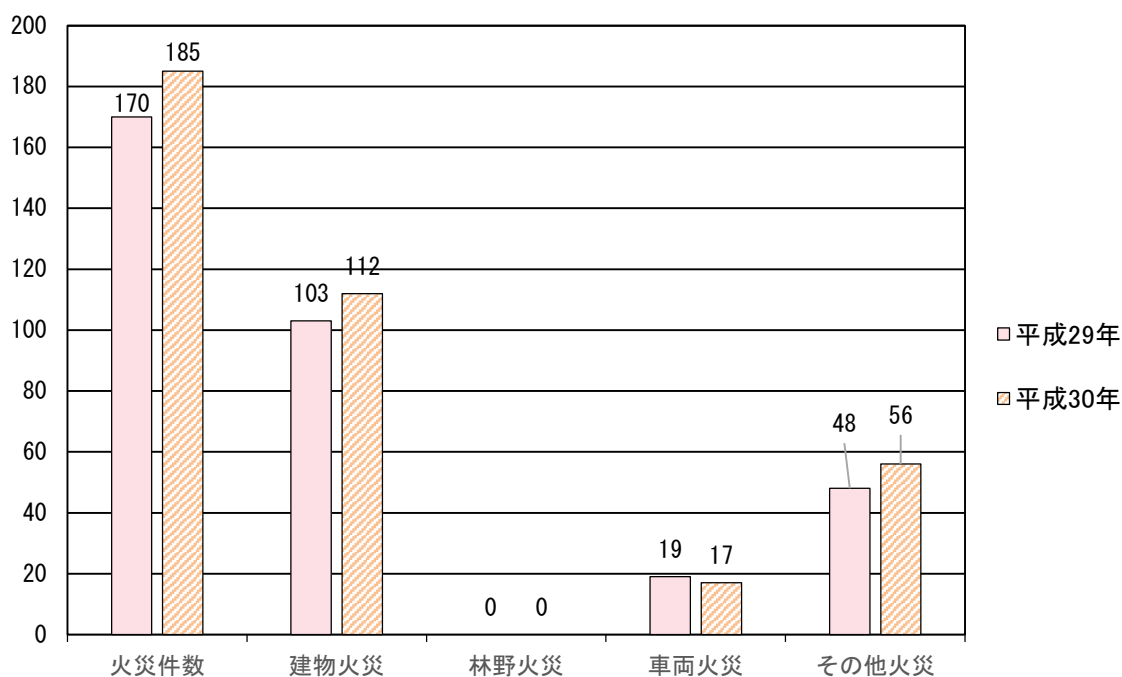
・平成30年中の火災概況

平成30年中における火災件数は185件で、前年と比べ15件増加しています。

市別でみますと、枚方市は111件（枚方署52件・枚方東署59件）で前年より3件（2.6%）減少し、寝屋川市は74件で前年より18件（32.1%）増加しています。

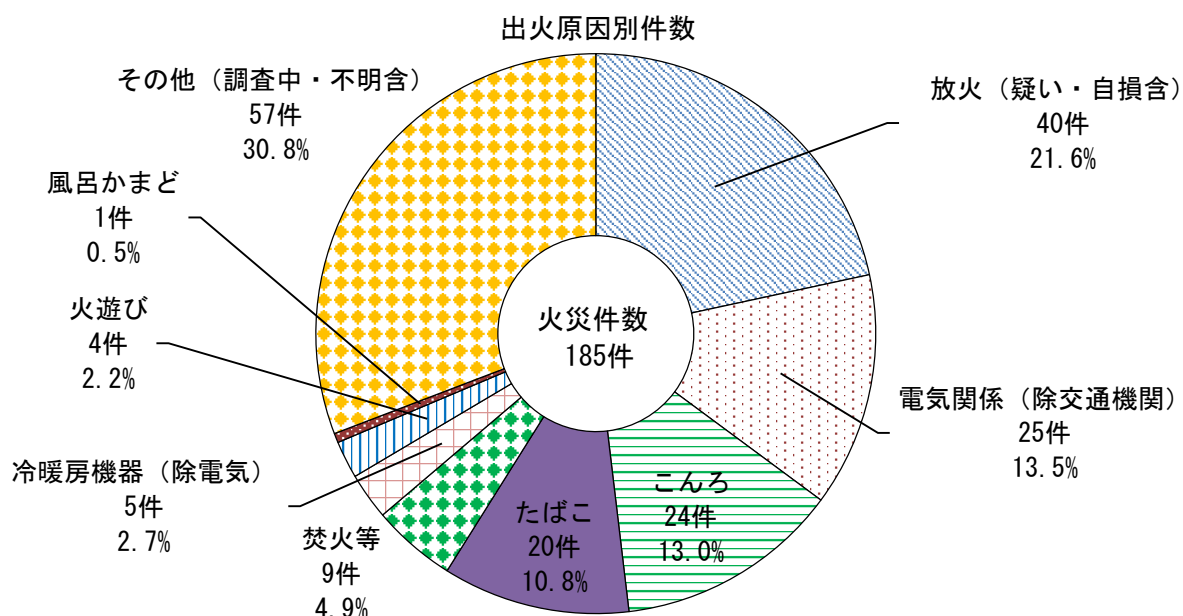
この火災件数を火災種別でみますと、建物火災は112件（枚方市61件、寝屋川市51件）で全体の60.5%、車両火災は17件（枚方市14件、寝屋川市3件）で全体の9.2%、その他の火災は56件で、そのうち空地や河川敷等での枯草等の火災は12件で全体の6.5%、その他廃材・ゴミ等の火災は44件で全体の23.8%となっています。

これらを前年と比べると建物火災は9件（8.7%）増加し、その内訳は枚方市で5件減少、寝屋川市で14件増加しています。車両火災は2件（10.5%）減少し、その他の火災のうち、枯草等の火災は8件（40.0%）減少し、廃材・ゴミ等の火災は16件（57.1%）増加しています。



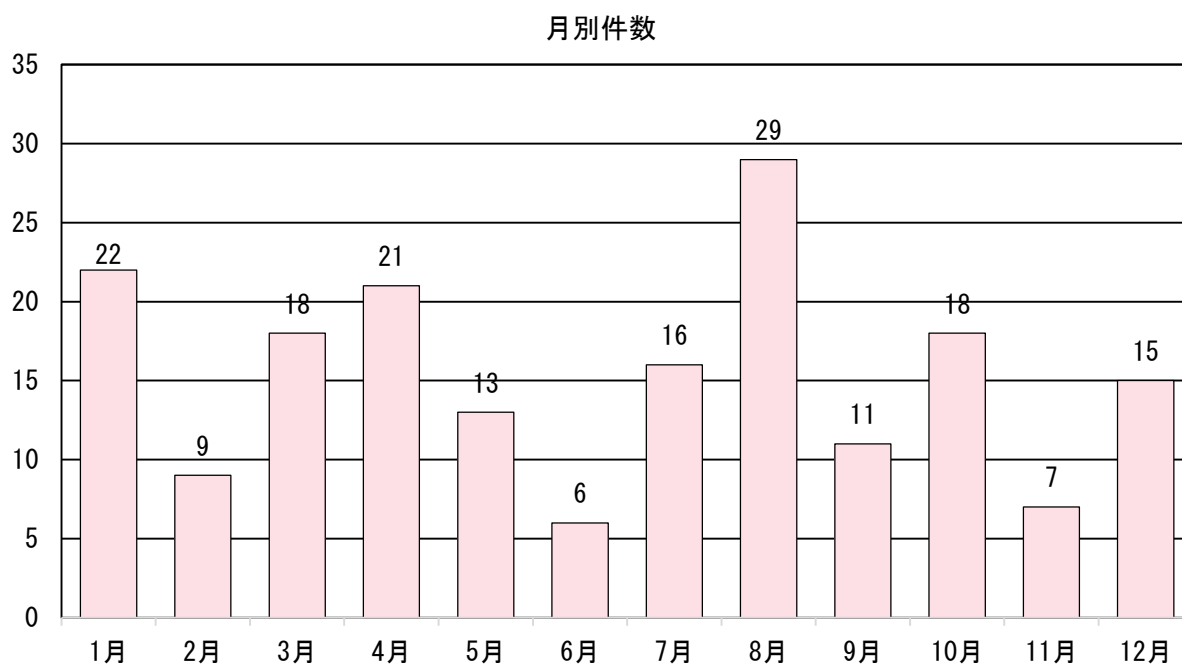
・ 出火原因

主な出火原因としては、「放火（疑い・自損含）」が 40 件（21.6%）、「電気関係（除交通機関）」が 25 件（13.5%）、「こんろ」24 件（13.0%）、「たばこ」20 件（10.8%）、「焚火等」9 件（4.9%）の順となっています。



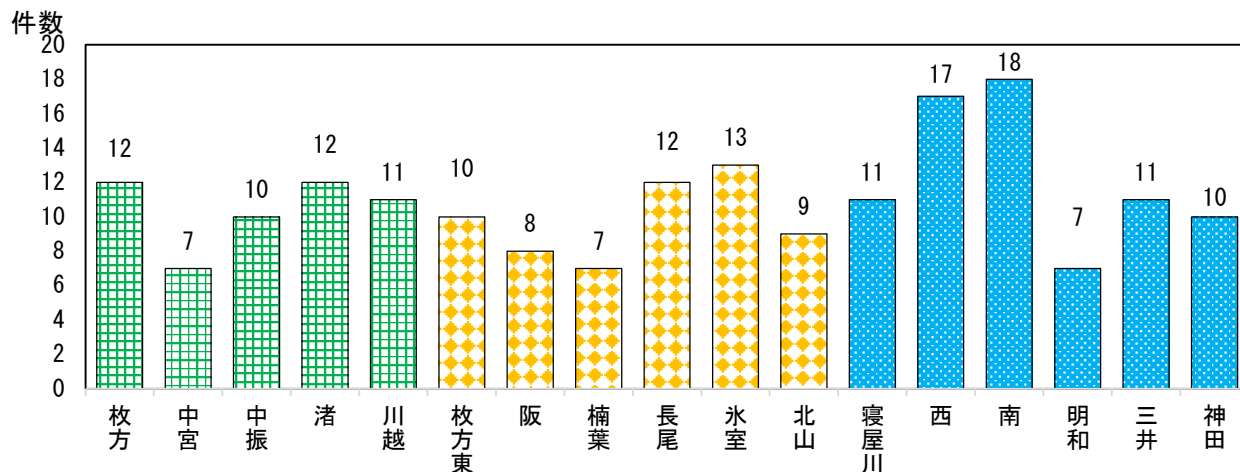
・ 月別火災発生状況

出火件数を月別で見ますと、最多出火月は 8 月の 29 件（15.7%）、次いで 1 月の 22 件（11.9%）、4 月の 21 件（11.4%）と続いており、最少出火月は 6 月の 6 件（3.2%）となっています。



・署所別火災発生件数

出火件数を署所別で見ますと、南出張所が18件(9.7%)、西出張所が17件(9.2%)、氷室出張所が13件(7.0%)と続いています。最少の署所は、中宮出張所、楠葉出張所、明和出張所が各7件(3.8%)となっています。



・死傷者数

火災による死者数は、5人(枚方市2人、寝屋川市3人)で前年より3人増加となっています。

火災による負傷者数は、45人(枚方市25人、寝屋川市20人)で前年より8人(枚方市で5人減少、寝屋川市で13人増加)増加しています。

・損害額

火災による損害額は2億6,723万9千円(枚方市1億6,844万9千円、寝屋川市9,879万円)で、前年より2億352万8千円(76.2%)増加しており、火災1件当たり約144万5千円が灰となっています。

・出火率(人口1万人あたりの火災件数)

出火率は2.91件(枚方市2.76件、寝屋川市3.16件)となっています。

なお、前年の出火率は、2.66件(枚方市2.82件、寝屋川市2.38件)でした。

・死者発生率(人口10万人あたりの火災による死者数)

死者発生率は0.79人(枚方市0.5人、寝屋川市1.28人)となっています。

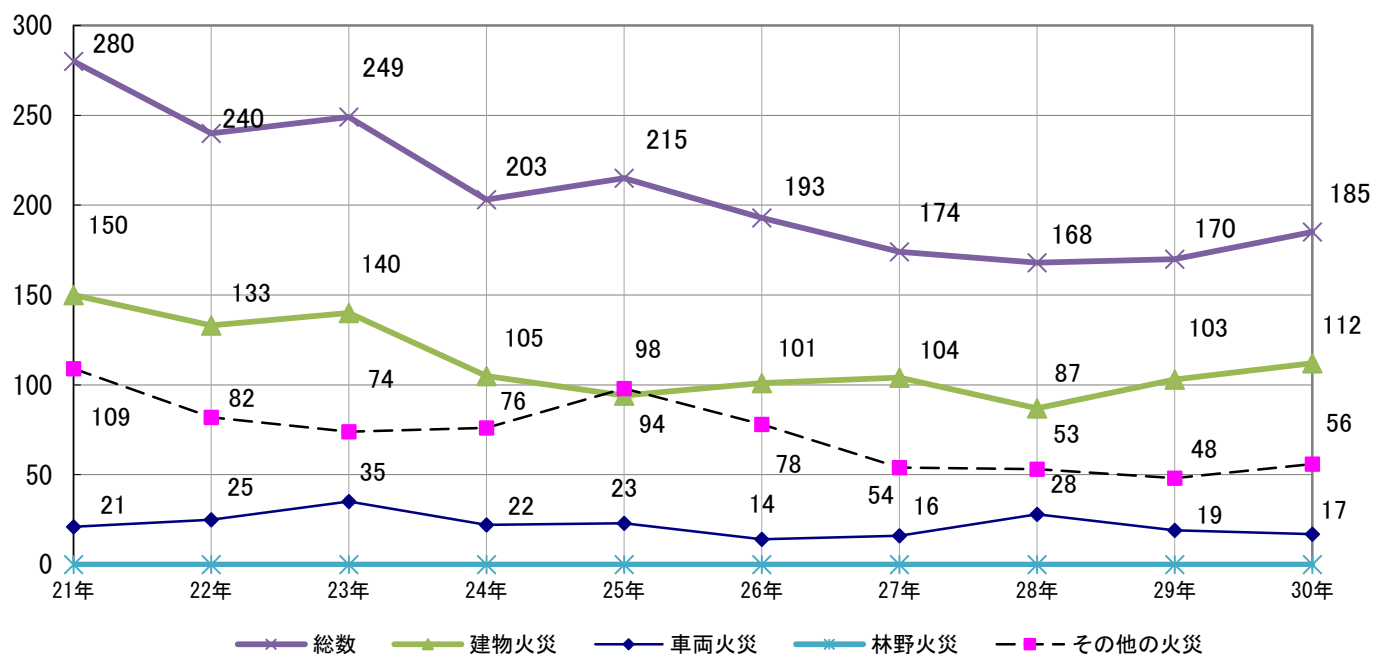
なお、前年の死者発生率は0.31人(枚方市0.25人、寝屋川市0.42人)でした。

(全国及び大阪府の出火率・死者発生率は資料編40ページ参照。)

・過去 10 年間の火災発生状況

本消防組合管内における火災件数は、平成 20 年及び平成 21 年の 280 件がピークで、ここ数年減少傾向にありましたが、平成 30 年の火災件数は 185 件（前年比 15 件増加）、内訳は建物火災件数 112 件（前年比 9 件増加）、車両火災 17 件（前年比 2 件減少）、その他火災 56 件（前年比 8 件増加）となっています。

件数



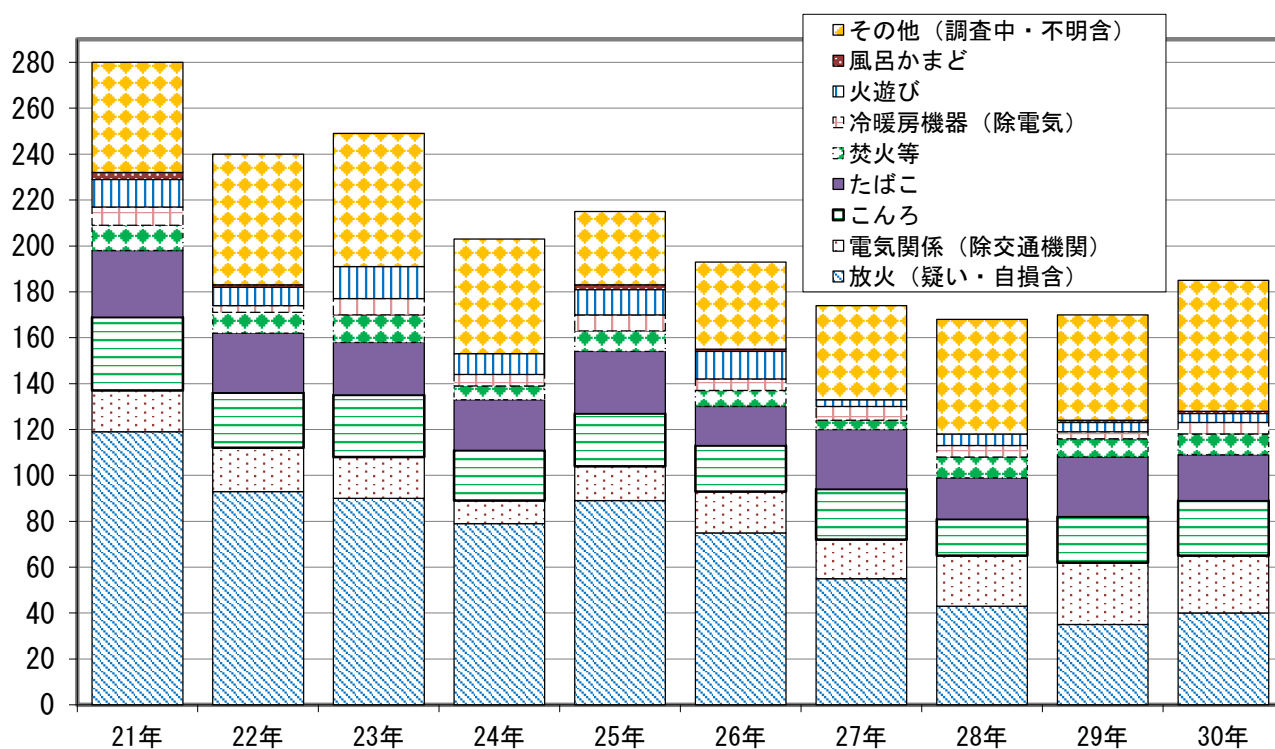
・過去 10 年間の火災件数表

種別 \ 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年
総 数	280	240	249	203	215	193	174	168	170	185
建 物 火 災	150	133	140	105	94	101	104	87	103	112
林 野 火 災	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
車 両 火 災	21	25	35	22	23	14	16	28	19	17
そ の 他 の 火 災	109	82	74	76	98	78	54	53	48	56

・過去 10 年間の出火原因別火災件数

過去 10 年間の本消防組合管内における出火原因別火災件数は、放火（疑い・自損を含む。）が出火原因のトップを占め、電気関係とたばこ、こんろが出火原因の上位を占めています。

・過去 10 年間の出火原因別件数推移



原因 \ 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年
総 数	280	240	249	203	215	193	174	168	170	185
放 火（疑い・自損含）	119	93	90	79	89	75	55	43	35	40
電 気 関 係 （ 除 交 通 機 関 ）	18	19	18	10	15	18	17	22	27	25
た ば こ	29	26	23	22	27	17	26	18	26	24
こ ん ろ	32	24	27	22	23	20	22	16	20	20
焚 火 等	11	9	12	6	9	7	4	9	8	9
火 遊 び	12	8	14	9	11	12	3	5	4	4
冷 暖 房 機 器 （ 除 電 気 ）	8	3	7	5	7	5	6	5	3	5
風 呂 か ま ど	3	1	-	-	2	1	-	-	1	1
そ の 他 （ 調 査 中 ・ 不 明 含 ）	48	57	58	50	32	38	41	50	46	57

※ その他には、静電気、衝突の火花、排気ダクト等が含まれます。

2. 火災調査

・火災調査の目的

火災調査は、消防法の規定に基づき、消防行政を推進していくうえで必要とする基本資料の収集を図り、総合的な分析をすることにより、火災の全貌を把握しその中に潜む問題点を解明するものです。

また、火災調査の究極的な目的は、収集した基本資料を基に、効果的な火災予防上の諸施策及び警防施策を策定することです。

最近の火災の原因は、近年の都市化及び生活様式の変化並びに新開発機器の出現等により、複雑多様化しており、従来にない要因による火災事例が見られるなど、原因の究明に困難をきたすケースが増加する傾向にあります。

また、社会的要望は裁判所・捜査機関・弁護士会等の機関からの照会だけでなく、平成7年に制定された製造物責任法（PL法）による火災原因等の照会、並びに平成13年に施行された情報公開条例及び個人情報保護条例に基づく、火災調査結果に対する公開・開示請求等が増える傾向にあります。このようなことから今後、益々、公正中立な立場で科学的・客観的に現場検証を行い、出火原因の究明、証拠資料としての価値のより高い火災調査書類の作成が求められています。これらに対応するために調査担当者の資質の向上を目的とした研修等を実施し、火災調査体制の充実を図っていく必要があります。



燃焼実験

・調査技術の向上（平成30年中の研修等）

実施月	内 容	場 所	参加人員
1 月	調査技術会議（大阪会場）	大阪市	2 人
1 月	東ブロック消防長会 火災調査研修会	大阪市	7 人
5 月	大阪府立消防学校 専科教育火災調査科	府立消防学校	1 人
6 月	東ブロック消防長会 燃焼実験	府立消防学校	8 人
7 月	神戸市消防学校 火災調査課程	神戸市消防学校	1 人
9 月	兵庫県下消防長会 火災調査研究会	神戸市	4 人
9 月	大阪市消防局 火災調査事例発表会	大阪市消防局	4 人
9 月	東ブロック消防長会 火災事例研究会	東大阪市	8 人
10 月	京都府消防長会 火災調査業務研究会	京都市	4 人
10 月	大阪市消防局 実務型研修（火災調査研修）	大阪市消防局	1 人
11 月	大阪府下消防長会 火災調査事例発表会	岸和田市	8 人
11 月	全国消防技術者会議・一般発表	東京都	2 人
12 月	東ブロック消防長会 製品評価技術基盤機構研修	大阪市	4 人

・火災調査の実施

本消防組合が実施する火災調査は、「枚方寝屋川消防組合火災原因調査規程・火災損害調査規程」に基づき、警防部警防課の専従調査担当者12人の他、各署所の消防小隊によって行われています。

なお、消防小隊が担当する火災調査は、「消防小隊が行う火災等の調査実施規程」に規定されており、火災種別が建物火災（ぼや）、林野火災、その他の火災で出火原因が明らかであり、今後、民事訴訟等の問題が生じないと判断されるものです。

	調 査 隊		消 防 小 隊	
火 災	170 件	91.9%	15 件	8.1%
焼 損 事 故	24 件	42.1%	33 件	57.9%

・ 最近の火災調査を取り巻く国等の動き

日 付	内 容
平成 6 年 7 月 1 日	製造物責任法（P L 法）公布
平成 7 年 1 月 1 日	火災報告取扱要領の全面改正
平成 7 年 6 月 5 日	火災原因調査体制の整備・充実について（通知）
平成 7 年 7 月 1 日	製造物責任法（P L 法）施行
平成 7 年 8 月 17 日	火災原因調査等支援組織の設置（消防科学総合センター内）
平成 8 年 3 月	「出火機器等の改善指導マニュアル」発表
平成 8 年 3 月	火災原因調査体制充実方策検討報告書発表
平成 8 年 9 月 17 日	火災原因調査体制整備充実の推進に係る基本方針（通知）
平成 9 年 12 月	火災原因調査体制の現況調査結果
平成 10 年 10 月	火災原因調査体制の整備充実について（通知）
平成 10 年 11 月	火災原因調査体制等充実強化に関する検討委員会の開催
平成 11 年 7 月	火災原因調査体制等充実強化の推進について（通知）
平成 13 年 4 月 19 日	「大阪府下火災調査相互応援に関する申し合わせ」について（通知）
平成 13 年 9 月 7 日	「大阪府下火災調査相互応援に関する申し合わせ」に係る運用要領（施行）
平成 15 年 1 月 23 日	火災原因調査体制の充実・強化について（通知）
平成 15 年 9 月 1 日	「消防庁長官が実施する火災原因調査」消防法一部改正（施行）
平成 16 年 1 月 1 日	火災報告のオンライン化
平成 18 年 9 月 19 日	電気用品及び燃焼機器に係る火災等事故について（通知）
平成 19 年 9 月 25 日	自動車の火災等事故に係る報告について（通知）
平成 24 年 6 月 27 日	消防法の一部改正（消防機関による火災調査権の拡大等）公布
平成 25 年 4 月 1 日	消防法の一部改正（消防機関による火災調査権の拡大等）施行

・ 平成 30 年中の照会等の件数

業 務		件 数
鑑定・鑑識依頼		9 件
他機関からの照会等	刑事訴訟法第 197 条第 2 項に基づく照会	3 件
	民事訴訟法第 226 条に基づく照会	1 件
	弁護士法 23 条の 2 第 1 項に基づく照会	0 件
	その他の照会	0 件
個人情報保護条例に係る部分開示		2 件
情報公開条例に係る部分公開		0 件

第8章 救助編

1. 救助体制

昭和 43 年 12 月人命救助技術と知識を習得した選抜隊員 10 人（2 隊）で編成された特別救助隊が発足しました。都市構造の変化とともに、救助業務を着実に消防の一分野として形成していくなか、昭和 61 年 4 月の消防法改正により救助隊の位置づけが明確にされました。

また、平成 21 年 4 月 1 日には、複雑多様化する災害の中、大規模災害や特殊災害等に対応する体制を構築するために、枚方消防署に高度救助資器材を配備し、隊員 15 人（3 隊）で編成した高度救助隊が発足しました。

現在では、特別救助隊員も合わせた 9 小隊 45 人（枚方、枚方東及び寝屋川消防署の本署に 15 人ずつ）の専門的な教育訓練を受けた高度な知識・技術を有する専任救助隊員が、人員及び救助資器材を最大限に活用し、人命救助を主任務として活動しています。

各署ともⅢ型救助工作車を 1 台配備し、いずれもクレーン、ウインチ、照明装備などを積載しています。

2. 救助活動の概要

平成 30 年中における救助活動状況をみると、事故件数は 336 件、活動件数 316 件であり、前年と比較すると事故件数は 59 件（21.3%）増加し、活動件数は 53 件（20.2%）増加しています。また、救助人員は 190 人であり、前年の 186 人に比較すると 4 人（2.2%）増加しています。

・救助活動件数及び救助人員の推移

区分 年別	救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率 （%）	人員	対前年増減率 （%）
平成 26 年	209	△ 8.3	57	△ 16.2
平成 27 年	196	△ 6.2	59	3.5
平成 28 年	220	12.2	73	23.7
平成 29 年	263	19.5	186	154.8
平成 30 年	316	20.2	190	2.2

※ 活動件数：救助事故種別が適用されている事案の内、途中引揚を除く。
（火災の場合は救助開始時刻が判定できている事案とする。）

※ 救助人員：平成 29 年以降は算定基準を国への報告基準に合わせたもの。

・市別活動状況

区分 件人員	総数	枚方市	寝屋川市	管外
事故件数	336 件	185 件	146 件	5 件
救助人員	190 人	115 人	72 人	3 人

・救助人員の内訳

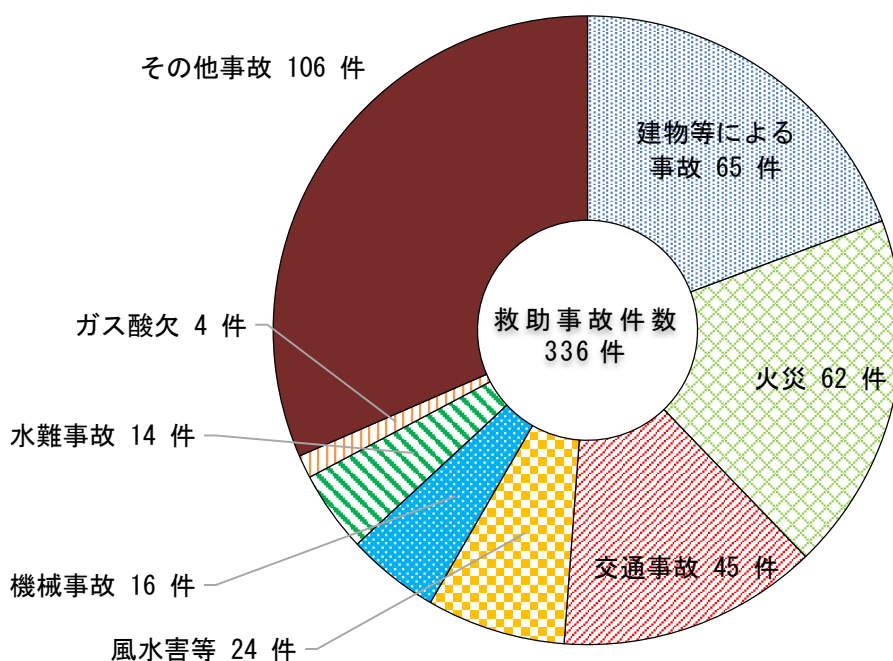
総数	死亡	重症	中等症	軽症	その他	負傷 無し
190 人	23 人	4 人	38 人	56 人	50 人	19 人

・救助事故種別件数

救助事故を種別にみますと、建物等による事故が 65 件（19.3%）と最も多く、2 番目に火災が 62 件で全体の 18.5%、次いで交通事故による出動が 45 件（13.4%）、風水害等が 24 件（7.1%）となっています。なお、その他事故には消防事故に出動したが誤報、虚報であった場合も含みます。

建物等による事故が多くなった主因は、大阪北部地震で建物内の閉じ込めの事案が多くあったためです。

救助事故種別件数



3. 国際消防救助隊

1987 年（昭和 62 年）9 月「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」が制定され、海外で発生した大規模災害に対して人道上及び国際協力推進の観点から、被災国政府の要請に応じるために国際消防救助隊（I R T－J F）が発足しました。現在、全国で 77 本部 599 人の消防救助隊員が登録されています。

本消防組合におきましても、発足当初から登録をし、日常より訓練に励み派遣体制の万全を図っています。（平成 22 年 4 月 1 日改正 登録隊員 6 人）

また、国際協力事業団（J I C A）が開催する、国際緊急援助隊（救助チーム）の訓練等に登録隊員を派遣し、警察庁・海上保安庁等の関係省庁の隊員との合同訓練や研修に参加しています。

・国際消防救助隊員の訓練研修参加状況

種 別	実 施 年 月 日	開 催 場 所
平成 23 年度技術訓練	平成 24 年 1 月 24 日～1 月 28 日	東京都立川市
平成 24 年度連携訓練	平成 24 年 11 月 1 日～11 月 2 日	京都府京都市
平成 25 年度連携訓練	平成 25 年 12 月 10 日～12 月 11 日	兵庫県三木市
平成 26 年度国際セミナー	平成 27 年 2 月 26 日～2 月 28 日	滋賀県大津市
平成 27 年度連携訓練	平成 27 年 9 月 9 日～9 月 10 日	愛知県名古屋市
平成 28 年度国際セミナー	平成 29 年 2 月 22 日～2 月 24 日	滋賀県大津市
平成 29 年度連携訓練	平成 29 年 10 月 5 日～10 月 6 日	大阪府堺市
平成 30 年度技術訓練	平成 30 年 10 月 22 日～10 月 27 日	東京都立川市

4. 訓練実施状況

救助活動には「安全性・確実性・迅速性」が要求され、救助事象も広範囲に及び、それに従事する隊員には、強靱な体力、不屈の精神力と併せて災害現場において救助資機材を高度に活用する知識、技術が必要とされます。

このため、救助隊員は日々弛まぬ訓練を繰り返し、市民の生命及び身体の安全確保に努めています。

・隊別訓練実施状況

隊別 訓練内容		組 合		枚 方 救 助 隊		枚 方 東 救 助 隊		寝 屋 川 救 助 隊	
		回 数	1 回 平均 訓練時間	回 数	1 回 平均 訓練時間	回 数	1 回 平均	回 数	1 回 平均 訓練時間
総 数		2,684	1:42	588	1:37	1,089	1:28	1,007	2:00
体 力 練 成 訓 練		246	1:24	73	1:40	74	0:51	99	1:38
ロ ー プ 基 本 ・ 応 用 訓 練		290	1:21	7	1:17	233	1:22	50	1:19
検 索 ・ 救 助 訓 練		18	1:06	2	1:00	10	1:17	6	0:52
各 種 救 助 器 具 取 扱 訓 練		577	1:19	130	1:34	198	1:14	249	1:17
各 種 救 助 事 象 想 定 訓 練		297	1:09	76	1:05	78	1:15	143	1:08
そ の 他 の 訓 練	規 律 訓 練	5	1:24			4	1:30	1	1:00
	訓 練 指 導	1	1:00			1	1:00		
	水 難 訓 練	95	1:47	20	1:51	43	1:34	32	2:03
	特 別 訓 練	402	2:17	69	2:12	163	2:21	170	2:14
	合 同 訓 練	84	2:46	25	1:39	25	2:49	34	3:35
	そ の 他 訓 練	669	2:03	186	1:39	260	1:20	223	3:15

- (注) 1. 「体力練成訓練」 柔軟体操・ランニング・サーキットトレーニング・ウェイトトレーニング等の体力を練成するための訓練
 2. 「ロープ基本・応用訓練」 検索・登はん・確保・ロープブリッジ等の基本訓練及びこれを基礎としたロープによる進入、救出等の応用訓練
 3. 「検索・救助訓練」 救助隊員の検索・救助技術の向上のため、隊員が一体となって行う連携訓練
 4. 「各種救助器具取扱訓練」 消防救助操法の基準（昭和53年9月14日付消防庁告示第4号）第2編第1章から第18章までに規定する消防救助操法で第16章に規定する「ロープ操法」以外のもの並びにこれらに類する各種器具の取扱訓練
 5. 「各種救助事象想定訓練」 各種基本・応用訓練を基礎として実際の救助活動を想定した総合訓練
 6. 「その他の訓練」 1から5以外の訓練で各地域の特性に応じた水難訓練・合同訓練・訓練指導・特別訓練（近畿・全国大会）・規律訓練等

5. 全国消防救助技術大会

この大会は、人命救助技術を練磨することにより、市民の生命・身体の安全確保と福祉の増進に寄与することを目的として、昭和 47 年から毎年開催され、陸上の部 7 種目（基礎訓練 2 種目、連携訓練 5 種目）、水上の部 7 種目（基礎訓練 2 種目、連携訓練 5 種目）からなり、全国のレスキュー隊員約 25,000 人の中から、選抜された約 1,000 人の精鋭がその技術を披露します。本消防組合の隊員もこの大会に参加しています。

・過去 5 年間の消防救助技術近畿地区指導会出場状況

種目別 出場年 及び チーム数		陸上の部							水上の部						
		基礎訓練		連携訓練					基礎訓練		連携訓練				
		ロープブリッジ渡過	はしご登はん	ロープ応用登はん	ほふく救出	ロープブリッジ救出	引揚救助	障害突破	基本泳法	複合検索	溺者搬送	人命救助	溺者救助	水中結索	水中検索救助
26 年	出場チーム数 入賞チーム数 全国大会出場チーム数	1			2 1	1	2	2 1	3 3		2 2 ◎1		1	1	
27 年	出場チーム数 入賞チーム数 全国大会出場チーム数	1 1			1	2 1	1	2	3 2		1 1	1 1	1		
28 年	出場チーム数 入賞チーム数 全国大会出場チーム数				2	1 1	2 1	2 2	4 2		1 1	1 1	2 1		
29 年	出場チーム数 入賞チーム数 全国大会出場チーム数				1 1	2 1	2 1 1	2 1	4 2 ◎1		1	2	1 1	1	
30 年	出場チーム数 入賞チーム数 全国大会出場チーム数	第 47 回消防救助技術近畿地区指導会 中止													

※ ◎ = 1 位で出場、斜線 = エントリーせず



救助訓練

統計資料

統計資料

総務編 1

1. 平成 30 年度当初予算の概要 1
2. 職員の変遷 3
3. 職員並びに部外者の表彰状況 4
4. 職員の勤続年数 5
5. 職員の年齢構成 6
6. 研修実施状況 7
7. 特殊技能取得状況 27

予防編 28

8. 消防法第 17 条に基づき消防用設備等の設置の必要な防火対象物（棟）数 .. 28
9. 31mを超える防火対象物の現況（項別・署別・階別） 29
10. 防火対象物の用途別消防同意件数 .. 30
11. 防火対象物使用開始届出状況 31
12. 防火管理者選解任届出状況 32
 - ・ 甲種防火対象物 32
 - ・ 乙種防火対象物 33
13. 消防計画届出状況 34
14. 危険物施設、類別状況 35
15. 高圧ガス申請・届出数 36
16. 液化石油ガス申請・届出数 37
17. 火薬申請・届出数 38
18. 立入検査実施結果（産業保安関係施設別） 39
19. 幼年・少年消防クラブ、婦人防火クラブ、防火委員会表彰歴 40
20. 幼年・少年消防クラブ結成及び活動状況 41
21. 婦人防火クラブ結成及び活動状況 .. 28

警防編 29

22. 無線局一覧表 29
23. 規格別車両配置表 30
24. 大規模災害用装備 30
25. 署所別車両配置状況 31
 - ・ 消防本部 31
 - ・ 枚方消防署 32

- ・ 枚方東消防署 33
- ・ 寝屋川消防署 34

26. 消防隊の火災出動隊数 35

27. 署所別水利状況 36

28. 分団別消防団員数及び消防機械 37

- ・ 消防団員の年齢 38

火災編 39

29. 火災概況 39

- ・ 平成 30 年中の全国の火災概況 40
- ・ 平成 30 年中の大阪府の火災概況 ... 40
- ・ 1 日及び 1 件あたりの火災状況・出火率 41
- ・ 覚知別発生状況 41

30. 火災発生状況と損害状況 42

- ・ 署所別火災発生損害状況 42
- ・ 月別・四季別火災発生損害状況 44
- ・ 時間別・曜日別火災発生損害状況 . 46
- ・ 気象別火災発生損害状況 48
- ・ 火災種別・火元用途別・署所別火災発生状況 50
- ・ 火災種別・火元用途別損害状況 52

31. 出火原因 54

- ・ 原因大別・署所別火災発生状況 54
- ・ 原因大別・火災発生損害状況 56
- ・ 火災種別・署所別・月別出火原因状況 58
- ・ 時間別曜日別出火原因状況 60
- ・ 建物火災の出火原因別損害状況 62
- ・ 建物火災の火元用途別出火原因状況 64

- ・ 車両火災の出火原因別火災発生損害状況 66
- ・ その他の火災の出火原因別火災発生損害状況 67
- ・ 出火箇所別・火元用途別状況（建物火災） 68

32. 死傷者 70

- ・ 火災による死者の状況 70
- ・ 火災による負傷者の状況 70

・用途別・火災種別死傷者状況	70
・死傷に至った年齢区分別経過状況	71
33. 市民の消火活動	72
34. 平成 30 年中の主な火災	73
35. 過去の火災概況	75
・枚方市	75
・寝屋川市	77
36. 過去の主な出火原因	79
・枚方市	79
・寝屋川市	80
救急・救助編	81
37. 出動状況	81
・救急隊別出動件数及び搬送人員	81
・曜日別出動件数及び搬送人員	81
・時間帯別出動件数及び搬送人員	81
・事故種別 C P A 対象出動件数及び搬 送人員	81
・月別、事故種別活動状況	82
・事故種別、年齢性別搬送人員	83
・事故種別、症度別搬送人員	83
・月別、曜日別搬送人員	84
・月別、科目別搬送人員	84
・事故種別、応急処置別処置数	85
・事故種別、医療機関別（開設主体 別）搬送人員	86
38. 救助活動状況	87
・救助事故種別活動状況	87
・災害分類別、隊別出動状況	87

1. 平成30年度当初予算の概要

・歳入

(単位：千円)

款		平成30年度		平成29年度		比較増減額	増減率 (%)
		予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1	分担金及び負担金	7,349,132	97.5	7,699,469	96.5	△ 350,337	△ 4.6
	内訳						
	負担金(枚方市)	4,411,907	58.5	4,628,658	58.0	△ 216,751	△ 4.7
	負担金(寝屋川市)	2,858,108	37.9	2,988,455	37.4	△ 130,347	△ 4.4
	負担金(交野市)	79,117	1.0	82,356	1.0	△ 3,239	△ 3.9
2	使用料及び手数料	8,876	0.1	8,864	0.1	12	0.1
3	国庫支出金	21,175	0.3	66,773	0.8	△ 45,598	△ 68.3
4	府支出金	11,740	0.2	16,708	0.2	△ 4,968	△ 29.7
	内訳						
	府負担金	4,538	0.1	8,269	0.1	△ 3,731	-
	府補助金	7,202	0.1	8,439	0.1	△ 1,237	△ 14.7
5	財産収入	200	0.0	200	0.0	0	-
6	寄附金	1,000	0.0	1,000	0.0	0	-
7	諸収入	25,076	0.3	32,451	0.4	△ 7,375	△ 22.7
	内訳						
	組合預金利子	10	0.0	10	0.0	0	-
	雑入	25,066	0.3	32,441	0.4	△ 7,375	△ 22.7
8	組合債	122,900	2.0	155,000	2.0	△ 32,100	△ 20.7
合計		7,540,099	100.0	7,980,465	100.0	△ 440,366	△ 5.5

・構成両市別負担金

(単位：千円)

区分		合計		枚方市		寝屋川市	
		予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)
経常	常備消防費	6,594,131	90.7	4,005,242	55.1	2,588,889	35.6
経費	按分比率(%)	100	-	60.7395	-	39.2605	-
特別	償還金等	675,884	9.3	406,665	5.6	269,219	3.7
経費							
合計		7,270,015	100.0	4,411,907	60.7	2,858,108	39.3

【注釈】 構成両市における構成比については負担金総額(交野市を除く)に対する比率

・歳出

(単位：千円)

款		平成30年度		平成29年度		比較増減額	増減率 (%)
		予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1	議会費	3,590	0.1	3,626	0.1	△ 36	△ 1.0
2	総務費	1,468	0.0	1,468	0.0	0	0.0
	内訳						
	一般管理費	945	0.0	945	0.0	0	0.0
	公平委員会費	188	0.0	362	0.0	△ 174	△ 48.1
	監査委員費	335	0.0	161	0.0	174	108.1
3	消防費	6,913,038	91.7	7,391,241	98.0	△ 478,203	△ 6.5
	内訳						
	常備消防費	6,727,441	89.2	7,133,819	94.6	△ 406,378	△ 5.7
	非常備消防費	1,071	0.0	1,176	0.0	△ 105	△ 8.9
	消防施設費	184,526	2.3	256,246	3.3	△ 71,720	△ 28.0
4	公債費	612,003	8.1	574,130	7.6	37,873	6.6
5	予備費	10,000	0.1	10,000	0.1	0	0.0
合計		7,540,099	100.0	7,980,465	105.8	△ 440,366	△ 5.5

2. 職員の変遷

平成30年4月1日現在

区分 年別	条 例 定 数	実 在 数										
		総 数	階 級 別 人 員									そ の 他 の 職 員
			小 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
昭和58年	656	626	611	1	4	10	22	57	135	76	306	15
昭和59年	701	643	628	1	5	9	22	60	139	75	317	15
昭和60年	701	662	647	1	4	9	23	68	141	83	318	15
昭和61年	701	678	663	1	3	9	23	77	146	95	309	15
昭和62年	701	680	665	1	2	9	25	83	159	102	284	15
昭和63年	701	680	665	1	3	12	25	87	161	118	258	15
平成元年	701	688	673	1	3	12	28	93	167	134	235	15
平成2年	701	685	670	1	2	12	29	102	174	146	204	15
平成3年	701	691	676	1	3	11	34	101	179	153	194	15
平成4年	772	697	682	1	3	13	30	109	184	166	176	15
平成5年	772	714	699	1	4	13	52	127	197	136	169	15
平成6年	772	723	708	1	3	12	56	134	207	138	157	15
平成7年	772	733	718	1	1	12	62	137	213	143	149	15
平成8年	772	749	734	1	—	15	65	139	215	147	152	15
平成9年	772	756	741	1	3	16	69	137	218	158	139	15
平成10年	772	753	738	1	3	19	72	141	219	156	127	15
平成11年	772	747	732	1	5	15	74	141	221	153	122	15
平成12年	772	759	744	1	6	18	72	141	222	155	129	15
平成13年	772	752	738	1	8	19	76	139	224	148	123	14
平成14年	772	751	737	1	6	24	76	139	224	151	116	14
平成15年	772	739	725	1	5	24	77	140	221	152	105	14
平成16年	772	711	697	1	3	25	74	137	218	156	83	14
平成17年	772	702	689	1	4	20	73	138	220	161	72	13
平成18年	772	700	688	1	7	31	63	138	227	160	61	12
平成19年	772	676	664	1	7	27	54	128	221	164	62	12
平成20年	772	657	645	1	7	31	42	127	214	153	70	12
平成21年	772	663	653	1	6	32	44	134	213	142	81	10
平成22年	772	672	663	1	7	32	44	137	210	124	108	9
平成23年	772	661	655	1	6	34	43	136	197	102	136	6
平成24年	772	661	656	1	7	36	43	148	190	75	156	5
平成25年	772	660	656	1	10	34	66	141	207	33	164	4
平成26年	772	643	639	1	10	39	80	139	179	22	169	4
平成27年	772	645	642	1	11	39	85	143	172	18	173	3
平成28年	772	639	637	1	9	39	86	141	169	16	176	2
平成29年	772	648	646	1	9	37	88	146	173	4	188	2
平成30年	699	641	639	1	9	35	91	144	172	3	184	2

3. 職員並びに部外者の表彰状況

職員並びに部外者の功労、功績に対し、消防表彰規程に基づき、国又は関係団体が実施した表彰を受賞した者

区 分		総数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員	消防組合	元職員	部外者	
														個人	団体
総数		27	0	3	8	3	4	2	0	0	0	0	6	0	1
叙位・叙勲(死亡叙位・叙勲含む)		6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	—	—
安全功労者総務大臣表彰 (旧:安全功労者消防庁長官表彰)		0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
救急功労者総務大臣表彰		0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
消防防災科学技術賞(消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学論文及び原因調査事例報告に関する表彰)		0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
消防庁長官功労章		0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
消防庁長官永年勤続功労章		3	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大阪府知事消防勤続功労者表彰		6	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大阪府知事一般消防功労者表彰		1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
全国消防長会 会長表彰	永年勤続40年表彰	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	永年勤続35年表彰	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	永年勤続30年表彰	3	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—
	永年勤続25年表彰	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	永年勤続20年表彰	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全国消防協会全国優良消防職員表彰		1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大阪の消防大賞		7	—	—	2	2	2	1	—	—	—	—	—	—	—

職員並びに部外者の功労、功績に対し、本消防組合表彰規則に基づき、実施した表彰を受賞した者

区 分		総数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員	部外者	
												個人	団体
総数		94	0	0	1	6	12	21	1	13	0	14	26
管理者表彰	特別表彰	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
消防長表彰	永年勤続30年表彰	7	—	—	1	2	3	1	—	—	—	—	—
	功労表彰	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
部署長表彰	服務成績優良表彰	15	—	—	—	—	—	12	—	3	—	—	—
	功労表彰	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14
	職員表彰	32	—	—	—	4	9	8	1	10	—	—	—
部外者等の初期消火協力		8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	—
部外者等の人命救助活動		7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	1

4. 職員の勤続年数

平成30年4月1日現在

区分 年数別	構成 比 %	総 数	消防吏員									職 所 他 員 の
			小 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
総数	100.0	641	639	1	9	35	91	144	172	3	184	2
平均勤続年数		17.7	17.7	35.0	35.8	35.0	28.0	22.3	14.2	30.3	2.6	37.0
1年未満	6.3	41	41	—	—	—	—	—	—	—	41	—
1年	6.5	42	42	—	—	—	—	—	—	—	42	—
2年	4.2	27	27	—	—	—	—	—	3	—	24	—
3年	3.9	25	25	—	—	—	—	—	2	—	23	—
4年	3.7	24	24	—	—	—	—	—	8	—	16	—
5年	4.0	26	26	—	—	—	—	—	9	—	17	—
6年	3.5	23	23	—	—	—	—	—	11	—	12	—
7年	5.4	35	35	—	—	—	—	2	28	—	5	—
8年	4.8	31	31	—	—	—	—	2	26	—	3	—
9年	4.6	30	30	—	—	—	—	10	19	—	1	—
10年	2.9	19	19	—	—	—	—	12	7	—	—	—
11年	1.5	10	10	—	—	—	—	8	2	—	—	—
12年	1.4	9	9	—	—	—	—	7	2	—	—	—
13年	1.4	9	9	—	—	—	1	4	4	—	—	—
14年	0.0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15年	0.0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16年	0.9	6	6	—	—	—	1	3	2	—	—	—
17年	0.0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18年	2.5	16	16	—	—	—	12	4	—	—	—	—
19年	0.0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20年	0.0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21年	1.5	10	10	—	—	—	1	9	—	—	—	—
22年	3.1	20	20	—	—	1	7	8	4	—	—	—
23年	2.3	15	15	—	—	—	4	7	3	1	—	—
24年	2.6	17	17	—	—	—	6	8	3	—	—	—
25年	3.5	23	23	—	—	—	9	10	4	—	—	—
26年	1.4	9	9	—	—	—	5	3	1	—	—	—
27年	1.4	9	9	—	—	—	2	2	5	—	—	—
28年	1.2	8	8	—	—	1	1	4	2	—	—	—
29年	0.6	4	4	—	—	1	1	1	1	—	—	—
30年	0.5	3	3	—	—	—	2	—	1	—	—	—
31年	0.6	4	4	—	—	1	2	1	—	—	—	—
32年	5.6	36	36	—	—	6	9	15	5	1	—	—
33年	2.0	13	13	—	—	2	3	4	4	—	—	—
34年	2.9	19	19	—	2	2	8	6	1	—	—	—
35年以上	12.0	78	76	1	7	21	17	14	15	1	—	2

5. 職員の年齢構成

平成30年4月1日現在

区分 年齢別	構成 比 %	総 数	消防吏員									職 所 他 員 の
			小 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
総数	100.0	641	639	1	9	35	91	144	172	3	184	2
平均年齢		39.8	39.8	59.2	58.2	55.9	49.1	44.2	37.0	51.6	25.5	56.4
21歳未満	1.9	12	12	—	—	—	—	—	—	—	12	—
21歳	2.0	13	13	—	—	—	—	—	—	—	13	—
22歳	2.5	16	16	—	—	—	—	—	—	—	16	—
23歳	3.9	25	25	—	—	—	—	—	—	—	25	—
24歳	3.2	21	21	—	—	—	—	—	—	—	21	—
25歳	2.9	19	19	—	—	—	—	—	1	—	18	—
26歳	4.2	27	27	—	—	—	—	—	4	—	23	—
27歳	4.2	27	27	—	—	—	—	—	6	—	21	—
28歳	2.6	17	17	—	—	—	—	—	9	—	8	—
29歳	5.1	33	33	—	—	—	—	2	17	—	14	—
30歳	4.8	31	31	—	—	—	—	3	25	—	3	—
31歳	3.5	23	23	—	—	—	—	4	17	—	2	—
32歳	3.2	21	21	—	—	—	—	4	11	—	6	—
33歳	3.2	21	21	—	—	—	—	7	13	—	1	—
34歳	2.2	14	14	—	—	—	—	7	6	—	1	—
35歳	2.8	18	18	—	—	—	—	9	9	—	—	—
36歳	1.1	7	7	—	—	—	—	6	1	—	—	—
37歳	0.8	5	5	—	—	—	—	4	1	—	—	—
38歳	0.8	5	5	—	—	—	2	2	1	—	—	—
39歳	0.9	6	6	—	—	—	1	4	1	—	—	—
40歳	1.2	8	8	—	—	—	2	4	2	—	—	—
41歳	2.0	13	13	—	—	—	8	3	2	—	—	—
42歳	1.7	11	11	—	—	—	6	1	4	—	—	—
43歳	2.2	14	14	—	—	—	4	5	4	1	—	—
44歳	3.2	21	21	—	—	—	7	10	4	—	—	—
45歳	3.4	22	22	—	—	1	9	10	2	—	—	—
46歳	1.9	12	12	—	—	—	4	6	2	—	—	—
47歳	1.5	10	10	—	—	—	3	5	2	—	—	—
48歳	1.4	9	9	—	—	1	2	5	1	—	—	—
49歳	0.6	4	4	—	—	—	2	2	—	—	—	—
50歳	1.4	9	9	—	—	1	4	3	1	—	—	—
51歳	1.2	8	8	—	—	2	1	4	1	—	—	—
52歳	1.4	9	9	—	—	2	3	2	1	1	—	—
53歳	2.0	13	13	—	—	1	7	3	2	—	—	—
54歳	2.9	19	19	—	1	4	5	7	2	—	—	—
55歳	2.2	14	14	—	—	2	3	5	4	—	—	—
56歳	3.4	22	20	—	1	3	3	10	3	—	—	2
57歳	2.2	14	14	—	—	6	7	—	1	—	—	—
58歳以上	7.4	48	48	1	7	12	8	7	12	1	—	—

6. 研修実施状況

平成30年4月1日現在

教 養 区 分		人 員	対象者	日 数			
消防大学校	幹部科		2	消防司令	3 3 日		
	警防科		－	消防司令補以上	3 5 日		
	指揮隊長コース		1	指揮支援隊長・副隊長	9 日		
	高度救助・特別高度救助コース		－	消防司令補	1 0 日		
	NBCコース		1	消防司令補以上・副中隊長	1 5 日		
救命士課程	救急救命東京研修所		3	消防司令補以下	6 か・月半		
	救急救命九州研修所		－	消防司令補以下	6 か・月半		
	大阪市高度専門教育訓練センター救急救命士養成課程		4	消防司令補以下	7 か・月		
大阪府立消防学校	初任教育(前期・後期)		18	消防士	6 か・月		
			21	消防士	6 か・月		
	幹部教育	上級幹部科		3	消防司令長	1 日	
		中級幹部科		4	消防司令補	7 日	
		初級幹部科		4	消防士長	9 日	
	専科教育	救急科 (前期・後期)		10	消防司令補以下	3 2 日	
				11	消防司令補以下	3 2 日	
		特殊災害科		3	警防担当者	6 日	
		救助科 (前期・後期)		－	救助担当者	1 8 日	
				3	救助担当者	1 8 日	
		予防科 防火査察課程		2	予防担当者	6 日	
		予防科 消防用設備課程		2	予防担当者	6 日	
		予防科 危険物課程		1	予防担当者	6 日	
		火災調査科		4	消防担当・調査担当者	9 日	
		警防科		3	警防担当者	9 日	
	特別教育	はしご車技術講習		3	消防司令補以下	4 日	
		潜水土養成研修		5	消防士長以下	5 日	
		実火災体験型訓練指導者研修		3	消防司令補以上	1 日	
		通信指令研修		1	消防司令補	4 日	
		上級救助研修		1	消防司令補以下	8 日	
		上級予防研修		1	予防担当者	9 日	
		指揮研修		2	消防司令	2 日	
		消火技術指導者研修		1	消防司令補	3 日	
		救急救命士処置拡大2行為		12	救急救命士	3 日	
		救急救命士ビデオ喉頭鏡		6	救急救命士	1 日	
		各種講師	研修教官(1年)		1	消防司令補以下	1 年
			研修教官(半年)		－	消防司令補以下	6 か・月
	中級幹部科講師		2	消防司令長・消防司令	1 日		
	初級幹部科講師		1	消防司令	1 日		
	潜水土養成研修講師		1	消防司令補	3 日		
	救助科講師		1	消防司令補	1 8 日		
			9	訓練指導隊 (救助小隊)	1 日× 2		
	警防課 講師		2	消防司令長・消防司令	1 日		
	予防科 防火査察課程 講師		2	消防司令	1 日× 2		
	予防科 危険物課程 講師		1	消防司令	1 日		

教 養 区 分			人 員	対 象 者	日 数
本 部 研 修	一 般 研 修	評価者研修	133	消防司令以上	1日×3
		ハラスメント防止研修	675	全職員	1日×5
		認知症サポーター養成研修	125	全職員	1日×2
	基 本 研 修	消防司令昇任候補者研修	20	消防司令昇任予定者	1日
		消防司令補昇任候補者研修	30	消防司令補昇任予定者	1日×2
		消防士長昇任候補者研修	42	消防士長昇任予定者	1日×3
	専 門 研 修	高度・特別救助隊員研修	45	救助担当者	1日×3
		1級機関員養成講習	20	1級機関員予定者	2日×2
		化学車取扱講習	36	化学車担当者	1日×3
		2級機関員及び限定機関員養成講習	28	消防士	講習数
委 託 教 養	法 定 講 習	安全運転管理者講習会	7	正副安全運転管理者	1日
		危険物取扱者保安講習	1	危険物保安監督者	1日
	資 格 取 得 講 習	危険物取扱者試験(乙種第4類)	3	消防司令補以下	1日
		高圧ガス(丙種化学特別)講習・試験	6	消防司令補以下	4日
		第二級陸上特殊無線技士認定講習	12	消防司令補以下	2日
		特定化学物質等作業主任者技能講習会	3	救急担当者	2日
		小型移動式クレーン運転技能講習	5	救助担当者	3日
		玉掛技能講習	4	救助担当者	3日
		2級小型船舶操縦士免許取得(講習・試験)	5	救助担当者	3日
		足場組立技能講習	1	救助担当者	2日
		ガス溶接技能講習	2	救助担当者	2日
		潜水士免許取得試験	5	救助担当者	1日
		酸素欠乏・硫化水素作業主任者技能講習	2	救助担当者	2日
		毒劇物取扱者試験・講習会	-	救助担当者	4日
		赤十字水上安全法救助員養成講習	1	消防士長以下	4日

[illegible]

教 養 区 分			人 員	対 象 者	日 数
委 託 教 養	その 他 の 教 育 機 関	国際救助隊員研修	4	救助担当者	2 日
		国際消防救助隊セミナー	1	救助担当者	3 日
		大阪府下救助シンポジウム	5	救助担当者	1 日
		警防業務リーダー	-	消防司令補以上	1 日
		火災科学セミナー	-	予防担当者	1 日
		全国消防技術者会議	-	調査担当者	2 日
		全国消防救助シンポジウム	-	救助担当者	2 日
		消防職員体力練成研修会	3	消防司令補以下	1 日
		危険物安全研修会	4	消防司令長以下	1 日
		公務災害防止セミナー	-	消防司令以下	2 日
		惨事ストレスセミナー	-	消防司令補以下	1 日
		消防職員安全衛生研修会	7	消防士長以上	2 日 × 2
	研修 研究 センター （ お お さ か 市 町 村 職 員 ）	パソコン研修(ワード)	1	全職員	2 日
		パソコン研修(エクセル)	4	全職員	2 日
		パソコン研修(アクセス)	3	全職員	2 日
		パソコン研修(パワーポイント)	3	全職員	1 日
		接遇指導者養成研修	-	全職員	2 日
		OJT実践研修	-	全職員	2 日
		訴訟問題研修	1	全職員	1 日
		メンタルヘルスにおける管理職のリスク対策研修	2	全職員	1 日
		コンプライアンス研修	-	全職員	2 日
		研修担当者研修	1	全職員	2 日
		組織で活かす公務員倫理実践研修	5	全職員	1 日
		女性ステップアップ研修	-	全職員	2 日
		コーチング研修	2	全職員	2 日
		リスクマネジメント研修	3	全職員	2 日
		法制執務研修	2	全職員	2 日
	枚 方 市 役 所	リスクマネジメント研修	5	消防司令長	1 日
		メンタルヘルス(ラインケア)研修	4	消防司令長	1 日
		スキルアップ研修	-	全職員	1 日
		キャリアデザイン研修	2	全職員	1 日
		キャリアプランニング研修	2	全職員	1 日
		ハラスメント研修	9	消防司令	1 日
		新任課長補佐研修	4	消防司令	1 日

7. 特殊技能取得状況

平成30年4月1日現在

区分 資格別	総 数	消 防 吏 員									その他の職員	定員に対する 比率%
		小 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
消 防 職 員 数	641	639	1	9	35	91	144	172	3	184	2	
救 急 救 命 士	17	17	—	1	—	4	5	1	—	6	—	2.7%
救急救命士 気管挿管	10	10	—	—	2	3	3	2	—	—	—	1.6%
救急救命士 薬剤投与	12	12	—	—	—	—	—	8	—	4	—	1.9%
救急救命士 挿管薬剤	88	88	—	—	2	19	46	21	—	—	—	13.7%
救急標準課程(救命士含む)	375	375	—	1	3	25	82	127	—	137	—	58.5%
救急Ⅱ課程(救命士含む)	10	10	—	—	1	3	1	4	1	—	—	1.6%
大 型 自 動 車	300	300	—	4	21	53	97	111	3	11	—	46.8%
小 型 船 舶 操 縦 士	95	95	—	4	14	26	30	16	—	5	—	14.8%
特 殊 無 線	198	198	—	5	19	42	66	47	3	16	—	30.9%
高圧ガス製造保安責任者	79	79	—	4	11	23	26	15	—	—	—	12.3%
ガ ス 溶 接 技 能 者	91	91	—	4	8	26	34	15	—	4	—	14.2%
クレーン(移動式)免許	87	87	—	—	7	24	27	21	—	8	—	13.6%
玉 掛 技 能 者	80	80	—	2	9	17	23	22	—	7	—	12.5%
酸素欠乏危険作業主任者	40	40	—	3	10	13	9	3	—	2	—	6.2%
足場組立作業主任者	32	32	—	3	11	11	7	—	—	—	—	5.0%
潜 水 士	53	53	—	1	2	15	19	12	—	4	—	8.3%
衛 生 管 理 者	35	35	1	4	8	14	6	1	—	1	—	5.5%
予 防 技 術 資 格 者	47	47	—	2	8	12	15	9	—	1	—	7.3%
消 防 設 備 士	21	21	—	2	—	3	5	5	—	6	—	3.3%
消 防 設 備 点 検 資 格 者	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0%
毒 劇 物 取 扱 主 任 者	4	4	—	—	—	—	3	1	—	—	—	0.6%
危 険 物 取 扱 者	85	85	1	4	10	15	27	19	—	9	—	13.3%
自 動 車 整 備 士	3	3	—	—	—	1	1	1	—	—	—	0.5%
特定化学物質等作業主任者	44	44	—	—	—	13	25	6	—	—	—	6.9%

8. 消防法第17条に基づき消防用設備等の設置の必要な防火対象物(棟)数

平成30年12月31日現在

市・署別 防火対象物区分			組合 合計	枚 方 市			寝屋川市
				市 計	枚 方 署	枚 方 東 署	寝 屋 川 署
総 計			15,777	9,454	5,338	4,116	6,323
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	6	5	5	0	1
	ロ	公会堂・集会場	342	221	116	105	121
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	56	35	30	5	21
	ハ	風営法に規定する店舗その他これに類するもの	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	3	2	2	0	1
3	イ	待合・料理店等	2	1	1	0	1
	ロ	飲食店	372	217	132	85	155
4		百貨店・マーケット等	557	337	160	177	220
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	55	44	9	35	11
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	6,105	3,663	2,257	1,406	2,442
6	イ	病院・診療所・助産所	234	145	85	60	89
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	259	157	79	78	102
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等	387	221	114	107	166
	ニ	幼稚園・特別支援学校	57	40	17	23	17
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等	651	393	222	171	258
8		図書館・博物館・美術館等	5	4	3	1	1
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	0	0	0	0	0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	15	4	3	1	11
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	14	11	6	5	3
11		神社・寺院・教会等	176	111	59	52	65
12	イ	工場・作業場	1,283	729	280	449	554
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫・駐車場	391	232	166	66	159
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0	0	0	0	0
14		倉 庫	883	520	225	295	363
15		前各項に該当しない事業所	1,587	1,017	598	419	570
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	1,378	826	464	362	552
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	945	507	304	203	438
16の2		地下街	0	0	0	0	0
16の3		準地下街	0	0	0	0	0
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等	12	12	1	11	0
18		延長50メートル以上のアーケード	2	0	0	0	2
19		市町村長の指定する山林	0	0	0	0	0
20		総務省令で定める舟車	0	0	0	0	0

9. 31mを超える防火対象物の現況(項別・署別・階別)

平成30年12月31日現在

階別 項別 署別		総計	1階	2階	4階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	17階	21階	24階	37階	42階
合計		203	1	6	1	4	7	5	5	9	43	26	16	20	51	1	1	4	2	1
1項イ		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1項ロ		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2項イ		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2項ロ		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2項ハ		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2項ニ		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3項イ		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3項ロ		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4項		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5項イ		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5項ロ		151	-	-	-	-	-	-	3	4	38	23	11	18	50	1	-	3	-	-
6項イ		3	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
6項ロ		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6項ハ		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6項ニ		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7項		6	-	-	-	-	1	2	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
8項		1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9項イ		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9項ロ		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10項		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11項		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12項イ		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12項ロ		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13項イ		5	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13項ロ		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14項		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15項		9	-	-	1	3	2	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
16項イ		21	-	2	-	-	2	2	-	4	2	2	1	1	1	-	1	1	2	-
16項ロ		5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-	1
合計		203	1	6	1	4	7	5	5	9	43	26	16	20	51	1	1	4	2	1
枚方市	市計	117	-	3	1	2	6	1	2	6	29	17	7	10	28	1	1	2	-	1
	枚方署	78	-	2	1	1	5	-	2	5	13	14	6	7	19	1	-	2	-	-
	枚方東署	39	-	1	-	1	1	1	-	1	16	3	1	3	9	-	1	-	-	1
寝屋川市	寝屋川署	86	1	3	-	2	1	4	3	3	14	9	9	10	23	-	-	2	2	-

10. 防火対象物の用途別消防同意件数

平成30年1月1日～同年12月31日

市・署別 防火対象物区分			組合 合計	枚 方 市			寝屋川市
				市 計	枚 方 署	枚 方 東 署	寝 屋 川 署
総 計			0	0	-	-	-
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	0	0	-	-	-
	ロ	公会堂・集会場	9	4	1	3	5
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	0	0	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	2	2	2	-	-
	ハ	風営法に規定する店舗その他これに類するもの	0	0	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	0	0	-	-	-
3	イ	待合・料理店等	0	0	-	-	-
	ロ	飲食店	6	4	2	2	2
4		百貨店・マーケット等	21	10	2	8	11
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	0	0	-	-	-
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	95	58	40	18	37
6	イ	病院・診療所・助産所	5	4	2	2	1
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	8	3	2	1	5
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等	9	2	2	-	7
	ニ	幼稚園・特別支援学校	2	2	2	-	-
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等	14	11	7	4	3
8		図書館・博物館・美術館等	0	0	-	-	-
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	0	0	-	-	-
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	0	0	-	-	-
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	0	0	-	-	-
11		神社・寺院・教会等	0	0	-	-	-
12	イ	工場・作業場	23	16	7	9	7
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	0	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	3	1	1	-	2
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0	0	-	-	-
14		倉 庫	12	8	2	6	4
15		前各項に該当しない事業所	33	18	10	8	15
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	30	17	13	4	13
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	14	12	5	7	2
16の2		地下街	0	0	-	-	-
16の3		準地下街	0	0	-	-	-
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等	0	0	-	-	-
18		延長50メートル以上のアーケード	0	0	-	-	-
19		市町村長の指定する山林	0	0	-	-	-
20		総務省令で定める舟車	0	0	-	-	-

11. 防火対象物使用開始届出状況

平成30年1月1日～同年12月31日

市・署別 防火対象物区分			組合 合計	枚 方 市			寝屋川市
				市 計	枚 方 署	枚 方 東 署	寝 屋 川 署
総 計			606	373	216	157	233
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	0	0	-	-	-
	ロ	公会堂・集会場	9	8	2	6	1
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	0	0	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	10	10	10	-	-
	ハ	風営法に規定する店舗その他これに類するもの	0	0	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	0	0	-	-	-
3	イ	待合・料理店等	0	0	-	-	-
	ロ	飲食店	16	6	3	3	10
4		百貨店・マーケット等	40	25	7	18	15
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	3	1	-	1	2
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	112	63	39	24	49
6	イ	病院・診療所・助産所	9	5	4	1	4
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	20	14	7	7	6
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等	34	16	9	7	18
	ニ	幼稚園・特別支援学校	2	2	2	-	-
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等	12	11	7	4	1
8		図書館・博物館・美術館等	0	0	-	-	-
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	0	0	-	-	-
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	0	0	-	-	-
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	0	0	-	-	-
11		神社・寺院・教会等	2	1	1	-	1
12	イ	工場・作業場	52	33	16	17	19
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	0	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	0	0	-	-	-
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0	0	-	-	-
14		倉 庫	15	9	3	6	6
15		前各項に該当しない事業所	42	22	13	9	20
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	202	132	85	47	70
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	26	15	8	7	11
16の2		地下街	0	0	-	-	-
16の3		準地下街	0	0	-	-	-
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等	0	0	-	-	-
18		延長50メートル以上のアーケード	0	0	-	-	-
19		市町村長の指定する山林	0	0	-	-	-
20		総務省令で定める舟車	0	0	-	-	-

12. 防火管理者選解任届出状況
・甲種防火対象物(選任・選解任届)

平成30年1月1日～同年12月31日

市・署別 防火対象物区分			組合 合計	枚 方 市			寝屋川市
				市 計	枚 方 署	枚 方 東 署	寝 屋 川 署
総 計			629	389	219	170	240
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂・集会場	18	11	6	5	7
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	11	6	5	1	5
	ハ	風営法に規定する店舗その他これに類するもの	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	4	2	2	0	2
3	イ	待合・料理店等	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	26	14	9	5	12
4		百貨店・マーケット等	67	32	12	20	35
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	1	1	0	1	0
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	143	96	48	48	47
6	イ	病院・診療所・助産所	5	4	2	2	1
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	41	28	18	10	13
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等	29	17	8	9	12
	ニ	幼稚園・特別支援学校	4	3	3	0	1
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等	36	21	9	12	15
8		図書館・博物館・美術館等	2	2	2	0	0
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	0	0	0	0	0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	0	0	0	0	0
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	0	0	0	0	0
11		神社・寺院・教会等	1	0	0	0	1
12	イ	工場・作業場	21	16	6	10	5
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫・駐車場	1	1	1	0	0
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0	0	0	0	0
14		倉 庫	2	1	1	0	1
15		前各項に該当しない事業所	53	32	23	9	21
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	159	98	60	38	61
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	5	4	4	0	1
16の2		地下街	0	0	0	0	0
16の3		準地下街	0	0	0	0	0
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等	0	0	0	0	0
18		延長50メートル以上のアーケード	0	0	0	0	0
19		市町村長の指定する山林	0	0	0	0	0
20		総務省令で定める舟車	0	0	0	0	0

・乙種防火対象物(選任・選解任届)

平成30年1月1日～同年12月31日

市・署別 防火対象物区分			組合 合計	枚 方 市			寝屋川市
				市 計	枚 方 署	枚 方 東 署	寝 屋 川 署
総 計			67	49	19	30	18
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂・集会場	28	25	11	14	3
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	0	0	0	0	0
	ハ	風営法に規定する店舗その他これに類するもの	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	0	0	0	0	0
3	イ	待合・料理店等	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	20	13	2	11	7
4		百貨店・マーケット等	6	5	2	3	1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	0	0	0	0	0
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	0	0	0	0	0
6	イ	病院・診療所・助産所	2	2	1	1	0
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	1	1	1	0	0
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等	1	0	0	0	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校	0	0	0	0	0
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等	0	0	0	0	0
8		図書館・博物館・美術館等	0	0	0	0	0
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	0	0	0	0	0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	0	0	0	0	0
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	0	0	0	0	0
11		神社・寺院・教会等	1	0	0	0	1
12	イ	工場・作業場	0	0	0	0	0
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫・駐車場	0	0	0	0	0
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0	0	0	0	0
14		倉 庫	0	0	0	0	0
15		前各項に該当しない事業所	3	1	1	0	2
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	4	2	1	1	2
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	1	0	0	0	1
16の2		地下街	0	0	0	0	0
16の3		準地下街	0	0	0	0	0
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等	0	0	0	0	0
18		延長50メートル以上のアーケード	0	0	0	0	0
19		市町村長の指定する山林	0	0	0	0	0
20		総務省令で定める舟車	0	0	0	0	0

13. 消防計画届出状況

平成30年1月1日～同年12月31日

市・署別 防火対象物区分			組合 合計	枚 方 市			寝屋川市
				市 計	枚 方 署	枚 方 東 署	寝 屋 川 署
総 計			1,016	662	353	309	354
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	-	0	-	-	-
	ロ	公会堂・集会場	64	52	22	30	12
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	-	0	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	12	7	5	2	5
	ハ	風営法に規定する店舗その他これに類するもの	-	0	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	4	2	2	-	2
3	イ	待合・料理店等	-	0	-	-	-
	ロ	飲食店	65	32	14	18	33
4		百貨店・マーケット等	105	58	25	33	47
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	2	2	-	2	-
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	164	98	45	53	66
6	イ	病院・診療所・助産所	15	13	9	4	2
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	57	31	24	14	19
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等	54	27	23	16	15
	ニ	幼稚園・特別支援学校	6	8	4	1	1
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等	45	27	13	15	17
8		図書館・博物館・美術館等	2	1	2	-	-
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	-	0	-	-	-
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1	0	-	1	-
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	-	1	-	-	-
11		神社・寺院・教会等	5	3	1	-	4
12	イ	工場・作業場	41	30	11	19	11
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	-	0	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	1	1	1	-	-
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	-	0	-	-	-
14		倉 庫	5	3	2	1	2
15		前各項に該当しない事業所	66	47	33	8	25
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	290	166	113	89	88
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	11	13	4	2	5
16の2		地下街	-	0	-	-	-
16の3		準地下街	-	0	-	-	-
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等	1	0	-	1	-
18		延長50メートル以上のアーケード	-	0	-	-	-
19		市町村長の指定する山林	-	0	-	-	-
20		総務省令で定める舟車	-	0	-	-	-

14. 危険物施設、類別状況

平成30年12月31日現在

製造所等の別 類別			総 数	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				
					屋内 貯蔵所	屋外 タンク 貯蔵所	屋内 タンク 貯蔵所	地下 タンク 貯蔵所	簡易 タンク 貯蔵所	移動 タンク 貯蔵所	屋外 貯蔵所	給油 取扱所	第一 種販売 取扱所	第二 種販売 取扱所	移送 取扱所	一般 取扱所
総 数			843	36	251	48	25	174	0	73	19	100	3	3	0	111
単 独	第1類	枚方市	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		枚方署	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		枚方東署	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		寝屋川市 寝屋川署	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	第2類	枚方市	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		枚方署	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		枚方東署	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		寝屋川市 寝屋川署	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	第3類	枚方市	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		枚方署	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		枚方東署	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		寝屋川市 寝屋川署	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	第4類	枚方市	533	20	155	13	17	119	-	60	11	64	-	1	-	73
		枚方署	236	1	51	5	12	54	-	31	5	32	-	-	-	45
		枚方東署	297	19	104	8	5	65	-	29	6	32	-	1	-	28
		寝屋川市 寝屋川署	274	10	72	35	8	55	-	13	8	36	3	-	-	34
	第5類	枚方市	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		枚方署	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		枚方東署	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		寝屋川市 寝屋川署	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	第6類	枚方市	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		枚方署	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		枚方東署	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		寝屋川市 寝屋川署	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
混 在	枚方市	枚方市	16	4	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		枚方署	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		枚方東署	15	4	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		寝屋川市 寝屋川署	12	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4

15. 高圧ガス申請・届出数

平成30年12月31日現在

区分	申請・届出名称	総数	枚方署	枚方東署	寝屋川署
1 種 製 造	許可申請	0	-	-	-
	変更許可申請	4	4	-	-
	事業承継届	0	-	-	-
	軽微変更届	5	4	-	1
	開始届	0	-	-	-
	廃止届	1	-	1	-
	危害予防規程 届出・変更届	1	1	-	-
	保安統括者・保安係員・代理者の選任・解任届	9	9	-	-
	変更報告書(軽微変更には該当しない変更の場合)	1	1	-	-
	小計	21	19	1	1
2 種 製 造	事業届	5	1	4	-
	事業承継届	1	-	-	1
	変更届	4	2	1	1
	廃止届	19	6	6	7
	保安統括者・保安係員・代理者の選任・解任届	0	-	-	-
	変更報告書(変更届には該当しない変更の場合)	34	12	8	14
	小計	63	21	19	23
1 種 貯 蔵	設置許可申請	0	-	-	-
	変更許可申請	0	-	-	-
	承継届	0	-	-	-
	軽微変更届	0	-	-	-
	廃止届	0	-	-	-
	変更報告書(軽微変更には該当しない変更の場合)	1	-	-	1
	小計	1	0	0	1
2 種 貯 蔵	設置届	0	-	-	-
	変更届	0	-	-	-
	廃止届	0	-	-	-
	変更報告書(変更届には該当しない変更の場合)	7	3	2	2
	小計	7	3	2	2
販 売	販売事業届	9	1	3	5
	承継届	0	-	-	-
	ガス種変更届	0	-	-	-
	廃止届	3	-	1	2
	販売主任者 選任・解任届	2	1	-	1
	変更報告書(変更届には該当しない変更の場合)	5	2	-	3
	小計	19	4	4	11
特 定 消 費	特定高圧ガス消費届	0	-	-	-
	承継届	0	-	-	-
	変更届	0	-	-	-
	廃止届	0	-	-	-
	特定高圧ガス取扱主任者 選任・解任届	3	1	1	1
	変更報告書(変更届には該当しない変更の場合)	3	-	1	2
	小計	6	1	2	3
容 器 検 査	登録申請	0	-	-	-
	登録更新申請	3	-	-	3
	充てんしようとする高圧ガスの種類等変更許可申請	1	-	1	-
	特別充てん許可申請	0	-	-	-
	特別充てん報告	0	-	-	-
	廃止届	1	-	-	1
	主任者選任・解任届	2	-	1	1
	変更報告書	4	-	-	4
	小計	11	0	2	9
検 査 (指 定 ・ 認 定)	第1種製造 完成検査申請	4	4	-	-
	第1種貯蔵 完成検査申請	0	-	-	-
	第1種製造 保安検査申請	5	4	1	-
	指定完成検査機関 完成検査受験届(結果報告書)	0	-	-	-
	指定保安検査機関 保安検査受験届(結果報告書)	15	9	2	4
	高圧ガス保安協会検査機関 保安検査受験届(結果報告書)	1	-	1	-
	認定完成検査実施者 完成検査記録届	0	-	-	-
	認定保安検査実施者 保安検査記録届	0	-	-	-
	高圧ガス製造施設休止届	0	-	-	-
	小計	25	17	4	4
そ の 他	事故報告	2	1	-	1
	小計	2	1	0	1
総計		155	66	34	55

16. 液化石油ガス申請・届出数

平成30年12月31日現在

区分	申請・届出名称	総数	枚方署	枚方東署	寝屋川署
販売事業者	登録申請	1	-	-	1
	登録簿閲覧請求申請	0	-	-	-
	登録簿謄本交付申請	0	-	-	-
	登録行政庁変更届(認定販売も含む)	0	-	-	-
	販売所等変更届	1	-	-	1
	承継届	0	-	-	-
	廃止届	0	-	-	-
	業務主任者等選任・解任届	4	1	1	2
	報告	8	3	3	2
	小計	14	4	4	6
認定	認定販売事業者 認定申請	0	-	-	-
	認定販売事業者 報告	0	-	-	-
	小計	0	0	0	0
保安機関	認定申請	1	-	-	1
	更新認定申請	5	2	1	2
	一般消費者数の増加の認可	0	-	-	-
	一般消費者数の減少届	0	-	-	-
	保安業務規程認可申請	1	-	-	1
	保安業務規程変更認可申請	0	-	-	-
	認定行政庁変更届	0	-	-	-
	変更届	0	-	-	-
	承継届	0	-	-	-
	廃止届	0	-	-	-
	実施報告	8	3	3	2
	小計	15	5	4	6
貯蔵・供給	貯蔵施設又は特定供給設備 許可申請	0	-	-	-
	貯蔵施設又は特定供給設備 変更許可申請	0	-	-	-
	貯蔵施設又は特定供給設備 軽微変更届(廃止を含む)	0	-	-	-
	特定供給設備 完成(変更完成)検査申請	0	-	-	-
	貯蔵施設(3t以上) 完成(変更完成)検査申請	0	-	-	-
	小計	0	0	0	0
充填設備	許可申請	0	-	-	-
	変更許可申請	0	-	-	-
	軽微変更届(廃止を含む)	0	-	-	-
	完成(変更完成)検査申請	0	-	-	-
	保安検査申請	0	-	-	-
	報告	0	-	-	-
	小計	0	0	0	0
設備工事	液化石油ガス設備工事届	5	2	2	1
	特定液化石油ガス設備工事業 開始届	2	-	1	1
	特定液化石油ガス設備工事業 変更届	1	1	-	-
	特定液化石油ガス設備工事業 廃止届	1	1	-	-
	小計	9	4	3	2
指定	指定完成検査機関 完成検査受験届(結果報告)	0	-	-	-
	指定保安検査機関 保安検査受験届(結果報告)	0	-	-	-
	小計	0	0	0	0
その他	事故報告	1	1	-	-
	小計	1	1	0	0
総計		39	14	11	14

17. 火薬申請・届出数

平成30年12月31日現在

区分	申請・届出名称	総数	枚方署	枚方東署	寝屋川署
製造	火薬類製造業 許可申請	0	-	-	-
	火薬類製造施設 変更許可申請	0	-	-	-
	火薬類製造施設 完成検査申請	0	-	-	-
	火薬類製造施設 保安検査申請	0	-	-	-
	火薬類製造業者 保安教育計画 認可・変更認可申請	0	-	-	-
	火薬類取扱保安責任者等 選任・解任届	0	-	-	-
	小 計	0	0	0	0
販売	火薬類販売業 許可申請	0	-	-	-
	火薬類販売業者 営業(全部又は一部)廃止届	0	-	-	-
	火薬類販売業者 保安教育計画認可・変更認可申請	0	-	-	-
	火薬類販売業者 取引高報告書	0	-	-	-
	火薬類販売 営業所移転届(紙雷管販売業者のみ)	0	-	-	-
	火薬類販売 営業許可申請書記載事項変更報告	0	-	-	-
	小 計	0	0	0	0
火薬庫	設置許可申請・構造設備変更許可	0	-	-	-
	軽微変更届	0	-	-	-
	承継届	0	-	-	-
	占有届	0	-	-	-
	占有廃止届	0	-	-	-
	共同占有許可申請	0	-	-	-
	共同占有許可廃止届	0	-	-	-
	所有・占有特例許可申請	0	-	-	-
	所有・占有特例許可廃止届	0	-	-	-
	納入先追加届(特例許可(直送)の場合に発生)	0	-	-	-
	用途廃止届	0	-	-	-
	火薬類取扱保安責任者等選任・解任届	0	-	-	-
	定期自主検査 計画届・変更届・終了報告書	0	-	-	-
	使用休止届・使用再開届	0	-	-	-
	設置等許可申請書記載事項変更届	0	-	-	-
	出納高報告書	0	-	-	-
	設置等許可申請書記載事項変更報告書	0	-	-	-
	完成検査申請	0	-	-	-
	保安検査申請	0	-	-	-
	小 計	0	0	0	0
庫外貯蔵	火薬庫外貯蔵場所 指定申請	0	-	-	-
	火薬庫外貯蔵場所 指定申請記載事項変更届	2	-	-	2
	火薬庫外貯蔵場所 管理責任者選任・解任届	0	-	-	-
	火薬庫外貯蔵場所 指定解除届	0	-	-	-
	小 計	2	0	0	2
譲受譲渡	火薬類譲渡又は譲受 許可申請	0	-	-	-
	火薬類譲渡又は譲受 許可証書換	0	-	-	-
	火薬類譲渡又は譲受 許可証再交付	0	-	-	-
	火薬類譲渡又は譲受 許可証返納	0	-	-	-
	小 計	0	0	0	0
消費	火薬類消費 譲受消費許可申請(産業用火薬・加工品の場合)	0	-	-	-
	火薬類消費 許可申請(煙火の場合)	1	-	1	-
	火薬類消費 許可申請(煙火以外・譲受場所でない場合)	0	-	-	-
	火薬類消費 火薬類取扱保安責任者選任・解任届	0	-	-	-
	火薬類指定消費者 保安教育計画認可・変更認可申請	0	-	-	-
	火薬類指定消費者 指定取消申請	0	-	-	-
	火薬類消費 許可申請書記載事項変更届	0	-	-	-
	火薬類消費高報告書(種類・数量・日時・場所)	0	-	-	-
	火薬類消費 終了報告書	0	-	-	-
	小 計	1	0	1	0
その他	安定度試験結果報告書	0	-	-	-
	火薬類所有権取得届(相続・合併等)	0	-	-	-
	事故報告	0	-	-	-
	小 計	0	0	0	0
総 計		3	0	1	2

18. 立入検査実施結果(産業保安関係施設別)

平成30年12月31日現在

区分		署別	総数	枚方署	枚方東署	寝屋川署
高圧関係	第1種製造者		14	8	2	4
	第2種製造者		9	－	5	4
	第1種貯蔵所		1	1	－	－
	第2種貯蔵所		10	1	6	3
	冷凍事業者		36	10	11	15
	販売所		25	5	7	13
	容器検査登録所		4	1	－	3
	特定高圧ガス消費者		5	2	2	1
	その他		0	－	－	－
	小 計		104	28	33	43
液石関係	販売事業者		5	2	2	1
	保安機関		5	2	2	1
	特定液化石油ガス工事事業者		4	1	3	－
	充てん事業者		0	－	－	－
	その他		0	－	－	－
	小 計		14	5	7	2
火薬関係	製造所		0	－	－	－
	販売所		1	－	1	－
	火薬庫		1	－	－	1
	火薬庫外貯蔵庫		0	－	－	－
	火薬類消費場所		0	－	－	－
	煙火消費場所		0	－	－	－
	建設用びょう打ち銃用空砲消費場所		0	－	－	－
	その他		0	－	－	－
	小 計		2	－	1	1
総 計			120	33	41	46

19. 幼年・少年消防クラブ、婦人防火クラブ 防火委員会 表彰歴

平成30年12月31日現在

受賞年月日	クラブ名	表彰区分	
昭和57年3月28日	寝屋川市少年消防クラブ	優良少年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
8月3日	寝屋川市少年消防クラブ	優良少年消防クラブ表彰	(財)日本防火協会
昭和58年3月13日	枚方市婦人消防クラブ	優良婦人防火クラブ表彰	(財)日本防火協会
昭和60年3月24日	枚方市少年消防クラブ	優良少年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
3月29日	寝屋川市少年消防クラブ	優良少年消防クラブ表彰 (表彰楯)	全国少年消防クラブ運営指導協議会
8月 3日	枚方市少年消防クラブ	優良少年消防クラブ表彰	(財)日本防火協会
昭和62年3月26日	枚方市少年消防クラブ	優良少年消防クラブ表彰 (表彰楯)	全国少年消防クラブ運営指導協議会
昭和63年3月9日	当消防組合防火委員会	優良防火委員会表彰	(財)日本防火協会
3月27日	長尾保育園幼年消防クラブ	優良幼年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
	香里ヶ丘愛児園幼年消防クラブ	優良幼年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
	なかよし保育園幼年消防クラブ	優良幼年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
	枚方市婦人消防クラブ	優良婦人防火クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
	寝屋川市婦人防火クラブ	優良婦人防火クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
平成元年3月26日	津田保育園幼年消防クラブ	優良幼年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
	ギンガ保育園幼年消防クラブ	優良幼年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
	アカシヤ保育園幼年消防クラブ	優良幼年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
	めぐみ保育園幼年消防クラブ	優良幼年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
6月2日	寝屋川市婦人防火クラブ	優良婦人防火クラブ表彰	(財)日本防火協会
平成2年2月19日	寝屋川市婦人防火クラブ	優良婦人防火クラブ表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
3月25日	光の峰保育園幼年消防クラブ	優良幼年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
	三矢ゆりかご保育園幼年消防クラブ	優良幼年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
	ゆりかご保育園幼年消防クラブ	優良幼年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
	本町保育園幼年消防クラブ	優良幼年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
3月27日	寝屋川市少年消防クラブ	優良少年消防クラブ表彰 (表彰旗)	全国少年消防クラブ運営指導協議会
4月24日	枚方市婦人消防クラブ	優良婦人防火クラブ表彰	(財)日本防火協会

受賞年月日	クラブ名	表彰区分	
平成3年3月17日	こまどり保育園幼年消防クラブ	優良幼年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
	第2光の峰保育園幼年消防クラブ	優良幼年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
平成4年2月20日	寝屋川市少年消防クラブ	優良少年消防クラブ表彰	(財)日本防火協会
平成5年3月26日	枚方市少年消防クラブ	優良少年消防クラブ表彰 (表彰旗)	全国少年消防クラブ運営指導協議会
平成8年2月 8日	寝屋川市婦人防火クラブ	大阪府知事感謝状	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会 10周年記念式典
	寝屋川市婦人防火クラブ 島田 治子	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
平成9年3月23日	寝屋川市少年消防クラブ	優良少年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
平成10年2月6日	寝屋川市婦人防火クラブ 田中 夏美	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
3月22日	枚方市少年消防クラブ	優良少年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
	寝屋川市婦人防火クラブ 田中 夏美	優良婦人防火クラブ員表彰	(財)大阪府消防協会
平成11年2月5日	寝屋川市婦人防火クラブ 東田 千鶴子	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
3月21日	寝屋川市婦人防火クラブ 田中 夏美	優良婦人消防隊員表彰	(財)日本消防協会
平成12年2月10日	寝屋川市婦人防火クラブ 掛川 芙美子	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
3月19日	寝屋川市婦人防火クラブ	優良婦人防火クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
平成13年2月5日	寝屋川市婦人防火クラブ 皆川 操	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
平成14年2月7日	寝屋川市婦人防火クラブ 吉野 美寿和	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
3月26日	寝屋川市少年消防クラブ	優良少年消防クラブ表彰 (表彰楯)	全国少年消防クラブ運営指導協議会
平成15年2月6日	寝屋川市婦人防火クラブ 山田 勝子	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
11月19日	枚方市少年消防クラブ	優良少年消防クラブ表彰	(財)日本防火協会
	寝屋川市婦人防火クラブ	優良婦人防火クラブ表彰	
平成16年2月6日	寝屋川市婦人防火クラブ 西尾 美佐子	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
平成17年2月4日	寝屋川市婦人防火クラブ 合田 町子	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
平成18年2月3日	寝屋川市婦人防火クラブ	大阪府知事感謝状	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会 20周年記念式典
	寝屋川市婦人防火クラブ 林 シヅ	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
平成19年2月9日	寝屋川市婦人防火クラブ 米谷 信子	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
3月26日	枚方市少年消防クラブ (小倉小学校区)	優良な少年消防クラブ表彰 (楯)	全国少年消防クラブ運営指導協議会
	枚方市少年消防クラブ (牧野小学校区)	優良な少年消防クラブ表彰 (楯)	全国少年消防クラブ運営指導協議会

受賞年月日	クラブ名	表彰区分	
平成20年1月31日	寝屋川市婦人防火クラブ 田中 夏美	優良婦人防火クラブ員表彰	(財)日本防火協会
2月6日	寝屋川市婦人防火クラブ 内海 世津子	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
11月27日	寝屋川市婦人防火クラブ 田中 夏美	消防功労者総務大臣表彰	総務省
平成21年2月5日	寝屋川市婦人防火クラブ 長尾 直美	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
3月22日	枚方市少年消防クラブ (小倉小学校区)	優良少年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
	枚方市少年消防クラブ (牧野小学校区)	優良少年消防クラブ表彰	(財)大阪府消防協会
平成22年2月9日	寝屋川市婦人防火クラブ 山門 澄子	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
平成23年1月26日	寝屋川市婦人防火クラブ 山口 千代子	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
3月28日	枚方市少年消防クラブ (小倉小学校区)	特に優良な少年消防クラブ 表彰(表彰旗、楯)	全国少年消防クラブ運営指導協議会
	枚方市少年消防クラブ (牧野小学校区)	特に優良な少年消防クラブ 表彰(表彰旗、楯)	全国少年消防クラブ運営指導協議会
11月15日	大阪府婦人防火クラブ 連絡協議会 田中 夏美	藍綬褒章(平成23年秋の褒章)	総務省
平成24年1月24日	寝屋川市婦人防火クラブ 宮崎 光子	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
平成27年1月27日	寝屋川市婦人防火クラブ 上山 久子	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
平成28年1月26日	寝屋川市婦人防火クラブ 福島 洋子	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
平成29年1月24日	寝屋川市婦人防火クラブ 井田 正子	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
平成30年1月23日	寝屋川市婦人防火クラブ 定岡 亜紀	優良婦人防火クラブ員表彰	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会

20. 幼年・少年消防クラブ結成及び活動状況

・幼年消防クラブ

クラブ名	クラブ員数	防火教室	研修会	実践活動	施設見学	広報活動	式典	その他	参加延べ人員
総数	1,853	7	1	0	0	0	0	0	736
枚方市幼年消防クラブ	1089	7	-	-	-	-	-	-	724
寝屋川市幼年消防クラブ	764	-	1	-	-	-	-	-	12

・枚方市幼年消防クラブ

クラブ名	結成年月日	クラブ員数
光の峰保育園	昭和58年10月1日	120
第二光の峰保育園	昭和58年10月1日	90
香里ヶ丘愛児園	昭和58年10月1日	76
津田保育園	昭和58年10月1日	133
三矢ゆりかご保育園	昭和58年10月1日	162
ギンガ保育園	昭和58年10月1日	135
長尾保育園	昭和58年10月1日	189
第2長尾保育園	協力園	114

・寝屋川市幼年消防クラブ

クラブ名	結成年月日	クラブ員数
なかよし保育園	昭和58年10月1日	150
めぐみ保育園	昭和58年10月1日	120
アカシヤ保育園	昭和58年10月1日	95
ゆりかご保育園	昭和58年10月1日	104
本町保育園	昭和59年2月17日	124
こまどり保育園	昭和59年2月27日	96
第2アカシヤ保育園	協力園	75

・少年消防クラブ

クラブ名	クラブ員数	防火教室	研修会	実践活動	施設見学	広報活動	式典	その他	参加延べ人員
総数	66	20	-	1	3	3	3	-	585
枚方消防署少年消防クラブ	22	7	-	-	2	-	1	-	205
枚方東消防署少年消防クラブ	22	6	-	1	1	1	1	0	195
寝屋川消防署少年消防クラブ	22	7	-	-	-	2	1	0	185

枚方消防署少年消防クラブ：

- ・昭和56年11月28日に小倉小学校区で結成
- ・平成25年4月1日付けで枚方消防署管内の小学校区に拡大

枚方東消防署少年消防クラブ：

- ・昭和58年12月18日に牧野小学校区で結成
- ・平成25年4月1日付けで枚方東消防署管内の小学校区に拡大

寝屋川消防署少年消防クラブ：

- ・昭和53年8月29日に中央小学校区で結成
- ・昭和53年10月15日に第五小学校区で結成
- ・平成25年4月1日付けで寝屋川消防署管内の小学校区に拡大

21. 婦人防火クラブ結成及び活動状況

・結成状況

クラブ名	結成年月日	クラブ名	結成年月日
枚方市婦人消防クラブ	昭和53年5月11日	寝屋川市婦人防火クラブ	昭和52年12月21日

支 部 名	結成年月日	クラブ員数	支 部 名	結成年月日	クラブ員数
総 数		—	総 数		352
氷室学区支部	S. 53. 11. 14	—	御幸東町支部	S. 53. 2. 1	200
津田 "	S. 53. 11. 27	—	黒原橘町 "	S. 57. 12.23	105
蹉跎 "	S. 53. 12. 1	—	高柳7丁目 "	S. 57. 12.23	—
蹉跎西 "	S. 53. 12. 1	—	明和 "	S. 62. 6.15	1
枚二 "	S. 53. 12. 13	—	香里北之町 "	H. 4. 6.1	—
菅原 "	S. 53. 12. 17	—	本町香南園 "	H. 6. 2.1	—
山田東 "	S. 54. 1. 25	—	石津東町 "	H. 8. 5.1	—
中宮 "	S. 54. 2. 1	—	御幸西町 "	H. 10. 5.1	—
山之上 "	S. 54. 2. 18	—	東高柳2丁目 "	H. 11. 4.1	25
小倉 "	S. 54. 4. 2	—	高柳5丁目南 "	H. 12. 4.1	—
津田南 "	S. 54. 11. 26	—	黒原城内町 "	H. 15. 4.1	21
藤阪 "	S. 57. 4. 1	—	高柳2丁目南 "	休会中	
牧野 "	S. 60. 5. 8	—	平池町 "	休会中	
※平成5年10月より活動休止中			本町西地区 "	休会中	
			日之出町 "	休会中	
			大利元町 "	休会中	

・活動状況

ク ラ ブ 名	クラブ員数	施設見学	研修会	実践活動	広報活動	式 典	会議・活動	参加延べ人員
枚方市婦人消防クラブ	—	—	—	—	—	—	—	—
寝屋川市婦人防火クラブ	352	—	8	0	2	2	6	393

22. 無線局一覧表

平成30年12月31日現在

種 別 所 属 別		アナログ無線局					デジタル無線局							
		基 地 局	陸 上 移 動 局 (車 載 型)	陸 上 移 動 局 (防 災 相 互 波)	署 活 系 陸 上 移 動 局	無 線 局 合 計	基 地 局	前 進 基 地 局	陸 上 移 動 局 (卓 上 型)	陸 上 移 動 局 (車 載 型)	陸 上 移 動 局 (可 搬 型)	陸 上 移 動 局 (携 帯 型)	無 線 局 合 計	無 線 局 総 計
総 数		1	0	6	195	202	1	2	21	94	13	49	180	382
消 防 本 部		1	-	3	24	28	1	-	2	22	7	20	52	80
伊加賀分室		-	-	-	-	0	-	-	1	-	-	-	1	1
枚 方 署	小 計	0	0	1	49	50	0	0	5	21	2	9	37	87
	枚 方 本 署	-	-	-	23	23	-	-	1	12	2	5	20	43
	中 宮 出 張 所	-	-	-	4	4	-	-	1	1	-	1	3	7
	中 振 出 張 所	-	-	-	6	6	-	-	1	2	-	1	4	10
	渚 出 張 所	-	-	1	10	11	-	-	1	4	-	1	6	17
	川 越 出 張 所	-	-	-	6	6	-	-	1	2	-	1	4	10
枚 方 東 署	小 計	0	0	0	59	59	0	1	6	24	2	10	43	102
	枚 方 東 本 署	-	-	-	25	25	-	-	1	12	2	5	20	45
	阪 出 張 所	-	-	-	6	6	-	-	1	2	-	1	4	10
	楠 葉 出 張 所	-	-	-	8	8	-	-	1	3	-	1	5	13
	長 尾 出 張 所	-	-	-	6	6	-	-	1	2	-	1	4	10
	氷 室 出 張 所	-	-	-	6	6	-	1	1	2	-	1	5	11
	北 山 出 張 所	-	-	-	8	8	-	-	1	3	-	1	5	13
寝 屋 川 署	小 計	0	0	2	63	65	0	1	7	27	2	10	47	112
	寝 屋 川 本 署	-	-	2	27	29	-	1	1	14	2	5	23	52
	西 出 張 所	-	-	-	6	6	-	-	1	2	-	1	4	10
	南 出 張 所	-	-	-	6	6	-	-	1	2	-	1	4	10
	明 和 出 張 所	-	-	-	8	8	-	-	1	3	-	1	5	13
	秦 出 張 所	-	-	-	2	2	-	-	1	1	-	-	2	4
	三 井 出 張 所	-	-	-	8	8	-	-	1	3	-	1	5	13
	神 田 出 張 所	-	-	-	6	6	-	-	1	2	-	1	4	10

※ アナログ150MHz帯無線局については、防災相互波を除き平成28年5月末日で廃局。

23. 規格別車両配置表

	総 計	消 防 本 部	伊 加 賀 分 室	枚 方 消 防 署	中 宮 出 張 所	中 振 出 張 所	渚 出 張 所	川 越 出 張 所	枚 方 東 消 防 署	阪 出 張 所	楠 葉 出 張 所	長 尾 出 張 所	氷 室 出 張 所	北 山 出 張 所	寝 屋 川 消 防 署	西 出 張 所	南 出 張 所	明 和 出 張 所	救 急 ス テ ー シ ョ ン	秦 出 張 所	三 井 出 張 所	神 田 出 張 所
総 計	114	26	0	11	2	3	6	3	13	3	4	3	3	4	16	2	3	4	2	3	3	
CD－Ⅰ型 ポンプ車	17	－	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	－	1	1	
非常用 ポンプ車	6	－	－	1	－	－	1	－	1	－	－	1	－	－	1	－	－	－	1	－	－	
高規格 救急車	17	－	－	1	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
非常用 救急車	6	－	－	1	1	－	－	－	1	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	1	
救助工作車 Ⅲ型	3	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
Ⅲ型 化学車	2	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
38m級 梯子車	3	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	
15m級 梯子車	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
遠距離大量 送排水車	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	
水槽車	2	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	
可搬ポンプ 積載車	3	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
指揮車	4	1	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
指揮支援車	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
調査車	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
支援車 Ⅰ型	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
支援車 Ⅱ型	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
その他	43	20	－	4	－	1	1	1	5	1	1	－	－	1	6	－	1	1	－	－	－	

24. 大規模災害用装備

品名	個数	メーカー名	備考
遠距離大量送水用100 [㍓] ホース	195本	—	20メートル・アルミ金具製
放水銃(大量放水用)	1基	株式会社 YONE	最大流量4,700L/min クロスファイヤー
放水銃(大量放水用)	3基	株式会社 YONE	最大流量1,900L/min ブリッツファイヤー
組み立て水槽・20 [㍓]	2基	株式会社モリタ製	アルミパネル式・直径6メートル・16角形
大規模災害用消防資器材倉庫	19基	—	災害時に各種資器材を住民に貸し出し
エアータント	1張	アキレス株式会社	W4.0×L5.0×H2.8(m)
フレームテント	1張	TVI Corporation	W6.7×L5.38×H3.0(m)
フレーム式除染シャワーシステム	1張	BASE-X社	デコン203型

25. 署所別車両配置状況

・消防本部(26台)

	車種	登録番号	メーカー	型式	登録日	無線呼出名称
本部	司令車	大阪302た7223	トヨタ	DAA-AHR20W	H24.02.03	ひらしょうしれい1
	指揮車	大阪830さ・119	トヨタ	E-VZJ95W	H10.07.29	ひらしょうしき1
	調査車	大阪800そ3769	トヨタ	QDF-GDH201K	H31.03.15	ひらしょうちようさ1
	調査車	大阪800そ3751	トヨタ	QDF-GDH201K	H31.03.11	ひらしょうちようさ2
	査察車	大阪800た・101	ホンダ	R-EY7	H10.06.23	ひらしょうささつ1
	査察車	大阪800せ7060	マツダ	DBF-BVY12	H24.11.29	ひらしょうささつ2
	査察車	大阪800せ7059	マツダ	DBF-BVY12	H24.11.29	ひらしょうささつ3
	人員搬送車	大阪800せ・662	トヨタ	DBA-AZR60G	H19.07.23	ひらしょうはんそう2
	査察車	大阪800せ2457	ニッサン	DBA-C11	H20.09.26	ひらかたささつ1
	広報車	大阪800す5646	ホンダ	CBA-RF3	H16.11.04	ひらしょうこうほう2
	機械積載車	大阪800せ4134	トヨタ	CBF-TRH200V	H22.02.05	ひらしょうきかい1
	無線車	大阪800す9672	トヨタ	DBA-AZR60G	H18.12.06	ひらしょうかんり1
	資材運搬車	大阪800せ・867	トヨタ	BDG-XZU414	H19.09.06	ひらしょううんぱん1
	資材運搬車	大阪400て9543	トヨタ	PB-XZU306	H16.11.30	-
	指揮支援車	大阪800せ2319	ニッサン	CBA-SGE25	H20.09.11	ひらしょうしきしえん1
	人員搬送車	大阪800せ2802	日野	BDG-XZB51M	H21.01.16	ひらしょうはんそう1
	多目的車	大阪100す3930	トヨタ	KK-LY228K	H16.05.27	-
	起震車	大阪800す7857	イスズ	PB-NPR81AN	H18.01.20	-
	ミニ消防車	大阪80あ2009	ミツビシ	GD-U61T	H12.12.20	-
	ミニ消防車	大阪880あ1584	ミツビシ	GBD-U61T	H22.11.09	-
	軽・事務連絡車	大阪41み9526	ホンダ	V-HH4	H07.06.23	-
	事務連絡車・軽	大阪480た8911	ニッサン	GBD-U71V	H23.09.30	-
	事務連絡車・軽	大阪41み9530	ホンダ	V-HH3	H07.06.22	-
	軽・資材運搬車	大阪880あ1383	ニッサン	GBD-U72V	H22.01.28	-
	支援車Ⅰ型	大阪832ほ・119	イスズ	QKG-CXY77AJ	H25.03.19	ひらしょうしえん1
	支援車Ⅱ型	大阪800ほ1654	イスズ	SDG-FSS90S1	H27.02.26	ひらしょうとくさい1

・枚方消防署(25台)

	車種	登録番号	メーカー	型式	登録日	無線呼出名称
本署	指揮車	大阪800そ・357	トヨタ	QDF-KDH201K	H28.02.19	ひらかたしき1
	広報車	大阪800せ2456	ニッサン	DBA-AK12	H20.09.26	ひらかたこうほう1
	広報車	大阪800さ8950	ニッサン	GF-PC24	H13.09.26	ひらしょうこうほう1
	ミニタンク車	大阪800せ2800	日野	BDG-XZU334M	H21.01.16	ひらかたたんく1
	救助工作車	大阪800は1889	日野	SDG-GX7JGAA	H30.03.01	ひらかたきゅうじょ1
	高規格救急車	大阪800そ・504	トヨタ	CBF-TRH226S	H28.03.24	ひらかたきゅうきゅう1
	可搬積載車	大阪800す・892	ニッサン	GE-SH4F23	H14.07.30	ひらかたかはん1
	放水砲車	大阪800す6329	トヨタ	PB-XZU308V	H17.03.18	ひらかたほうすいほう1
	事務連絡車	大阪502ね9543	ニッサン	DBA-C25	H19.05.29	—
	非常用救急車	大阪800せ1156	トヨタ	CBF-TRH226S	H19.11.22	ひらかたきゅうきゅう6
	非常用ミニタンク車	大阪800す5847	日野	PD-XZU334M	H16.12.14	ひらかたたんく5
中宮出張所	ミニタンク車	大阪800せ1013	日野	BDG-XZU378M	H19.10.12	なかみやたんく1
	非常用救急車	大阪800せ243	トヨタ	CBF-TRH226S	H19.03.29	ひらかたきゅうきゅう5
中振出張所	ミニタンク車	大阪800せ3979	日野	BDG-XZU334M	H21.12.15	なかぶりたんく1
	高規格救急車	大阪800せ8116	トヨタ	CBF-TRH226S	H25.12.06	なかぶりきゅうきゅう1
	事務連絡車・軽	大阪480す4684	ホンダ	GBD-HH5	H21.08.25	—
渚出張所	化学車	大阪800は1518	日野	QKG-FH1ALAA改	H25.02.14	なぎさかがく1
	ミニタンク車	大阪800せ6166	日野	SKG-XZU640M	H24.02.09	なぎさたんく1
	梯子車	大阪800は1767	日野	QDG-FR1APEA	H28.12.08	なぎさはしご1
	高規格救急車	大阪800せ6175	トヨタ	CBF-TRH226S	H24.02.15	なぎさきゅうきゅう1
	非常用ポンプ車	大阪800す7833	日野	PD-XZU334M	H18.01.17	ひらかたぽんぷ6
	事務連絡車・軽	大阪480こ4299	ダイハツ	EBD-S321V	H20.07.31	—
川越出張所	ミニタンク車	大阪800せ6167	日野	SKG-XZU640M	H24.02.09	かわごしたんく1
	高規格救急車	大阪800そ・1443	トヨタ	CBF-TRH226S	H29.01.19	かわごしきゅうきゅう1
	事務連絡車・軽	大阪480す4685	ホンダ	GBD-HH5	H21.08.25	—

・枚方東消防署(30台)

	車種	登録番号	メーカー	型式	登録日	無線呼出名称
本署	指揮車	大阪800す9484	トヨタ	CBF-TRH200V	H18.10.30	ひらかたひがししき1
	査察車	大阪800さ5371	ホンダ	GJ-EY7	H12.05.29	ひらかたひがしさつ1
	広報車	大阪800さ8951	ニッサン	GF-PC24	H13.09.26	ひらかたひがしこうほう1
	ミニタンク車	大阪800そ2635	日野	TPG-XZU640M	H30.02.23	ひらかたひがしたんく1
	救助工作車	大阪800は1329	日野	BDG-GX7JGWA改	H21.12.10	ひらかたひがしきゅうじょ1
	水槽車	大阪800は1334	日野	BKG-FR1APYA	H22.01.15	ひらかたひがしすいそう1
	高規格救急車	大阪800そ3409	トヨタ	CBF-TRH226S	H30.10.24	ひらかたひがしきゅうきゅう1
	ミニタンク車	大阪800す8056	日野	PD-XZU334M	H18.02.24	ひらかたひがしたんく5
	非常用救急車	大阪800せ1157	トヨタ	CBF-TRH226S	H19.11.22	ひらかたひがしきゅうきゅう5
	可搬積載車	大阪800す4335	ニッサン	TC-SH4F23	H16.02.24	ひらかたひがしかはん1
	事務連絡車	大阪503そ7215	トヨタ	DBA-ZRR70G	H23.08.31	—
	事務連絡車・軽	大阪480そ7956	スバル	EBD-TV1	H23.01.20	—
	事務連絡車・軽	大阪43つ1293	ダイハツ	CD-S200V	H12.10.31	—
	事務連絡車・軽	大阪43つ1293	ダイハツ	CD-S200V	H12.10.31	—
阪出張所	ミニタンク車	大阪800そ3630	日野	TPG-XZU640M	H31.01.28	さかたんく1
	高規格救急車	大阪800せ6124	トヨタ	CBF-TRH226S	H24.01.19	さかきゅうきゅう1
	事務連絡車・軽	大阪480す4687	ホンダ	GBD-HH5	H21.08.25	—
楠葉出張所	梯子車	大阪800は1519	日野	QDG-FR1APBA	H25.03.01	くずははしご1
	ミニタンク車	大阪800せ9438	日野	TKG-XZU640M	H27.03.20	くずはたんく1
	高規格救急車	大阪800そ・277	トヨタ	CBF-TRH226S	H28.01.14	くずはきゅうきゅう1
	事務連絡車・軽	大阪480た8910	ニッサン	GBD-U71V	H23.09.30	—
長尾出張所	ミニタンク車	大阪800せ・136	日野	PD-XZU334M	H19.03.16	ながおたんく1
	非常用ポンプ車	大阪800す6019	日野	PD-XZU334M	H17.01.20	ひらかたひがしぼんぷ5
	高規格救急車	大阪800せ8390	トヨタ	CBF-TRH226S	H26.03.25	ながおきゅうきゅう1
氷室出張所	ミニタンク車	大阪800せ3980	日野	BDG-XZU334M	H21.12.15	ひむろたんく1
	高規格救急車	大阪800せ2578	トヨタ	CBF-TRH226S	H20.10.30	ひむろきゅうきゅう1
	非常用救急車	大阪800せ5168	トヨタ	CBF-TRH226S	H23.02.22	ひらかたひがしきゅうきゅう6
北山出張所	ミニタンク車	大阪800せ・135	日野	PD-XZU334M	H19.03.16	きたやまたんく1
	高規格救急車	大阪800そ3496	トヨタ	CBF-TRH226S	H30.11.03	きたやまきゅうきゅう1
	大量送排水システム車	大阪800そ1339	日野	TKG-XZU695M	H28.12.05	きたやま かがく 1
	事務連絡車・軽	大阪480こ4300	ダイハツ	EBD-S321V	H20.08.06	—

・寝屋川消防署(33台)

	車種	登録番号	メーカー	型式	登録日	無線呼出名称
本署	指揮車	大阪800そ・363	トヨタ	QDF-KDH201K	H28.02.22	ねやがわしき1
	査察車	大阪800せ7061	マツダ	DBF-BVY12	H24.11.29	ねやがわさつ1
	広報車	大阪800さ8948	ニッサン	GF-PC24	H13.09.26	ねやがわこうほう1
	梯子車	大阪800は1411	日野	BDG-GD7JGWA改	H23.03.17	ねやがわはしご1
	化学車	大阪800は1718	日野	QPG-FH1ALDA改	H28.01.20	ねやがわかがく1
	ミニタンク車	大阪800せ9439	日野	TKG-XZU640M	H27.03.20	ねやがわたんく1
	非常用ミニタンク車	大阪800さ7258	ニッサンD	KK-BKR71GN改	H13.02.16	ねやがわたんく6
	救助工作車	大阪800は・974	日野	ADG-GX7JGWA	H17.12.27	ねやがわきゅうじょ1
	非常用救急車	大阪800せ5167	トヨタ	CBF-TRH226S	H23.02.22	ねやがわきゅうきゅう6
	高規格救急車	大阪800そ2317	トヨタ	CBF-TRH226S	H29.10.23	ねやがわきゅうきゅう1
	可搬積載車	大阪800せ6278	トヨタ	SKG-XZU655	H24.03.13	ねやがわかはん1
	大量送排水システム車	大阪800せ9433	日野	TKG-XZU695M	H27.03.19	ねやがわたいりょうそうすい1
	事務連絡車	大阪502は5964	ホンダ	DBA-RG1	H20.05.26	—
	事務連絡車・軽	大阪480こ4298	ダイハツ	EBD-S321V	H20.07.31	—
	事務連絡車・軽	大阪480す4688	ホンダ	GBD-HH5	H21.08.25	—
	事務連絡車・軽	大阪480た8912	ニッサン	GBD-U71V	H23.09.30	—
西出張所	ミニタンク車	大阪800せ・137	日野	PD-XZU334M	H19.03.16	にしたんく1
	高規格救急車	大阪800せ8389	トヨタ	CBF-TRH226S	H26.03.25	にしきゅうきゅう1
南出張所	ミニタンク車	大阪800せ1012	日野	BDG-XZU334M	H19.10.12	みなみたんく1
	高規格救急車	大阪800せ6125	トヨタ	CBF-TRH226S	H24.01.19	みなみきゅうきゅう1
	事務連絡車・軽	大阪480そ7955	スバル	EBD-TV1	H23.01.20	—
明和出張所	ミニタンク車	大阪800せ7198	日野	TKG-XZU640M	H25.01.29	めいわたんく1
	水槽車	大阪800は1402	日野	LKG-FR1APBA	H23.02.17	めいわすいそう1
	高規格救急車	大阪800せ6174	トヨタ	CBF-TRH226S	H24.02.15	めいわきゅうきゅう1
	事務連絡車・軽	大阪480そ7957	スバル	EBD-TV1	H23.01.20	—
秦出張所 救急ステーション	高規格救急車	大阪800せ7044	トヨタ	CBF-TRH226S	H24.11.22	はたきゅうきゅう1
	非常用ポンプ車	大阪800す4279	日野	KK-XZU331M	H16.02.16	ねやがわポンプ6
三井出張所	梯子車	大阪800は1571	日野	QDG-FR1APBA	H26.01.17	みいはしご1
	ミニタンク車	大阪800せ2640	日野	BDG-XZU334M	H20.11.18	みいたんく1
	高規格救急車	大阪800そ・505	トヨタ	CBF-TRH226S	H28.03.24	みいきゅうきゅう1
神田出張所	ミニタンク車	大阪800せ2641	日野	BDG-XZU334M	H20.11.18	かみだたんく1
	高規格救急車	大阪800そ3410	トヨタ	CBF-TRH226S	H30.10.24	かみだきゅうきゅう1
	非常用救急車	大阪800せ2579	トヨタ	CBF-TRH226S	H20.10.30	ねやがわきゅうきゅう5

26. 消防隊の火災出動隊数(事後聞知及び火災事案時の進駐も含む)

火災種別 隊別		総 数	建 物	林 野	車 両	その他
総 数		518	399	0	30	89
枚 方 消 防 署	小 計	157	122	0	9	26
	枚 方 消 防 隊	27	17	0	2	8
	中 宮 消 防 隊	26	21	0	2	3
	中 振 消 防 隊	31	27	0	0	4
	渚 消 防 隊	26	20	0	1	5
	渚 梯 子 隊	5	5	0	0	0
	渚 化 学 隊	6	6	0	0	0
	川 越 消 防 隊	36	26	0	4	6
枚 方 東 消 防 署	小 計	149	99	0	15	35
	枚 方 東 消 防 隊	29	16	0	4	9
	阪 消 防 隊	34	20	0	4	10
	楠 葉 消 防 隊	14	10	0	1	3
	楠 葉 梯 子 隊	4	4	0	0	0
	長 尾 消 防 隊	27	18	0	4	5
	氷 室 消 防 隊	18	14	0	0	4
	北 山 消 防 隊	23	17	0	2	4
寝 屋 川 消 防 署	小 計	212	178	0	6	28
	寝 屋 川 消 防 隊	35	30	0	2	3
	寝 屋 川 化 学 隊	4	4	0	0	0
	寝 屋 川 梯 子 隊	21	21	0	0	0
	西 消 防 隊	31	25	0	2	4
	南 消 防 隊	30	24	0	0	6
	明 和 消 防 隊	19	11	0	0	8
	三 井 消 防 隊	36	32	0	1	3
神 田 消 防 隊	三 井 梯 子 隊	7	7	0	0	0
	神 田 消 防 隊	29	24	0	1	4

※ 枚方東消防隊と明和消防隊はそれぞれ水槽車による出動を含みます。

27. 署所別水利状況

・消火栓

区 分 署所別		総 数	公 設 (配 管 別)								私 設
			小 計	75 mm	75 mm	100 mm	150 mm	200 mm	250 mm	300 mm	
				未満		125 mm				以上	
総 数		9,387	8,982	2	1,986	1,737	3,151	1,003	420	683	405
枚方消防署	小 計	3,491	3,340	0	798	732	1,017	379	158	256	151
	本 署	857	850	-	237	196	260	78	38	41	7
	中宮出張所	499	428	-	99	68	120	53	44	44	71
	中振出張所	614	597	-	138	122	203	86	15	33	17
	渚出張所	725	700	-	205	143	220	50	34	48	25
	川越出張所	796	765	-	119	203	214	112	27	90	31
枚方東消防署	小 計	2,981	2,902	2	705	412	1,056	352	135	240	79
	本 署	603	600	1	129	53	255	83	19	60	3
	阪出張所	566	517	1	166	66	178	45	30	31	49
	楠葉出張所	637	634	-	163	117	222	59	34	39	3
	長尾出張所	597	576	-	145	77	199	72	31	52	21
	氷室出張所	260	260	-	51	31	93	49	16	20	-
	北山出張所	318	315	-	51	68	109	44	5	38	3
寝屋川消防署	小 計	2,915	2,740	-	483	593	1,078	272	127	187	175
	本 署	606	598	-	122	138	206	34	49	49	8
	西出張所	494	493	-	62	102	219	46	20	44	1
	南出張所	480	404	-	79	71	183	40	15	16	76
	明和出張所	476	442	-	67	100	168	70	7	30	34
	秦出張所	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	三井出張所	504	450	-	85	102	154	68	10	31	54
	神田出張所	355	353	-	68	80	148	14	26	17	2

・防火水槽等

区 分 署所別		総 数	防 火 水 槽								プ ール	河 川・ 池	そ の 他	
			小 計	公 設(m³)				私 設(m³)						
				100 以上	60 ゝ 100	40 ゝ 60	20 ゝ 40	100 以上	60 ゝ 100	40 ゝ 60				20 ゝ 40
総 数		946	607	6	7	105	1	36	84	341	27	128	147	64
枚方消防署	小 計	333	238	0	3	25	1	15	55	132	7	47	13	35
	本 署	76	51	－	1	2	1	4	12	31	－	9	3	13
	中宮出張所	66	55	－	2	2	－	8	11	26	6	6	2	3
	中振出張所	42	29	－	－	4	－	－	5	20	－	10	2	1
	渚出張所	91	74	－	－	9	－	3	19	43	－	12	3	2
	川越出張所	58	29	－	－	8	－	－	8	12	1	10	3	16
枚方東消防署	小 計	350	202	5	1	42	0	13	13	119	9	35	108	5
	本 署	82	55	1	－	9	－	8	6	29	2	7	20	－
	阪出張所	32	19	－	－	8	－	1	－	10	－	7	5	1
	楠葉出張所	40	22	－	1	－	－	1	2	16	2	9	5	4
	長尾出張所	41	22	－	－	14	－	－	－	7	1	8	11	－
	氷室出張所	93	29	3	－	9	－	－	－	16	1	1	63	－
	北山出張所	62	55	1	－	2	－	3	5	41	3	3	4	－
寝屋川消防署	小 計	263	167	1	3	38	0	8	16	90	11	46	26	24
	本 署	44	33	－	1	9	－	1	1	21	－	9	1	1
	西出張所	27	17	－	－	2	－	2	2	11	－	7	1	2
	南出張所	68	48	1	－	5	－	2	3	27	10	9	2	9
	明和出張所	77	50	－	2	17	－	1	9	20	1	7	13	7
	秦出張所	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	三井出張所	38	16	－	－	4	－	2	1	9	－	9	9	4
	神田出張所	9	3	－	－	1	－	－	－	2	－	5	－	1

※ 防火水槽寸法(容量)20m³未満を含まず。

28. 分団別消防団員数及び消防機械

平成30年12月31日現在

区分 市別・分団別		消 防 団 員								消 防 機 械			
		総 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	総 数	ポン プ 車	小型 動力 ポン プ 積 載 車	小型 動力 ポン プ
総 数		844	2	9	17	16	31	82	687	83	2	74	7
枚 方 市	小 計	462	1	6	11	11	31	49	353	51	1	43	7
	本部事務局	7	1	6	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	枚方分団	24	-	-	1	1	3	4	15	2	1	1	-
	蹉跎分団	32	-	-	1	1	3	4	23	4	-	4	-
	川越分団	36	-	-	1	1	3	4	27	4	-	4	-
	山田分団	48	-	-	1	1	3	7	36	7	-	7	-
	殿一分団	41	-	-	1	1	3	8	28	5	-	5	-
	殿二分団	55	-	-	1	1	3	6	44	4	-	4	-
	樟葉分団	38	-	-	1	1	3	4	29	4	-	4	-
	津田分団	57	-	-	1	1	3	4	48	6	-	4	2
	菅原分団	54	-	-	1	1	3	3	46	7	-	5	2
	氷室分団	52	-	-	1	1	3	3	44	6	-	3	3
	女性分団	18	-	-	1	1	1	2	13	1	-	1	-
	小 計	382	1	3	6	5	0	33	334	32	1	31	0
寝 屋 川 市	団本部	17	1	3	-	-	-	1	12	0	-	-	-
	第1南分団	54	-	-	1	1	-	6	46	6	-	6	-
	第1北分団	57	-	-	1	1	-	6	49	6	-	6	-
	第2分団	90	-	-	1	-	-	7	82	7	-	7	-
	第3分団	60	-	-	1	1	-	5	53	5	-	5	-
	第4分団	58	-	-	1	1	-	4	52	4	-	4	-
	第5分団	46	-	-	1	1	-	4	40	4	1	3	-

・消防団員の年齢
(枚方市消防団)

平成30年12月31日現在

年齢別 階級別	総 数	20歳 以 下	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 以 上
総 数	462	0	3	8	27	41	90	101	84	108
団 長	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
副団長	6	-	-	-	-	-	-	-	1	5
分団長	11	-	-	-	-	-	1	1	5	4
副分団長	11	-	-	-	-	-	-	3	1	7
部 長	31	-	-	-	1	3	6	7	3	11
班 長	49	-	-	1	1	4	10	11	13	9
団 員	353	-	3	7	25	34	73	79	61	71

(寝屋川市消防団)

年齢別 階級別	総 数	20歳 以 下	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 以 上
総 数	382	2	5	8	16	29	72	76	58	116
団 長	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
副団長	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
分団長	6	-	-	-	-	-	-	-	-	6
副分団長	5	-	-	-	-	-	2	-	-	3
部 長	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
班 長	33	-	-	-	-	1	1	5	7	19
団 員	334	2	5	8	16	28	69	71	51	84

・消防団員の在団年数
(枚方市消防団)

年齢別 階級別	総 数	1 年 未 満	1 年 以 上	5 年 未 満	5 年 以 上	10 年 未 満	10 年 以 上	15 年 未 満	15 年 以 上	20 年 未 満	20 年 以 上	25 年 未 満	25 年 以 上	30 年 未 満	30 年 以 上
総 数	462	17	88	67	76	72	74	41	27						
団 長	1	-	-	-	-	-	-	1	-						
副団長	6	-	-	-	-	-	-	2	4						
分団長	11	-	-	-	-	1	2	4	2	2					
副分団長	11	-	-	-	1	3	-	3	-	4					
部 長	30	-	3	4	8	6	6	-	3						
班 長	49	-	5	11	7	13	9	3	1						
団 員	354	17	80	51	57	51	52	33	13						

(寝屋川市消防団)

年齢別 階級別	総 数	1 年 未 満	1 年 以 上	5 年 未 満	5 年 以 上	10 年 未 満	10 年 以 上	15 年 未 満	15 年 以 上	20 年 未 満	20 年 以 上	25 年 未 満	25 年 以 上	30 年 未 満	30 年 以 上
総 数	382	6	77	58	74	50	48	35	34						
団 長	1	-	-	-	-	-	-	-	1						
副団長	3	-	-	-	-	-	1	-	2						
分団長	6	-	-	-	-	-	1	1	4						
副分団長	5	-	-	-	-	1	2	1	-	1					
部 長	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
班 長	33	-	-	3	7	8	3	5	7						
団 員	334	6	77	55	66	39	42	26	23						

29.火災概況

△は減少

	枚 方 市		寝 屋 川 市		消 防 組 合			
	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年	平成30年 (A)	平成29年 (B)	対前年 増減数 (A) - (B) = (C)	増減率(%) (C) / (B) * 100
総出火件数(件)	111	114	74	56	185	170	15	8.8
建物火災	61	66	51	37	112	103	9	8.7
うち爆発	1	-	-	-	1	-	1	-
林野火災	-	-	-	-	-	-	-	-
うち爆発	-	-	-	-	-	-	-	-
車両火災	14	15	3	4	17	19	△2	△10.5
うち爆発	-	-	-	-	-	-	-	-
船舶火災	-	-	-	-	-	-	-	-
うち爆発	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機火災	-	-	-	-	-	-	-	-
うち爆発	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の火災 { 雑草	7	14	5	6	12	20	△8	△40.0
{ その他	29	19	15	9	44	28	16	57.1
{ うち爆発	-	-	-	-	-	-	-	-
焼損棟数	73	70	68	45	141	115	26	22.6
内訳 {	全焼	12	2	6	18	4	14	350.0
	半焼	6	2	2	8	2	6	300.0
	部分焼	10	11	10	20	22	△2	△9.1
	ぼや	45	55	50	95	87	8	9.2
爆発棟数	1	-	-	-	1	-	1	-
り 内訳 {	世帯員	59	59	61	120	106	14	13.2
	人	118	154	147	265	260	5	1.9
	全損 { 世帯員	12	6	11	23	11	12	109.1
	半損 { 人	27	11	19	46	24	22	91.7
	小損 { 世帯員	1	3	1	2	4	△2	△50.0
	人	3	4	5	8	9	△1	△11.1
	世帯員	46	50	49	95	91	4	4.4
	人	88	139	123	211	227	△16	△7.0
死者数	2	1	3	1	5	2	3	150.0
内訳 {	男	1	1	-	2	1	1	100.0
	女	1	-	2	3	1	2	200.0
負傷者数	25	30	20	7	45	37	8	21.6
内訳 {	男	15	11	12	27	16	11	68.8
	女	10	19	8	18	21	△3	△14.3
30日死者	男	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-
建物焼損床面積 (㎡)	2,072	679	1,730	212	3,802	891	2,911	326.7
建物焼損表面積 (㎡)	538	337	204	73	742	410	332	81.0
林野焼損面積 (a)	-	-	-	-	-	-	-	-
その他 焼損面積 (a)	13.3	36.3	1.4	3.0	14.7	39.3	△24.6	△62.6
焼損量 (m³)	1.0	2.0	-	4.0	1.0	6.0	△5.0	△83.3
損害額 (千円)	168,449	44,365	98,790	19,346	267,239	63,711	203,528	319.5
建物火災	159,538	43,883	98,401	18,673	257,939	62,556	195,383	312.3
林野火災	-	-	-	-	-	-	-	-
車両火災	8,817	433	357	650	9,174	1,083	8,091	747.1
航空機火災	-	-	-	-	-	-	-	-
船舶火災	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の火災	94	49	32	23	126	72	54	75.0
うち爆発	9	-	-	-	9	-	9	-

・平成30年中の全国の火災概況

区分 \ 年 別	平成30年 (A)	平成29年 (B)	増 減 (A) - (B) = (C)	増減率 (C) / (B) %
総 数 (件)	37,900	39,373	△1,473	△3.7%
建 物 火 災	20,703	21,365	△662	△3.1%
林 野 火 災	1,365	1,284	81	6.3%
車 両 火 災	3,653	3,863	△210	△5.4%
船 舶 火 災	69	72	△3	△4.2%
航 空 機 火 災	1	6	△5	△83.3%
そ の 他 の 火 災	12,109	12,783	△674	△5.3%
焼 損 棟 数	29,871	30,824	△953	△3.1%
り災世帯数(世帯)	17,966	18,853	△887	△4.7%
建物焼損床面積(m ²)	1,035,896	1,069,932	△34,036	△3.2%
建物焼損表面積(m ²)	120,754	111,304	9,450	8.5%
林野焼損面積(a)	60,514	93,808	△33,294	△35.5%
損 害 額 (千 円)	73,347,268	89,322,667	△15,975,399	△17.9%
死 者 数 (人)	1,422	1,456	△34	△2.3%
負 傷 者 数 (人)	6,022	6,052	△30	△0.5%
出 火 率	2.97	3.08	△0.11	△3.6%
死 者 発 生 率	1.11	1.14	△0.03	△2.6%

・平成30年中の大阪府の火災概況

区分 \ 年 別	平成30年 (A)	平成29年 (B)	増 減 (A) - (B) = (C)	増減率 (C) / (B) %
総 数 (件)	1,984	2,319	△335	△14.4%
建 物 火 災	1,404	1,608	△204	△12.7%
林 野 火 災	8	14	△6	△42.9%
車 両 火 災	149	200	△51	△25.5%
船 舶 火 災	2	3	△1	△33.3%
航 空 機 火 災	-	-	-	-
そ の 他 の 火 災	421	494	△73	△14.8%
焼 損 棟 数	1,801	1,977	△176	△8.9%
り災世帯数(世帯)	1,486	1,748	△262	△15.0%
建物焼損床面積(m ²)	37,096	33,969	3,127	9.2%
建物焼損表面積(m ²)	5,911	7,404	△1,493	△20.2%
林野焼損面積(a)	106	1,248	△1,142	△91.5%
損 害 額 (千 円)	4,984,935	3,618,574	1,366,361	37.8%
死 者 数 (人)	82	79	3	3.8%
負 傷 者 数 (人)	491	493	△2	△0.4%
出 火 率	2.24	2.62	△0.38	△14.5%
死 者 発 生 率	0.93	0.89	0.04	4.5%

※ 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数

※ 死者発生率とは、人口10万人当たりの死者数

※ 「平成30年(1月～12月)における火災の概要(概数)」(平成31年4月15日付け総務省消防庁)

・1日及び1件あたりの火災状況・出火率

行政区分						組 合	枚 方 市	寝屋川市
区 分		単 位						
1 日あたり	火 災 件 数	件	0.5	0.3	0.2			
	焼 損 棟 数	棟	0.4	0.2	0.2			
	建 物 焼 損 床 面 積	m ²	10.4	5.7	4.7			
	建 物 焼 損 表 面 積	m ²	2.1	1.5	0.6			
	損 害 額	千 円	733	462	271			
	り 災 世 帯 数	世 帯	0.4	0.2	0.2			
	り 災 人 員	人	0.7	0.3	0.4			
	死 傷 者	人	0.02	0.01	0.01			
	負 傷 者	人	0.12	0.07	0.05			
	1 件あたり	建 焼 損 棟 数	棟	1.5	1.5	1.5		
損 害 額		千 円	2,303	2,615	1,929			
建 物 焼 損 床 面 積		m ²	33.9	34	33.9			
建 物 焼 損 表 面 積		m ²	6.3	8.2	4			
り 災 世 帯 数		世 帯	1.1	1	1.2			
り 災 人 員		人	2.4	1.9	2.9			
車 両 火 災 損 害 額		千 円	533	621	119			
そ の 他 の 火 災 損 害 額		千 円	2	3	2			
人 口 1 万 人 当 た り の 出 火 率			2.91	2.76	3.16			

※ 出火率については、小数点第3位四捨五入。

・ 覚知別火災発生状況

区 分	組 合					枚 方 市					寝 屋 川 市				
	火 災 件 数	建 物	林 野	車 両	そ の 他	火 災 件 数	建 物	林 野	車 両	そ の 他	火 災 件 数	建 物	林 野	車 両	そ の 他
覚知別															
総 数	185	112	-	17	56	111	61	-	14	36	74	51	-	3	20
火災報知専用電話(固定NTT以外から)	27	23	-	3	1	17	13	-	3	1	10	10	-	-	-
火災報知専用電話(固定NTTから)	14	10	-	-	4	9	6	-	-	3	5	4	-	-	1
火災報知専用電話(携帯電話から)	70	37	-	13	20	44	20	-	11	13	26	17	-	2	7
加入電話(固定電話から)	9	8	-	-	1	5	4	-	-	1	4	4	-	-	-
加入電話(携帯電話から)	4	2	-	-	2	4	2	-	-	2	-	-	-	-	-
警察電話	22	8	-	1	13	11	3	-	-	8	11	5	-	1	5
駆け付け通報	1	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
事後聞知	29	18	-	-	11	15	9	-	-	6	14	9	-	-	5
その他	9	5	-	-	4	5	3	-	-	2	4	2	-	-	2

30. 火災発生状況と損害状況

・署所別火災発生損害状況

		火 災 種 別							焼 損 棟 数					爆 発 棟 数
		火 災 件 数	う ち 爆 発	建 物	林 野	車 両	その他		合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	
							枯 草 等	そ の 他						
総 数		185	1	112	0	17	12	44	141	18	8	20	95	1
枚 方 署	小 計	52	-	27	-	7	2	16	38	8	1	5	24	-
	枚 方	12	-	6	-	2	-	4	6	1	-	2	3	-
	中 宮	7	-	2	-	3	-	2	2	-	-	-	2	-
	中 振	10	-	9	-	-	-	1	20	6	-	2	12	-
	渚	12	-	5	-	1	1	5	5	-	1	-	4	-
	川 越	11	-	5	-	1	1	4	5	1	-	1	3	-
枚 方 東 署	小 計	59	1	34	-	7	5	13	35	4	5	5	21	1
	枚方東	10	-	5	-	2	1	2	5	-	1	1	3	-
	阪	8	-	6	-	1	-	1	6	-	1	-	5	-
	楠 葉	7	-	3	-	2	1	1	3	-	-	1	2	-
	長 尾	12	-	6	-	2	1	3	6	1	1	2	2	-
	氷 室	13	1	9	-	-	2	2	10	3	1	-	6	1
	北 山	9	-	5	-	-	-	4	5	-	1	1	3	-
寝 屋 川 署	小 計	74	-	51	-	3	5	15	68	6	2	10	50	-
	寝屋川	11	-	8	-	1	1	1	13	-	1	3	9	-
	西	17	-	11	-	2	1	3	13	1	-	1	11	-
	南	18	-	11	-	-	1	6	14	2	1	2	9	-
	明 和	7	-	4	-	-	1	2	4	-	-	-	4	-
	三 井	11	-	9	-	-	1	1	11	1	-	2	8	-
	神 田	10	-	8	-	-	-	2	13	2	-	2	9	-

り 災 世 帯 数				り 災 人 員	焼 損 面 積				損 害 額 (千 円)					死 傷 者		
					建 物		林 野 (a)	枯 草 等 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	死 者 (4 8 時 間)	負 傷 者	30 日 死 者
					焼 損 床 面 積 (m²)	焼 損 表 面 積 (m³)										
合 計	全 損	半 損	小 損		3,802	742	0.0	14.7	267,239	257,939	0	9,174	126	5	45	0
29	8	-	21	65	847	72	-	0.6	95,401	93,769	-	1,575	57	1	14	-
3	2	-	1	8	131	-	-	-	6,698	6,064	-	615	19	-	2	-
1	-	-	1	3	-	-	-	-	964	4	-	960	-	-	-	-
18	5	-	13	39	519	72	-	-	51,834	51,814	-	-	20	1	7	-
2	-	-	2	3	88	-	-	-	13,752	13,740	-	-	12	-	-	-
5	1	-	4	12	109	-	-	0.6	22,153	22,147	-	-	6	-	5	-
30	4	1	25	53	1,225	466	-	12.7	73,048	65,769	-	7,242	37	1	11	-
3	-	1	2	7	48	53	-	-	10,845	8,810	-	2,033	2	-	4	-
5	1	-	4	14	24	8	-	-	6,920	6,910	-	-	10	-	3	-
1	-	-	1	3	13	-	-	0.6	339	339	-	-	-	-	-	-
16	2	-	14	19	154	11	-	1.2	17,244	12,035	-	5,209	-	1	1	-
-	-	-	-	-	73	-	-	10.9	2,295	2,278	-	-	17	-	1	-
5	1	-	4	10	913	394	-	-	35,405	35,397	-	-	8	-	2	-
61	11	1	49	147	1,730	204	-	1.4	98,790	98,401	-	357	32	3	20	-
7	-	-	7	21	1,062	50	-	-	41,501	41,342	-	157	2	-	1	-
9	1	-	8	17	53	2	-	1.0	6,066	5,862	-	200	4	1	2	-
8	2	-	6	21	229	31	-	0.4	14,945	14,923	-	-	22	-	7	-
4	-	-	4	4	-	-	-	-	29	28	-	-	1	-	-	-
18	3	-	15	50	154	36	-	-	16,731	16,729	-	-	2	2	5	-
15	5	1	9	34	232	85	-	-	19,518	19,517	-	-	1	-	5	-

・月別・四季別火災発生損害状況

	火 災 種 別							焼 損 棟 数					爆 発 棟 数
	火 災 件 数	う ち 爆 発	建 物	林 野	車 両	その他		合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	
						枯 草 等	そ の 他						
総 数	185	1	112	0	17	12	44	141	18	8	20	95	1
1 月	22	-	15	-	2	1	4	18	3	-	5	10	-
2 月	9	-	6	-	-	-	3	7	2	-	1	4	-
3 月	18	-	12	-	3	2	1	14	3	-	1	10	-
4 月	21	-	12	-	-	1	8	22	2	1	5	14	-
5 月	13	-	11	-	1	-	1	11	1	2	-	8	-
6 月	6	-	2	-	-	-	4	2	-	-	-	2	-
7 月	16	-	8	-	2	2	4	8	-	-	3	5	-
8 月	29	1	13	-	5	3	8	14	1	1	2	10	1
9 月	11	-	7	-	3	-	1	8	-	-	-	8	-
1 0 月	18	-	11	-	1	-	6	16	4	2	1	9	-
1 1 月	7	-	5	-	-	1	1	5	-	2	-	3	-
1 2 月	15	-	10	-	-	2	3	16	2	-	2	12	-
不明	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-
春(3月～5月)	52	-	35	-	4	3	10	47	6	3	6	32	-
夏(6月～8月)	51	1	23	-	7	5	16	24	1	1	5	17	1
秋(9月～11月)	36	-	23	-	4	1	8	29	4	4	1	20	-
冬(12月～2月)	46	-	31	-	2	3	10	41	7	-	8	26	-
不 明	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-

り 災 世 帯 数				り 災 人 員	焼 損 面 積				損 害 額 (千 円)					死 傷 者		
					建 物		林 野 (a)	枯 草 等 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	死 者 (4 8 時 間)	負 傷 者	30 日 死 者
合 計	全 損	半 損	小 損		焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)										
120	23	2	95	265	3,802	742	0	15	267,239	257,939	0	9,174	126	5	45	0
16	4	-	12	34	313	27	-	5	29,802	29,801	-	-	1	2	4	-
4	-	-	4	8	23	7	-	3	274	258	-	-	16	-	6	-
12	3	-	9	28	278	-	-	2	39,024	33,602	-	5,409	13	1	4	-
25	4	-	21	55	1,226	108	-	2	50,606	50,569	-	-	37	-	4	-
7	1	-	6	20	896	389	-	-	36,039	36,039	-	-	-	-	3	-
2	-	-	2	5	-	-	-	-	7	6	-	-	1	-	1	-
19	2	-	17	29	41	17	-	2	3,028	3,024	-	-	4	-	6	-
4	-	-	4	13	70	24	-	1	5,352	4,222	-	1,117	13	-	4	-
5	-	-	5	15	-	-	-	-	952	16	-	915	21	-	1	-
14	7	1	6	33	619	140	-	-	76,845	75,095	-	1,733	17	1	6	-
2	-	1	1	4	94	10	-	-	10,641	10,641	-	-	-	-	3	-
10	2	-	8	21	242	20	-	-	14,669	14,666	-	-	3	1	3	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
44	8	-	36	103	2,400	497	-	4	125,669	120,210	-	5,409	50	1	11	-
25	2	-	23	47	111	41	-	3	8,387	7,252	-	1,117	18	-	11	-
21	7	2	12	52	713	150	-	-	88,438	85,752	-	2,648	38	1	10	-
30	6	-	24	63	578	54	-	8	44,745	44,725	-	-	20	3	13	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-

・時間別・曜日別火災発生損害状況

	火 災 種 別							焼 損 棟 数					爆 発 棟 数
	火 災 件 数	う ち 爆 発	建 物	林 野	車 両	その他		合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	
						枯 草 等	そ の 他						
総 数	185	1	112	0	17	12	44	141	18	8	20	95	1
0時～ 1時	3	-	3	-	-	-	-	3	-	-	1	2	-
1時～ 2時	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
2時～ 3時	4	-	2	-	1	-	1	2	-	1	-	1	-
3時～ 4時	8	-	4	-	1	-	3	12	2	1	5	4	-
4時～ 5時	2	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-
5時～ 6時	1	-	1	-	-	-	-	4	1	-	-	3	-
6時～ 7時	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
7時～ 8時	5	-	4	-	-	-	1	4	-	-	-	4	-
8時～ 9時	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9時～10時	10	-	7	-	2	-	1	13	2	-	2	9	-
10時～11時	15	1	10	-	4	-	1	10	2	1	2	5	1
11時～12時	10	-	5	-	2	-	3	5	1	1	1	2	-
12時～13時	2	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-
13時～14時	9	-	2	-	2	2	3	2	-	-	2	-	-
14時～15時	20	-	8	-	3	4	5	8	-	-	2	6	-
15時～16時	8	-	6	-	-	1	1	7	3	-	-	4	-
16時～17時	8	-	6	-	-	1	1	6	-	-	-	6	-
17時～18時	14	-	9	-	-	1	4	14	3	1	1	9	-
18時～19時	6	-	5	-	-	-	1	5	-	-	-	5	-
19時～20時	16	-	8	-	2	1	5	10	2	2	1	5	-
20時～21時	10	-	6	-	-	-	4	6	1	-	-	5	-
21時～22時	5	-	3	-	-	-	2	6	1	-	1	4	-
22時～23時	11	-	7	-	-	1	3	8	-	1	1	6	-
23時～24時	7	-	6	-	-	-	1	6	-	-	-	6	-
不 明	8	-	5	-	-	-	3	5	-	-	-	5	-
日 曜 日	24	-	14	-	1	2	7	14	3	1	2	8	-
月 曜 日	22	-	13	-	2	2	5	20	3	2	2	13	-
火 曜 日	21	-	12	-	2	2	5	19	2	1	3	13	-
水 曜 日	39	-	19	-	9	1	10	21	4	1	3	13	-
木 曜 日	20	1	15	-	1	2	2	16	2	1	2	11	1
金 曜 日	24	-	18	-	1	1	4	25	2	2	7	14	-
土 曜 日	32	-	19	-	1	2	10	24	2	-	1	21	-
不 明	3	-	2	-	-	-	1	2	-	-	-	2	-

り 災 世 帯 数				り 災 人 員	焼 損 面 積				損 害 額 (千 円)					死 傷 者		
合 計	全 損	半 損	小 損		建 物		林 野 (a)	枯 草 等 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	死者 (4 8 時 間)	負 傷 者	30 日 死 者
					焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)										
120	23	2	95	265	3,802	742	0	14.7	267,239	257,939	0	9,174	126	5	45	0
13	1	-	12	14	19	10	-	-	2,251	2,251	-	-	-	-	1	-
1	1	-	-	1	19	-	-	-	382	382	-	-	-	-	-	-
1	-	-	1	1	848	382	-	2.1	32,923	27,710	-	5,209	4	-	-	-
9	2	1	6	29	1,231	85	-	-	60,828	60,210	-	615	3	2	2	-
1	-	-	1	1	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
7	4	-	3	14	140	48	-	-	11,130	11,130	-	-	-	-	2	-
-	-	-	-	-	-	-	-	0.6	0	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	4	10	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
10	2	-	8	20	95	26	-	-	3,783	3,783	-	-	-	-	5	-
5	1	1	3	17	176	10	-	0.6	14,634	14,431	-	200	3	-	4	-
7	2	-	5	21	308	38	-	1.0	41,846	41,843	-	-	3	-	3	-
2	-	-	2	6	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-
11	2	-	9	24	74	38	-	-	7,041	5,768	-	1,260	13	-	1	-
4	-	-	4	9	3	10	-	7.7	575	560	-	-	15	-	1	-
3	-	-	3	7	47	-	-	1.1	1,542	1,533	-	-	9	-	2	-
1	-	-	1	3	-	-	-	1.2	286	286	-	-	-	-	3	-
9	4	-	5	24	286	27	-	-	28,590	28,568	-	-	22	1	4	-
5	-	-	5	12	-	-	-	-	23	3	-	-	20	-	2	-
6	2	-	4	13	293	43	-	-	34,111	32,209	-	1,890	12	1	3	-
5	1	-	4	9	105	-	-	-	22,033	22,033	-	-	-	-	8	-
5	1	-	4	10	97	1	-	-	1,429	1,428	-	-	1	1	-	-
4	-	-	4	7	61	24	-	0.4	3,761	3,760	-	-	1	-	2	-
3	-	-	3	7	-	-	-	-	31	16	-	-	15	-	1	-
4	-	-	4	6	-	-	-	-	37	32	-	-	5	-	-	-
19	4	-	15	41	404	58	-	0.4	54,725	49,495	-	5,209	21	1	4	-
13	3	-	10	33	266	36	-	1.8	23,120	22,949	-	157	14	3	3	-
19	3	-	16	36	243	81	-	2.3	27,339	24,975	-	2,348	16	-	6	-
11	2	-	9	31	1,096	385	-	3.2	56,221	55,876	-	300	45	-	10	-
26	3	1	22	44	191	27	-	0.6	19,662	19,658	-	-	4	1	9	-
15	3	1	11	38	1,321	87	-	-	61,478	60,516	-	960	2	-	4	-
16	5	-	11	41	281	68	-	6.4	24,668	24,444	-	200	24	-	9	-
1	-	-	1	1	-	-	-	-	26	26	-	-	-	-	-	-

・火災種別・火元用途別・署所別火災発生状況

火災種別・署所別 用途別・火災種別			総 数	火 災 種 別				枚 方 消 防 署								
				建 物	林 野	車 両	そ の 他									
								小 計	枚 方	中 宮	中 振	渚	川 越	小 計		
総数			185	112	0	17	56	52	12	7	10	12	11	59		
建	1	イ 劇 場 ・ 映 画 館 等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
		ロ 公 会 堂 ・ 集 会 場	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
	2	イ キ ャ バ レ ー 等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
		ロ 遊 技 場 等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
		ハ 風 俗 営 業	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
		ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
	3	イ 待 合 ・ 料 理 店 等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
		ロ 飲 食 店	5	5	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	
	4	百貨店・マーケット等	1	1	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	1	
	5	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
		耐火の共同住宅	11	11	-	-	-	5	1	-	1	1	2	2	2	
		ロ 耐火以外の共同住宅	5	5	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	
		共 同 住 宅 以 外	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
	6	イ 病 院 ・ 診 療 所 等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
		ロ 福祉施設・援護施設等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
		ハ グ ル ー プ ホ ー ム 等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
		ニ 幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
	7	小・中・高・大学校等	3	3	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	0	
	8	図 書 館 ・ 博 物 館 等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
	9	イ 蒸 気 熱 気 浴 場 等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
		ロ イ以外の公衆浴場等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
	10	車 両 の 停 車 場 等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
	11	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
	物	12	イ 工 場 ・ 作 業 場 等	6	6	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	4
			ロ 映 画 ス タ ジ オ 等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0
		13	イ 自 動 車 車 庫 等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0
			ロ 飛 行 機 の 格 納 庫 等	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0
14		倉 庫	2	2	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	1	
15		前項以外の事務所	6	6	-	-	-	2	1	-	-	1	-	-	4	
16		イ 複 合 用 途 (特 定)	9	9	-	-	-	2	1	-	-	1	-	-	1	
		ロ 複 合 用 途 (非 特 定)	3	3	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	1	
17		重 要 文 化 財	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
18		50m以上のアーケード	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
一 般 住 宅		51	51	-	-	-	12	1	1	5	2	3	11	11		
併 用 住 宅		2	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1		
そ の 他 の 建 物		5	5	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	4		
※建物以外		林 野		0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0
		自 動 車 車 両		0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0
		鉄 道 車 両		0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0
		枯 草 等		1	1	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	1
	そ の 他		2	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	
建 物 火 災			112	112	-	-	-	27	6	2	9	5	5	34	34	
林 野 火 災			0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0	
車 両 火 災			17	-	-	17	-	7	2	3	-	1	1	7	7	
そ の 他 の 火 災			56	-	-	-	56	18	4	2	1	6	5	18	18	

※ 建物以外から発生し、建物に延焼拡大したため、火災種別が建物火災となったもの。

署 所 別												
枚 方 東 消 防 署						寢 屋 川 消 防 署						
枚 方 東	阪	楠 葉	長 尾	氷 室	北 山	小 計	寢 屋 川	西	南	明 和	三 井	神 田
10	8	7	12	13	9	74	11	17	18	7	11	10
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	1	-	-	-	-	3	-	1	1	-	1	-
-	-	1	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	1	-	-	-	1	4	1	-	2	-	-	1
-	-	-	1	-	-	3	2	-	-	1	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	1
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	1	3	1	-	-	1	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-
-	-	-	-	4	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	1	-	-	-	6	1	4	-	-	1	-
-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	2	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
2	4	1	4	-	-	28	3	5	6	3	5	6
1	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	3	-	1	1	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	1	-	0	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
5	6	3	6	9	5	51	8	11	11	4	9	8
-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
2	1	2	2	-	-	3	1	2	-	-	-	-
3	1	2	4	4	4	20	2	4	7	3	2	2

・気象別火災発生損害状況

		火 災 種 別							焼 損 棟 数					爆 発 棟 数	
		火 災 件 数	う ち 爆 発	建 物	林 野	車 両	その他		合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		
							枯 草 等	そ の 他							
総 数		185	1	112	0	17	12	44	141	18	8	20	95	1	
気 象 別	風	1m未満	32	-	24	-	1	2	5	32	6	1	3	22	-
		1m以上	47	-	28	-	5	2	12	34	4	6	5	19	-
		2m "	38	-	20	-	2	4	12	24	3	-	3	18	-
		3m "	51	-	27	-	9	3	12	37	4	1	8	24	-
		5m "	15	1	12	-	-	1	2	13	1	-	1	11	1
		7m "	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
		10m "	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-
		不明	1	-	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	-
	相対湿度	30%未満	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
		30%以上	9	-	7	-	-	1	1	7	-	-	-	7	-
		40% "	22	-	12	-	2	3	5	12	1	-	2	9	-
		50% "	26	-	15	-	2	3	6	18	1	2	1	14	-
		60% "	81	1	47	-	10	3	21	62	12	4	8	38	1
		80% "	46	-	30	-	3	2	11	41	4	2	9	26	-
		不明	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-
		気 温	0℃以下	7	-	4	-	-	-	3	5	1	-	1	3
	1℃以上		11	-	7	-	2	-	2	9	2	-	3	4	-
	5℃ "		27	-	17	-	2	3	5	24	4	-	3	17	-
	10℃ "		23	-	15	-	2	1	5	23	3	1	3	16	-
	15℃ "		39	-	26	-	1	2	10	36	5	4	4	23	-
	20℃ "		25	-	16	-	1	2	6	16	1	2	1	12	-
	25℃ "		28	1	17	-	5	-	6	17	1	1	3	12	1
	30℃ "		24	-	10	-	4	4	6	11	1	-	2	8	-
	風 向	不 明	1	-	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	-
		静 穏	32	-	24	-	1	2	5	32	6	1	3	22	-
		北	18	-	8	-	2	4	4	8	1	-	-	7	-
		北 北 東	17	-	8	-	4	1	4	9	-	-	1	8	-
		北 東	31	-	21	-	2	1	7	34	3	5	7	19	-
		東 北 東	6	-	2	-	2	-	2	2	-	1	-	1	-
		東	1	-	-	-	1	-	-	0	-	-	-	-	-
		東 南 東	1	-	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	-
		南 東	2	-	-	-	-	-	2	0	-	-	-	-	-
		南 南 東	1	-	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	-
		南	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-
		南 南 西	4	-	4	-	-	-	-	6	1	-	2	3	-
		南 西	23	-	15	-	3	1	4	17	2	1	2	12	-
		西 南 西	47	1	29	-	2	3	13	32	5	-	5	22	1
		西	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
		西 北 西	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-
		北 西	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-
		北 北 西	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-
		不 明	1	-	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	-

り 災 世 帯 数				り 災 人 員	焼 損 面 積				損 害 額 (千 円)					死 傷 者		
合 計	全 損	半 損	小 損		建 物		林 野 (a)	枯 草 等 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	死者 (48時間)	負 傷 者	30 日 死 者
					焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)										
120	23	2	95	265	3,802	742	0	14.7	267,239	257,939	0	9,174	126	5	45	0
26	7	-	19	49	510	63	-	1.5	43,256	43,235	-	-	21	2	13	-
22	4	2	16	65	2,456	541	-	0.6	135,404	133,132	-	2,233	39	-	14	-
23	3	-	20	44	210	17	-	5.9	19,127	18,939	-	157	31	2	3	-
38	8	-	30	77	560	121	-	6.7	63,207	56,398	-	6,784	25	-	11	-
10	1	-	9	25	66	-	-	-	6,236	6,230	-	-	6	1	4	-
1	-	-	1	5	-	-	-	-	5	5	-	-	-	-	-	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-	-
1	-	-	1	3	-	-	-	-	7	7	-	-	-	-	1	-
6	-	-	6	14	-	1	-	2.3	48	35	-	-	13	-	1	-
14	2	-	12	29	98	38	-	2.2	8,486	7,297	-	1,160	29	-	4	-
9	1	1	7	27	265	30	-	8.5	23,618	23,607	-	-	11	-	6	-
40	10	1	29	95	2,882	569	-	1.1	188,669	181,246	-	7,399	24	2	23	-
50	10	-	40	97	557	104	-	0.6	46,411	45,747	-	615	49	3	10	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
3	1	-	2	6	100	7	-	2.1	8,539	8,534	-	-	5	-	2	-
7	2	-	5	18	148	8	-	-	13,778	13,778	-	-	-	2	1	-
20	3	-	17	40	339	32	-	5.9	27,508	22,294	-	5,209	5	1	7	-
17	3	-	14	28	235	69	-	0.6	25,475	23,502	-	1,933	40	1	6	-
27	9	2	16	75	1,680	145	-	0.6	113,353	113,313	-	-	40	1	16	-
16	2	-	14	36	1,022	414	-	2.7	37,006	36,690	-	300	16	-	1	-
26	3	-	23	49	266	60	-	-	40,501	38,921	-	1,575	5	-	9	-
4	-	-	4	13	12	7	-	2.8	1,075	907	-	157	11	-	3	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-	-
26	7	-	19	49	510	63	-	1.5	43,256	43,235	-	-	21	2	13	-
4	-	-	4	14	24	-	-	1.8	2,781	1,649	-	1,117	15	-	2	-
5	-	-	5	7	4	36	-	0.4	7,166	187	-	6,942	37	-	2	-
25	4	2	19	63	1,463	147	-	0.6	74,986	74,160	-	815	11	-	11	-
1	-	-	1	2	848	382	-	-	27,710	27,710	-	-	-	-	-	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	300	-	-	300	-	-	-	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6	-	-	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	1	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
4	1	-	3	12	85	5	-	-	11,196	11,196	-	-	-	2	-	-
22	4	-	18	56	340	64	-	2.3	46,273	46,260	-	-	13	1	4	-
32	7	-	25	61	528	45	-	8.1	53,555	53,539	-	-	16	-	11	-
1	-	-	1	1	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-	-

・火災種別・火元用途別損害状況

火災種別・署所別 用途別・火災種別			火災 件数	うち 爆発	焼 損 棟 数				爆 発 棟 数	り 災 世 帯 数				
					合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼		ぼ や	合 計	全 損	半 損	
総数			185	1	141	18	8	20	95	0	120	23	2	
建	1	イ 劇 場 ・ 映 画 館 等	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
		ロ 公 会 堂 ・ 集 会 場	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
	2	イ キ ャ バ レ ー 等	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
		ロ 遊 技 場 等	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
		ハ 風 俗 営 業	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
	ニ	カラオケボックス	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
		イ 待 合 ・ 料 理 店 等	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
	ロ	飲 食 店	5	-	6	-	1	1	4	-	0	-	-	
		4 百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	1	-	1	-	-	-	1	-	0	-	-	
	5	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
		ロ	耐火の共同住宅	11	-	11	-	-	1	10	-	10	1	-
			耐火以外の共同住宅	5	-	5	-	-	1	4	-	15	1	-
			共 同 住 宅 以 外	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-
	6	イ 病 院 ・ 診 療 所 等	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
		ロ	福祉施設・援護施設等	0	-	0	-	-	-	-	0	-	-	
		ハ	グループホーム等	0	-	0	-	-	-	-	0	-	-	
		ニ	幼稚園・養護学校等	0	-	0	-	-	-	-	0	-	-	
	7	小・中・高・大学校等	3	-	3	-	-	-	3	-	0	-	-	
	8	図 書 館 ・ 博 物 館 等	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
	9	イ 蒸 気 熱 気 浴 場 等	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
		ロ	イ以外の公衆浴場等	0	-	0	-	-	-	-	0	-	-	
	10	車 両 の 停 車 場 等	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
	11	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
	12	イ 工 場 ・ 作 業 場 等	6	-	6	-	2	-	4	-	0	-	-	
		ロ	映画スタジオ等	0	-	0	-	-	-	-	0	-	-	
	13	イ 自 動 車 車 庫 等	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
ロ		飛行機の格納庫等	0	-	0	-	-	-	-	0	-	-		
14	倉 庫	2	-	2	-	1	-	1	-	0	-	-		
15	前項以外の事務所	6	-	6	-	1	-	5	-	0	-	-		
16	イ 複 合 用 途 (特 定)	9	-	13	-	1	5	7	-	4	-	-		
	ロ	複合用途(非特定)	3	-	3	-	-	2	1	-	15	3	-	
17	重 要 文 化 財	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-		
18	50m以上のアーケード	0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-		
※建物以外	一 般 住 宅		51	-	72	14	1	10	47	-	74	18	1	
	併 用 住 宅		2	-	2	-	1	-	1	-	2	-	1	
	そ の 他 の 建 物		5	1	5	1	-	-	4	-	-	-	-	
	林 野		0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
	自 動 車 車 両		0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
	鉄 道 車 両		0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
	枯 草 等		1	-	2	2	-	-	-	-	0	-	-	
	そ の 他		2	-	2	1	-	-	1	-	0	-	-	
建 物 火 災			112	1	139	18	8	20	93	-	120	23	2	
林 野 火 災			0	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
車 両 火 災			17	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	
そ の 他 の 火 災			56	-	2	-	-	-	2	-	0	-	-	

※ 建物以外から発生し、建物に延焼拡大したため、火災種別が建物火災となったもの。

31. 出火原因

・原因大別・署所別火災発生状況

区 分 原因大別	火 災 件 数	枚 方 消 防 署							
		枚 方 消 防 署						枚 方 東	
		小 計	枚 方	中 宮	中 振	渚	川 越	小 計	枚 方 東
総 数	185	52	12	7	10	12	11	59	10
放火（疑・自損を含む）	40	15	4	3	－	6	2	8	1
火遊び	4	1	－	－	－	－	1	2	2
こんろ	24	7	2	－	1	1	3	6	－
たばこ	20	6	1	1	－	2	2	5	1
焚火等	9	1	－	－	1	－	－	8	－
風呂かまど	1	0	－	－	－	－	－	0	－
電気関係（交通機関を除く）	25	8	2	－	4	1	1	7	1
冷暖房機器（電気関係を除く）	5	1	－	－	－	－	1	3	1
その他	43	9	3	2	2	1	1	15	2
不明	14	4	－	1	2	1	－	5	2

署 所 別											
枚 方 東 消 防 署					寝 屋 川 消 防 署						
阪	楠 葉	長 尾	氷 室	北 山	小 計	寝 屋 川	西	南	明 和	三 井	神 田
8	7	12	13	9	74	11	17	18	7	11	10
1	1	1	1	3	17	3	1	6	3	2	2
-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
4	-	1	-	1	11	5	2	2	-	2	-
-	1	3	-	-	9	1	4	1	2	-	1
-	-	1	5	2	0	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
-	1	4	1	-	10	1	1	4	1	1	2
1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
2	3	2	4	2	19	1	6	4	1	4	3
-	-	-	2	1	5	-	2	-	-	2	1

・原因大別・火災発生損害状況

区分 原因	火災 件数	火 災 種 別					火 元							焼 損	
		う ち 爆 発	建 物	林 野	車 両	そ の 他	焼 損 棟 数					爆 発 棟 数	建 物 以 外	焼 損	
							合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や			合 計	全 焼
総 数	185	1	112	0	17	56	108	14	8	11	75	1	77	33	4
風 呂 か ま ど	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	0	-
た ば こ	20	-	11	-	-	9	10	1	-	1	8	-	10	4	-
火 遊 び	4	-	1	-	-	3	1	-	-	-	1	-	3	0	-
焚 火 等	9	-	4	-	-	5	2	1	-	-	1	-	7	4	3
こ ん ろ	24	-	24	-	-	-	24	1	1	2	20	-	-	0	-
電 気 関 係 (交 通 機 関 を 除 く)	25	-	19	-	2	4	19	4	3	2	10	-	6	10	-
放 火 (疑 い ・ 自 損 含)	40	-	14	-	-	26	14	-	-	2	12	-	26	0	-
冷 暖 房 機 器	5	-	5	-	-	-	5	1	-	2	2	-	-	0	-
そ の 他	43	1	22	-	13	8	21	1	-	2	18	1	22	0	-
不 明	14	-	11	-	2	1	11	5	4	-	2	-	3	15	1

消火損は、剪

焼 棟 数 類					り 災 世 帯 数				り 災 人 員	焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)	損害額（千円）					
半 焼	部 分 焼	ぼ や	爆 発 棟 数	建 物 以 外	合 計	全 損	半 損	小 損				総 額	うち 爆 発	火 元	うち 爆 発	類 焼	うち 爆 発
0	9	20	0	44	120	23	2	95	265	3,802	742	294,951	9	291,195	9	3,756	0
-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	3	-	3	-	-	-
-	1	3	-	5	10	1	1	8	20	89	31	8,083	-	7,979	-	104	-
-	-	-	-	1	1	-	-	1	6	-	-	8	-	7	-	1	-
-	-	1	-	3	0	-	-	-	-	51	-	1,756	-	231	-	1,525	-
-	-	-	-	-	21	3	-	18	42	115	8	10,187	-	10,187	-	-	-
-	5	5	-	13	29	5	-	24	56	1,584	98	72,762	-	72,282	-	480	-
-	-	-	-	14	15	2	-	13	37	79	31	6,045	-	6,013	-	32	-
-	-	-	-	-	5	1	-	4	11	118	7	22,409	-	22,409	-	-	-
-	-	-	-	4	13	2	-	11	34	232	40	46,847	9	46,831	9	16	-
-	3	11	-	4	25	9	1	15	57	1,534	527	126,851	-	125,253	-	1,598	-

員焼(建物以外)を含む

・火災種別・署所別・月別出火原因状況

原因別 火災種別 署所別 月別	総 数	電気による発熱体																	ガス油類を燃料とする道具																
		小計	電気 こんろ	電気 ストーブ・火鉢 （開放式）	電気 ストーブ・火鉢 （半密閉式）	溶接器	その他の移動可能な電熱器	IHクッキングヒータ	その他の固定の電熱器	リチウム電池	電気冷蔵庫	ネオン灯	その他の電気機器	配電用変圧器	その他の電気装置	屋内配線	コード	器具付きコード	配線接触部	交通機関内配線（その他）	安全器	プラグ	テーブルタップ	その他の配線器具	小計	都市ガス こんろ	都市ガス テーパー	都市ガス湯沸し	その他の都市ガスを用いる移動可能な道具	液化石油ガステーブル	液化石油ガス簡易型ガスこんろ（カセット型）	液化石油ガスバーナー	その他の都市ガスを用いる固定したガス設備	LPガス風呂かまど	
総数	185	37	1	2	1	1	2	1	2	3	1	2	3	1	1	1	1	3	1	1	1	3	1	4	28	1	6	1	1	1	4	1	8	1	
建物火災	112	29	1	2	1	1	2	1	2	2	1	-	1	-	1	1	-	3	1	-	1	3	1	4	27	1	6	1	1	1	4	-	8	1	
林野火災	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
車両火災	17	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
その他の火災	56	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
枚方消防署	小計	52	10	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2	9	0	1	0	0	0	2	0	3	0	
	枚方	12	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-		
	中宮	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	中振	10	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1	-		
	渚	12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
	川越	11	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	1	0	1	0	
枚方東消防署	小計	59	13	-	1	1	-	2	1	1	2	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	6	-	1	-	1	-	-	1	2	-	
	枚方東	10	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	阪	8	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	
	楠葉	7	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-		
	長尾	12	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	氷室	13	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
寝屋川消防署	北山	9	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	小計	74	14	-	1	-	1	-	1	-	1	1	-	-	1	-	-	3	1	1	1	1	1	13	1	4	1	-	1	2	-	3	1		
	寝屋川	11	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	2	-	-	-	1	-	2	-		
	西	17	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	1		
	南	18	5	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
	明和	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	秦	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	三井	11	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1	-	1	-		
月別	神田	10	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	総数	185	37	1	2	1	1	2	1	2	3	1	2	3	1	1	1	1	3	1	1	1	3	1	4	28	1	6	1	1	1	4	1	8	1
	1月	22	4	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	1	-	-	1	-		
	2月	9	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
	3月	18	4	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-	1		
	4月	21	4	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-		
	5月	13	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	1	-	-	-	-	-	-	2	-		
	6月	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
	7月	16	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-		
	8月	29	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1	-	1	-		
	9月	11	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	-	-	-	-	-	1	-	1	-		
	10月	18	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-		
	11月	7	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
12月	15	4	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-			

装置			まき、炭、石炭(コークス)燃料とする道具	火種(それ自身発火しているもの)													高温の固体							自然発火あるいは再燃を起こしやすい物		危険物品		不明
石油・ガソリンストーブ(開放式)	石油バーナー	その他の油を燃料とする移動可能な道具		ローソク	小計	七輪こんろ	小計	炭火	線香	たき火	火のついたゴミ	枯れ草焼き	その他の裸火(器に入っていないもの)	たばこ	マッチ	ライター	グラインダーの火花	金属と金属との衝撃火花	小計	その他の高温で熱せられたもの	軸受	その他の摩擦により熱せられたもの	切削くず	その他の高温の固体	小計	綿・ふとん類	小計	煙火
1	1	1	1	1	1	65	1	3	3	1	5	2	20	4	15	3	8	6	1	1	1	1	2	1	1	3	3	44
1	1	1	1	1	1	31	-	2	-	1	2	1	11	1	7	2	4	2	0	-	0	1	1	1	1	-	-	21
-	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
-	0	-	0	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	0	3	-	4	4	1	1	1	-	1	-	0	-	-	2
-	0	-	0	-	-	27	1	1	3	-	3	1	9	3	5	1	-	-	0	-	0	-	0	-	0	3	3	21
1	1	0	1	0	0	13	0	1	0	0	0	0	6	1	4	0	1	2	1	0	0	1	0	0	0	1	1	17
-	0	-	0	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	0	1	-	-	1	1	-	0	-	0	0	0	1	1	4
-	0	-	0	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	0	1	-	1	-	0	-	0	-	0	0	0	-	-	3
-	1	-	0	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	0	-	-	-	1	0	-	0	1	0	0	0	-	-	2
-	0	-	0	-	0	4	-	-	-	-	-	-	2	0	2	-	-	-	0	-	0	-	0	0	0	-	-	6
1	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
-	0	1	0	1	1	26	1	-	2	1	5	1	5	3	3	-	5	3	0	-	1	-	2	0	0	-	-	10
-	0	-	0	-	-	4	-	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-	2	0	-	0	-	2	0	0	-	-	2
-	0	1	0	1	1	2	-	-	-	-	-	1	-	0	-	-	1	-	0	-	0	-	0	0	0	-	-	1
-	0	-	0	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	0	1	-	1	-	0	-	0	-	0	0	0	-	-	1
-	0	-	0	-	-	6	1	-	-	-	1	-	3	0	1	-	-	1	0	-	1	-	0	0	0	-	-	-
-	0	-	0	-	-	8	-	-	1	-	4	-	-	0	-	-	3	-	0	-	0	-	0	0	0	-	-	3
0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
-	0	-	0	-	-	26	-	2	1	-	-	1	9	0	8	3	2	1	0	1	0	-	0	1	1	2	2	17
-	0	-	0	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	0	1	-	-	-	0	-	0	-	0	0	0	-	-	2
-	0	-	0	-	-	8	-	1	-	-	-	-	4	0	1	-	2	1	0	1	0	-	0	0	0	-	-	3
-	0	-	0	-	-	6	-	-	-	-	-	1	1	0	2	2	-	-	0	-	0	-	0	0	0	1	1	5
-	0	-	0	-	-	3	-	-	-	-	-	-	2	0	1	-	-	-	0	-	0	-	0	1	1	-	-	2
-	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	-	0	-	0	0	0	-	-	-
-	0	-	0	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	0	2	1	-	-	0	-	0	-	0	0	0	1	1	3
0	0	0	0	0	0	4	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
1	1	1	1	1	1	65	1	3	3	1	5	2	20	4	15	3	8	6	1	1	1	1	2	1	1	3	3	44
-	0	-	0	1	1	6	-	-	-	-	1	-	3	1	-	-	1	-	0	-	0	-	0	1	1	-	-	6
-	0	1	0	-	-	3	-	-	1	-	1	-	-	0	1	-	-	1	0	-	0	1	0	0	0	-	-	1
1	0	-	0	-	-	3	-	-	-	-	2	-	-	0	-	-	1	2	0	1	1	-	0	0	0	-	-	5
-	0	-	0	-	-	12	-	1	1	-	-	1	3	1	2	2	1	-	0	-	0	-	0	0	0	-	-	4
-	1	-	0	-	-	5	-	-	-	-	-	-	2	0	3	-	-	-	0	-	0	-	0	0	0	-	-	3
-	0	-	0	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	0	1	-	-	-	0	-	0	-	0	0	0	-	-	2
-	0	-	0	-	-	7	-	1	-	-	-	-	3	0	2	-	1	-	0	-	0	-	0	0	0	-	-	3
-	0	-	0	-	-	11	-	-	-	1	1	1	4	0	1	-	3	-	0	-	0	-	0	0	0	3	3	7
-	0	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	0	1	-	1	2	1	-	0	-	1	0	0	-	-	-
-	0	-	0	-	-	6	1	1	-	-	-	-	2	0	2	-	-	-	0	-	0	-	0	0	0	-	-	7
-	0	-	0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	0	1	-	-	-	0	-	0	-	0	0	0	-	-	4
-	0	-	0	-	-	6	-	-	-	-	-	-	2	2	1	1	-	1	0	-	0	-	1	0	0	-	-	2

・時間別曜日別出火原因状況

原因別 時間別 曜日別	総 数	電気による発熱体																				ガス油類を燃料とする										
		小計	電気 こんろ	電気 ストーブ・火鉢 （開放式）	電気 ストーブ・火鉢 （半密閉式）	溶接器	その他の移動可能な電熱器	IHクッキングヒータ	その他の固定の電熱器	リチウム電池	電気冷蔵庫	ネオン灯	その他の電気機器	配電用変圧器	その他の電気装置	屋内配線	コード	器具付きコード	配線接触部	交通機関内配線（その他）	安全器	プラグ	その他の配線器具	テーブルタップ	小計	都市ガスこんろ	都市ガステーブル	都市ガス湯沸し	その他の都市ガスを用いる移動可能な道具	液化石油ガステーブル	液化石油ガス簡易型ガスこんろ（カセット型）	液化石油ガスバーナー
総計	185	37	1	2	1	1	2	1	2	3	1	2	3	1	1	1	1	3	1	1	1	3	1	4	28	1	6	1	1	1	4	1
0時～1時	3	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	-	-	-	
1時～2時	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	
2時～3時	4	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	
3時～4時	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	
4時～5時	2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
5時～6時	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	
6時～7時	2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	
7時～8時	5	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	0	-	-	-	-	-	-	-	
8時～9時	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	
9時～10時	10	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	-	-	-	
10時～11時	15	3	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	
11時～12時	10	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
12時～13時	2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	
13時～14時	9	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	
14時～15時	20	4	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	1	-
15時～16時	8	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	
16時～17時	8	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	1	
17時～18時	14	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	
18時～19時	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4	-	1	-	-	-	-	2	-
19時～20時	16	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	
20時～21時	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-
21時～22時	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	-	-	-	
22時～23時	11	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
23時～24時	7	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-	
不明	8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
日曜日	24	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	2	3	-	1	-	-	-	-	-	1
月曜日	22	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
火曜日	21	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-
水曜日	39	9	-	-	1	1	1	-	1	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	5	-	1	-	1	-	1	-	-
木曜日	20	6	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	1	1	-	-
金曜日	24	5	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	4	1	1	-	-	-	-	-	-
土曜日	32	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	6	-	2	1	-	-	-	2	-	-
不明	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-

る道具装置					まき、炭、石炭（コークス）燃料とする道具	火種（それ自身発火しているもの）														高温の固体					自然発火あるいは再燃を起こしやすい物	危険物品		不明			
その他の都市ガスを用いる固定したガス設備	LPガス風呂かまど	石油・ガソリンストーブ（開放式）	石油バーナー	その他の油を燃料とする移動可能な道具		ローソク	小計	七輪こんろ	小計	炭火	線香	たき火	火のついたゴミ	枯れ草焼き	その他の裸火（器に入っていないもの）	たばこ	マッチ	ライター	グライNDERの火花	金属と金属との衝撃火花	小計	その他の高温で熱せられたもの	軸受	その他の摩擦により熱せられたもの		切削くず	その他の高温の固体		小計	綿・ふとん類	小計
8	1	1	1	1	1	1	1	65	1	3	3	1	5	2	20	4	15	3	8	6	1	1	1	1	2	1	1	3	3	44	
-	-	-	0	-	0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0
-	-	-	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0
-	-	-	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	1	0	-	1	-	0	-	0	0	0	2	2
-	-	-	0	-	0	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	0	1	-	-	1	1	-	0	-	0	1	1	0	0	3	3
1	-	-	0	-	0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0
-	-	-	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	1	1
-	-	-	0	-	0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	0	1	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	1	1
-	-	-	0	-	0	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	0	1	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0
-	-	-	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0
-	-	-	0	-	0	-	-	5	-	-	-	-	-	-	2	0	1	-	2	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	3	3
1	-	-	0	-	0	-	-	8	-	1	-	-	1	-	1	0	2	-	3	1	0	1	0	-	0	-	0	0	0	1	1
1	-	-	0	-	0	-	-	5	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-	1	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0
1	-	-	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0
-	-	-	0	-	0	-	-	3	-	-	1	-	-	-	1	0	1	-	-	1	0	-	0	-	1	-	0	1	1	3	3
-	-	-	0	-	0	-	-	11	-	-	-	-	3	1	2	2	1	1	1	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	3	3
1	-	-	1	-	0	-	-	3	-	-	-	-	1	-	1	0	1	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	2	2
-	-	-	0	-	0	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	0	-	1	1	2	0	-	0	1	1	-	0	0	0	0	0
2	-	-	0	-	0	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	6	6
-	-	-	0	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0
-	-	-	0	-	0	-	-	4	-	-	-	-	-	-	2	0	2	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	7	7
1	-	1	0	-	0	-	-	5	1	-	-	-	-	1	3	0	-	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	1	1
-	-	-	0	-	0	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	0	1	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	2	2
-	1	-	0	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	2	2	3	3
-	-	-	0	-	0	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	0	2	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	2	2
-	-	-	0	-	0	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	0	1	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	4	4
-	-	-	1	-	0	-	-	7	1	1	1	-	-	1	1	0	1	1	-	1	0	-	1	-	0	-	0	1	1	7	7
2	-	-	0	-	0	-	-	11	-	1	-	-	1	-	5	0	3	-	1	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	4	4
1	-	-	0	-	1	-	-	9	-	-	1	-	1	-	5	1	-	1	-	2	1	-	0	-	1	1	1	0	0	4	4
-	1	1	0	-	0	-	-	15	-	1	-	-	1	-	2	1	6	-	4	2	0	-	0	1	1	-	0	1	1	7	7
2	-	-	0	1	0	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	0	-	-	1	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	7	7
2	-	-	0	-	0	1	1	8	-	-	-	-	-	-	3	0	3	1	1	-	0	-	0	-	0	-	0	1	1	5	5
1	-	-	0	-	0	-	-	12	-	-	1	1	2	1	3	2	1	-	1	1	0	1	0	-	0	-	0	0	0	9	9
-	-	-	0	-	0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	0	1	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	1	1

・建物火災の出火原因別損害状況

原因別 区分			総計	電気による発熱体																						
				小計	電気こんろ	電気ストーブ・火鉢（開放式）	電気ストーブ・火鉢（半密閉式）	溶接器	その他の移動可能な電熱器	IHクッキングヒータ	その他の固定の電熱器	リチウム電池	電気冷蔵庫	その他の電気機器	その他の電気装置	屋内配線	器具付きコード	配線接触部	安全器	プラグ	テーブルタップ	その他の配線器具	小計	都市ガスこんろ	都市ガステーブル	
火災件数			112	29	1	2	1	1	2	1	2	2	1	1	1	1	3	1	1	3	1	4	27	1	6	
うち爆発			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
火元	焼損棟数	合計	108	29	1	2	1	1	2	1	2	2	1	1	1	1	3	1	1	3	1	4	26	1	6	
		全焼	14	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	2	0	0	
		半焼	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	
		部分焼	11	6	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	
		ぼや	75	16	0	1	0	0	2	1	2	2	1	1	0	0	1	1	1	2	0	1	22	1	5	
		爆発棟数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		建物以外	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
類焼	焼損棟数	合計	31	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	3	1	0	0	
		全焼	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
		半焼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		部分焼	9	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ぼや	18	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	
		爆発棟数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		建物以外※	21	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0	0	1	0	4	0	0	0	
り災世帯数	合計	120	37	1	2	1	1	0	1	2	0	1	1	2	0	3	0	1	3	1	17	23	1	5		
	全損	23	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3	3	0	0		
	半損	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小損	95	31	0	2	1	1	0	1	2	0	1	1	2	0	2	0	1	2	1	14	20	1	5		
り災人員			265	67	1	3	3	1	0	1	2	0	3	2	8	0	7	0	2	9	3	22	56	1	10	
焼損床面積（㎡）			3,802	1,616	19	0	13	0	0	0	0	0	0	1,062	76	161	0	0	107	3	175	225	0	4		
焼損表面積（㎡）			706	107	0	7	0	2	0	0	0	0	0	50	0	31	0	0	0	7	10	7	0	0		
損害額（千円）		総額	285,651	73,592	382	55	336	46	42	1	13	0	5	5	41,312	1,858	12,230	8	1	5,460	437	11,401	33,188	2	182	
		うち爆発	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		火元	282,012	73,113	382	55	336	46	42	1	13	0	5	5	41,166	1,718	12,101	8	1	5,460	437	11,337	31,807	2	182	
		うち爆発	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		類焼	3,639	479	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	146	140	129	0	0	0	0	64	1,381	0	0	
		うち爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 建物以外より発生し、建物に延焼拡大したため、火災種別が建物火災になったもの。

ガス油類を燃料とする道具装置											まき、炭、石炭 (コークス)燃料と する道具		火種(それ自身発火しているもの)										高温の固体			自然発火あるいは 再燃を起こしやすい物		不明
都市ガス湯沸し	その他の都市ガスを用いる移動可能な道具	液化石油ガステーブル	液化石油ガス簡易型ガスこんろ(カセット型)	その他の都市ガスを用いる固定したガス設備	LPガス風呂かまど	石油・ガソリンストーブ(開放式)	石油バーナー	その他の油を燃料とする移動可能な道具	ローソク	小計	七輪こんろ	小計	線香	火のついたゴミ	枯れ草焼き	その他の裸火(器に入っていないもの)	たばこ	マッチ	ライター	グライNDERの火花	金属と金属との衝撃火花	小計	切削くず	その他の高温の固体	小計	綿・ふとん類	不明	
1	1	1	4	8	1	1	1	1	1	1	1	31	2	1	2	1	11	1	7	2	4	2	1	1	1	1	21	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
1	1	1	4	8	1	1	0	1	1	1	1	28	2	1	1	1	10	1	7	2	3	2	1	1	1	1	21	
0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
1	1	0	4	7	1	0	0	1	1	1	1	23	1	1	0	1	8	0	7	2	3	2	1	1	1	1	10	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	
0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
1	0	1	3	8	1	1	0	1	1	0	0	22	2	0	0	1	10	4	5	0	0	0	0	0	1	1	37	
0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
1	0	0	3	7	1	0	0	1	1	0	0	18	1	0	0	1	8	3	5	0	0	0	0	0	1	1	25	
3	0	2	8	24	2	3	0	2	1	0	0	56	7	0	0	1	20	9	19	0	0	0	0	0	1	1	85	
0	0	68	0	24	0	105	24	0	0	0	0	348	167	0	27	0	89	65	0	0	0	0	0	0	0	1,613		
0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	70	26	0	0	1	31	12	0	0	0	0	0	0	0	522		
0	0	2,675	3	6,922	3	22,017	1,381	1	2	7	7	48,445	32,546	216	144	1	8,077	7,428	21	3	9	280	50	230	1	1	130,138	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	
0	0	2,675	3	6,922	3	22,017	0	1	2	7	7	48,197	32,541	216	0	1	7,978	7,428	21	3	9	280	50	230	1	1	128,607	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	1,381	0	0	0	0	248	5	0	144	0	99	0	0	0	0	0	0	0	0	1,531		
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

・建物火災の火元用途別出火原因状況

用途別 区分			総計	電気による発熱体																			ガス油類を燃料と						
				小計	電気 こころ	電気 ストーブ・火鉢 （開放式）	電気 ストーブ・火鉢 （半密閉式）	溶接 器	その他の移動可能な電熱器	IHクッキングヒータ	その他の固定の電熱器	リチウム電池	電気 冷蔵庫	その他の電気機器	その他の電気装置	屋内配線	器具付きコード	配線接触部	安全器	プラグ	テーブルタップ	その他の配線器具	小計	都市ガスこころ	都市ガステーブル	都市ガス湯沸し	その他の都市ガスを用いる移動可能な器具	液化石油ガステーブル	液化石油ガス湯沸しガスこころ（カセット型）
総数			112	29	1	2	1	1	2	1	2	2	1	1	1	1	3	1	1	3	1	4	27	1	6	1	1	1	4
建物	1	イ 劇場・映画館等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
		ロ 公会堂・集会場	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
	2	イ キャバレー等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
		ロ 遊技場等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
		ハ 風俗営業	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
		ニ カラオケボックス	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
	3	イ 待合・料理店等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
		ロ 飲食店	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	0	-	-	1	
	4	百貨店・マーケット等	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
	5	イ 旅館・ホテル等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
		ロ 耐火の共同住宅	11	4	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	0	-	-	2	
			耐火以外の共同住宅	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	0	-	-	-
			共同住宅以外	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-
	6	イ 病院・診療所等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
		ロ 老人福祉施設等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
		ハ グループホーム等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
		ニ 幼稚園・養護学校等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
	7	小・中・高・大学校等	3	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
	8	図書館・博物館等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
	9	イ 蒸気熱気浴場等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
		ロ イ以外の公衆浴場等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
	10	車両の停車場等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
	11	神社・寺院・教会等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
	12	イ 工場・作業場等	6	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
		ロ 映画スタジオ等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
	13	イ 自動車車庫等	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	
ロ 飛行機の格納庫等		0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-		
14	倉庫	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-		
15	前項以外の事務所	6	3	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	-	-	0	-	-	-		
16	イ 複合用途（特定）	9	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	3	1	1	0	1	-	-	-		
	ロ 複合用途（非特定）	3	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-		
17	重要文化財	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-		
18	50m以上のアーケード	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-		
※建物以外	一般住宅	51	14	-	2	1	-	1	-	1	1	-	-	2	-	1	2	1	2	16	-	4	1	-	1	-	-		
	併用住宅	2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	0	-	-	1			
	その他の建物	5	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-			
	林野	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-			
	自動車車両	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-			
※建物以外	鉄道車両	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-			
	枯草等	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-			
その他	2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	0	-	-	-				

※ 建物以外から発生し、建物に延焼拡大したため、火災種別が建物火災となったもの。

・車両火災の出火原因別火災発生損害状況

区 分 原 因 別		車 両							損 害 額 (千 円)		
		総 数	小 計	普通貨物自動車 (1ナンバー)	普通貨物自動車 (1ナンバー大型)	小型貨物自動車 (4・6ナンバー)	普通乗用自動車 (3ナンバー)	普通特殊自動車 (8ナンバー)	総 額	火 元	類 焼
総 数		17	17	3	1	1	1	11	9,174	9,096	78
電気による 発熱体	小 計	4	4	1	0	0	0	3	157	157	0
	リチウム電池	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
	その他の電気機器	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0
	交通機関内配線 (その他)	1	1	1	0	0	0	0	157	157	0
火種(それ 自身発火し ているもの)	小 計	7	7	0	0	0	0	7	0	0	0
	ライター	3	3	0	0	0	0	3	0	0	0
	金属と金属との衝 撃火花	4	4	0	0	0	0	4	0	0	0
高温の固体	小 計	4	4	1	1	0	1	1	6,324	6,315	9
	その他の高温で熱 せられたもの	1	1	0	1	0	0	0	615	615	0
	軸受	1	1	1	0	0	0	0	200	200	0
	その他の摩擦により 熱せられたもの	1	1	0	0	0	1	0	5,209	5,200	9
	その他の高温の 固体	1	1	0	0	0	0	1	300	300	0
不明	不明	2	2	1	0	1	0	0	2,693	2,624	69

・その他の火災の出火原因別火災発生損害状況

		総 数	内 訳		焼 損 面 積 (a)	損 害 額 (千 円)
			枯 草 等	そ の 他		
総 数		56	12	44	5.4	126
電気による発熱体	小計	4	0	4	0	42
	ネオン灯	2	-	2	-	41
	配電用変圧器	1	-	1	-	1
	コード	1	0	1	0	0
ガス油類を燃料とする 道具装置	小計	1	-	1	-	-
	液化石油ガスバーナー	1	-	1	-	-
火種(それ自身発火し ているもの)	小計	27	7	20	4.1	36
	炭火	1	-	1	-	-
	線香	1	0	1	0	3
	たき火	3	-	3	-	3.0
	枯れ草焼き	3	2	1	1.3	13.0
	その他の裸火(器に入っていないもの)	1	-	1	-	-
	たばこ	9	3	6	2.8	6
	マッチ	3	1	2	-	1
	ライター	5	1	4	-	10.0
	グラインダーの火花	1	-	1	-	-
危険物品	小計	3	2	1	0.4	3.0
	煙火	3	2	1	0.4	3.0
不明	不明	21	3	18	0.9	45.0

・出火箇所別・火元用途別状況(建物火災)

用途別 区分			総計	住居を主とする室、部分		共有部分						作業する室		倉庫、物置			店舗、客室、客席部分						位置		
				居室	押入、納戸	玄関	広間、ホール	廊下	台所	更衣室	レット	便所、トイレ	作業場、工場	調理室（場）	車庫	一般倉庫	置場	部分	物販	飲食店	一般事務室	実験室、研究	教室	ルコニ	ベランダ、バルコニー
総数			112	27	1	4	1	2	25	1	2	11	2	1	1	2	2	6	2	1	1	7	1		
建物	1	イ 劇場・映画館等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ロ 公会堂・集会場	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2	イ キャバレー等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ロ 遊技場等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ハ 風俗営業	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ニ カラオケボックス	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3	イ 待合・料理店等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ロ 飲食店	5	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
	4		百貨店・マーケット等	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	5	イ 旅館・ホテル等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ロ	耐火の共同住宅	11	4	1	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
			耐火以外の共同住宅	5	2	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			共同住宅以外	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	イ 病院・診療所等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ロ 老人福祉施設等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ハ グループホーム等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ニ 幼稚園・養護学校等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	7		小・中・高・大学校等	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	
	8		図書館・博物館等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9	イ 蒸気熱気浴場等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ロ イ以外の公衆浴場等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	10		車両の停車場等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	11		神社・寺院・教会等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	12	イ 工場・作業場等	6	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ロ 映画スタジオ等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	13	イ 自動車車庫等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ロ 飛行機の格納庫等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	14		倉庫	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	15		前項以外の事務所	6	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	16	イ 複合用途（特定）	9	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	
		ロ 複合用途（非特定）	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	17		重要文化財	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	18		50m以上のアーケード	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			一般住宅	51	19	-	3	-	1	19	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	5	-	
			併用住宅	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
			その他の建物	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
※建物以外		林野	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		自動車車両	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		鉄道車両	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		枯草等	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※ 建物以外から発生し、建物に延焼拡大したため、火災種別が建物火災となったもの。

◇ 火災種別が変更になったため、

32. 死傷者

・火災による死者の状況

原因別 区分		総 数	一酸化炭素中毒 死・窒息	火傷	打撲・骨折 等	自殺	その他	不明
死者	総数	5	1	1	0	0	0	3
	消防吏員	0	-	-	-	-	-	-
	消防団員	0	-	-	-	-	-	-
	応急消火義務者	3	1	1	-	-	-	1
	消防協力者	0	-	-	-	-	-	-
	その他(自損)	2	-	-	-	-	-	2
	その他(その他)	0	-	-	-	-	-	-

・火災による負傷者の状況

原因別 区分		総 数	擦過創	挫傷	打撲傷	第一度熱傷	第二度熱傷	第三度熱傷	気道熱傷	中毒 一酸化炭素	骨折	その他
負傷者	総数	45	1	0	1	14	10	0	8	4	0	7
	うち30日死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消防吏員	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	うち30日死者	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	消防団員	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	うち30日死者	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	応急消火義務者	32	1	-	1	10	8	-	6	2	-	4
	うち30日死者	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	消防協力者	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	うち30日死者	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他(自損)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	うち30日死者	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他(その他)	10	-	-	-	4	2	-	1	2	-	1
	うち30日死者	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・用途別・火災種別死傷者状況

死傷者状況 用途別・火災種別		総 数	爆発を除く				爆発			
			小計	死者	負傷者	30日死者	小計	死者	負傷者	30日死者
総数		50	50	5	45	0	0	0	0	0
建物 火災	飲食店	5	5	-	5	-	0	-	-	-
	耐火の共同住宅	2	2	-	2	-	0	-	-	-
	耐火以外の共同住宅	2	2	-	2	-	0	-	-	-
	工場	2	2	-	2	-	0	-	-	-
	複合用途対象物(16項イ)	1	1	-	1	-	0	-	-	-
	複合用途対象物(16項ロ)	1	1	-	1	-	0	-	-	-
	一般住宅	26	26	5	21	-	0	-	-	-
	一般住宅・長屋式	4	4	-	4	-	0	-	-	-
	店舗付住宅(設置義務無)	1	1	-	1	-	0	-	-	-
	作業所付住宅(設置義務無)	3	3	-	3	-	0	-	-	-
	枯草等(a)	1	1	-	1	-	0	-	-	-
	その他の火災	2	2	-	2	-	0	-	-	-

・死傷に至った年齢区分別経過状況

区 分 \ 経 過		総数	発見遅れ逃げられず	不明・調査中
死 者	総 数	5	1	1
	0 ～ 5 歳	0	-	-
	6 ～ 10 歳	0	-	-
	11 ～ 20 歳	0	-	-
	21 ～ 30 歳	0	-	-
	31 ～ 40 歳	0	-	-
	41 ～ 50 歳	1	-	1
	51 ～ 60 歳	1	-	1
	61 ～ 70 歳	0	-	-
	71 ～ 80 歳	0	-	-
	81 歳 以 上	3	1	2
	不 明	0	-	-

33. 市民の消火活動

・火元用途別・初期消火器具使用状況

用途別			区分	総 数	初期 消火 なし	初期 消火 あり	消火器		消火設備			その他						
							小計	粉末 消火 器	小計	屋内 消火 栓設 備	粉末 消火 設備	小計	水道 水	汲み 置き の水	衣類	もみ 消す・ たたき 消す	器具 コック を操 作する	その他
建物	総	数	185	65	120	25	25	5	4	1	91	65	5	2	5	2	12	
	1	イ 劇場・映画館等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
		ロ 公会堂・集会場	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	2	イ キャパレー等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
		ロ 遊技場等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
		ハ 風俗営業	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
		ニ カラオケボックス	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	3	イ 待合・料理店等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
		ロ 飲食店	5	5	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	4	百貨店・マーケット等	1	0	1	0	-	-	0	-	1	0	-	-	-	-	-	1
	5	イ 旅館・ホテル等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
		ロ 耐火の共同住宅	11	2	9	1	1	-	0	-	8	6	-	-	-	-	-	2
		ロ 耐火以外の共同住宅	5	1	4	1	1	-	0	-	3	2	-	1	-	-	-	-
		共同住宅以外	0	-	0	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	6	イ 病院・診療所等	0	-	0	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
		ロ グループホーム等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
		ハ 老人福祉施設等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
		ニ 幼稚園・養護学校等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	7	小・中・高・大学校等	3	1	2	1	1	-	0	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	8	図書館・博物館等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	9	イ 蒸気熱気浴場等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
		ロ イ以外の公衆浴場等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	10	車両の停車場等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	11	神社・寺院・教会等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	12	イ 工場・作業場等	6	2	4	2	2	-	0	-	2	2	-	-	-	-	-	-
		ロ 映画スタジオ等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	13	イ 自動車車庫等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
		ロ 飛行機の格納庫等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	14	倉庫	2	-	2	2	2	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	15	前項以外の事務所	6	2	4	0	-	3	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	16	イ 複合用途（特定）	9	4	5	2	2	-	0	-	3	3	-	-	-	-	-	-
		ロ 複合用途（非特定）	3	0	3	0	-	1	1	-	2	2	-	-	-	-	-	-
	17	重要文化財	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	18	50m以上のアーケード	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	一	般 住 宅	51	20	31	2	2	-	0	-	29	22	-	1	1	2	3	
	併	用 住 宅	2	-	2	1	1	-	0	-	1	1	-	-	-	-	-	
	そ	の 他 の 建 物	5	1	4	1	1	-	0	-	3	2	1	-	-	-	-	
※建物以外	林	野	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-		
	自 動 車 車 両	0	-	0	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-		
	鉄 道 車 両	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-		
	枯 草 等	1	-	1	0	-	-	0	-	1	0	-	-	-	-	-	1	
そ	の 他	2	2	0	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-		
建	物 火 災	112	40	72	13	13	4	4	-	55	42	1	2	1	2	7		
林	野 火 災	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-		
車	両 火 災	17	2	15	7	7	-	0	-	8	4	1	-	1	-	2		
そ	の 他 の 火 災	56	23	33	5	5	1	0	1	28	19	3	-	3	-	3		

※ 建物以外から発生し、建物に延焼拡大したため、火災種別が建物火災になったもの。

34. 平成30年中の主な火災

・枚方市

月 日	時 分	用 途	程 度	場 所	焼損床面積(㎡)	損害額(千円)	死 者	負傷者
01/02	11:31	商業併用・店舗等	部分焼	高野道2丁目	65	7,428	-	1
01/25	20:15	共同住宅	ぼや	南中振1丁目	-	8	-	1
02/09	17:20	住宅	ぼや	東香里南町	-	7	-	1
02/18	11:40	着衣等	-	長尾荒阪1丁目	-	2	-	1
02/20	13:35	住宅	部分焼	津田元町3丁目	-	55	-	1
02/21	15:20	枯草	-	大字穂谷	23	144	-	1
02/28	16:12	工場	ぼや	出口1丁目	-	50	-	2
03/14	20:13	住宅	全焼	東香里新町	105	22,017	-	3
03/28	10:20	住宅	全焼	山之上5丁目	107	5,434	-	1
04/17	09:05	住宅	全焼	走谷1丁目	90	3,528	-	3
05/07	17:24	住宅	半焼	招提南町2丁目	24	6,900	-	1
05/30	02:55	工場	半焼	招提田近2丁目	424	27,709	-	-
07/12	12:56	住宅	ぼや	牧野本町1丁目	-	1	-	1
07/26	00:22	共同住宅	部分焼	藤阪東町4丁目	19	2,202	-	1
08/13	10:45	野小屋	全焼	尊延寺1丁目	4	-	-	-
08/18	18:20	住宅	ぼや	牧野本町2丁目	-	-	-	1
09/04	22:30	共同住宅	ぼや	香里ヶ丘9丁目	-	2	-	1
10/07	11:10	住宅	全焼	伊加賀西町	167	32,544	-	1
10/14	11:10	納屋	半焼	長尾元町7丁目	76	1,858	-	-
10/14	19:40	住宅	全焼	長尾台1丁目	59	7,870	1	-
10/17	18:30	店舗付住宅	ぼや	大垣内町3丁目	-	1	-	1
10/30	19:35	事務所	半焼	磯島北町	88	13,717	-	-
11/01	10:50	住居兼作業場	半焼	野村中町	48	8,518	-	3
11/16	19:13	作業場兼倉庫	半焼	大字尊延寺	46	2,121	-	-
12/08	17:40	住宅	全焼	翠香園町	141	12,971	-	-
12/24	21:25	住宅	全焼	走谷1丁目	97	1,326	1	-

・寝屋川市

月 日	時 分	用 途	程 度	場 所	焼損床面積(㎡)	損害額(千円)	死 者	負傷者
01/25	17:45	住宅	全焼	萱島桜園町	68	2,672	-	1
01/26	19:52	住宅	全焼	河北中町	100	8,487	-	1
01/29	03:18	住宅	全焼	香里南之町	160	10,951	2	-
03/01	17:45	住宅	全焼	池田新町	53	5,798	1	-

04/27	03:14	商業併用・店舗等	半焼	香里新町	1062	41,312	-	1
05/07	23:45	住宅	ぼや	国松町	-	1	-	1
05/09	09:55	住宅	ぼや	新家1丁目	-	7	-	1
06/16	16:30	住宅	ぼや	上神田1丁目	-	-	-	1
07/05	17:05	住宅	ぼや	高柳4丁目	-	2	-	1
07/12	14:15	住宅	部分焼	高柳5丁目	-	437	-	1
07/21	15:50	住宅	ぼや	成田東が丘	-	-	-	1
07/29	09:35	住宅	ぼや	出雲町	-	-	-	1
08/18	20:45	着衣	-	讃良東町	-	-	-	1
08/20	22:35	飲食店	半焼	萱島東2丁目	61	3,742	-	1
08/29	19:15	共同住宅	ぼや	出雲町	-	2	-	1
10/12	03:00	住宅	全焼	高柳6丁目	89	7,946	-	1
10/20	05:10	住宅	全焼	黒原旭町	140	11,130	-	2
10/28	19:10	居酒屋	ぼや	早子町	-	3	-	1
12/15	20:10	居酒屋	ぼや	香里南之町	-	2	-	3

※ 次の①～④のいずれかに該当する火災

- ①全・半焼火災
- ②焼失面積が 200㎡以上の火災
- ③損害額が 1,000万円以上の火災
- ④死者・負傷者が発生した火災

35. 過去の火災概況

・枚方市

区分 年別	出 火 件 数					焼 損 棟 数					焼 損 面 積		
	総 数	建 物	林 野	車 両	その他	総 数	全焼	半焼	部分焼	ぼや	焼 損 床面積 (㎡)	焼 損 表面積 (㎡)	林 野 (a)
昭和26年	24	15	3	5	1		3	3			431.0		
27年	20	10	3	3	4		1	3			150.0		
28年	14	10	1	2	1	10	1	1	1	7	145.0		
29年	20	15	2	2	1		5	7			1,359.0		
30年	28	15	6	3	4		1	3			437.0		
31年	23	13	4	1	5		2	3			154.0		
32年	32	16	10	1	5	16	1	-	7	8	131.0		
33年	70	23	11	1	35	22	5	2	6	9	667.0		
34年	46	35	9	2	-	35	4	4	14	13	1,428.0		
35年	61	36	21	3	1	36	8	6	15	7	721.0		
36年	85	44	-	9	32	31	7	3	16	5	608.0		
37年	71	28	-	9	34	30	2	3	11	14	265.0		
38年	119	37	-	7	75	37	5	5	12	15	1,073.0		
39年	84	29	6	5	44	29	6	-	19	4	1,044.0		
40年	131	39	8	16	68	35	7	3	14	11	2,072.0		
41年	100	49	5	11	35	45	8	3	21	13	1,659.0		
42年	123	55	11	12	45	51	6	8	23	14	5,455.0		
43年	149	63	4	11	71	63	12	11	32	8	2,768.0		293.0
44年	179	86	-	9	84	88	15	6	67	-	3,291.0		343.0
45年	211	90	10	14	97	101	25	7	69	-	4,427.0		566.0
46年	183	108	8	19	48	111	10	5	96	-	2,572.0		150.0
47年	150	117	-	16	17	130	19	5	106	-	3,029.0		-
48年	169	141	1	11	16	141	12	6	123	-	4,985.0		-
49年	124	102	5	8	9	122	26	3	93	-	2,230.0		654.0
50年	116	95	-	7	14	110	11	3	96	-	1,676.0		-
51年	82	65	-	9	8	74	10	6	58	-	2,014.0		-
52年	124	91	-	7	26	104	14	4	86	-	2,839.0		-
53年	282	139	7	8	128	161	20	12	129	-	1,974.0		6,494.0
54年	211	128	2	15	66	146	8	14	124	-	3,015.0		35.0
55年	265	181	-	10	74	196	13	5	178	-	1,616.0		-
56年	298	215	1	12	70	231	16	11	204	-	4,838.0		15.0
57年	315	195	-	27	93	222	13	12	197	-	2,048.0		-
58年	290	181	-	20	89	196	9	9	178	-	1,742.0		-
59年	276	180	-	17	79	204	16	10	178	-	2,031.0		10.0
60年	233	142	2	19	70	161	14	8	139	-	1,220.0		12.0
61年	220	150	2	17	51	168	11	8	149	-	1,144.0		45.0
62年	211	138	1	22	50	164	10	9	145	-	1,400.0		100.0
63年	184	124	-	21	39	150	10	13	127	-	1,546.0		-
平成元年	166	113	-	21	32	147	17	7	123	-	1,940.0		-
2年	158	96	-	17	45	120	13	13	94	-	3,627.0		-
3年	139	83	-	23	33	99	7	8	84	-	1,332.0		-
4年	161	85	1	16	59	115	12	10	93	-	967.0		2.0
5年	187	106	2	28	51	129	11	7	111	-	1,357.0		7.0
6年	185	80	1	25	79	101	10	10	81	-	1,699.0		7.0
7年	139	74	1	22	42	85	4	10	37	34	1,100.0	444.0	5.0
8年	155	93	2	17	43	117	11	15	44	47	2,131.0	532.0	12.0
9年	148	94	-	19	35	131	13	5	36	77	2,229.0	909.0	-
10年	135	87	-	17	31	119	11	7	37	64	2,161.0	483.0	-
11年	137	77	-	16	44	115	16	4	46	49	1,776.0	622.0	-
12年	204	96	1	29	78	117	7	3	43	64	1,280.0	378.0	1.5
13年	213	108	-	23	82	142	7	18	38	79	2,329.0	717.0	-
14年	185	82	-	14	89	103	11	9	36	47	1,495.0	559.0	-
15年	157	96	1	12	48	114	7	7	33	67	1,356.0	439.0	10.0
16年	153	67	-	16	70	75	4	6	16	49	945.0	222.0	-
17年	159	81	-	25	53	106	15	8	33	50	2,196.0	311.0	-
18年	146	80	-	14	52	91	3	5	29	54	943.0	338.0	-
19年	148	80	-	14	54	104	13	7	20	64	6,370.0	350.0	-
20年	144	64	-	34	46	80	3	6	22	49	919.0	197.0	-
21年	159	75	-	17	67	85	6	2	22	55	573.0	525.0	-
22年	143	83	-	16	44	89	6	2	24	57	991.0	208.0	-
23年	144	72	-	27	45	96	11	3	20	62	1,497.0	285.0	-
24年	111	54	-	15	42	63	8	6	11	38	1,201.0	85.0	-
25年	129	55	-	16	58	66	1	5	8	52	277.0	99.0	-
26年	105	57	-	11	37	62	3	4	8	47	1,166.0	45.0	-
27年	96	57	-	12	27	70	7	4	13	46	1,203.0	53.0	-
28年	106	52	-	18	36	62	2	2	9	49	578.0	147.0	-
29年	114	66	-	15	33	70	2	2	11	55	679.0	337.0	-
30年	111	61	-	14	36	73	12	6	10	45	2,072.0	538.0	-

※ 空欄は、不明。

その他 (a)	死 傷 者		り 災 世 帯				り災 人員	損 害 額 (千円)				
	死者	負傷者	総 数	全損	半損	小損		総 額	建 物	林 野	車 両	その他
316.8	-	-						6,381				
109.0	-	2						949				
148.5	1	1						2,481				
33.0	1	2						12,906				
93.5	1	9						8,244				
427.4	-	1						5,678				
476.2	-	2						608				
132.2	-	-						12,470				
146.0	1	1						13,069				
187.0	1	1						10,387				
121.6	-	-						4,597				
238.6	-	-						5,320				
9962.0	1	1						19,363				
1388.0	-	-						10,322				
4006.0	-	9						56,375				
161.0	3	1						38,181	29,265	-	8,806	110
338.0	2	7	45				184	92,451	91,528	2	539	382
400.0	-	8	56				211	59,690	58,534	143	602	411
123.0	1	10	78				293	159,590	158,503	137	899	51
324.9	2	9	75	14	15	46	261	113,700	112,296	173	1,198	33
301.3	3	26	163	64	10	89	536	80,114	78,495	-	1,571	48
267.0	4	12	119	24	4	91	425	85,801	81,635	-	1,681	2,485
25.8	3	13	149	37	17	95	492	211,205	208,976	5	1,538	686
2.0	-	7	109	18	6	85	363	106,857	103,199	550	519	2,589
151.0	2	16	103	14	2	87	345	132,042	131,015	-	825	202
71.0	3	19	69	12	2	55	235	130,155	127,781	-	2,364	10
134.5	-	21	103	8	6	89	371	191,778	190,814	-	953	11
462.4	6	30	159	22	15	122	529	204,169	179,178	24,313	255	423
355.0	2	24	142	13	8	121	480	228,316	223,234	30	1,232	3,820
509.6	6	28	173	15	6	152	569	153,308	149,628	-	3,576	104
787.8	1	29	218	18	6	194	764	659,422	658,343	-	930	149
230.2	-	25	210	24	10	176	679	232,856	229,536	-	1,940	1,380
321.8	3	18	203	28	15	160	663	174,618	171,039	-	1,633	1,946
183.7	2	16	219	30	16	173	597	210,874	205,940	-	1,347	3,587
421.9	3	13	126	12	3	111	387	117,484	114,662	-	2,405	417
248.6	4	17	144	12	4	128	496	174,968	171,016	-	3,701	251
203.7	9	25	181	13	6	162	622	148,652	147,074	-	1,493	85
284.1	4	30	144	29	2	113	470	108,563	85,513	-	4,571	18,479
237.5	4	18	159	44	11	104	444	227,897	225,497	-	1,096	1,304
101.5	10	20	122	27	2	93	363	340,203	331,807	-	3,224	5,172
110.8	5	20	118	24	6	88	337	105,733	101,358	-	4,213	162
194.5	4	12	82	13	4	65	254	155,001	148,162	-	5,780	1,059
93.6	7	20	120	20	4	96	349	135,778	129,497	-	5,943	338
441.8	2	15	83	18	5	60	255	277,644	274,105	5	3,521	13
118.5	4	18	85	18	14	53	195	95,014	87,639	-	5,603	1,772
112.5	5	19	131	30	12	89	372	242,609	239,135	-	2,635	839
94.6	5	31	130	48	5	77	303	186,728	173,934	-	3,326	9,468
66.0	4	22	159	47	14	98	386	165,449	162,551	-	1,978	920
74.7	5	34	109	24	3	82	310	215,035	209,782	-	2,393	2,860
271.4	7	28	113	17	9	87	341	145,490	141,335	-	3,737	418
173.0	10	31	165	39	10	116	392	469,736	464,399	-	4,760	577
106.7	4	24	94	13	15	66	253	167,198	159,406	-	6,929	863
55.8	6	29	118	28	15	75	279	171,648	169,863	-	1,602	183
73.7	-	23	60	11	3	46	160	158,718	158,122	-	234	362
64.8	6	32	91	22	5	64	220	334,786	331,027	-	3,600	159
154.7	4	43	84	12	7	65	229	140,910	134,950	-	3,833	2,127
56.6	2	29	87	15	9	63	211	441,917	438,137	-	1,117	2,663
5.3	3	19	62	5	9	48	145	185,225	171,815	-	11,481	1,929
118.4	1	26	62	3	4	55	152	79,928	77,467	-	2,009	452
37.4	3	32	79	25	5	49	165	57,582	56,625	-	878	79
107.0	4	13	46	8	4	34	94	77,492	66,669	-	10,361	462
49.9	5	17	48	7	2	39	105	117,890	113,109	-	4,210	571
34.0	1	22	52	3	4	45	129	27,985	25,656	-	2,108	221
54.1	3	27	44	5	3	36	90	114,349	111,260	-	2,693	396
73.6	6	9	59	12	-	47	147	156,656	155,446	-	726	484
15.7	4	12	43	4	3	36	94	62,199	59,688	-	2,386	125
36.3	1	30	59	6	3	50	154	44,365	43,883	-	433	49
13.3	2	25	59	12	1	46	118	168,449	159,538	-	8,817	94

・寝屋川市

区分 年別	出 火 件 数					焼 損 棟 数					焼 損 面 積		
	総 数	建 物	林 野	車 両	その他	総 数	全焼	半焼	部分焼	ぼや	焼 損 床面積 (㎡)	焼 損 表面積 (㎡)	林 野 (a)
昭和26年	5	4	-	1	-		1	3			44.0		-
27年	11	7	1	1	2		-	3			7.0		
28年	13	9	3	1	-	9	4	-	1	4	277.0		
29年	11	9	1	1	-	9	2	-	4	3	140.0		
30年	10	8	1	1	-	8	1	-	4	3	90.0		
31年	9	8	-	1	-	8	3	-	2	3	719.0		
32年	17	6	4	2	5	7	-	-	4	3	17.0		
33年	28	16	8	3	1	17	4	-	4	9	498.0		
34年	15	9	4	2	-	10	1	-	5	4	109.0		
35年	15	12	1	2	-	11	-	1	5	5	128.0		
36年	39	19	-	4	16	19	1	4	8	6	150.0		
37年	46	27	-	4	15	29	8	3	8	10	1005.0		
38年	85	37	-	15	33	39	6	1	11	21	1183.0		
39年	84	36	4	10	34	36	5	-	19	12	605.0		
40年	95	42	3	8	42	26	5	2	19	-	1711.0		
41年	91	56	-	7	28	52	4	7	26	15	955.0		
42年	106	63	2	10	31	59	9	3	28	19	2323.0		
43年	132	82	1	11	38	82	12	9	47	14	4040.0		3.0
44年	146	91	-	10	45	92	11	5	76	-	1709.0		54.0
45年	137	91	1	14	31	102	17	6	79	-	2028.0		50.0
46年	145	109	-	15	21	128	20	8	100	-	6279.0		-
47年	121	99	-	11	11	102	15	6	81	-	2710.0		-
48年	138	113	-	10	15	113	18	8	87	-	4887.0		-
49年	120	99	2	8	11	111	12	7	92	-	3049.0		39.0
50年	105	94	-	5	6	110	9	9	92	-	2510.0		-
51年	81	67	-	8	6	94	12	11	71	-	3022.0		-
52年	112	87	-	13	12	111	10	12	89	-	2433.0		-
53年	183	108	-	14	61	133	15	6	112	-	2598.0		-
54年	148	99	1	16	32	133	12	6	115	-	3229.0		5.0
55年	234	170	-	28	36	201	15	12	174	-	2061.0		-
56年	212	156	-	15	41	177	12	13	152	-	2383.0		-
57年	222	157	-	23	42	177	14	9	154	-	1896.0		-
58年	210	159	-	15	36	188	13	21	154	-	4069.0		-
59年	225	151	1	17	56	179	11	11	157	-	2346.0		50.0
60年	180	127	-	17	36	144	8	12	124	-	2584.0		-
61年	207	149	-	18	40	174	8	14	152	-	1790.0		-
62年	172	131	-	14	27	142	11	8	123	-	2393.0		-
63年	163	108	-	22	33	146	14	13	119	-	3201.0		-
平成元年	157	97	-	26	34	119	10	8	101	-	1413.0		-
2年	133	86	-	15	32	132	8	7	117	-	1462.0		-
3年	131	81	1	14	35	97	2	5	90	-	445.0		10.0
4年	124	71	-	13	40	87	9	2	76	-	1691.0		-
5年	117	74	-	16	27	105	7	8	90	-	1664.0		-
6年	135	65	-	20	50	88	6	3	79	-	1149.0		-
7年	135	94	-	9	32	116	6	11	39	60	3764.0	764.0	-
8年	124	78	-	19	27	106	7	16	46	37	4629.0	794.0	-
9年	157	84	-	24	49	114	4	15	40	55	1666.0	528.0	-
10年	110	68	-	19	23	112	10	9	31	62	3377.0	738.0	-
11年	144	84	-	16	44	105	6	7	43	49	1347.0	645.0	-
12年	131	71	-	17	43	94	10	5	24	55	2020.0	255.0	-
13年	117	70	-	17	30	100	6	6	28	60	2334.0	548.0	-
14年	128	71	-	17	40	86	4	6	21	55	738.0	145.0	-
15年	107	65	-	13	29	86	3	7	20	56	4531.0	667.0	-
16年	120	69	-	10	41	96	9	8	16	63	1620.0	342.0	-
17年	97	65	-	5	27	84	10	6	26	42	1782.0	627.0	-
18年	100	72	-	9	19	88	10	4	20	54	1404.0	250.0	-
19年	133	77	-	8	48	96	8	6	22	60	1021.0	300.0	-
20年	136	62	-	8	66	80	6	4	22	48	1246.0	245.0	-
21年	121	75	-	4	42	104	11	7	28	58	2801.0	1206.0	-
22年	97	50	-	9	38	61	6	2	16	37	921.0	76.0	-
23年	105	68	-	8	29	77	3	5	18	51	923.0	498.0	-
24年	92	51	-	7	34	60	7	2	19	32	925.0	127.0	-
25年	86	39	-	7	40	50	6	2	6	36	1201.0	81.0	-
26年	88	44	-	3	41	65	6	3	12	44	836.0	152.0	-
27年	78	47	-	4	27	61	4	3	12	42	893.0	503.0	-
28年	62	35	-	10	17	50	5	2	15	28	634.0	73.0	-
29年	56	37	-	4	15	45	2	-	11	32	212.0	73.0	-
30年	74	51	-	3	20	68	6	2	10	50	1,730.0	204.0	-

※ 空欄は、不明。

その他 (a)	死 傷 者		り 災 世 帯				り災 人員	損 害 額 (千円)				
	死者	負傷者	総 数	全損	半損	小損		総 額	建 物	林 野	車 両	その他
	-	1						198				
27.7	-	1						20				
201.3	-	3						1,481				
990.0	-	2						1,822				
660.0	-	2						454				
-	-	1						36,047				
2673.0	-	-						73				
367.3	-	-						3,972				
-	-	-						2,114				
-	1	1						1,990				
108.0	-	-						3,315				
1.0	-	9						14,327				
2085.0	1	2						29,866				
2176.0	-	-						22,842				
225.0	-	7						42,718				
94.0	-	6						33,940	33,567	-	258	115
320.0	6	6	42				140	134,625	134,134	-	400	91
469.0	1	4	84				288	73,718	73,308	-	316	94
117.0	-	5	72				262	39,697	37,984	-	960	753
47.0	2	16	138	33	48	57	392	69,866	66,167	-	3,364	335
23.9	1	8	142	52	12	78	534	147,609	145,908	-	1,473	228
9.5	2	9	127	30	12	85	406	49,639	49,082	-	493	64
26.6	6	22	159	47	22	90	479	136,867	133,532	-	1,123	2,212
53.9	2	24	135	27	8	100	439	303,893	301,481	30	1,470	912
25.0	2	17	168	41	24	103	491	251,704	251,205	-	440	59
100.0	4	23	169	52	23	94	489	220,854	215,853	-	3,701	1,300
9.1	-	16	148	25	17	106	458	306,473	305,121	-	1,079	273
95.1	2	20	138	19	4	115	479	210,594	208,111	-	1,421	1,062
18.3	-	30	139	53	4	82	381	361,605	358,710	-	2,756	139
194.1	-	17	192	46	3	143	584	139,269	134,997	-	2,543	1,729
237.9	4	14	175	33	-	142	553	187,609	181,672	-	2,072	3,865
141.5	6	19	187	39	16	132	609	167,170	165,569	-	1,536	65
80.5	7	25	202	60	13	129	639	411,920	410,757	-	820	343
222.3	6	17	200	36	13	151	591	238,001	233,407	-	2,272	2,322
125.3	5	23	214	67	11	136	540	239,196	234,884	-	4,142	170
239.8	3	14	182	36	10	136	545	137,099	129,341	-	3,090	4,668
38.3	2	13	107	12	3	92	320	276,904	274,973	-	1,732	199
34.1	6	20	202	70	15	117	500	284,076	278,101	-	5,256	719
39.1	2	18	121	25	5	91	394	182,828	180,417	-	1,937	474
380.8	4	23	149	27	7	115	417	194,739	192,932	-	1,478	329
15.3	3	6	104	30	4	70	280	74,849	72,713	-	1,978	158
47.5	2	8	85	26	2	57	248	108,710	106,666	-	802	1,242
29.2	1	14	149	65	4	80	340	171,328	166,961	-	4,009	358
336.5	3	14	66	10	1	55	207	229,832	222,405	-	4,269	3,158
66.5	2	21	147	61	5	81	306	274,545	273,714	-	559	272
34.1	1	11	138	56	18	64	314	345,248	339,372	-	5,813	63
57.8	2	22	116	33	18	65	265	170,536	166,322	-	3,519	695
22.5	3	22	148	56	16	76	337	263,890	258,370	-	5,469	51
22.7	2	15	92	19	8	65	238	107,090	103,180	-	3,765	145
47.2	5	20	79	20	2	57	224	148,120	144,140	-	3,701	279
16.8	4	24	99	37	1	61	241	277,523	273,988	-	3,349	186
61.3	-	20	71	15	8	48	171	112,362	99,462	-	2,503	10,397
0.3	4	14	89	16	5	68	182	358,880	356,880	-	1,363	637
16.0	2	23	82	23	4	55	211	156,805	148,284	-	8,249	272
28.8	8	27	117	27	3	87	277	203,132	202,132	-	944	56
6.8	5	14	92	14	7	71	233	152,122	151,438	-	650	34
11.5	4	27	90	8	8	74	217	129,303	128,385	-	651	267
5.4	5	21	82	30	4	48	156	140,547	129,943	-	9,906	698
16.0	2	26	82	16	7	59	191	175,125	174,490	-	84	551
22.4	-	14	54	11	3	40	129	129,865	128,735	-	1,059	71
4.7	4	13	51	6	3	42	122	158,686	156,494	-	2,070	122
7.6	4	13	62	12	7	43	126	51,544	51,176	-	133	235
32.9	-	11	53	7	2	44	90	41,342	39,936	-	1,186	220
23.0	2	12	56	16	1	39	127	77,829	76,930	-	100	799
1.7	1	28	64	9	2	53	154	81,823	77,529	-	4,200	94
1.7	-	5	45	9	2	34	96	41,094	33,774	-	7,277	43
3.0	1	7	47	5	1	41	106	19,346	18,673	-	650	23
1.4	3	20	61	11	1	49	147	98,790	98,401	-	357	32

36. 過去の主な出火原因

・枚方市

出火原因 年別	総 数	放 火 (疑 含 む)	た ば こ	こ ん ろ	火 遊 び	焚 火 等	風 呂 か ま ど	風 呂 の 空 焚 き	電 気 関 係 (交 通 機 関 除 く)	冷 暖 房 機 器 (電 気 関 係 除 く)	そ の 他
昭和43年	149	4	20	8	27	25	6	—	—	—	59
44年	179	4	34	11	26	36	16	—	—	—	52
45年	211	14	31	5	39	40	25	—	—	—	57
46年	183	3	21	13	29	17	40	—	—	—	60
47年	150	14	14	16	13	6	38	—	—	—	49
48年	169	13	16	17	16	5	54	—	—	—	48
49年	124	16	11	13	5	8	44	—	—	—	27
50年	116	9	15	12	9	—	29	—	—	—	42
51年	82	9	6	8	15	6	11	—	—	—	27
52年	124	7	13	17	17	14	26	24	11	3	16
53年	282	21	41	21	66	44	56	54	4	8	21
54年	211	19	18	18	44	25	47	46	4	12	24
55年	265	24	12	22	48	26	99	97	1	12	21
56年	298	27	28	41	59	13	87	87	6	7	30
57年	315	38	29	28	66	19	84	84	6	1	44
58年	290	31	13	26	61	26	79	77	10	4	40
59年	276	38	22	37	41	26	70	69	3	9	30
60年	233	28	25	29	45	18	41	39	6	7	34
61年	220	32	17	41	30	8	49	44	4	6	33
62年	211	27	17	33	23	21	46	43	2	10	32
63年	184	33	21	29	29	7	34	32	4	6	21
平成 元年	166	37	13	33	23	6	16	15	6	2	30
2年	158	38	12	22	22	9	7	7	12	5	31
3年	139	35	15	25	18	13	4	3	6	5	18
4年	161	35	24	19	16	19	10	10	9	1	28
5年	187	54	18	24	23	13	10	9	11	3	31
6年	185	38	31	21	28	17	6	3	10	3	31
7年	139	35	21	15	12	10	3	3	10	2	31
8年	155	41	24	22	15	11	1	1	14	3	24
9年	148	37	14	23	13	12	2	2	13	7	27
10年	135	35	13	25	11	6	5	4	9	5	26
11年	137	25	22	22	8	10	—	—	14	4	32
12年	204	49	27	27	25	16	4	3	14	5	37
13年	213	60	33	22	20	16	4	2	16	6	36
14年	185	59	31	14	16	13	4	3	6	4	38
15年	157	53	21	25	5	10	2	1	9	4	28
16年	153	38	29	22	7	12	—	—	3	3	39
17年	159	35	22	22	4	15	—	—	9	10	42
18年	146	35	18	26	5	12	3	1	12	3	32
19年	148	29	20	21	10	15	2	—	10	1	40
20年	144	61	14	14	5	5	—	—	8	2	35
21年	159	64	15	15	6	7	2	1	13	5	32
22年	143	52	14	17	4	6	—	—	11	3	36
23年	144	50	12	12	7	11	—	—	10	4	38
24年	111	35	13	9	4	4	—	—	9	2	35
25年	129	52	15	14	6	5	1	—	8	7	21
26年	105	33	13	13	5	5	—	—	8	1	27
27年	96	29	12	13	1	1	—	—	8	5	27
28年	106	26	12	9	5	6	—	—	13	5	30
29年	114	27	14	14	1	5	—	—	18	1	34
30年	111	23	11	13	3	9	—	—	15	4	33

・寝屋川市

出火原因 年別	総 数	放 火 (疑 含 む)	た ば こ	こ ん ろ	火 遊 び	焚 火 等	風 呂 か ま ど	風 呂 の 空 焚 き	電 気 関 係 (交 通 機 関 除 く)	冷 暖 房 機 器 (電 気 関 係 除 く)	そ の 他
昭和43年	132	4	16	12	20	21	8	—	—	—	51
44年	146	3	15	16	25	23	18	—	—	—	46
45年	137	12	19	17	16	11	18	—	—	—	44
46年	145	16	19	13	14	11	27	—	—	—	45
47年	121	11	11	13	13	2	35	—	—	—	36
48年	138	6	10	13	15	8	38	—	—	—	48
49年	120	13	8	15	7	5	38	—	—	—	34
50年	105	8	9	14	9	3	30	—	—	—	32
51年	81	13	7	6	9	2	9	—	—	—	35
52年	112	23	9	21	9	8	17	17	6	4	15
53年	183	26	28	24	31	23	22	20	8	3	18
54年	148	27	12	16	16	12	31	31	5	8	21
55年	234	59	9	23	30	9	74	74	2	5	23
56年	212	31	19	21	25	13	70	68	7	4	22
57年	222	45	23	28	29	9	53	51	4	3	28
58年	210	33	17	18	30	6	63	62	1	4	38
59年	225	36	15	18	33	12	65	64	3	3	40
60年	180	39	10	22	19	6	42	39	9	1	32
61年	207	40	17	26	23	10	47	47	4	5	35
62年	172	32	16	22	26	6	42	39	6	3	19
63年	163	42	17	23	19	4	26	25	4	6	22
平成 元年	157	44	25	23	10	3	16	16	10	4	22
2年	133	36	24	20	6	7	12	11	5	8	15
3年	131	39	26	23	4	6	7	6	5	6	15
4年	124	33	20	18	13	6	7	6	7	2	18
5年	117	31	13	17	12	6	4	4	10	2	22
6年	135	43	24	19	9	8	6	6	6	1	19
7年	135	41	19	25	9	8	6	3	11	4	12
8年	124	55	13	14	8	5	6	5	8	—	15
9年	157	85	12	16	8	2	6	3	10	3	15
10年	110	37	19	10	6	4	3	3	6	2	23
11年	144	50	18	22	11	5	2	1	7	4	25
12年	131	39	19	11	15	4	6	4	10	3	24
13年	117	39	12	18	6	8	—	—	10	2	22
14年	128	39	21	19	10	5	1	1	12	2	19
15年	107	35	8	15	10	2	3	3	13	2	19
16年	120	29	12	22	11	3	—	—	7	3	33
17年	97	13	21	16	7	4	2	2	12	2	20
18年	100	25	12	22	7	1	2	1	8	5	18
19年	133	52	16	23	8	1	1	—	6	5	21
20年	136	74	12	10	6	5	—	—	7	5	17
21年	121	55	14	17	6	4	1	1	5	3	16
22年	97	41	12	7	4	3	1	1	8	—	21
23年	105	40	11	14	7	1	—	—	8	3	21
24年	92	44	9	13	5	2	—	—	2	2	15
25年	86	37	12	9	5	4	1	—	5	—	13
26年	88	42	4	7	7	2	1	—	10	4	11
27年	78	26	14	9	2	3	—	—	8	1	15
28年	62	17	7	7	—	3	—	—	9	1	18
29年	56	8	12	6	3	3	1	—	9	2	12
30年	74	17	9	11	1	—	1	—	10	1	24

37. 出勤状況

・救急隊別出勤件数及び搬送人員

事故種別 区 別		合計	火 災	自然災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 行 損 傷	急 病	転 院	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
総 計		37,751 33,790	145 35	0 0	18 4	3,169 3,010	209 188	156 155	5,643 5,136	222 161	236 167	25,572 23,017	1,869 1,863	376 0	0 0	136 54
本 部	小 計	0 0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	本 部	0 0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
枚 方	小 計	11,529 10,277	34 10	- -	2 -	904 851	50 46	52 53	1,768 1,595	86 58	80 60	7,724 6,901	688 683	96 -	- -	45 20
	枚 方	3,155 2,764	9 3	- -	1 -	273 257	14 12	17 17	442 397	33 18	23 16	2,086 1,825	213 211	31 -	- -	13 8
	中 振	2,981 2,645	13 7	- -	- -	230 212	8 7	9 10	507 455	19 13	27 24	2,027 1,806	108 107	22 -	- -	11 4
	渚	2,810 2,568	3 -	- -	- -	228 227	18 17	18 18	399 373	23 17	14 10	1,840 1,668	232 231	20 -	- -	15 7
	川 越	2,583 2,300	9 -	- -	1 -	173 155	10 10	8 8	420 370	11 10	16 10	1,771 1,602	135 134	23 -	- -	6 1
	小 計	11,279 10,041	48 9	- -	3 -	947 904	86 78	44 42	1,660 1,497	54 42	63 41	7,630 6,842	566 566	135 -	- -	43 20
	枚 方 東	1,819 1,647	10 1	- -	- -	199 201	31 29	6 6	237 224	8 7	14 9	1,174 1,071	97 97	37 -	- -	6 2
東	阪	3,062 2,693	6 1	- -	1 -	232 218	8 8	12 12	479 421	14 13	17 9	2,088 1,835	170 170	21 -	- -	14 6
	楠 葉	2,311 2,101	7 2	- -	- -	166 156	10 9	8 7	376 349	6 4	11 7	1,578 1,441	122 122	20 -	- -	7 4
	長 尾	2,144 1,894	13 3	- -	- -	155 138	20 16	7 6	294 264	13 9	13 10	1,481 1,325	122 122	21 -	- -	5 1
	氷 室	372 340	2 -	- -	2 -	43 46	4 4	2 2	48 45	3 3	2 2	246 228	8 8	11 -	- -	1 2
	北 山	1,571 1,366	10 2	- -	- -	152 145	13 12	9 9	226 194	10 6	6 4	1,063 942	47 47	25 -	- -	10 5
	小 計	14,943 13,472	63 16	- -	13 4	1,318 1,255	73 64	60 60	2,215 2,044	82 61	93 66	10,218 9,274	615 614	145 -	- -	48 14
	寝 屋 川	2,457 2,255	8 2	- -	2 -	233 226	13 13	9 9	362 341	9 8	15 12	1,610 1,475	168 167	19 -	- -	9 2
屋 川	西	2,297 2,072	9 2	- -	4 -	197 187	17 15	6 6	347 323	12 10	13 10	1,614 1,459	55 55	17 -	- -	6 5
	南	1,804 1,623	9 6	- -	- -	202 185	11 9	1 1	273 258	12 8	13 7	1,221 1,113	36 36	21 -	- -	5 -
	明 和	1,191 1,040	5 -	- -	2 -	131 129	9 8	13 13	160 145	4 2	7 2	795 703	38 38	25 -	- -	2 -
	秦	2,490 2,272	12 -	- -	2 -	244 233	8 6	9 9	375 345	15 9	17 14	1,617 1,484	169 169	18 -	- -	5 1
	三 井	2,448 2,207	8 3	- -	1 1	152 151	8 7	15 15	349 313	13 10	10 9	1,730 1,572	124 124	26 -	- -	12 2
	神 田	2,256 2,003	12 3	- -	3 1	159 144	7 6	7 7	349 319	17 14	18 12	1,631 1,468	25 25	19 -	- -	9 4

・曜日別出勤件数及び搬送人員

曜日別 件 数	総 数	日	月	火	水	木	金	土
出 動 件 数	37,751	5,308	5,757	5,229	5,313	5,335	5,462	5,347
搬 送 人 員	33,790	4,810	5,164	4,654	4,714	4,724	4,864	4,860

・時間帯別出勤件数及び搬送人員

時間帯 件 数	総 数	0～1	1～2	2～3	3～4	4～5	5～6	6～7	7～8	8～9	9～10	10～11	11～12
出 動 件 数	37,751	1,114	905	816	691	684	766	1,038	1,469	1,801	2,236	2,305	2,022
搬 送 人 員	33,790	955	781	709	617	600	677	950	1,363	1,689	2,035	2,025	1,792
時間帯 件 数	総 数	12～13	13～14	14～15	15～16	16～17	17～18	18～19	19～20	20～21	21～22	22～23	23～24
出 動 件 数	2,073	1,954	1,927	1,790	1,948	1,960	2,054	2,015	1,765	1,637	1,469	1,312	
搬 送 人 員	1,832	1,738	1,699	1,572	1,733	1,769	1,884	1,853	1,612	1,478	1,294	1,133	

・事故種別CPA対象出勤件数及び搬送人員

事故種別 区 別	総数	火 災	自然	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	転 院	その他
総 計	602件	1	-	2	4	2	-	68	4	25	491	5	-
	602件	1	-	2	4	2	-	68	4	25	491	5	-

・月別、事故種別活動状況

事故種別 月別		総 数	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 材 搬 送	そ の 他
総 数	出動件数	37,751	145	0	18	3,169	209	156	5,643	222	236	25,572	1,869	376	0	136
	うち休日	5,308	24	0	2	342	15	56	822	43	28	3,811	149	0	0	16
	搬送人員	33,790	35	0	4	3,010	188	155	5,136	161	167	23,017	1,863	0	0	54
	うち休日	4,810	6	0	2	323	15	57	752	32	20	3,449	149	0	0	5
一 月	出動件数	3,704	18	-	4	245	9	9	522	21	20	2,582	216	44	-	14
	うち休日	421	1	-		23		3	62	4	2	307	17		-	2
	搬送人員	3,296	5	-	2	226	8	9	475	14	15	2,325	215	-	-	2
	うち休日	387		-		24		3	55	2	2	283	17	-	-	1
二 月	出動件数	3,038	18	-	1	226	12	7	422	12	22	2,102	163	39	-	14
	うち休日	396	2	-		25		2	65	2	4	285	9		-	2
	搬送人員	2,680	5	-		216	10	7	365	10	13	1,885	163	-	-	6
	うち休日	356	1	-		22		2	56	2	4	259	9	-	-	1
三 月	出動件数	3,093	14	-	1	246	16	13	478	20	23	2,058	167	49	-	8
	うち休日	408	3	-		33		6	64	9	1	275	16		-	1
	搬送人員	2,722	4	-		228	15	12	421	12	17	1,844	167	-	-	2
	うち休日	365		-		28		6	56	5		254	16	-	-	
四 月	出動件数	2,772	11	-	1	259	12	13	430	21	23	1,817	141	35	-	9
	うち休日	446	1	-		37		6	80	1	2	312	6		-	1
	搬送人員	2,476	3	-		246	9	13	399	19	16	1,626	141	-	-	4
	うち休日	392		-		31		6	76	1	1	271	6	-	-	
五 月	出動件数	2,891	9	-	1	252	11	10	420	16	18	1,975	141	24	-	14
	うち休日	394	1	-		25		6	55	3	3	290	10		-	1
	搬送人員	2,595	1	-		239	11	10	383	13	13	1,779	139	-	-	7
	うち休日	357		-		23		6	54	3	2	259	10	-	-	
六 月	出動件数	2,799	3	-		278	20	25	441	24	21	1,827	123	17	-	20
	うち休日	375		-		23	1	10	61	6	3	260	9		-	2
	搬送人員	2,534		-		275	19	25	398	19	10	1,655	123	-	-	10
	うち休日	340		-		21	1	10	52	5	1	239	9	-	-	2
七 月	出動件数	3,763	12	-		272	26	17	458	22	17	2,751	156	20	-	12
	うち休日	637	1	-		48	3	4	80	6	2	478	14		-	1
	搬送人員	3,429	5	-		263	25	18	422	16	12	2,510	155	-	-	3
	うち休日	584	1	-		50	3	5	74	5	1	431	14	-	-	
八 月	出動件数	3,284	17	-	4	256	16	12	425	18	11	2,345	147	26	-	7
	うち休日	398		-		23	2	3	55	1		308	6		-	
	搬送人員	2,937	2	-		243	15	12	395	10	7	2,105	146	-	-	2
	うち休日	370		-		21	2	3	52	1		285	6	-	-	
九 月	出動件数	3,110	4	-	2	245	39	15	513	10	14	2,065	154	39	-	10
	うち休日	487	2	-	1	23	3	5	95	3	2	329	22		-	2
	搬送人員	2,766		-	2	235	30	15	467	5	7	1,847	154	-	-	4
	うち休日	447		-	2	23	3	5	88	1	1	301	22	-	-	1
十 月	出動件数	3,018	20	-	3	294	20	15	489	11	24	1,960	142	28	-	12
	うち休日	429	8	-	1	23	3	5	67		3	306	12		-	1
	搬送人員	2,688	5	-		279	18	14	443	7	22	1,753	141	-	-	6
	うち休日	373	2	-		19	3	5	59		3	270	12	-	-	
十 一 月	出動件数	2,978	9	-	1	291	14	8	498	19	20	1,933	147	29	-	9
	うち休日	409	2	-		36	2	3	59	2	4	289	11		-	1
	搬送人員	2,712	5	-		277	14	8	466	15	16	1,761	148	-	-	2
	うち休日	381	2	-		36	2	3	58	1	4	264	11	-	-	
十 二 月	出動件数	3,301	10	-		305	14	12	547	28	23	2,157	172	26	-	7
	うち休日	508	3	-		23	1	3	79	6	2	372	17		-	2
	搬送人員	2,955		-		283	14	12	502	21	19	1,927	171	-	-	6
	うち休日	458		-		25	1	3	72	6	1	333	17	-	-	

※ うち休日とは日曜日。

・事故種別、年齢性別搬送人員

※性別不明者があるため総計は他の資料と一致しない

事故種別 年齢性別		総 数	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他
総 数	男	16,833	22	-	3	1,736	162	131	2,400	88	61	11,190	1,023	17
	女	16,955	13	-	1	1,274	26	24	2,735	73	106	11,826	840	37
0～4	男	953	-	-	-	41	-	-	226	2	-	628	52	4
	女	634	1	-	-	24	-	-	166	2	-	407	28	6
5～9	男	397	-	-	-	57	-	3	124	1	-	194	18	-
	女	230	-	-	-	30	-	-	49	-	-	142	9	-
10～14	男	346	-	-	-	58	-	48	58	2	-	169	11	-
	女	234	-	-	-	21	-	10	34	1	5	157	5	1
15～19	男	513	-	-	2	211	7	35	42	6	6	180	22	2
	女	433	-	-	-	119	1	4	20	1	6	273	7	2
20～29	男	862	6	-	-	266	23	18	62	20	11	436	17	3
	女	959	1	-	-	149	2	2	48	19	26	653	51	8
30～39	男	748	1	-	-	175	24	10	53	7	7	445	25	1
	女	907	-	-	-	121	2	-	47	8	19	592	106	12
40～49	男	1,283	2	-	-	253	42	5	108	20	13	778	59	3
	女	1,245	4	-	-	186	8	1	87	17	25	871	42	4
50～59	男	1,521	3	-	-	220	25	3	166	13	7	993	90	1
	女	1,224	-	-	-	168	6	1	129	9	11	863	37	-
60～69	男	2,303	3	-	-	165	23	8	316	8	7	1,595	175	3
	女	1,822	2	-	1	175	2	1	269	6	10	1,278	78	-
70以上	男	7,907	7	-	1	290	18	1	1,245	9	10	5,772	554	-
	女	9,267	5	-	-	281	5	5	1,886	10	4	6,590	477	4

・事故種別、症度別搬送人員

事故種別 症度別	総 数	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 災 事 故	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他
総 数	33,790	35	-	4	3,010	188	155	5,136	161	167	23,017	1,863	54
死 亡	433	1	-	2	6	1	-	41	4	22	354	2	-
重 症	539	1	-	-	28	8	-	57	-	6	374	64	1
中 等 症	10,199	10	-	-	316	76	30	1,163	13	55	6,948	1,559	29
軽 症	22,619	23	-	2	2,660	103	125	3,875	144	84	15,341	238	24
そ の 他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・月別、曜日別搬送人員

月別 曜日別		総 数	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十一 月	十二 月
総 数		33,790	3,296	2,680	2,722	2,476	2,595	2,534	3,429	2,937	2,766	2,688	2,712	2,955
	管内搬送	28,247	2,722	2,265	2,264	2,051	2,184	2,100	2,879	2,442	2,341	2,232	2,279	2,488
	管外搬送	5,543	574	415	458	425	411	434	550	495	425	456	433	467
日 曜	管内搬送	4,045	322	311	302	325	292	280	497	306	389	315	320	386
	管外搬送	765	65	45	63	67	65	60	87	64	58	58	61	72
月 曜	管内搬送	4,316	440	328	311	369	289	291	491	331	341	389	305	431
	管外搬送	848	102	46	66	78	37	70	99	66	68	84	61	71
火 曜	管内搬送	3,898	458	323	271	247	348	267	419	305	324	325	286	325
	管外搬送	756	95	70	48	46	62	53	85	61	54	63	51	68
水 曜	管内搬送	3,985	448	324	313	297	328	244	387	369	324	365	285	301
	管外搬送	729	66	58	54	60	57	60	73	75	55	72	43	56
木 曜	管内搬送	3,933	330	318	333	253	338	307	389	370	310	281	376	328
	管外搬送	791	70	59	75	50	80	58	71	72	59	59	84	54
金 曜	管内搬送	4,041	393	334	342	288	284	342	357	406	313	249	402	331
	管外搬送	823	92	72	81	58	60	63	65	87	54	60	74	57
土 曜	管内搬送	4,029	331	327	392	272	305	369	339	355	340	308	305	386
	管外搬送	831	84	65	71	66	50	70	70	70	77	60	59	89

・月別、科目別搬送人員

月別 科目別		総 数	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十一 月	十二 月
総 数		33,790	3,296	2,680	2,722	2,476	2,595	2,534	3,429	2,937	2,766	2,688	2,712	2,955
救命科		1,190	137	74	108	91	96	90	103	103	93	84	99	112
内科		13,945	1,369	1,125	1,052	947	1,057	983	1,687	1,400	1,126	1,052	1,008	1,139
外科		2,874	216	205	218	239	207	228	257	250	241	270	258	285
脳神経外科		4,867	488	373	425	353	400	356	363	355	389	441	462	462
循環器科		2,412	245	233	219	177	191	183	197	172	205	174	208	208
呼吸器科		256	27	16	22	20	21	23	31	22	22	14	18	20
消化器科		716	77	52	64	64	52	46	73	60	58	52	63	55
整形外科		4,437	409	361	374	346	348	397	348	303	387	355	386	423
精神科		234	16	15	21	31	19	15	26	23	20	20	13	15
産婦人科		398	40	29	28	35	29	42	33	32	31	34	33	32
小児科		1,822	192	154	132	127	124	131	253	164	146	135	108	156
耳鼻咽喉科		238	35	19	20	20	14	14	25	16	15	23	20	17
泌尿器科		234	32	13	24	13	21	11	22	21	17	20	21	19
眼科		57	6	7	1	5	6	4	2	8	4	5	6	3
皮膚科		19			4	1	3	3	1	3	2	1	1	
その他		91	7	4	10	7	7	8	8	5	10	8	8	9

・事故種別、応急処置別処置数

事故種別 応急処置	総 数	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他
総 数	152,856	105,267	12,725	22,655	12,209
止 血	1,002	145	212	564	81
固 定	621	48	257	225	91
人 工 呼 吸	353	278	4	40	31
胸 骨 圧 迫	274	222	4	27	21
うち 自動式 ※ 1	2	1	-	-	1
心 肺 蘇 生 法	581	468	7	66	40
うち 自動式	0	-	-	-	-
酸 素 吸 入	3,724	3,012	65	153	494
気 道 確 保	478	395	4	56	23
うち 経鼻エア ※ 2	9	8	-	1	-
うち 喉頭鏡 ※ 3	64	47	-	16	1
うち マスク ※ 4	42	35	-	6	1
うち 気管挿管 ※ 5	210	174	1	28	7
保 温	15,017	10,641	1,049	2,060	1,267
被 覆	2,017	78	553	1,219	167
在 宅 療 法 継 続	5	2	-	-	3
在 宅 療 法 A ※ 6	3	-	-	-	3
在 宅 療 法 B ※ 7	2	2	-	-	-
在 宅 療 法 C ※ 8	0	-	-	-	-
シ ョ ッ ク バ ン ツ	2	2	-	-	-
除 細 動	79	64	1	9	5
静 脈 路 (輸 液)	237	189	1	34	13
薬 剤 投 与	158	131	1	20	6
そ の 他 応 急 処 置	48,515	33,433	4,048	7,221	3,813
血 圧 測 定	32,649	22,246	2,955	4,918	2,530
聴 診 器	5,421	3,936	463	645	377
血 中 酸 素 飽 和 度	33,012	22,478	2,967	5,004	2,563
心 電 図 測 定	8,711	7,499	134	394	684
処 置 対 象 人 員	33,719	22,976	2,996	5,126	2,621

※1 うち自動式とは、自動式心マッサージ器を使用しての胸骨圧迫。

※2 うち経鼻エアとは、経鼻エアウェイを使用しての気道確保。

※3 うち喉頭鏡とは、喉頭鏡・鉗子等を使用しての異物除去。

※4 うちマスクとは、ラリングアルマスク・食道閉鎖式エアウェイ等を使用しての気道確保。

※5 うち気管挿管とは、気管挿管処置を実施して気道確保。

※6 在宅療法Aとは、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの。

※7 在宅療法Bとは、気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻処置が施されているもの。

※8 在宅療法Cとは、在宅療法A及び在宅療法B以外の処置が施されているもの。

・事故種別、医療機関別（開設主体別）搬送人員

事故種別 開設主体		総			急			交 通 事 故			一 般 負 傷			そ の 他		
		数	うち 管 外	他 府 県	病	うち 管 外	他 府 県	うち 管 外	他 府 県		うち 管 外	他 府 県		うち 管 外	他 府 県	
総 数		33,790	6,162	1,460	23,017	3,772	875	3,010	619	162	5,136	984	264	2,627	787	159
救 急 告 示	国 立	106	106	30	79	79	21	0	0	0	1	1	0	26	26	9
	公 立	4,476	106	11	3,408	60	5	254	2	0	566	11	3	248	33	3
	公 的	37	36	12	26	26	9	0	0	0	3	2	0	8	8	3
	私 的 病 院	27,417	4,960	528	18,195	2,976	260	2,660	533	78	4,331	795	95	2,231	656	95
	私 的 診 療 所	6	1	1	5	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	小 計	32,042	5,209	582	21,713	3,142	296	2,914	535	78	4,902	809	98	2,513	723	110
そ の 他	国 立	8	8	1	6	6	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0
	公 立	141	9	1	118	4	0	0	0	0	1	0	0	22	5	1
	公 的	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	私 的 病 院	1,314	887	868	951	586	572	86	84	84	202	169	166	75	48	46
	私 的 診 療 所	266	43	3	219	30	3	8	0	0	29	5	0	10	8	0
	小 計	1,731	949	874	1,295	627	576	94	84	84	233	175	166	109	63	48
計	国 立	114	114	31	85	85	22	0	0	0	2	2	0	27	27	9
	公 立	4,617	115	12	3,526	64	5	254	2	0	567	11	3	270	38	4
	公 的	39	38	13	27	27	9	0	0	0	3	2	0	9	9	4
	私 的 病 院	28,731	5,847	1,396	19,146	3,562	832	2,746	617	162	4,533	964	261	2,306	704	141
	私 的 診 療 所	272	44	4	224	31	4	8	0	0	30	5	0	10	8	0
	小 計	33,773	6,158	1,456	23,008	3,769	872	3,008	619	162	5,135	984	264	2,622	786	158
その他の場所		17	4	4	9	3	3	2	0	0	1	0	0	5	1	1

38. 救助活動状況

・救助事故種別活動状況

区 分 件数及び人数		総 数	火災	救 助 事 故 種 別							
				交通	水難	自然	機械	建物	ガス	破裂	その他
組 合	事故件数	336	62	45	14	24	16	65	4	-	106
	活動件数	316	62	39	12	23	16	63	4	-	97
	救助件数	143	15	28	8	1	12	49	1	-	29
	救助人員	190	18	44	9	1	21	54	3	-	40
枚 方 市	事故件数	185	36	22	4	13	9	43	2	-	56
	活動件数	175	36	18	4	13	9	41	2	-	52
	救助件数	78	8	12	3	-	5	31	1	-	18
	救助人員	115	10	21	3	-	14	35	3	-	29
寝 屋 川 市	事故件数	146	26	19	10	10	7	22	2	-	50
	活動件数	136	26	17	8	9	7	22	2	-	45
	救助件数	62	7	13	5	1	7	18	-	-	11
	救助人員	72	8	20	6	1	7	19	-	-	11
管 外	事故件数	5	-	4	-	1	-	-	-	-	-
	活動件数	5	-	4	-	1	-	-	-	-	-
	救助件数	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-
	救助人員	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-

事故件数:救助事故種別が適用されている事案すべて。(途中引揚、救助者無の事案も含む。)

活動件数:上記の内、途中引揚を除く。(火災の場合は救助開始時刻が判定できている事案とする。)

救助件数:上記の内、救助者有の事案。

・災害分類別、隊別出動状況(1件につき複数隊が出動する場合があります。)

隊	災害分類	総数	火災	救助	焼損事故	その他
総	数	368	97	171	20	80
枚	方 救 助 隊	133	41	64	4	24
枚	方 東 救 助 隊	80	25	32	3	20
寝	屋 川 救 助 隊	155	31	75	13	36

その他には消防事故に出動したが誤報、虚報であった場合も含みます。

あなたに安心を届けたい！

枚方寝屋川消防組合ホームページ

<http://www.hnfd119.jp/>



住宅用火災警報器普及啓発
PRキャラクター「枚寝カンチ」

枚方寝屋川消防組合では、住宅火災での逃げ遅れによる死亡を無くすため、住宅用火災警報器設置促進と維持管理の普及啓発を推進しています。

各種イベントや防火教室等に「枚寝カンチ」が参加し、住宅用火災警報器の認知度の向上や点検方法、交換時期の周知に努めています。

消 防 年 報

(平成30年版 令和元年刊行)

発 行 枚方寝屋川消防組合消防本部

編 集 総 務 部 総 務 管 理 課

枚方市新町1丁目7番11号

0 7 2 (8 5 2) 9 9 0 3
